

令和元年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業

放課後児童クラブにおける育成支援の実態と
保護者ニーズに関する調査研究
＜報告書＞

令和2年（2020年）3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

「放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究」

報告書概要

「放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究」では、放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズを明らかにすることを目的に、有識者委員会を設置し、実態調査を行った。

1. 実施体制

【委員名簿（敬称略）】

氏 名	所 属
植木 信一	新潟県立大学 人間生活学部子ども学科 教授
尾木 まり	有限会社エムアンドエムインク 子どもの領域研究所 所長
野中 賢治（★）	一般財団法人児童健全育成推進財団 企画調査室長
（オブザーバー） 結城 圭輔	厚生労働省子ども家庭局子育て支援課 健全育成推進室 室長補佐
（オブザーバー） 依田 秀任	厚生労働省子ども家庭局子育て支援課 健全育成推進室 児童環境づくり専門官

※五十音順、★は座長

【事務局】

三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社 政策研究事業本部
経済政策部 横山 重宏、谷川 香織、丸山 知美
公共経営・地域政策部 喜多下 悠貴

2. 事業の実施内容及び調査結果

次ページ以下の通り。

令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究

放課後児童クラブの育成支援の実 態と保護者ニーズに関する調査 (結果概要)

令和2年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング



目次

- 1. 調査の実施概要
- 2. 回答自治体の状況
 - (1) 回答自治体の都市類型、放課後児童クラブを所管する部局
 - (2) 登録児童数、利用できなかった児童数(待機児童数)
- 3. 回答放課後児童クラブの状況
 - (1) 設立運営・運営主体・運営形態
 - (2) 設置場所、『児童1人当たりの専用区画』の面積
 - (3) 1日に配置している職員数
 - (4) 利用児童数
 - (5) 退所児童数、退所の主な理由
- 4. 回答保護者の状況
 - (1) 子どもの学年、放課後児童クラブの週の利用回数
 - (2) 放課後児童クラブ以外の放課後に行う活動の週の回数・内容
- 5. 育成支援の実施状況
 - (1) 放課後児童クラブにおける活動や育成支援に関する取組の状況
 - (2) 放課後児童クラブにおける職員による子どもや保護者への関わりの状況
 - (3) 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況
- 6. 放課後児童クラブに対する満足度

1. 調査の実施概要

調査名、調査期間、調査対象、調査方法、回収状況	
①市区町村主管課向け調査	調査期間：令和2年1月9日(木)～令和2年2月17日(月) 調査方法：メール送信・メール回収 調査対象：130地域、うち、指定都市(12地域)、中核市(18地域)、一般市(54地域)、町(37地域)、村(9地域) 回収状況：回収数120地域、回収率92.3%
②放課後児童クラブ責任者向け調査	調査期間：令和2年1月6日(月)～令和2年2月12日(水) 調査方法：郵送配布・郵送回収 調査対象：放課後児童クラブ責任者(上記①市区町村に所在する全放課後児童クラブ1,023団体)、うち、指定都市(117団体)、中核市(180団体)、一般市(496団体)、町(204団体)、村(26団体) 回収状況：回収数 698団体、回収率 68.2%
③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査	調査期間：令和2年1月6日(木)～令和2年2月12日(水) 調査方法：郵送配布・WEB回答もしくは郵送回収 調査対象：保護者(上記②の放課後児童クラブに子どもが通う保護者) 回収状況：回収数6,855人、うち、郵送回答1,401人、WEB回答：5,454人

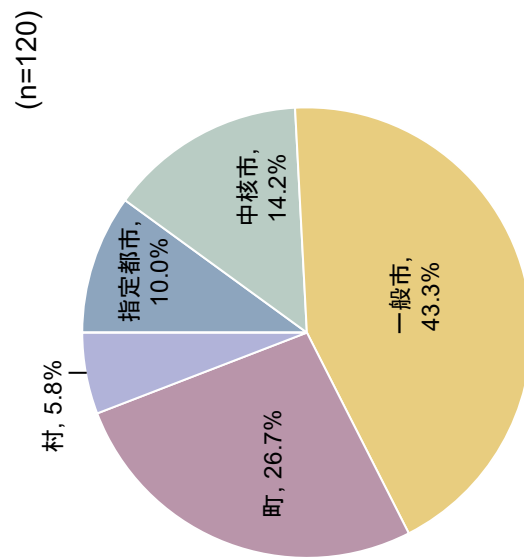
2. 回答自治体の状況(1)

〔①市町村主管課向け調査〕

回答自治体の都市類型

- 回答自治体数120の都市類型をみると、「指定都市」が10.0%、「中核市」が14.2%、「一般市」が43.3%、「町」が26.7%、「村」が5.8%であった。

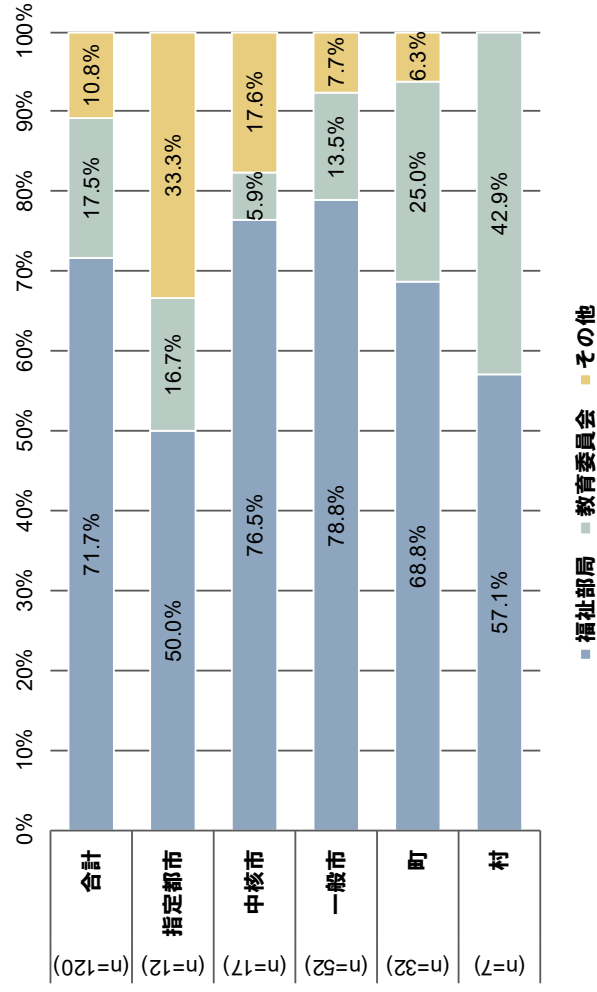
回答自治体の都市類型



放課後児童クラブを所管する部局

- 放課後児童クラブを所管する部局は、「福祉部局」が71.7%と7割を占め最も高く、「教育委員会」が17.5%となっている。都市類型別には、中核市、一般市では「福祉部局」の割合が、それぞれ4分の3を超えている。

都市類型別の放課後児童クラブを所管する部局(問2)



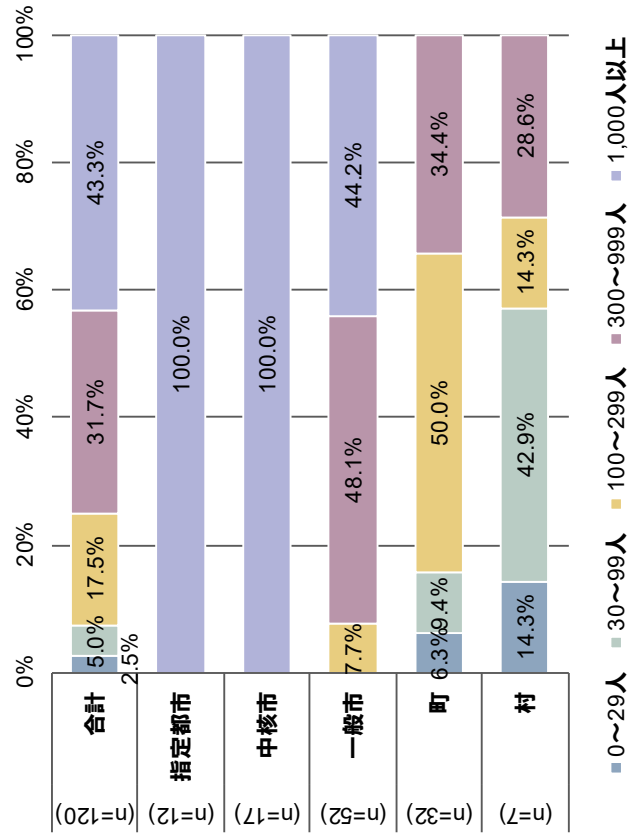
2. 回答自治体の状況(2)

〔①市町村主管課向け調査〕

登録児童数

■ 登録児童数は、指定都市、中核市では全てが「1,000人以上」であり、一般市では「300～999人」が48.1%、「1,000人以上」が44.2%と割合が高い。町では「100～299人」が50.0%を占め、「300～999人」が34.4%で次いで高くなっている。

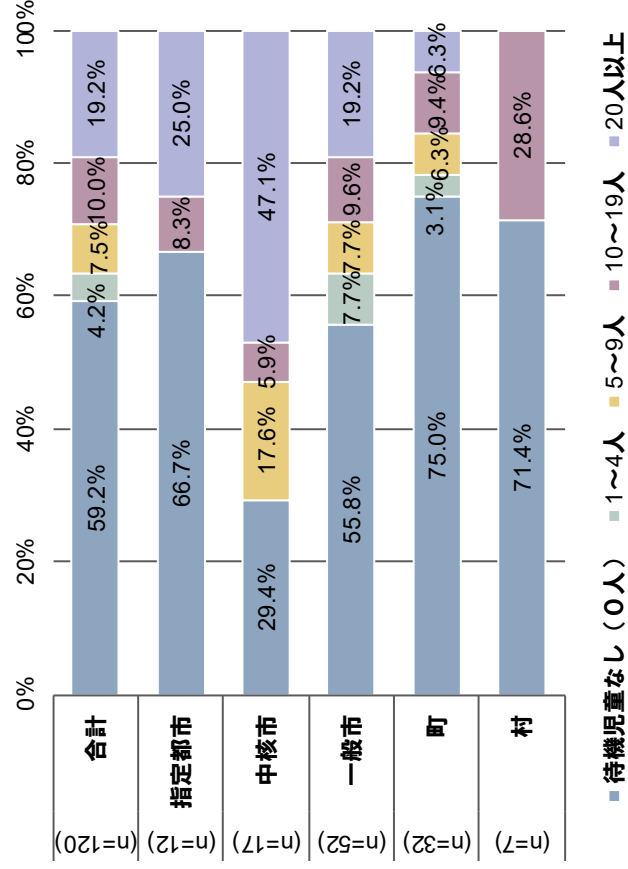
都市類型別の登録児童数(問1)



利用できなかった児童数(待機児童数)

■ 利用できなかった児童数(待機児童数)は、全体では「待機児童なし」が59.2%であった。中核市で「待機児童なし」が29.4%と割合が低く、利用できなかった児童数は「20人以上」が47.1%と高い割合を占める。指定都市、一般市、町では「待機児童なし」がそれぞれ66.7%(3分の2)、55.8%、75.0%(4分の3)を占める。

都市類型別の利用できなかった児童数(待機児童数)(問1)



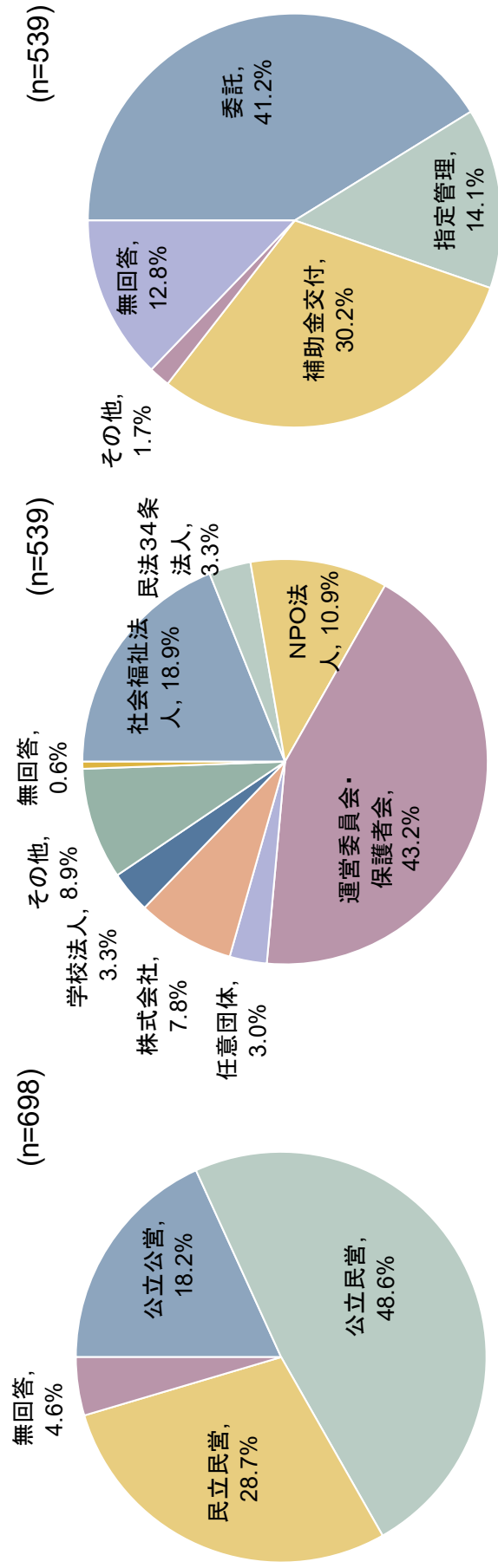
3. 回答放課後児童クラブの状況(1)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

設立運営・運営主体・運営形態

- 放課後児童クラブの設立運営については、「公立民営」が48.6%で最も割合が高く、「民立民営」が28.7%、「公立公営」が18.2%となっている。
- 公立民営、民立民営について運営主体をみると、「運営委員会・保護者会」が43.2%と最も高い割合を占めており、次いで、「社会福祉法人」が18.9%、「NPO法人」が10.9%、「株式会社」が7.8%となっている。また、公立民営、民立民営の運営形態をみると、「委託」が41.2%、「補助金交付」が30.2%で割合が高く、「指定管理」が14.1%である。

設立運営(左図)、公立民営・民立民営の運営主体(中央図)と運営形態(右図)(問1)



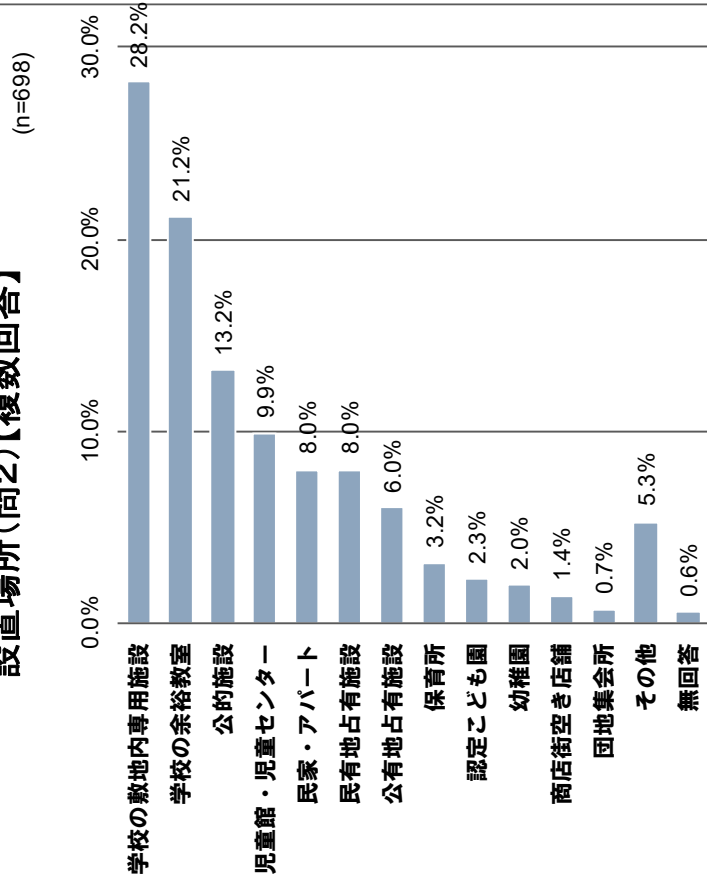
3. 回答放課後児童クラブの状況(2)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

設置場所

- 設置場所は、「学校の敷地内専用施設」が28.2%で最も割合が高く、「学校の余裕教室」が21.2%で次いでおり、学校関係の施設を利用している放課後児童クラブが半数近くになっている。以下、「公的施設」(13.2%)、「児童館・児童センター」(9.9%)、「民家・アパート」(8.0%)、「民有地占有施設」(8.0%)となっている。

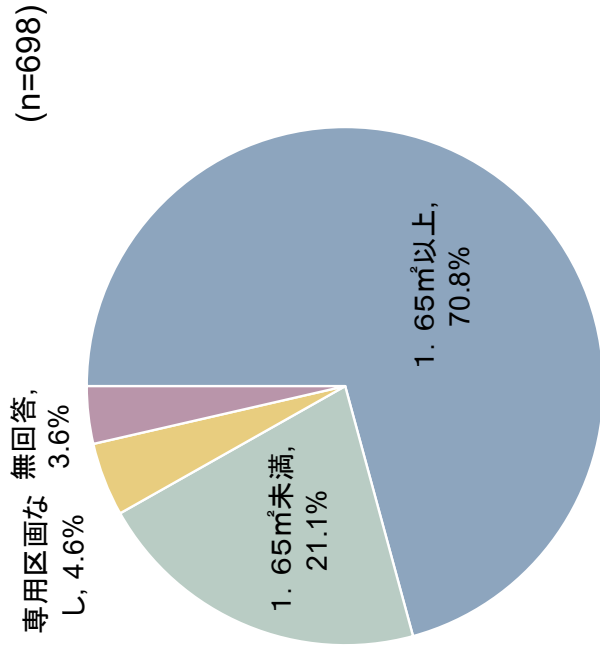
設置場所(問2)【複数回答】



『児童1人当たりの専用区画』の面積

- 『児童1人当たりの専用区画』の面積は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に定められている「1.65㎡以上」が70.8%と全体の7割を占める。「1.65㎡未満」が21.1%、「専用区画なし」が4.6%となっている。

『児童1人当たりの専用区画』の面積(問3)



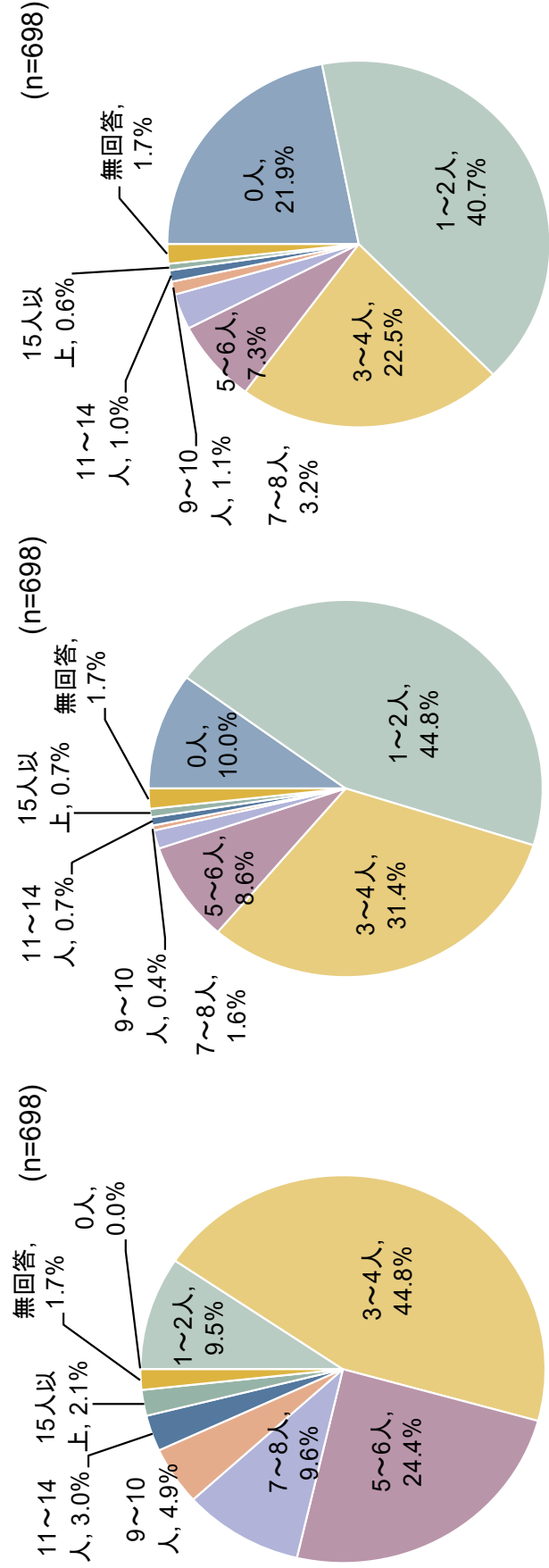
3. 回答放課後児童クラブの状況(3)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

1日に配置している職員数

- 1日に配置している職員(常勤職員数と常勤職員以外数の合計)数(令和元年12月2日の最大配置人数)は、「3～4人」が44.8%で最も割合が高く、次いで「5～6人」が24.4%で高くなっている。
- 常勤職員数は、「1～2人」が44.8%、「3～4人」が31.4%で割合が高く、これらを合わせると4分の3を超える。
- 常勤職員以外数は、「1～2人」が40.7%で最も割合が高く、「3～4人」が22.5%、「0人」が21.9%となっている。

1日に配置している職員数(常勤職員数と常勤職員以外数の合計)(左図)、 うち、常勤職員(中央図)、常勤職員以外(右図)(令和元年12月2日の最大配置人数)(問6)



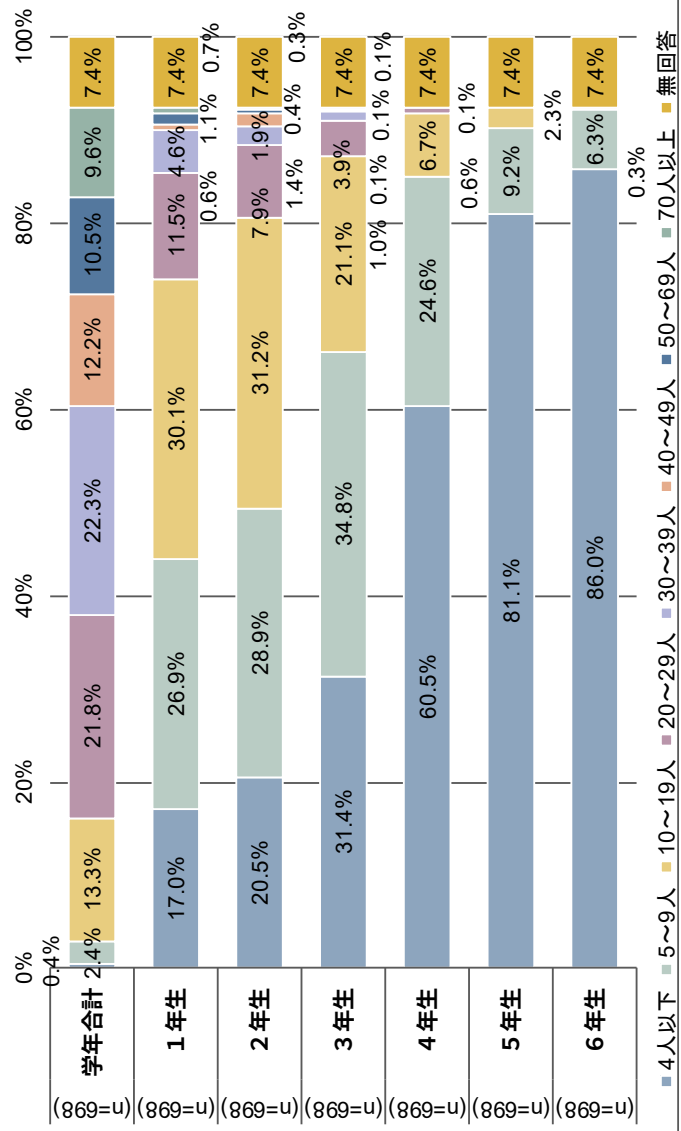
3. 回答放課後児童クラブの状況(4)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

利用児童数

- 利用児童数は、学年全体では、「30～39人」が22.3%で最も割合が高く、「20～29人」(21.8%)、「10～19人」(13.3%)が次いでいる。39人以下で全体のほぼ6割を占める。
- 学年別には、1年生、2年生では「10～19人」が3割超と最も割合が高く、「5～9人」が3割弱と次いで高い。3年生では「5～9人」(34.8%)、「4人以下」(31.4%)が高い。4年生では「4人以下」(60.5%)、「5～9人」(24.6%)が高い。5年生、6年生では、「4人以下」が8割超と割合が高い。

利用児童数(令和元年12月2日～6日の間の平均人数)(問9)



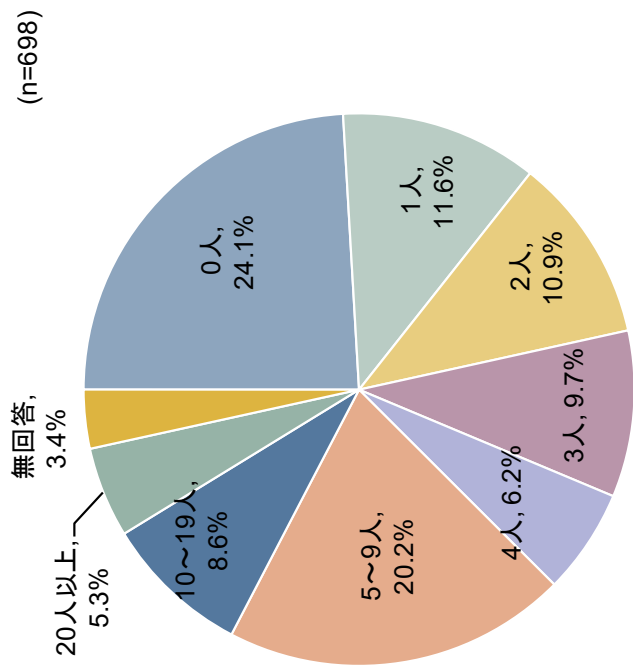
3. 回答放課後児童クラブの状況(5)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

退所児童数

■ 退所児童数は、学年全体では「0人」が24.1%で最も割合が高く、次いで「5～9人」(20.2%)が高い。「1人」、「2人」、「3人」がいずれも約1割となっている。

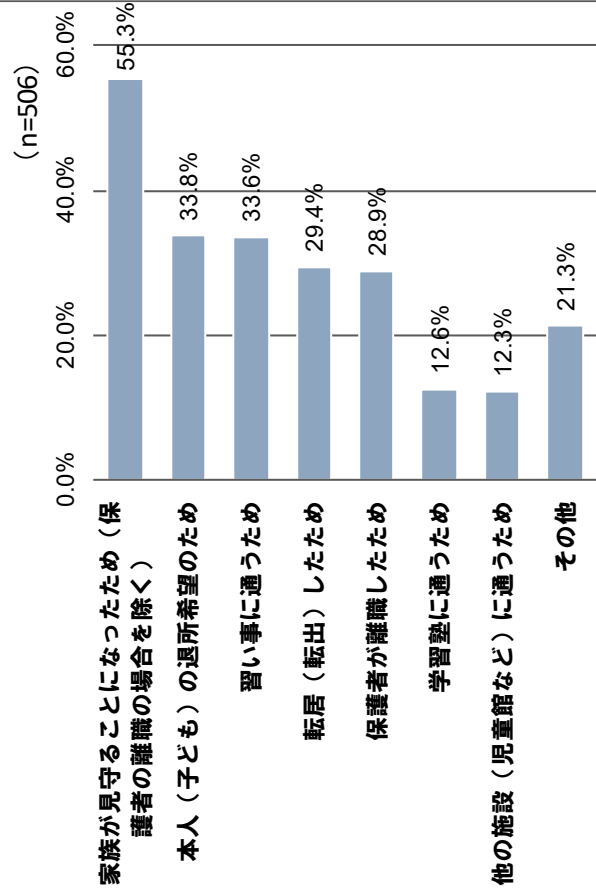
退所児童数(平成31年4月1日～令和元年12月2日)(問9)



退所の主な理由

■ 退所児童がいる放課後児童クラブでの退所の主な理由は、「家族が見守ることになったため(保護者の離職の場合を除く)」が55.3%で最も割合が高い。「本人(子ども)の退所希望のため」(33.8%)、「習い事に通うため」(33.6%)、「転居(転出)したため」(29.4%)、「保護者が離職したため」(28.9%)が次いで高い。

〔退所児童がいる場合〕退所の主な理由(問9)【複数回答】



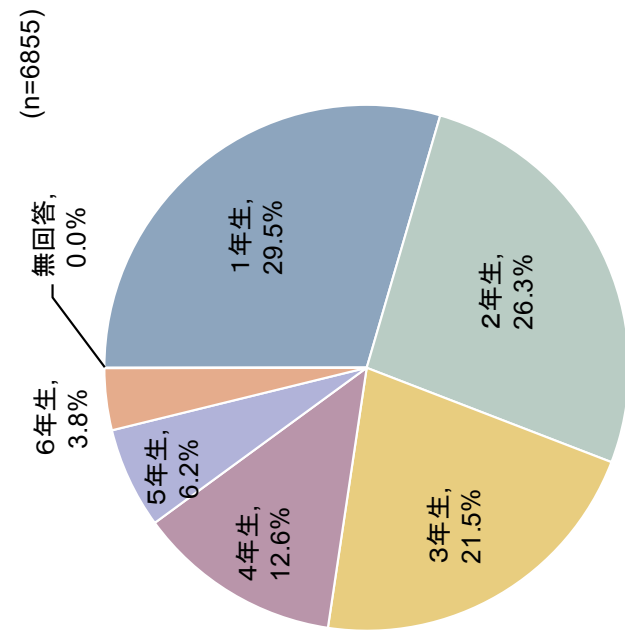
4. 回答保護者の状況(1)

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもの学年

- 子どもの学年は、「1年生」が29.5%、「2年生」が26.3%、「3年生」が21.5%と高い割合を示している。「4年生」が12.6%、「5年生」が6.2%、「6年生」が3.8%となっている。

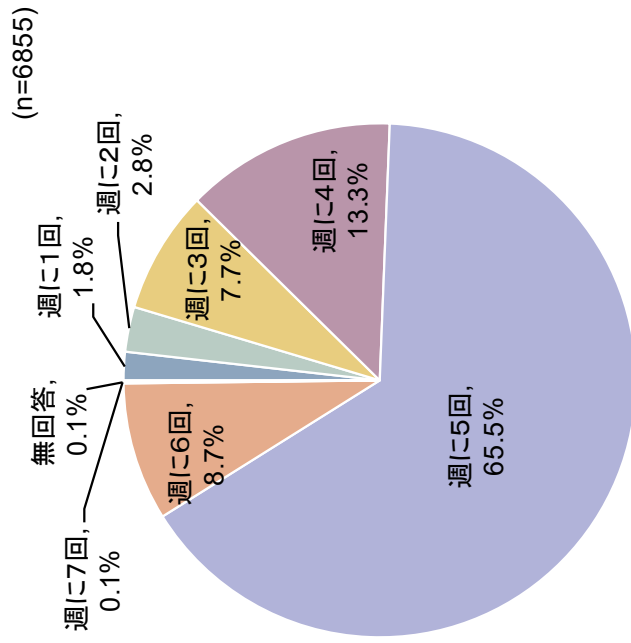
回答者の子どもの学年(問2)



放課後児童クラブの週の利用回数

- 放課後児童クラブの週の利用回数は、「週に5回」が65.5%で最も割合が高い。「週に4回」が13.3%、「週に6回」が8.7%、「週に3回」が7.7%となっている。

放課後児童クラブの週の利用回数(問4)



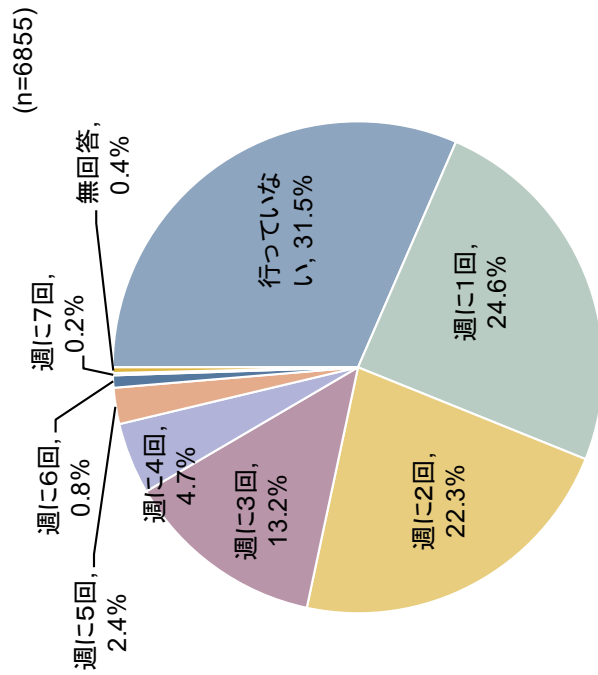
4. 回答保護者の状況(2)

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブ以外の放課後に行う活動の週の回数

■ 放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数は、「行っていない」が31.5%で最も割合が高い。7割近くが習い事や塾等、放課後児童クラブ以外の活動を放課後に行っている。週の回数は、「週に1回」が24.6%で最も割合が高く、「週に2回」が22.3%、「週に3回」が13.2%となっている。

習い事や塾等、放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数(問5)

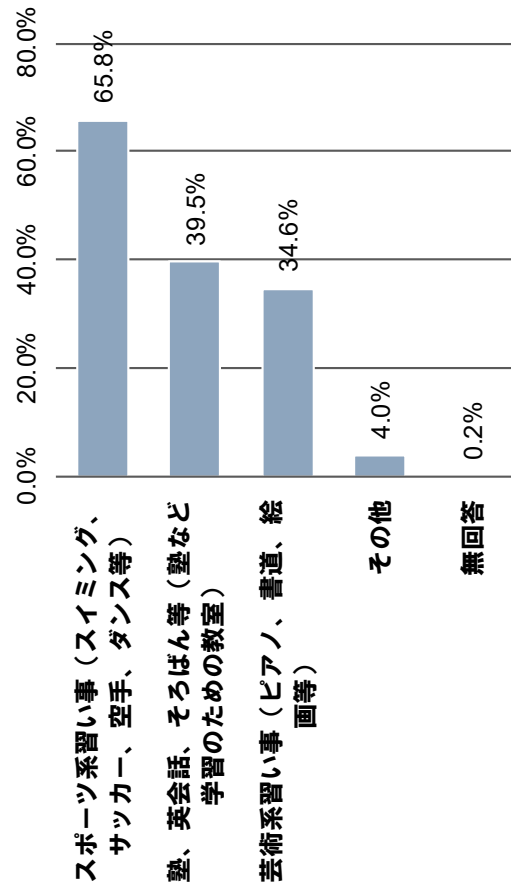


放課後児童クラブ以外の放課後に行う活動の内容

■ 放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の活動の内容は、「スポーツ系習い事(スイミング、サッカー、空手、ダンス等)」が65.8%で最も割合が高い。「塾、英会話、そろばん等(塾など学習のための教室)」が39.5%、「芸術系習い事(ピアノ、書道、絵画等)」が34.6%と次いで高い。

〔放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の〕活動の内容(問6)

(n=4668)



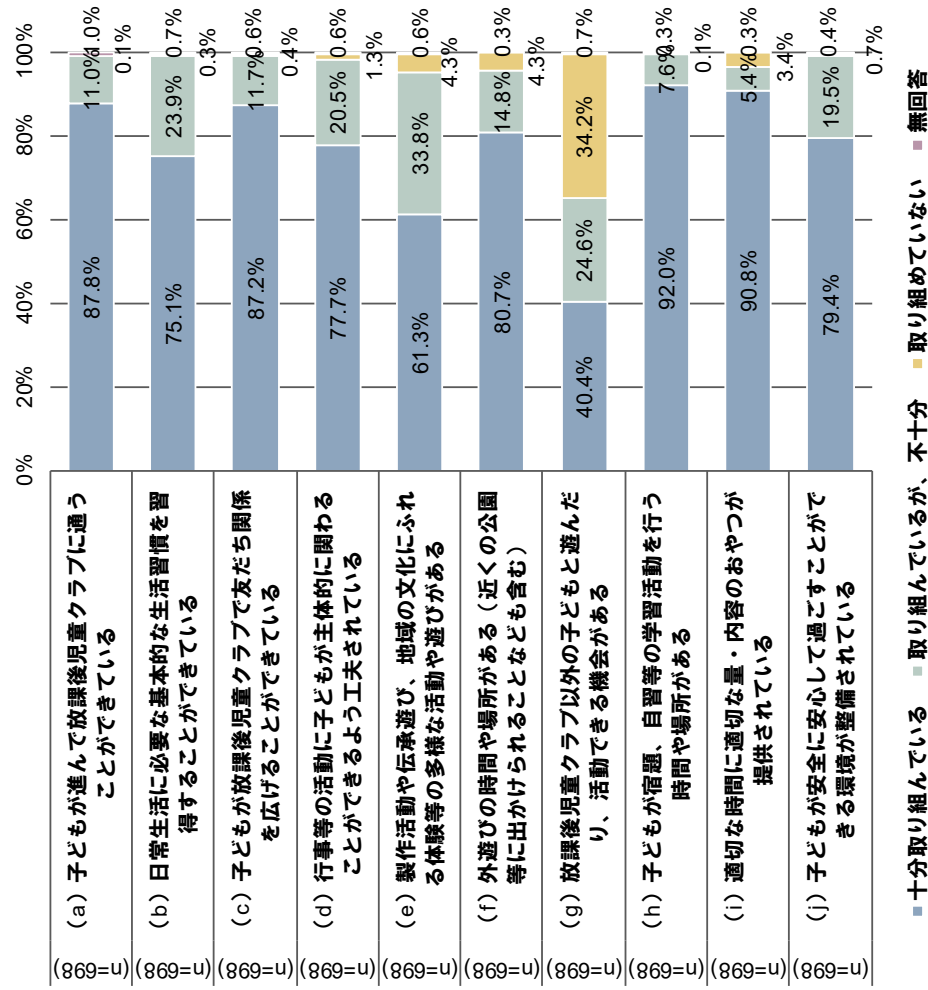
5. 育成支援の実施状況(1)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

放課後児童クラブにおける活動や育成支援に関する取組の状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(j)の育成支援に関する取組が十分に行われていると思うかを尋ねた。
- 多くの項目について、「十分取り組んでいる」割合が非常に高く、「取り組めていない」割合が非常に低い。
- (g)について、「十分取り組んでいる」割合が40.4%と他の項目よりもかなり低い。
- (e)について、「十分取り組んでいる」割合が61.3%と他の項目よりも低い。
- (b)、(d)、(j)について、「取り組んでいるが、不十分」の割合が2割程度となっている。

育成支援への取組状況



(放課後児童クラブ責任者調査：問10)

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

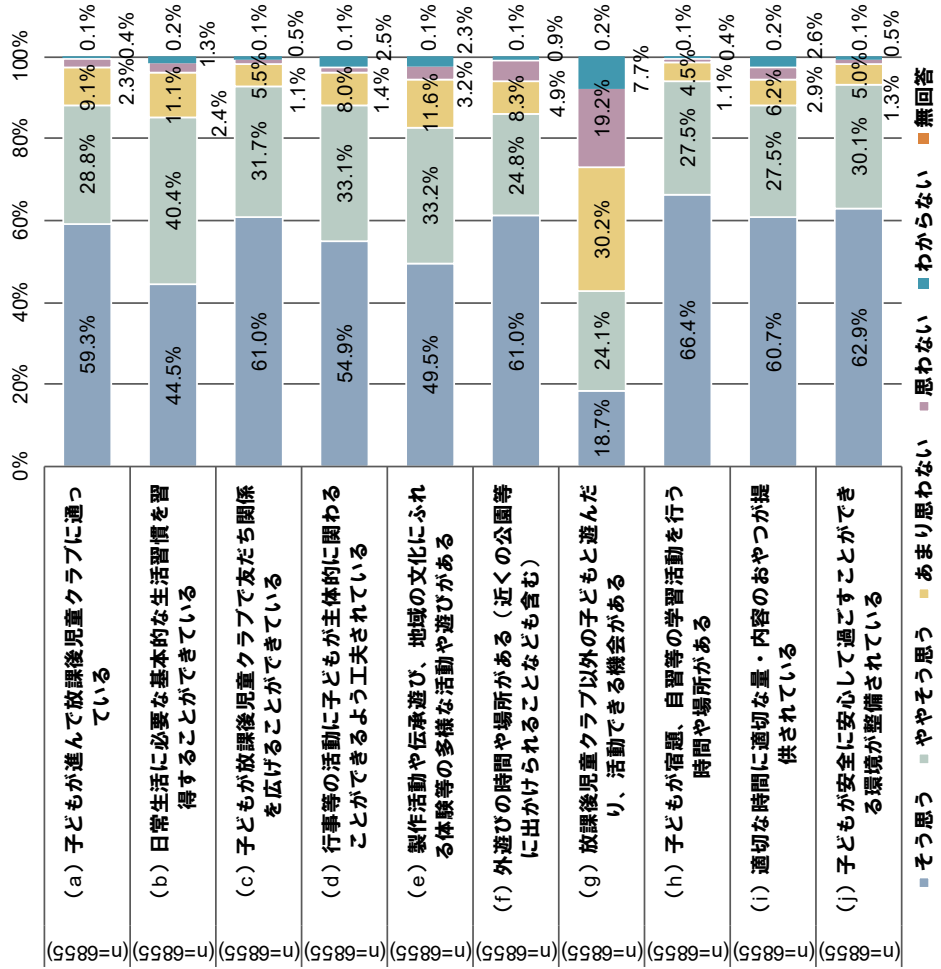
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもが通う放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況

- 子どもが通っている放課後児童クラブで、(a)～(j)の活動や育成支援に関して、十分に取組んでいると思うかを尋ねた。
- 多くの項目について、「そう思う」割合が6割程度、「ややそう思う」割合が3割程度であり、取組を評価していることが分かる。
- 『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』について、「あまり思わない」割合が30.2%、「思わない」割合が19.2%と高い。
- 『(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができている』、『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』について、「そう思う」割合が、それぞれ44.5%、49.5%と他の項目に比べて低い。

(保護者調査：問10)

活動や育成支援への取組度合い



5. 育成支援の実施状況(1) つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

- 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(a)～(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、所管部署別に比較した。

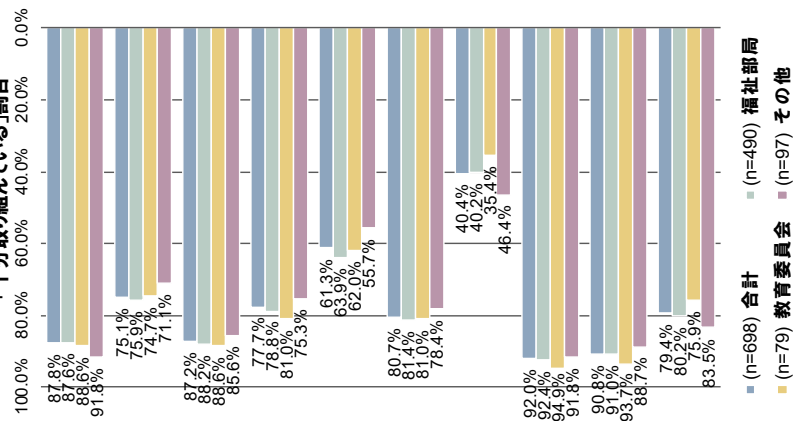
【放課後児童クラブ責任者調査】

- 所管部署別には、ほとんど違いがみられない。

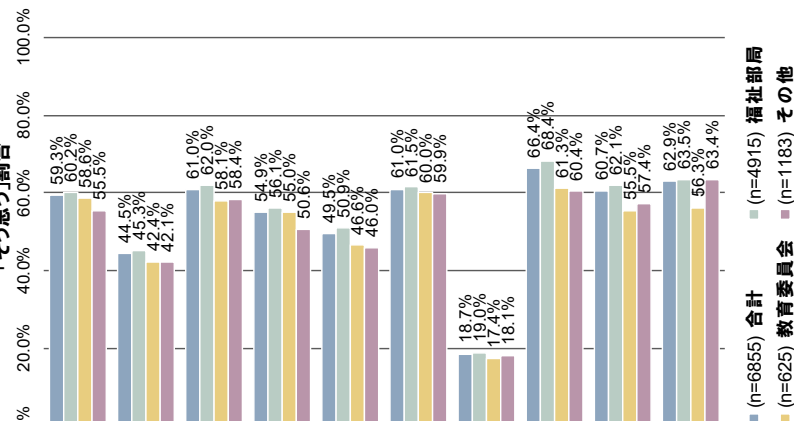
【保護者調査】

- 多くの項目について、『福祉部局』で、「そう思う」割合がやや高くなっている。

【放課後児童クラブ責任者調査】
「十分取り組んでいる」割合



【保護者調査】
「そう思う」割合



5. 育成支援の実施状況(1) つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

- 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((a)～(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、設置運営別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

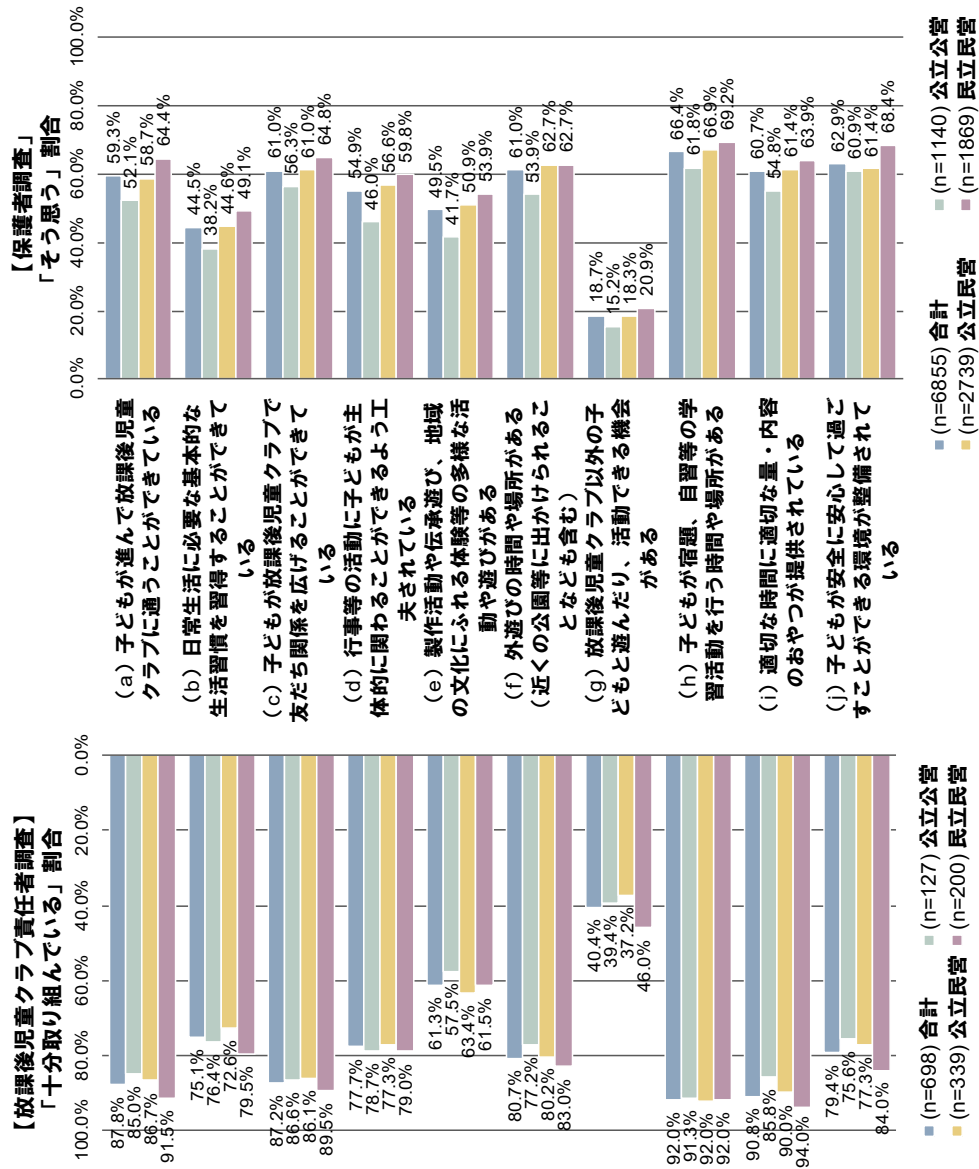
- 多くの項目について、『民立民営』で「十分取り組んでいる」とする割合がやや高く、『公立公営』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

- ほとんどの項目について、『民立民営』で、「と思う」割合が高くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問10、保護者調査:問10)

〔設立運営別〕 活動や育成支援への取組度合い



5. 育成支援の実施状況(1) つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔運営主体別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((a)～(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、運営主体別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

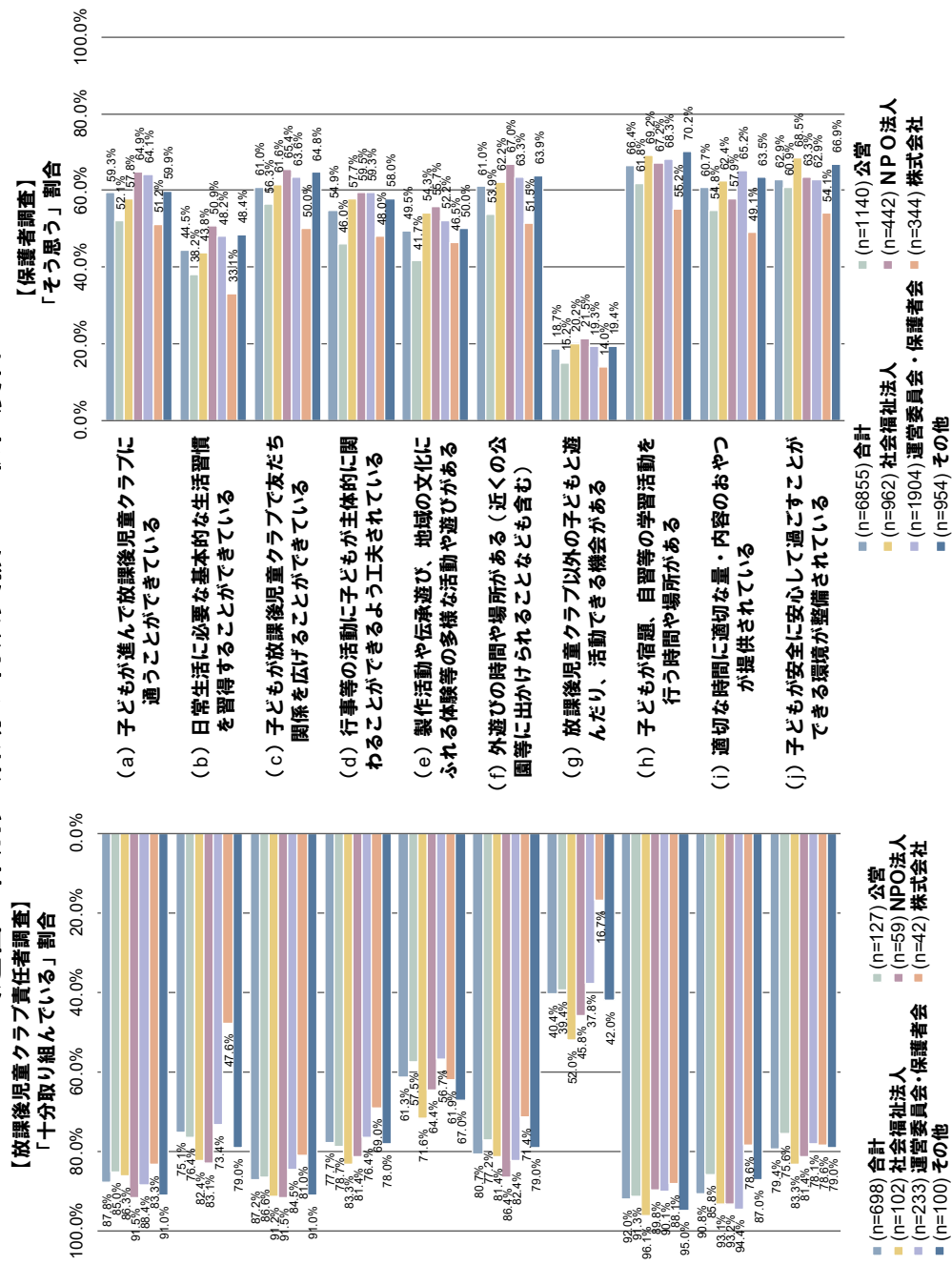
■ 多くの項目について、『社会福祉法人』で「十分取り組んでいる」割合が高く、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

■ 保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『社会福祉法人』、『NPO法人』で高く、ほぼ全ての項目について、『株式会社』で低い。

(放課後児童クラブ責任者調査：問10、保護者調査：問10)

〔運営主体別〕 活動や育成支援への取組度合い



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用児童数別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((c)～(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、利用児童数別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

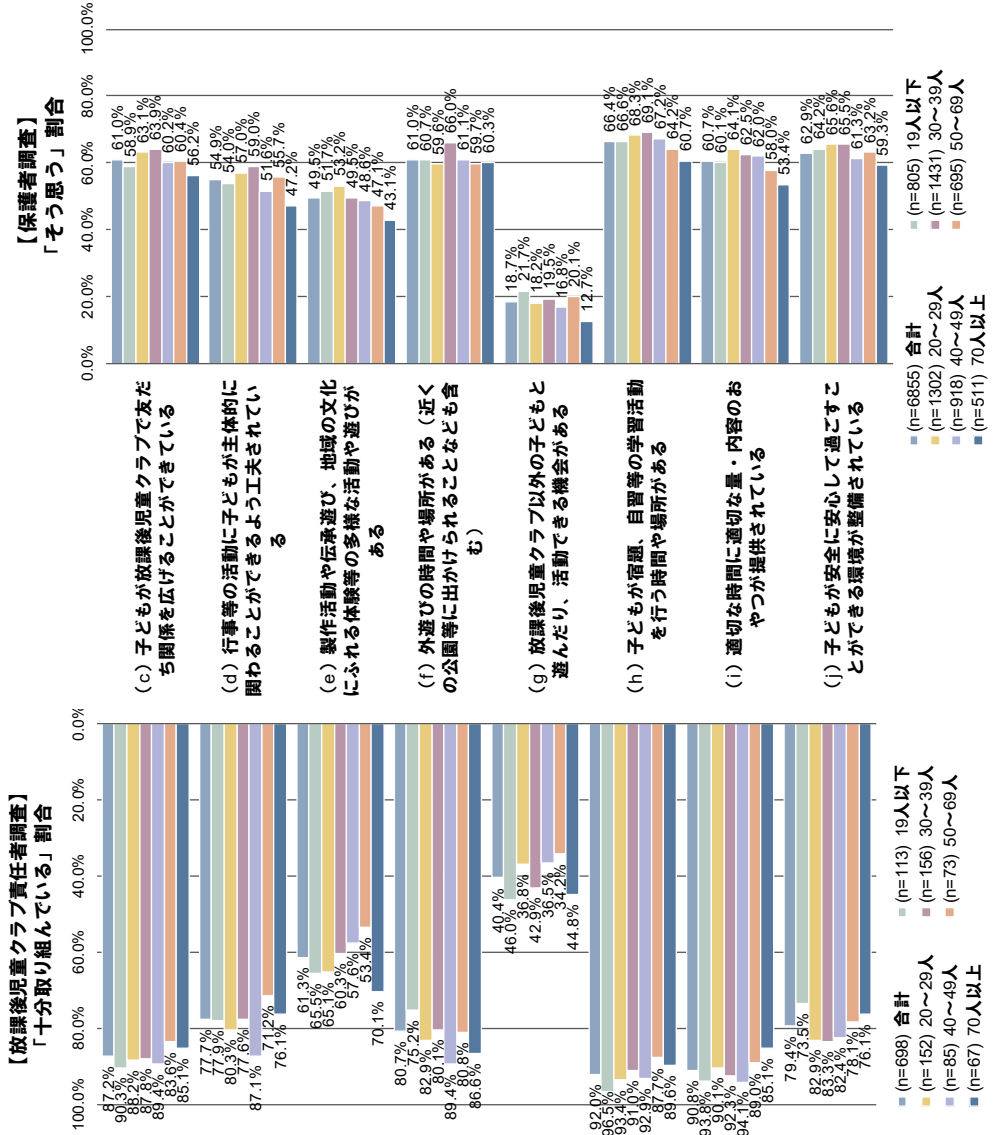
■ 多くの項目について、『50～69人』、『70人以上』で、『十分取り組んでいる』割合が低くなっている。

【保護者調査】

■ ほぼ全ての項目について、『20～29人』、『30～39人』で、『そう思う』割合が高く、『70人以上』で、『そう思う』割合が低くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問10、保護者調査:問10)

〔利用児童数別〕 活動や育成支援への取組度合い



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

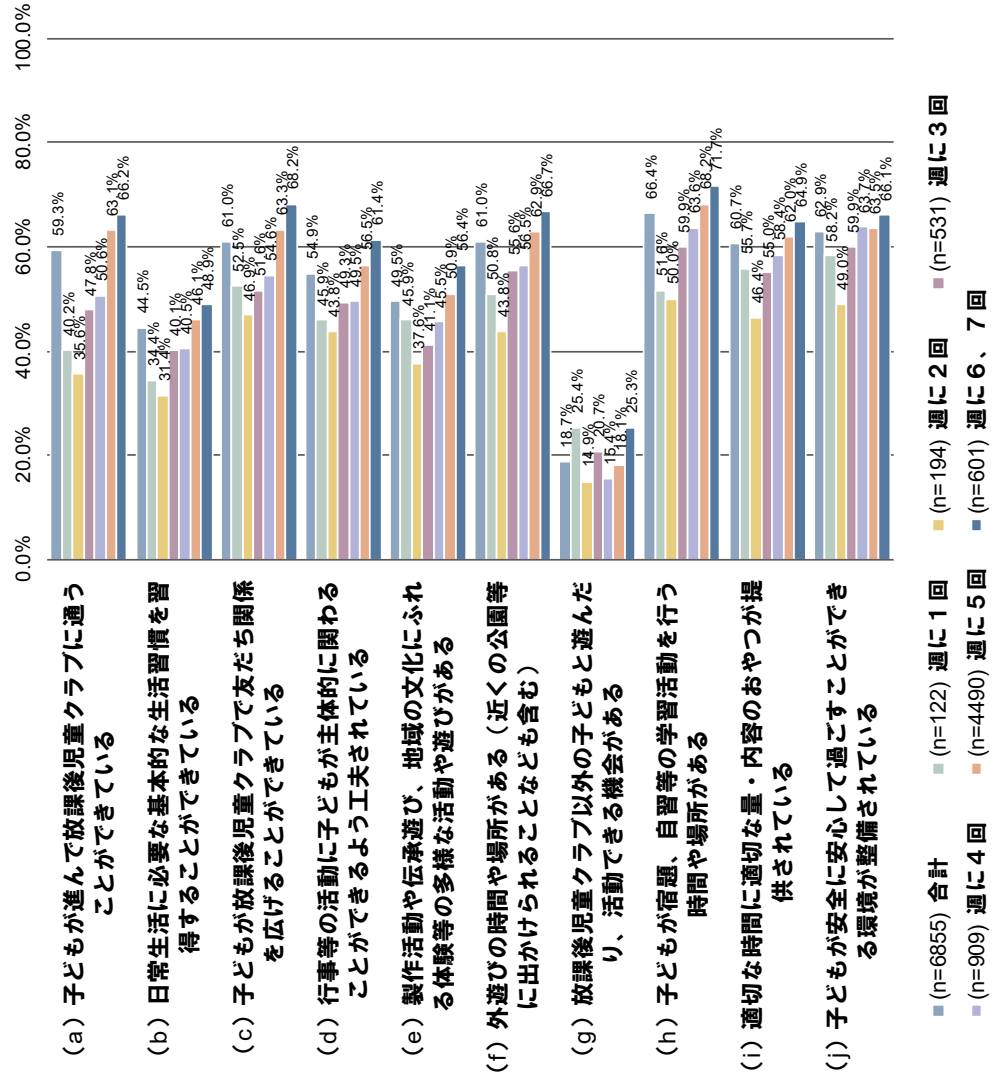
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用回数別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況

■ 『子どもが通っている放課後児童クラブでは、(a)～(j)の活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合を利用回数別にみた。

■ ほぼ全ての項目について、『週に1回』を除き、利用回数が多いほど「そう思う」割合が高くなっている。

〔利用回数別〕 活動や育成支援への取組度合い(「そう思う」割合)



(保護者調査:問10)

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔放課後児童クラブ責任者と保護者の一致・相違状況〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況 (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査とのクロス分析)

■ 放課後児童クラブでの (a)～(j)の活動や育成支援について、放課後児童クラブ責任者の考えと保護者の考えの関係をクロス集計によりみた。

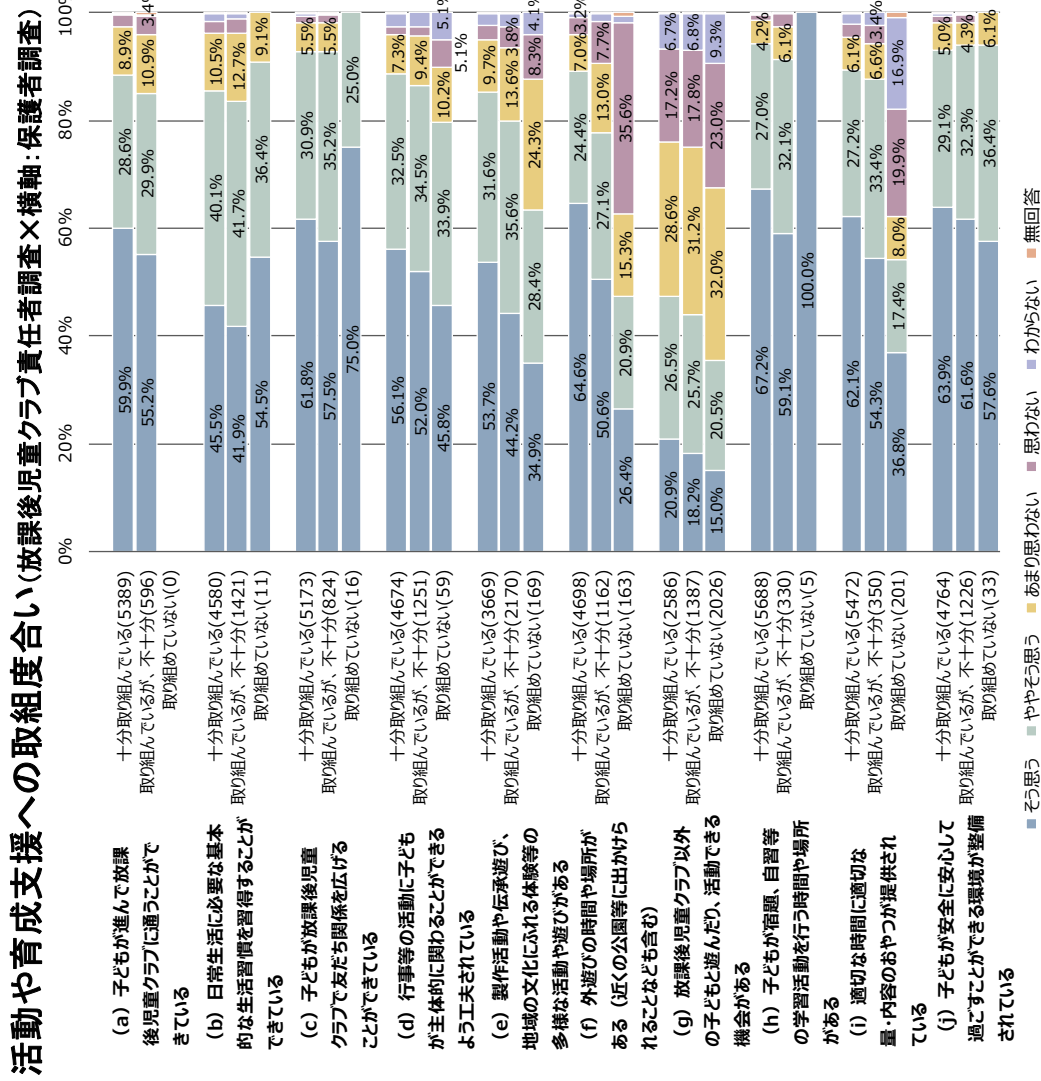
■ 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいると(そう)思う」割合は高い。

■ 放課後児童クラブ責任者が「取り組めていない」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」割合が高い。

■ 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合に、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」とする割合も一定数いる。

■ 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」場合と、「取り組んでいるが、不十分」の場合との間では、保護者が「十分取り組んでいると(そう)思う」割合の差は必ずしも大きくはない。

(放課後児童クラブ責任者調査：問10、保護者調査：問10)



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

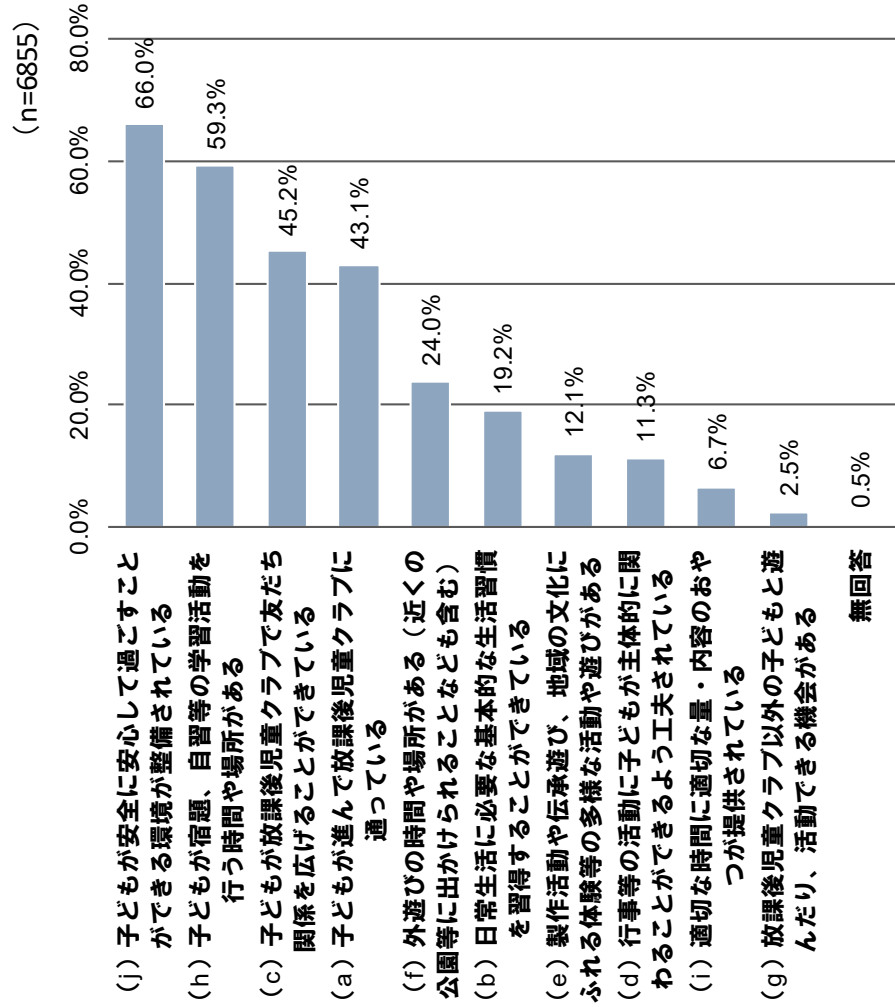
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもが通う放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組で重視する項目

■ 保護者に対して、子どもが通っている放課後児童クラブで、(a)～(j)の活動や育成支援に関して、重視する項目を3つ選んでもらった。

- (j) が66.0%と最も割合が高く、(h) が59.3%と次いで高くなっている。
- (c)、(a) がそれぞれ、45.2%、43.1%となっている。

活動や育成支援で重視する項目



(保護者調査:問11)

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

活動や育成支援に関する取組のうち取り組みていない理由【自由記述】	
(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができる	○学年別の課題：高学年(5、6年)も進んで通える学童とするにはもう少し工夫が必要。 ○ゲームとの関係：クラブ内でもはやく帰ってゲームやりたいという声が出ている。
(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができている	○サポートの必要性：声かけ等すればきちんとできるが、全児童が自発的にできているわけではない。 ○家庭での協力の必要性：学童での支援や指導には限界を感じる。 ○徹底の困難さ：出席状況も様々であるため、全員に対応を行き渡らせることは難しい。
(c)子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができる	○固定化している：一つの小学校に一つの学童クラブなので、友達関係もだいたい固定している。 ○学童内に限られる：学童以外の子どもたちとの交流の場・機会がない。
(d)行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている	○余裕がない：時間や予算の関係で十分な取り組みができていない。 ○子ども主体の難しさ：子どもたちは主体的な意見を交わすが、行事では支援員のサポートが必要。 ○進めづらさ：毎日来るわけでもないのに組織的な活動やリーダーが育ちにくい。
(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある	○時間がない：放課後の時間に余裕がなく、製作等をする時間の確保ができていない。 ○機会がない：製作活動は行なっているが、伝承遊び、地域の文化にふれる体験がない。
(f)外遊びの時間や場所がある(近隣の公園に出かけられることなども含む)	○時間がない：平日は宿題をしたり、おやつを食べたりすることで、十分外遊びができていない。 ○場所がない：近くに公園や学校のグラウンドなど外遊びできる場所がない。 ○せまい：児童の人数を考えると、活動場所がかなり狭い。
(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある	○遊ばない、遊べない：保険等の関係もあり、他の児童とは遊ばない決まりとなっている。 ○機会がない：限られたクラブの活動時間の中ではクラブ児以外の子と遊ぶ機会が得られない ○余裕がない：学童の活動や行事をこなすことで手いっぱい。 ○時間がない：放課後児童クラブ以外の子どもたちと遊ぶ場所、時間が無い。
(h)子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある	○ない：学年にバラつきがあり、宿題をするのに専用スペースがなく遊びの場と併用(下校時間が違う)。 ○せまい：1クラブあたりの人数が定員を大幅にオーバーしており、十分なスペースが取れない。
(i)適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている	○提供していない：クラブの設置場所が学校内であること、アレルギー対応が難しいことから、取り組めていない。 ○持参している：各家庭から自参したおやつを決められた時間で食べている。
(j)子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている	○施設の老朽化：利用している公民館の建物自体が古く、衛生面・安全面においては不安な所もある。 ○安全面の懸念：学校から学童まで距離があり、毎日歩いて通所していることから、道のりが毎日心配。 ○スペースが狭い：クラブスペースが狭いためトラブルが起りやすい ○専用施設ではない：学童専用の施設ではない為、学童としての十分な安全対策に取りくむには限界がある。 ○人材不足：今後クラブを担っていく新しい(若い)世代の人材の確保が難しい。

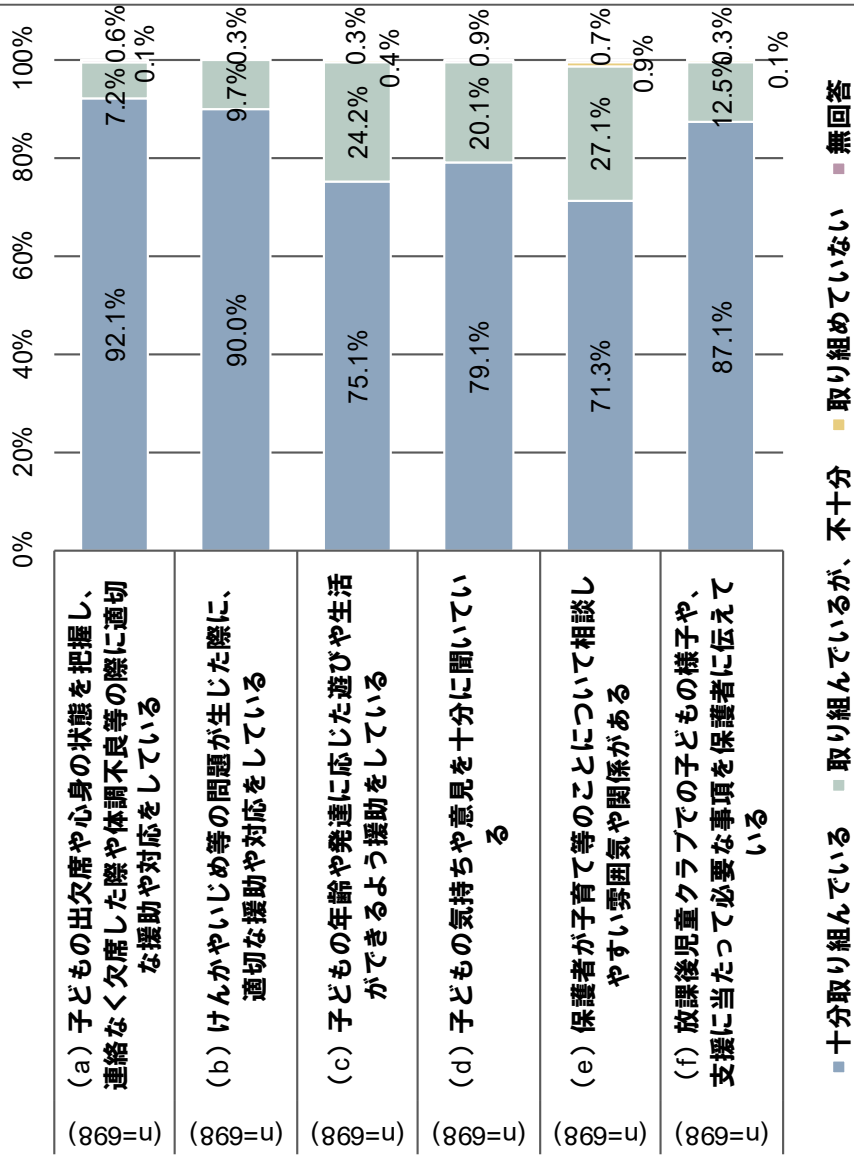
5. 育成支援の実施状況(2)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

放課後児童クラブにおける職員による子どもや保護者への関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(f)について、職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかを尋ねた。
- 多くの項目で、「十分取り組んでいる」割合が非常に高い。全ての項目で「取り組めていない」割合が低くなっている。
- (e)27.1%、(c)24.2%、(d)20.1%について、いずれも「取り組んでいるが、不十分」の割合が2割を超えている。

職員による子どもや保護者への関わりの状況



(放課後児童クラブ責任者調査：問11)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

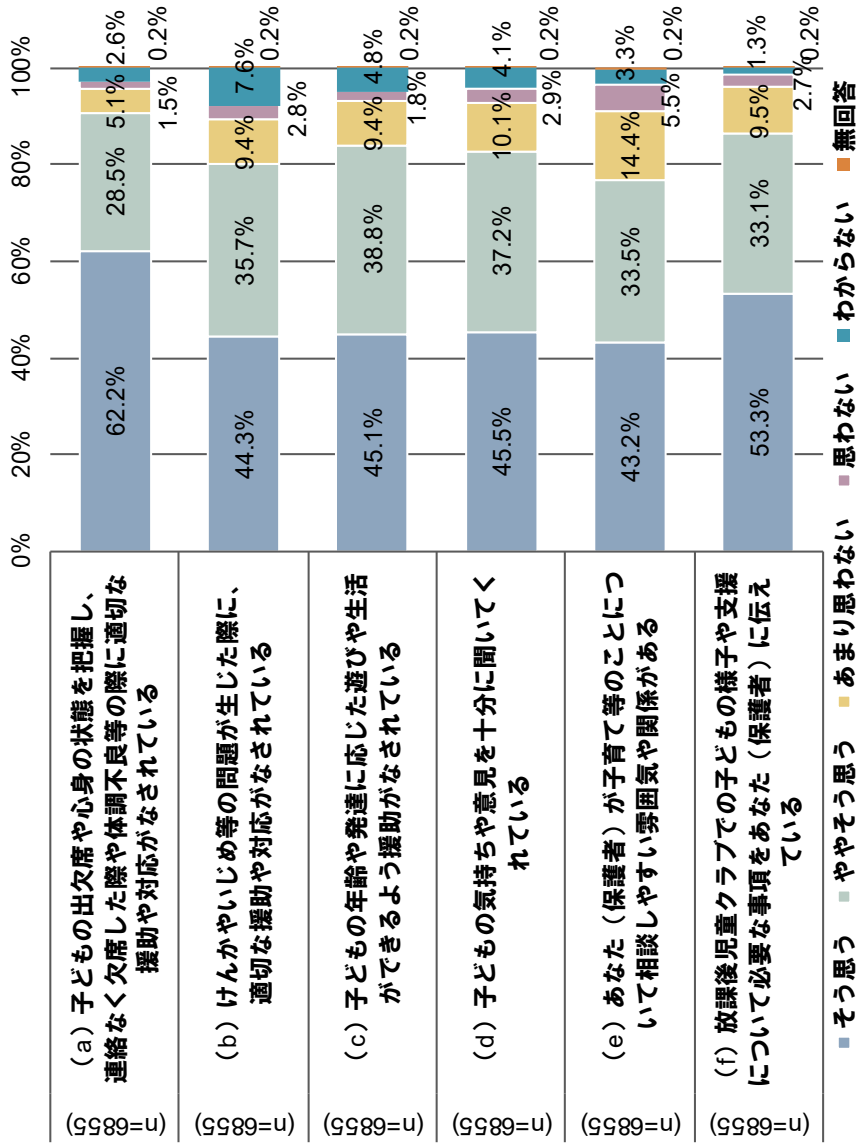
子どもが通う放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い

■ 保護者に対して、子どもが通う放課後児童クラブにおいて、(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わりについて、十分に組み組んでいると思うかを尋ねた。

■ (a)、(f)について、「そう思う」割合が、それぞれ62.2%、53.3%と高い。

■ (b)、(c)、(d)、(e)について、「そう思う」割合が45%程度、「ややそう思う」が35%程度と、両者を合わせて8割程度になっている。

職員による子どもや保護者への関わり度合い



(保護者調査:問12)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い

- (a)～(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、所管部署別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

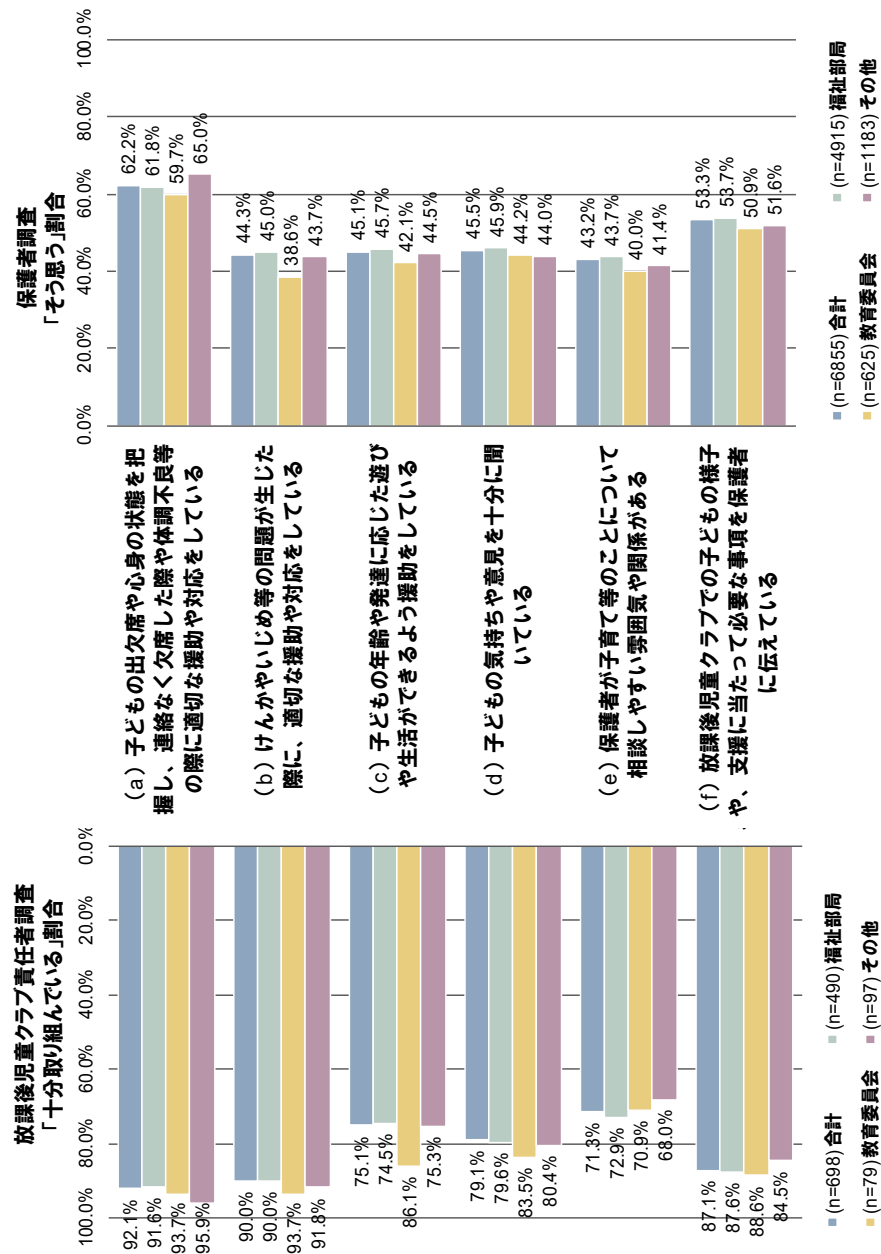
- (c)などの項目について、『教育委員会』で、「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。

【保護者調査】

- (b)などの項目について、『福祉部局』で、「そう思う」割合が高くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問11、保護者調査:問12)

〔所管部署別〕 職員による子どもや保護者への関わりの度合い



5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

- (a)～(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、設立運営別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

- (d) について、『民立民営』で「十分取り組んでいる」割合がやや高い。

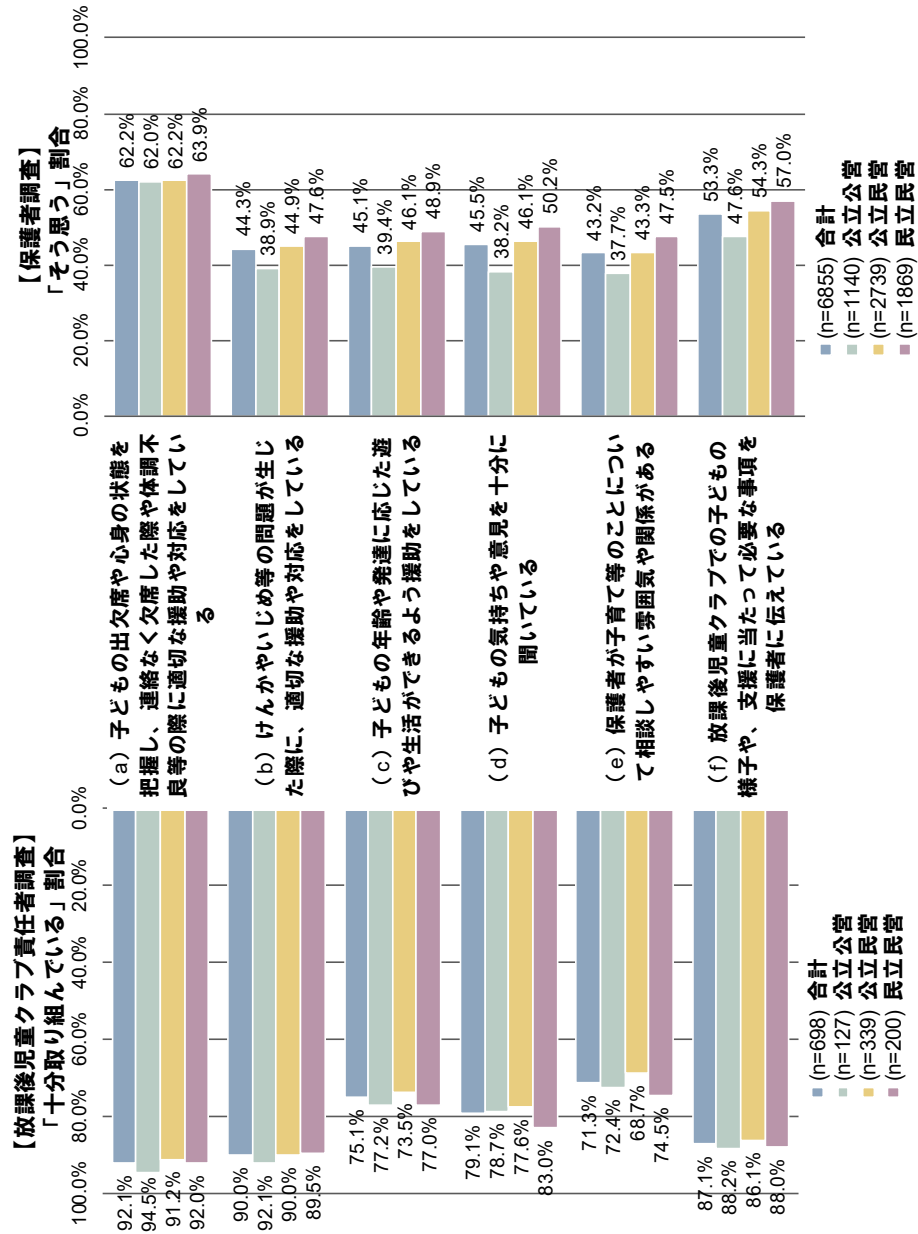
- その他の項目については、違いはほとんどみられない。

【保護者調査】

- ほとんどの項目について、『民立民営』で「そう思う」割合が最も高く、『公立民営』で次いで高くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査: 問11、保護者調査: 問12)

〔設置運営別〕 職員による子どもや保護者への関わり度合い



5. 育成支援の実施状況(2) つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔運営主体別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

- (a)～(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、運営主体別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

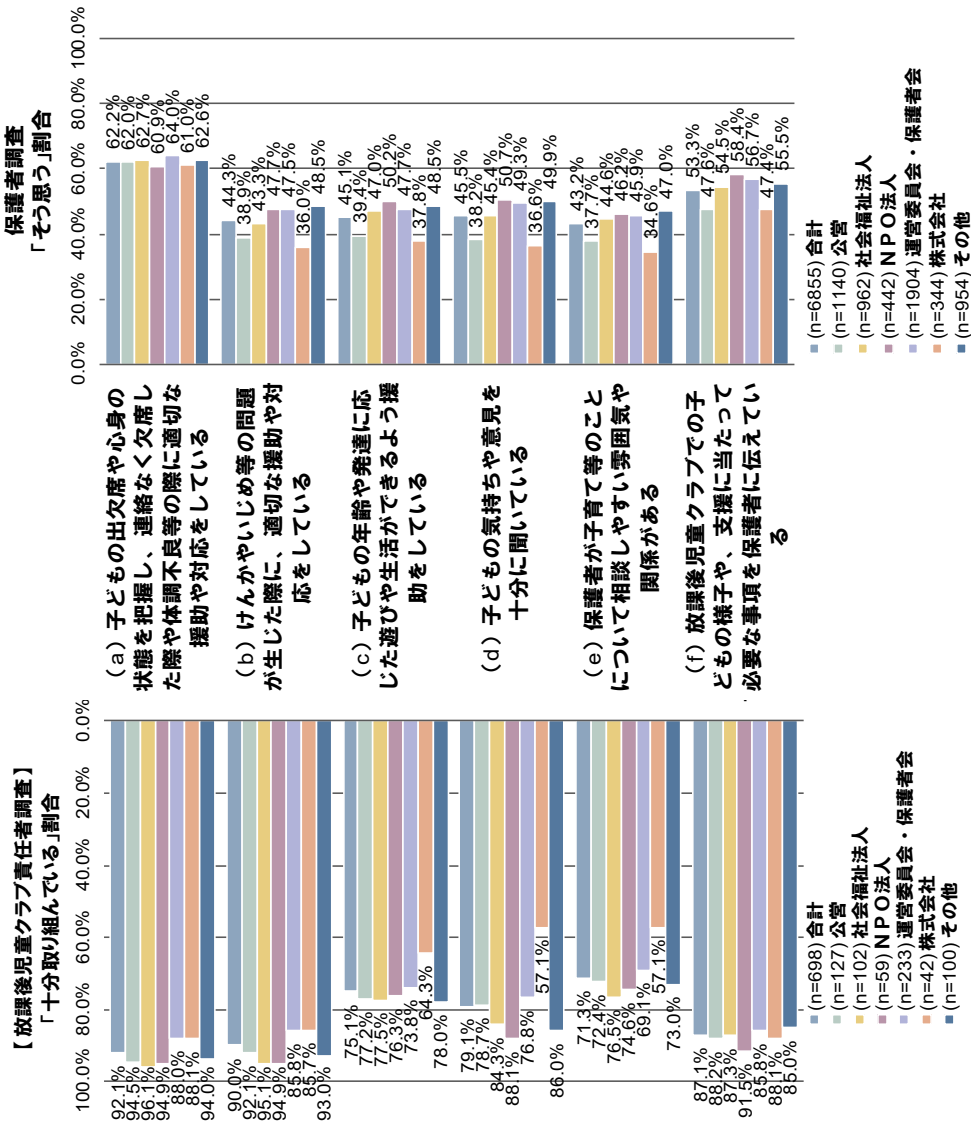
- (a)、(b)、(d)、(e)について、『社会福祉法人』、『NPO法人』で「十分取り組んでいる」割合が高い。
- (c)、(d)、(e)について、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

- (b)、(c)、(d)、(e)、(f)について、保護者が「そう思う」割合は、『株式会社』で最も低く、次いで『公営』で低い。

(放課後児童クラブ責任者調査: 問11、
保護者調査: 問12)

〔運営主体別〕 職員による子どもや保護者への関わり度合い



5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用児童数別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

- (a)～(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、利用児童数別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

- (f)について、利用児童数数が少ない場合、「十分取り組んでいる」割合が高い。
- (c)、(d)、(e)について、『70人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

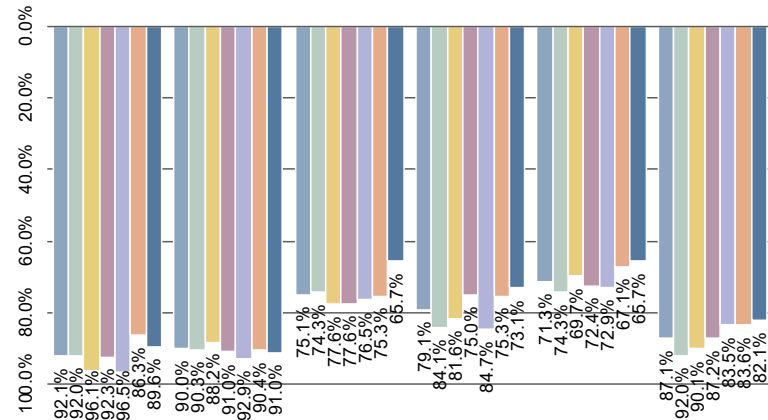
【保護者調査】

- 多くの項目について、『70人以上』で、「思う」割合が低くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問11、
保護者調査:問12)

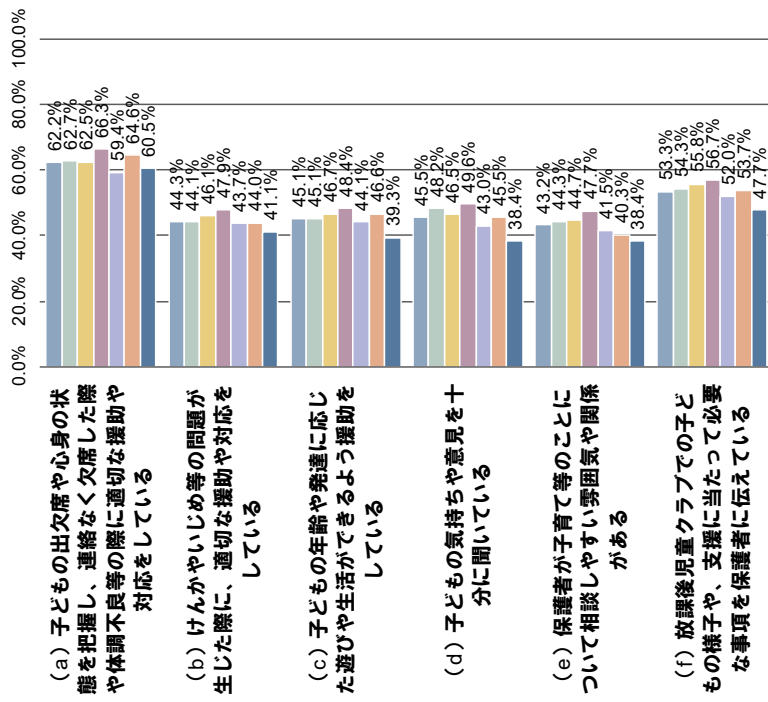
〔利用児童数別〕 職員による子どもや保護者への関わり度合い

【放課後児童クラブ責任者調査】
「十分取り組んでいる」割合



■ (n=698) 合計
■ (n=152) 19人以下
■ (n=85) 20～29人
■ (n=73) 40～49人
■ (n=67) 50～69人
■ (n=67) 70人以上

【保護者調査】
「そう思う」割合



■ (n=6855) 合計
■ (n=1302) 19人以下
■ (n=918) 20～29人
■ (n=695) 40～49人
■ (n=511) 50～69人
■ (n=511) 70人以上

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

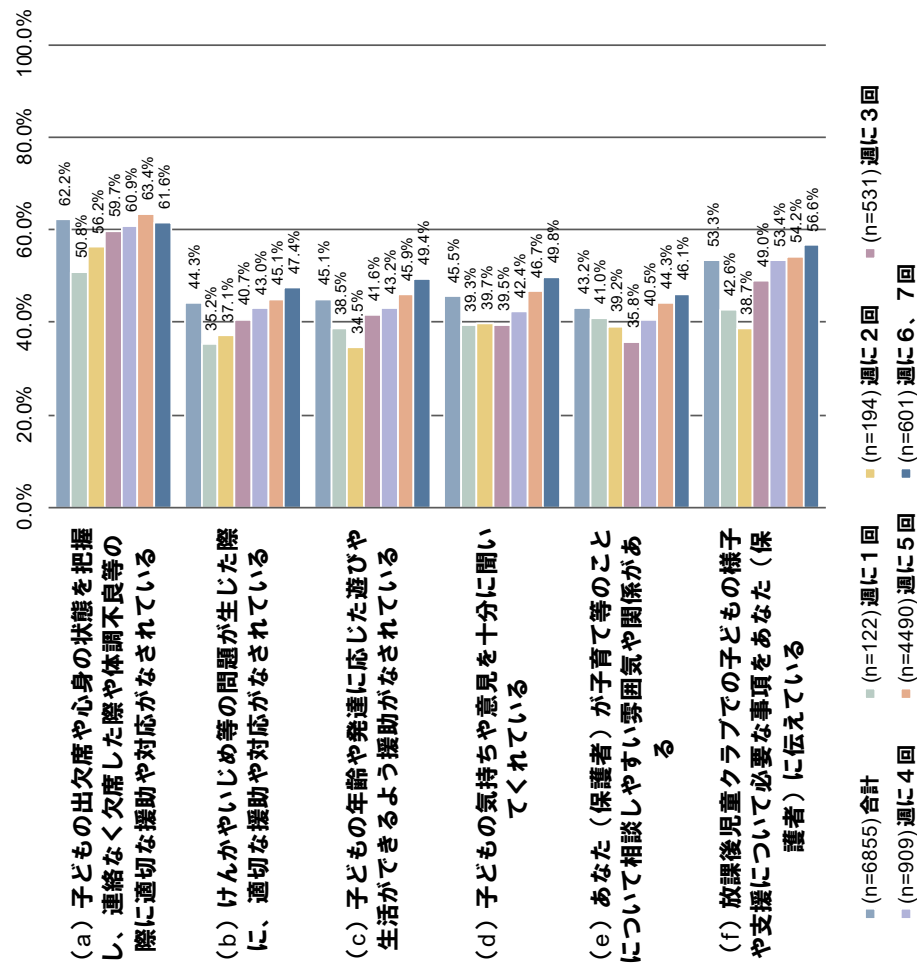
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用回数別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い

■ 保護者に対して、子どもが通う放課後児童クラブにおいて、(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わりについて、十分に組み組んでいると思うかを尋ねた。

■ 多くの項目について、利用回数が多いほど「そう思う」割合が高くなっている。

〔利用回数別〕 職員による子どもや保護者への関わりの度合い (「そう思う」割合)



(保護者調査:問12)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔放課後児童クラブ運営責任者と保護者の一致・相違状況〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査とのクロス分析)

■ 放課後児童クラブでの(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合いについて、放課後児童クラブ責任者の考えと保護者の考えの関係をクロス集計によりみた。

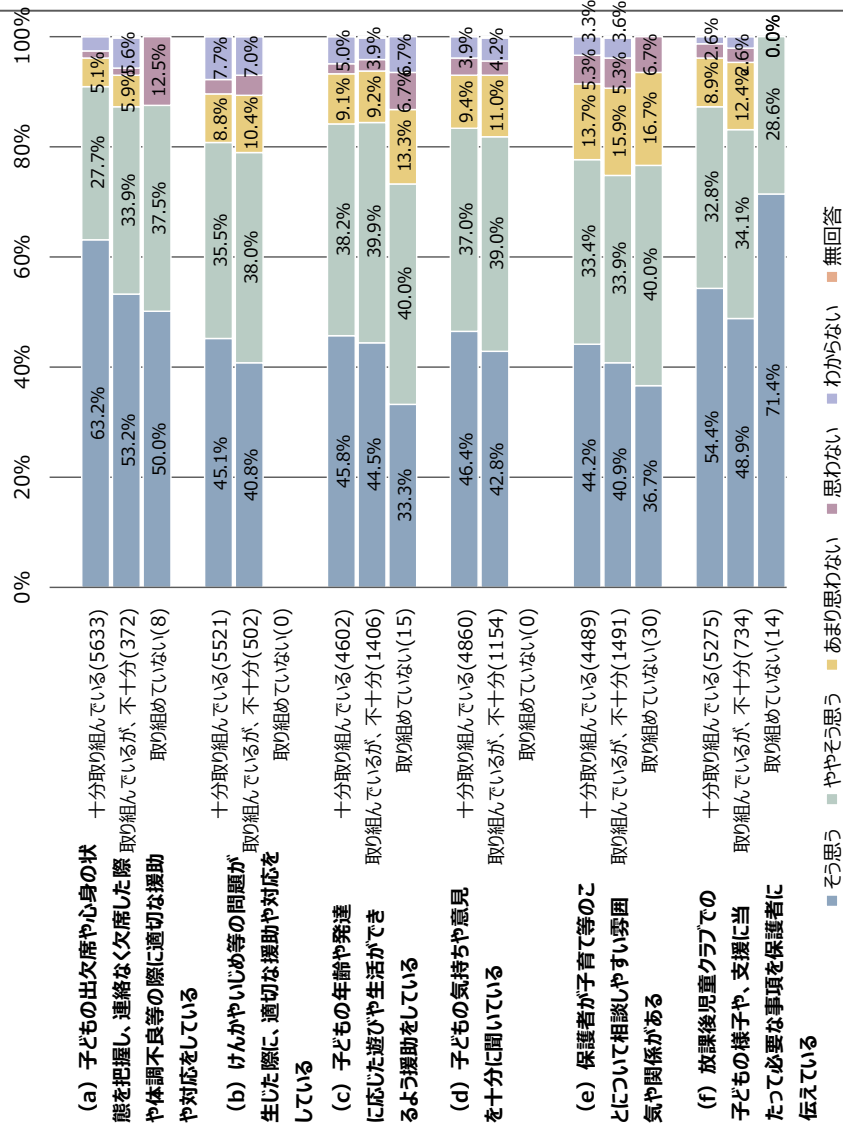
■ 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいる」と(そう)思う割合は高い。

■ 放課後児童クラブ責任者が「取り組めていない」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいる」とあまり思わない・思わない割合が高い。

■ 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合に、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいる」とあまり思わない・思わない」とする割合も一定数いる。

■ 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」場合と、「取り組んでいるが、不十分」の場合との間では、保護者が「十分取り組んでいる」と(そう)思う割合の差は必ずしも大きくはない。

職員による子どもや保護者への関わりの度合い
(縦軸:放課後児童クラブ責任者調査×横軸:保護者調査)



(放課後児童クラブ責任者調査: 問11、保護者調査: 問12)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

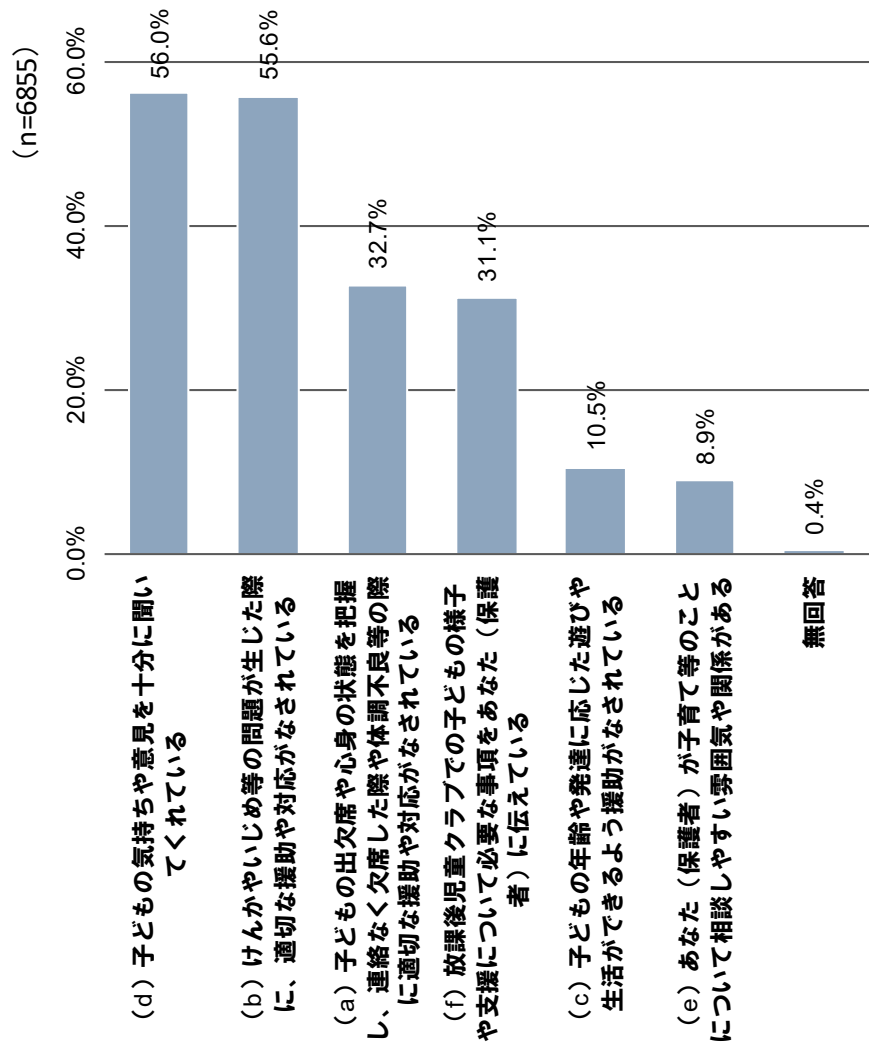
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合いで重視する取組

■ 子どもが通う放課後児童クラブにおける(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わりについて、保護者に対して、重視する項目を2つ選んでもらった。

■ (d)、(b)がそれぞれ56.0%、55.6%と高い割合となっている。

職員による子どもや保護者への関わりで重視する項目



(保護者調査:問13)

5. 育成支援の実施状況(2) つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていない理由【自由記述】	
(a)子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている	○人員不足：十分に組み込んで頂いているが、イレギュラーな業務、特に保育中は伝達が十分にできる程、マンパワーが充足していない。ギリギリで対応して頂いているため。 ○保護者との連絡体制整備の必要性：連絡なしで欠席した児童について、保護者と上手く連絡を取り合えておらず、迎えに来られる時もある。そういった場合どのようにするか対策を考える必要がある。
(b)けんかやいじめ等问题が生じた際に、適切な援助や対応をしている	○十分目が行き届かない：注意深く見守りをしているが、支援員が目離れた時に起こることがあり、その場で解決したいと思っても解決までに日数がかかってしまう ○学校での状況が不明：小学校であったトラブル等を把握しきれず、学童クラブに来てからの様子で十分に対応できないこともある。 ○外国籍の子供の増加：外国籍児童がとて多く、言葉の理解が互いにできづらく、充分支援できているとはいえない。
(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている	○1～6年の在籍、異年齢での活動の課題：1年から6年が在籍しているので、一斉に同一の活動をする、低学年か高学年かのどちらかに興味や関心が片寄ってしまう。
(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている	○時間がとれない：利用人数が多く、また配慮を必要とする子ども多い為、なかなか十分に話を聞いているとは言えない場合がある。 ○余裕がない：来館者が多く、細かいところまで見る事ができない時など静かにしている児童に寄り添う事ができない。
(e)保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある	○余裕がない：保護者の方は、とても協力的で迎え時に必ず話はするように努めてはいるが、迎えが集中したりすると、全ての方と話すことが困難である。 ○相談しにくい：相談できる雰囲気や話す時間の確保が難しいと感じる。 ○人員不足：職員の中に相談できるだけのスキルが身についていない人がいる。
(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている	○全員ではない：すべての子どもがお迎えに来てもらえているわけではなく、一人帰りの子どももいる。保護者会への参加がない保護者もいる。 ○電話・メール：迎え時に混雑した際に伝え忘れの事があり、重要な話し等は電話メールにてお知らせしている。

5. 育成支援の実施状況(2) つづき

(②放課後児童クラブ責任者向け調査)

子どもや保護者との関わりが十分に行われていない理由【自由記述】	
(a)障害児への対応(受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携)	○十分な対応ができていない: 受入れは行なっているが個別対応できる様な人員の余裕、専門職とする職員が不足している。またプライバシーにより保護者からの情報や通院に関する状況が少ない。 ○受け入れていない: 学校通学児は通常受入れを行っているが、支援学校児の受け入れは行っていない。(支援員の対応が不可のため)病的児童については、保護者と連携をとっている。
(b)特に配慮を必要とする子どもへの対応(児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持)	○信頼関係が構築できていない: 配慮を必要とする子どもの両親から病院へ通い出した事、薬の服用について、報告を受ける事ができず、信頼関係ができていなかったと感じている。
(c)保護者との連携(保護者組織との連携)	○保護者の組織がない: 保護者との連携はとれているが保護者組織がない ○保護者の時間がない: 働いている保護者は、時間が取れない。
(d)職務内容(計画の作成、記録の作成、事例検討)	○時間がない: 皆で集まる時間をとるのが難しい。 ○計画がない: 毎日の学童での流れはできているが、子どもの学年による帰宅時間の細かな計画がたてられない。 ○記録していない: さちんと記録がとれていない部分がある。 ○事例検討していない: ミーティングでのふりかえり等を行っているが、別に時間をとって個別の事例検討は行っていない。
(e)学校や地域との連携	○地域との連携が不十分: 学校との連携には十分取り組んでいるが、地域との連携は不十分などところがある。民生委員、町内会他との密な連携に取り組んでいきたい。 ○学校との連携が不十分: 定期的な子どもたちの状況の意見交換がまだ出来ない。
(f)運営に関する事項(入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価)	○地域への説明ができていない: 校内での活動に限られているため、地域への説明がされていない。
(g)衛生管理、安全対策(災害や事故等への対策、アレルギーマスク対策、来所帰宅時の安全確保)	○施設の老朽化: 建物自体が古く、衛生面・安全面においては不安な所もある。 ○アレルギーマスク対策: アレルギーマスク対応のお子さんが年々増え、対応に追われている。 ○災害対策: 避難訓練は年数回実施しているが、災害時の対応、避難場所など地域の人たちと連携をとるべきではないかと思っている。
(h)事業内容の向上(苦情対応、研修の実施・参加、自己評価)	○研修を企画していない: 県が主催している研修会には参加しているが、当クラブで研修は企画できていない。 ○余裕がない: 全員非常勤のため、研修への参加が難しい。

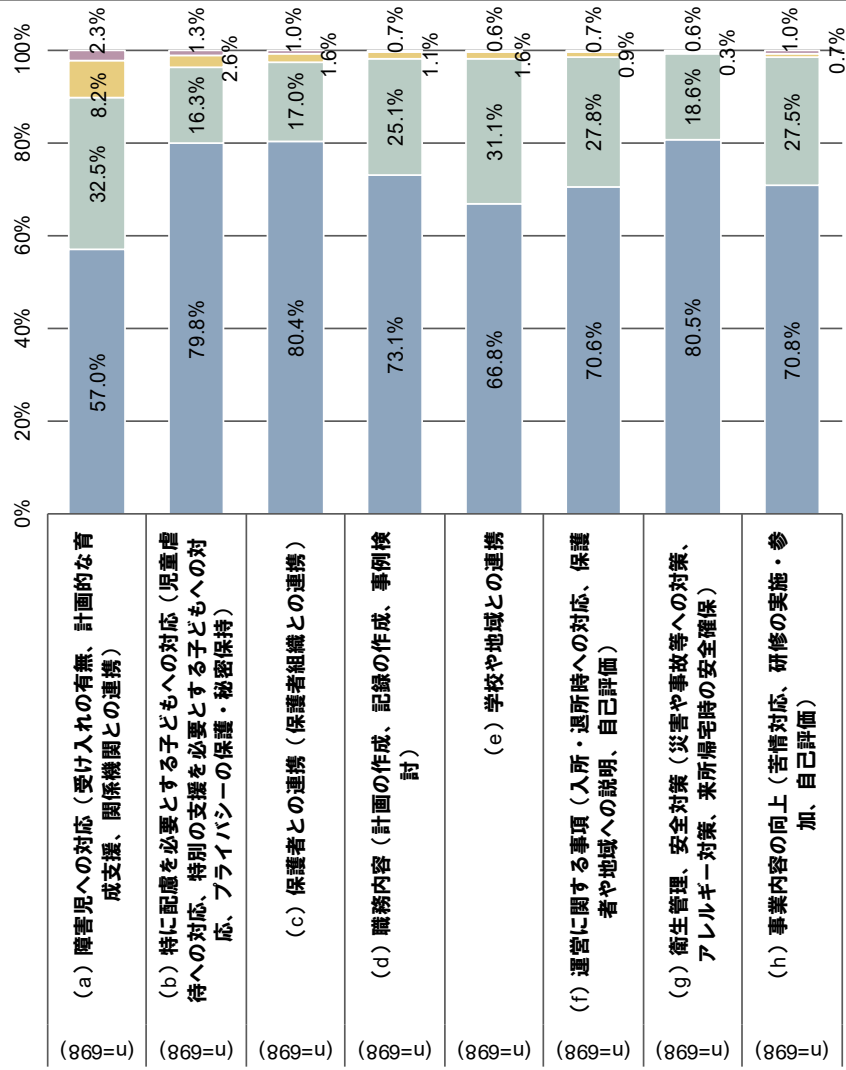
5. 育成支援の実施状況(3)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に取組んでいるかを尋ねた。
- ほとんどの項目について、「十分に取組んでいる」割合が7～8割と高く、「取組めていない」割合は非常に低い。
- (a)について、「十分取組んでいる」が57.0%と他の項目での割合よりも低い。
- (e)、(f)、(h)について、「取組んでいるが、不十分」割合が3割程度とやや高くなっている。

子どもや保護者への関わりの状況



(放課後児童クラブ責任者調査:問12)

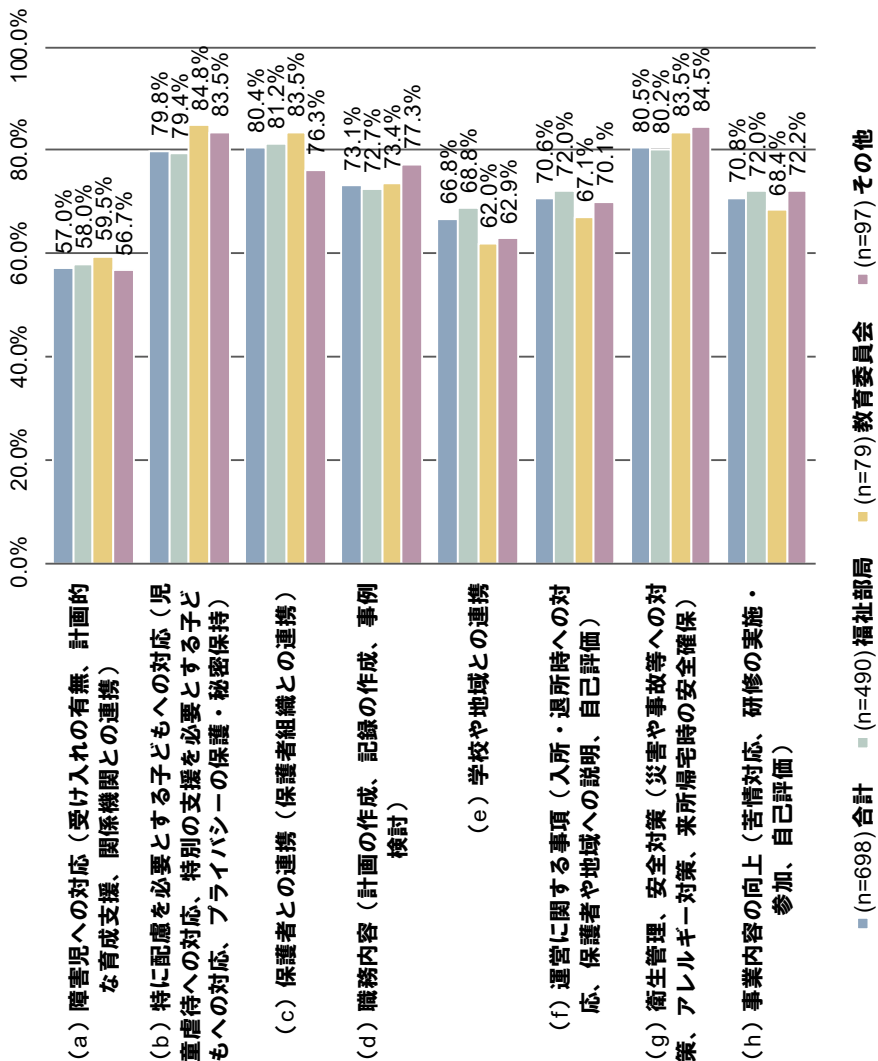
5. 育成支援の実施状況(3) つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に組み立てているかを、所管部署別にみた。
- (e)、(f)などの項目について、『福祉部局』で「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。
- (b)について、『教育委員会』で「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。

〔所管部署別〕 子どもや保護者への関わりの状況 （「十分取り組んでいる」割合）



（放課後児童クラブ責任者調査：問12）

5. 育成支援の実施状況(3) つづき

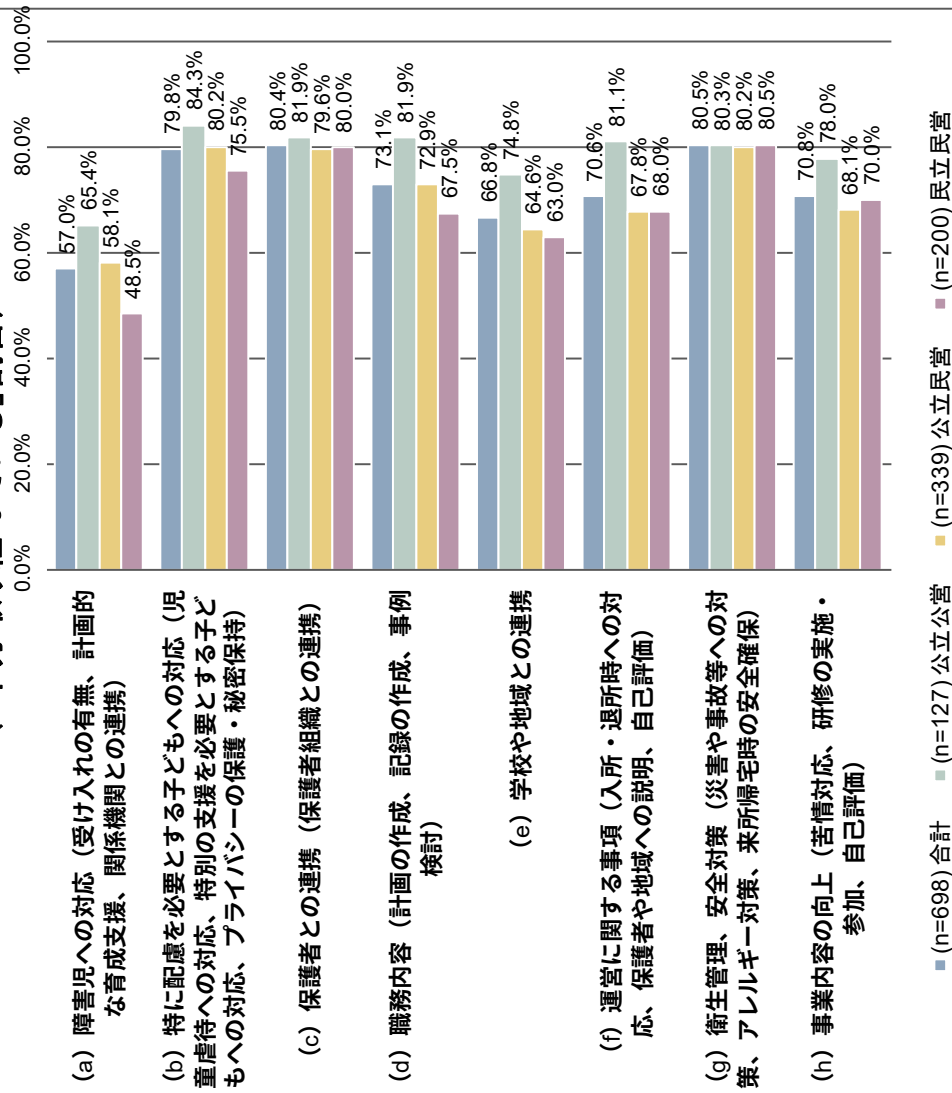
〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

■ 放課後児童クラブに対して、(a)～(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に組み立てているかを、設置運営別にみた。

■ 多くの項目について、『公立公営』で「十分に組み組んでいる」割合が高く、『民立民営』で「十分に組み組んでいる」割合が低くなっている。

〔設置運営別〕 子どもや保護者への関わりの状況 （「十分に組み組んでいる」割合）



（放課後児童クラブ責任者調査：問12）

5. 育成支援の実施状況(3) つづき

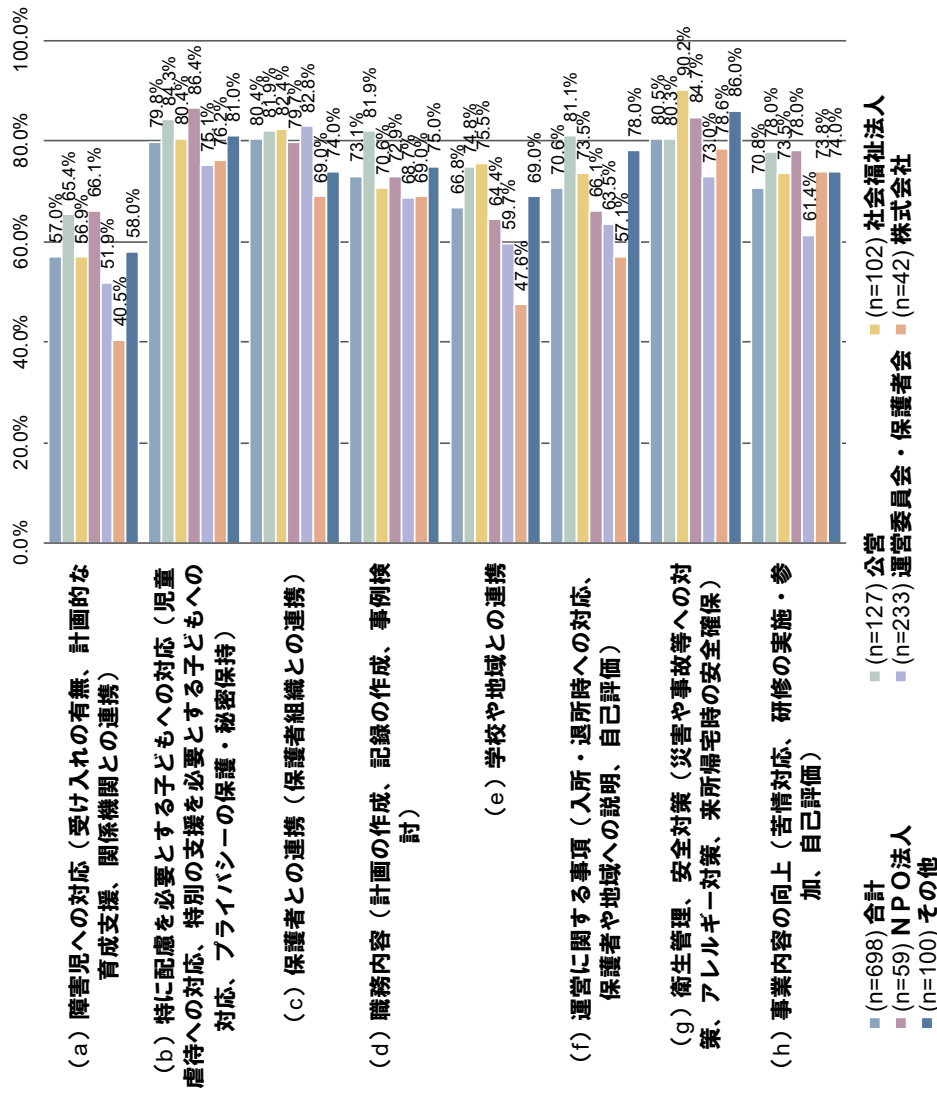
〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

〔運営主体別〕 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

■ 放課後児童クラブに対して、(a)～(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に組み合っているかを、運営主体別にみた。

■ (a)、(c)、(e)、(f)について、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

〔運営主体別〕 子どもや保護者への関わりの状況 （「十分取り組んでいる」割合）



（放課後児童クラブ責任者調査：問12）

5. 育成支援の実施状況(3)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブに通わせてよかったこと、放課後児童クラブで行われていてよかったと思う取組【自由記述】

- 安心して預けられる：両親ともにフルタイムの仕事がある為、預かってもらえることが助かる。留守家庭と違って、大人の目があるので、安心して仕事が出来ます。放課後に安全な居場所が確保されていること。
- 職員の対応が適切：友達やスタッフの方達が多くいる中で色々な活動に参加できること。友達と喧嘩したり仲良くなったり今しかできない経験、その解決策を導く手助けを先生方がしてくれ、何かあれば伝えてくれる。友達と喧嘩があった時の対応が、子供を成長させてくれるような対応の仕方なので、ありがたいです。友達との上手な付き合い方を学ぶよい機会。子どもを小さい頃から知っている職員がいて、相談しやすい。
- 子どもが楽しんでる：本人が喜んで通っている。
- 遊びが充実している：様々な種類の遊びを体験させてくれること。他の学年の子とも接する機会があること。遊びでのルールが守れる様になった。遊びに工夫がされている。遊び場、活動場所が広いのでおもしろい遊びがある。
- 友達と楽しく遊んでいる：両親とも共働きなので、学童で学習や友達と楽しく遊んでいる姿を見ると、家より学童に行かしてよかったなと思う。様々な子たちと学年関係なく遊んでいるのがいいところだと思う。友達と楽しく遊べる事。外遊びも充実しており、それに繋がる大会がある事。
- 勉強ができている：友達と勉強し、分らないところをお互いに教えあえる部分。宿題を自分でやる習慣がついた。
- イベントが実施されている：様々な行事を企画していただき、家庭では経験できないようなことも体験させてもらえるのはありがたい。夕涼み会など、保護者が主体となる行事がある。友達との交流がひろがったり、キャンプがあったり自然とふれあうことができること。
- おやつが充実・工夫されている：おやつの好き嫌いが減った。おやつが充実。おやつが工夫されている事が有難い。

5. 育成支援の実施状況(3)つづき

【③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査】

放課後児童クラブに改善してほしいこと【自由記述】

- 保護者会運営での役員の負担を減らして欲しい:保護者による運営の場合、保護者が働きながらの運営は大変である。国、県、市等からの援助が必要。役員や一人一役の仕事があるのは大変だと思います。
- 料金を安くして欲しい:延長料金が他の市町村よりかなり高額。利用したい日だけ利用できるように戻してほしい。
- 時間を延長して欲しい:預かり時間を長くして欲しい。土曜日も仕事の時間は平日と同じため8時開始だと助かる。
- 休日・長期休暇時に対応して欲しい:年末年始やお盆休みが長い事。日曜日祝日も運営してほしい。
- 対象学年を拡大して欲しい:働く親としては6年生まで拡大してほしい。
- 職員のスキル向上、処遇改善を希望:有資格者を従事させてほしい。職員が足りていない。先生の境遇改善。
- 子どもへの対応を充実して欲しい:子供のいじめに対処して欲しい。子どもが起こした問題があるとしたら、些細なことでもまず保護者に報告してほしい。現状を知るためにも全体的に報告して欲しい。
- 連絡方法の充実、徹底の希望:欠席について留守番電話対応があるとよい。メール連絡が出来ると助かる。
- 施設の充実:遊べる場所と安全面確保。不審者対応策が心配。設備の老朽化が心配。利用人数に対して施設が狭い。
- 学習支援の希望:勉強面を徹底して欲しい。
- イベントを充実して欲しい:製作活動や地域の文化にふれる体験を増やして欲しい。行事がもつとあってほしい。
- 食事・おやつ提供の充実:長期休業中、お昼の準備をお願いしたい。毎日のオヤツの内容を質の良いものに。
- 運動の機会増の希望:体育館の活動がもう少しあれば良いと思う。体を動かすことがあると良い。
- 病気・怪我への対応:体調の悪い子は、部屋を分けてほしい。体調が悪い事など小さな事でも報告して欲しい。
- 災害時の対応:台風などにより急に休みにになると困る。警報で学校が休みの日も通えたら、仕事上とても助かる。

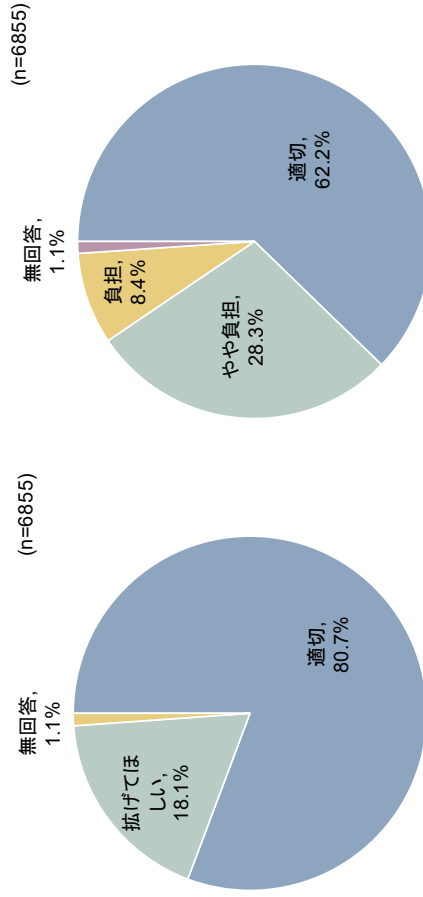
6. 放課後児童クラブに対する満足度

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

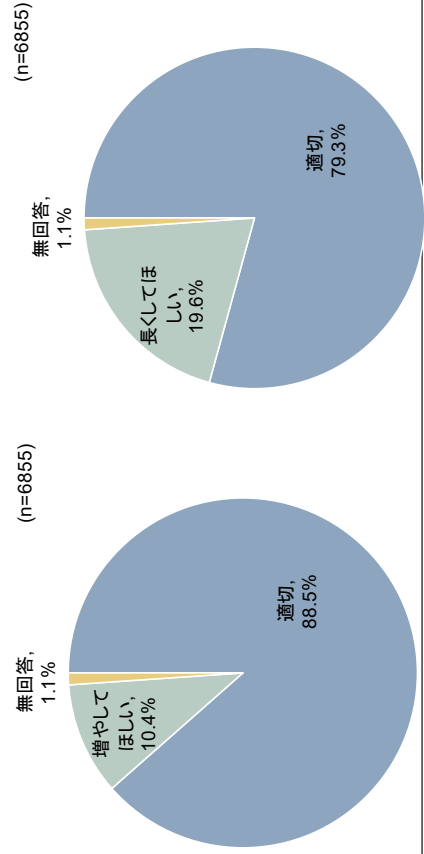
対象学年、利用料、開所日、開所時間に対する満足度

- 保護者に対して、放課後児童クラブに対する満足度を尋ねた。
- 『(a)対象学年』については、「適切」が80.7%と最も高い割合となっている。
- 『(b)利用料』については、「適切」が62.2%と最も高い割合となっている。
- 『(c)開所日』については、「適切」が88.5%と最も高い割合となっている。
- 『(d)開所時間』については、「適切」が79.3%と最も高い割合となっている。

(a) 対象学年 (左図)、(b) 利用料 (右図) の満足度



(c) 開所日 (左図)、(d) 開所時間 (右図) の満足度



(保護者調査: 問16)

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

施設整備・環境、活動内容・支援の内容、放課後児童支援員等（職員）の関わり、放課後児童クラブ全般への満足度

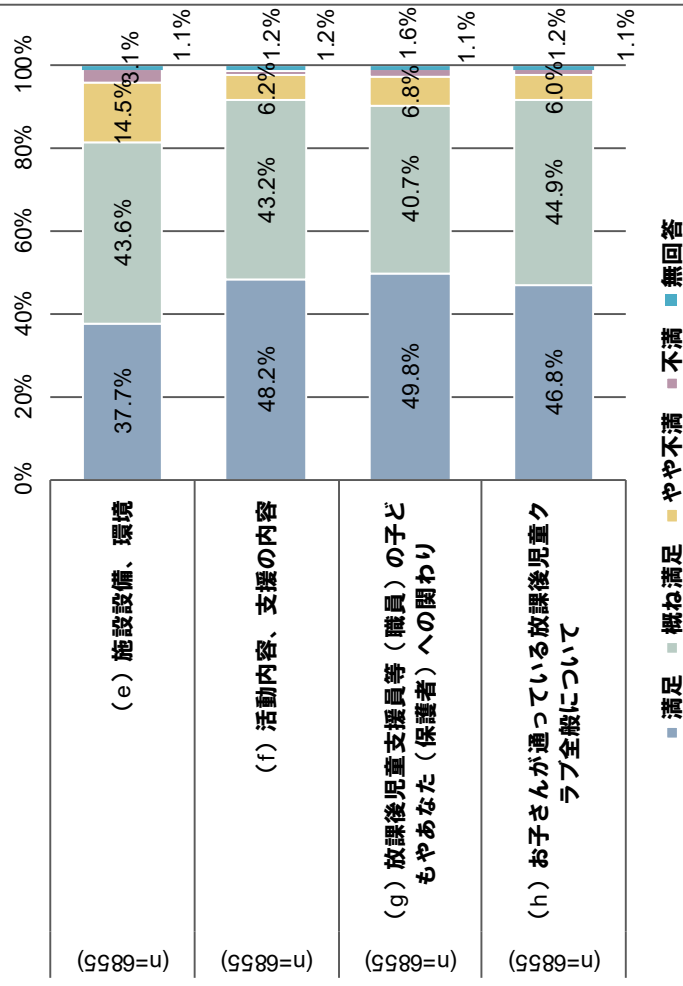
■ 『(e)施設整備、環境』については、「概ね満足」が43.6%と最も割合が高く、「満足」(37.7%)が次いで高い。

■ 『(f)活動内容、支援の内容』については、「満足」の割合が48.2%と高く、これに「概ね満足」の43.2%を加えると、9割を超える。

■ 『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』については、「満足」の割合が49.8%と高く、これに「概ね満足」の40.7%を加えると、9割を超える。

■ 『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』は、「満足」の割合が46.8%と高く、これに「概ね満足」の44.9%を加えると、9割を超える。

(e)施設整備、環境、(f)活動内容、支援の内容、(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり、(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について、の満足度



(保護者調査: 問16)

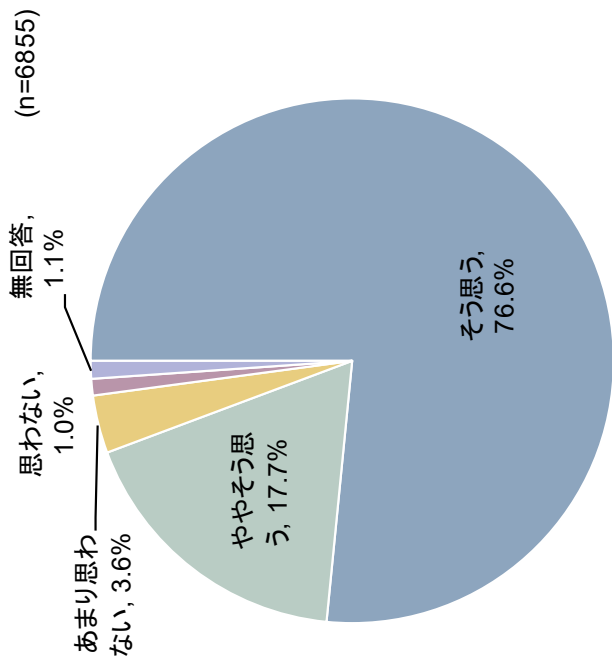
6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

今後も今の放課後児童クラブに通わせたいか

- 『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、「そう思う」が76.6%と最も高い割合を示している。

今後も今の放課後児童クラブに通わせたいか

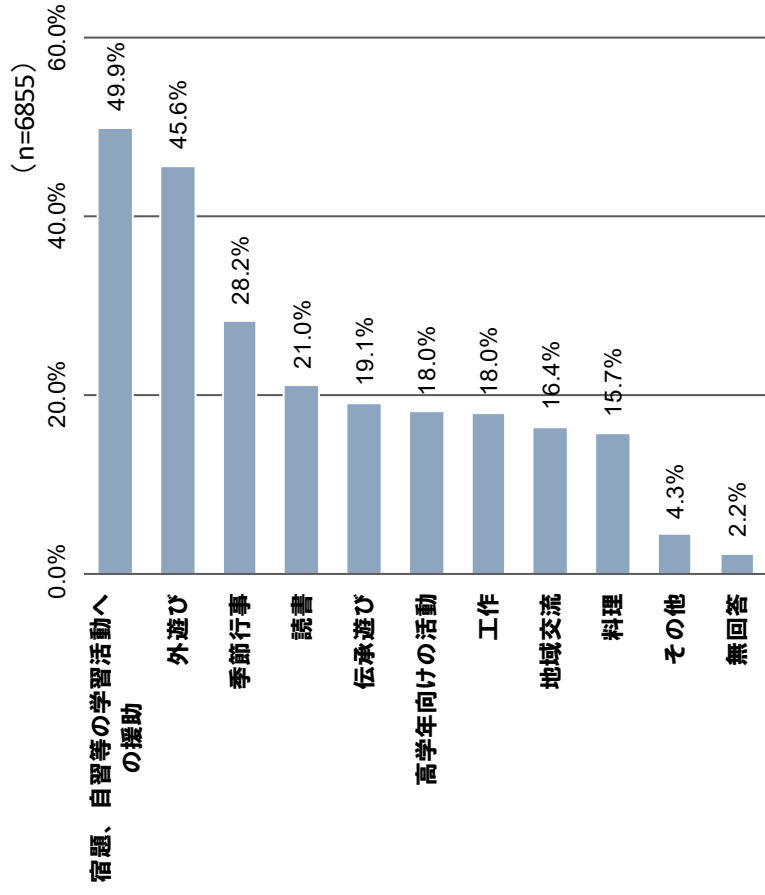


(保護者調査: 問16)

今後充実させて欲しい活動内容

- 今後充実させてほしい活動内容(3つ)として、「宿題、自習等の学習活動への援助」が49.9%と最も割合が高い。「外遊び」が45.6%と次いで高い。「季節行事」が28.2%で次いでいる。

今後重視させて欲しい活動内容【複数回答】



(保護者調査: 問19)

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査）

■ 放課後児童クラブに対する保護者の満足度を所管部署別にみた。

■ 『(b)利用料』について、保護者が「適切」とする割合は、『教育委員会』でやや高い。

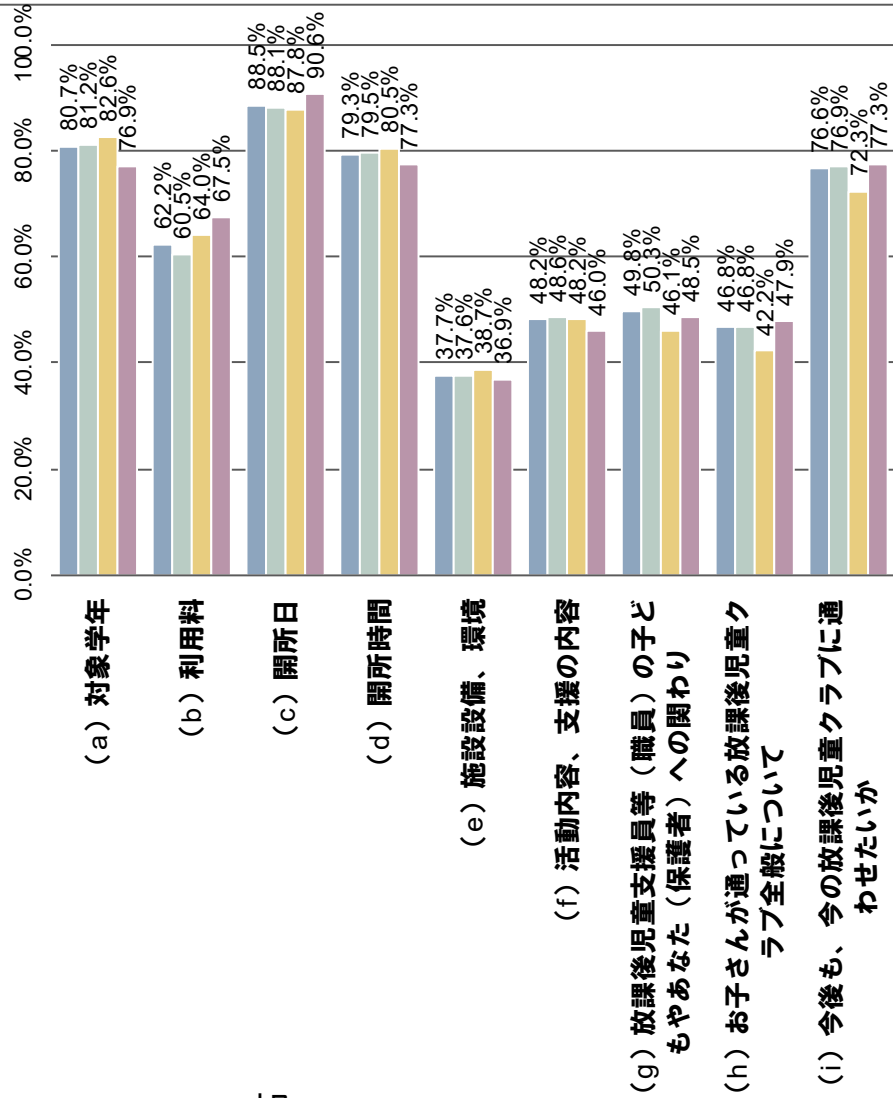
■ 『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どももあな
た（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っ
ている放課後児童クラブ全般について』について、
保護者の「満足」の割合は、『福祉部局』でやや高
い。

■ 『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたい
か』について、保護者が「そう思う」割合は、『福祉
部局』でやや高い。

（保護者調査：問16）

〔所管部署別〕 放課後児童クラブへの満足度

(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合



■ (n=6855) 合計 ■ (n=4915) 福祉部局 ■ (n=625) 教育委員会 ■ (n=1183) その他

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

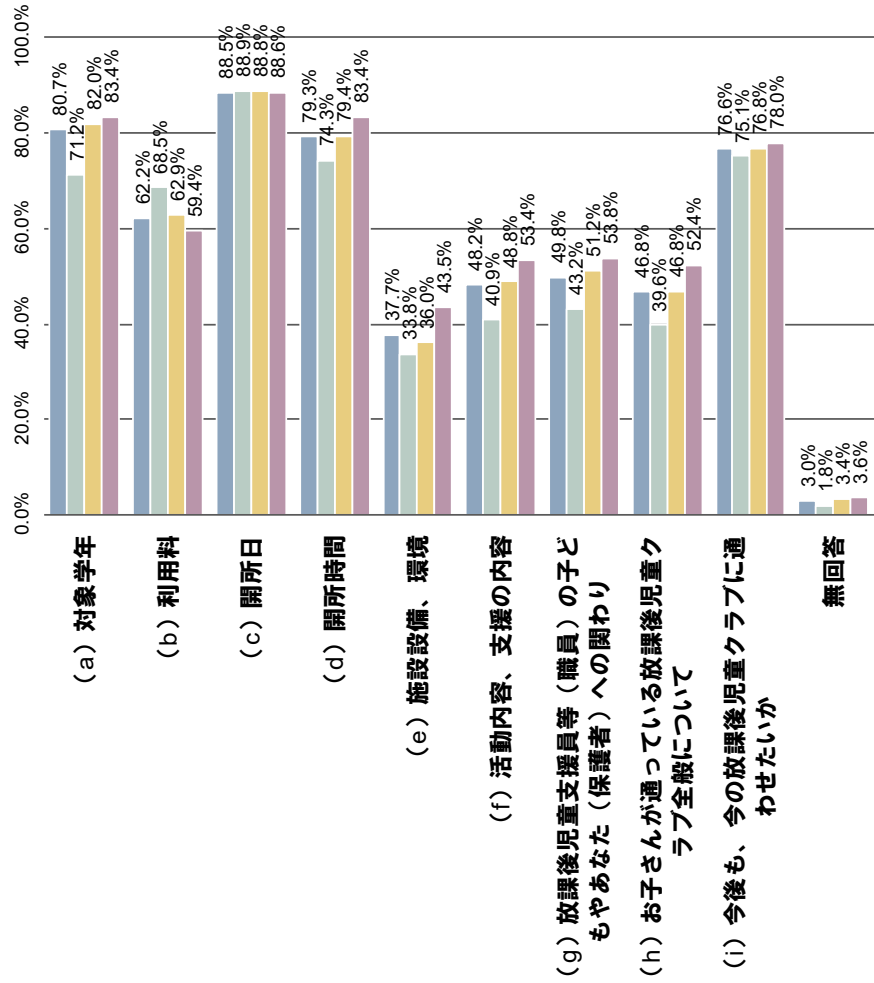
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査）

- 放課後児童クラブに対する保護者の満足度を設置運営別にみた。
- 『(a)対象学年』、『(d)開所時間』、『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『民営』で、保護者が「適切」、「満足」とする割合が高い。
- 『(b)利用料』について、『公立公営』で保護者が「適切」とする割合が高い。

〔設置運営別〕 放課後児童クラブへの満足度

(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合



（保護者調査：問16）

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

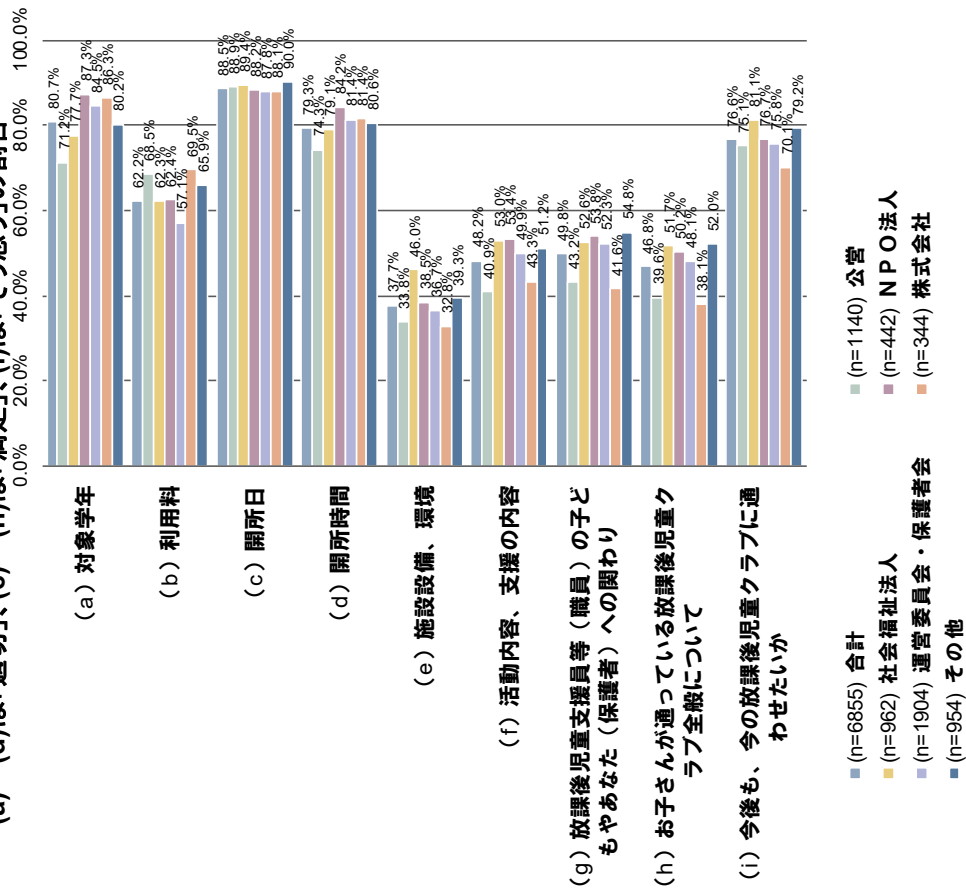
〔運営主体別〕 放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査）

- 放課後児童クラブに対する保護者の満足度を運営主体別にみた。
- 『(a)対象学年』について、保護者が「適切」とする割合は、『公営』で低い。
- 『(b)利用料』について、保護者が「適切」とする割合は、『運営委員会・保護者会』で低い。
- 『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『公営』、『株式会社』で、保護者の「満足」の割合が低い。
- 『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、保護者が「そう思う」割合は、『株式会社』で低い。

（保護者調査：問16）

〔運営主体別〕 放課後児童クラブへの満足度

(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合



6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブについて最も満足している理由【自由記述】

- 全体に満足している：全般、満足しています。預かっていただけたことで満足です。
- 安心である：遊びの時も一緒に行動してくれている。安心できます。
- 子どもを預けることができる：預ける場所があるので安心して働くことができ感謝している。
- 土日・休日・長期休暇の対応がある：長期連休でも預けることができるから。
- 利用時間が長い：夕方の預り時間が仕事を終える時間に合っていること。
- 料金が安い：利用料金が安い。民間に比べてとても安い。
- 6年生まで預かっている：全学年を対象としているから。
- 職員の対応がよい：話しやすく子供の様子を教えてくれる。目が行き届き、それぞれの個性にも合わせた丁寧な指導、見守りがある。親や子どもの悩みや気持ちを親身になって聞いてくれる。
- 子どもが楽しんでいる：子供自身が楽しんでいるから。
- 勉強時間が取られている：宿題を行う雰囲気を作ってくれている。宿題は必ず終わらせてくれるので。
- 遊びが充実している：遊戯室などで体を動かす事ができるので、子供が喜んでいる。外遊びが多く伸び伸び遊べる。
- 友達との関係が良好：友達と多くかかわれるところ。同じ学年の同性が多く、子供が嫌がらず行ってくれる。
- イベントがある：毎月、いろいろな行動を考えてくれるので有り難いです。
- 立地がよい：職場に近い。小学校に隣接している。自宅から近い事。
- 施設が充実している：施設も綺麗で勉強机がある。子供の人数に合った広さである。

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブについて最も不満な理由【自由記述】

- 料金が低い：兄弟が多いので、負担が大きいです。利用料について地域差がある。
- 対象学年の拡大：6年生まで預けられる環境が欲しい。今のままだと仕事時間の変更や退職も考えていけないといけなく不安。
- 開所時間の延長：預かり時間をもう少し早く＆遅くしてほしい。夜間延長が、有料でもよいので設置して欲しい。
- 開所期間の拡大：連休日に行きだすだけ開所してほしい。両親ともに祝日が仕事のため、料金が割高になっても構わないので祝日も開館してもらえると助かります。
- 保護者の負担大：役員制度があること、毎月集会が開かれることが煩わしい。保護者運営のため、役員保護者の負担が大きい。役員会の負担軽減を望む。保護者会の負担が大きいくらい。利用料を上げてでも保護者の負担を無くしてほしい。
- 母子家庭への対応：母子家庭には負担が大きいくらい。就学時援助の対象にならないのかと思う。
- 設備の充実：老朽化しすぎて出入り禁止の部屋が多い。利用人数が増えているのに施設が狭い。

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

今後充実して欲しい活動内容【自由記述】

- 特になし、満足している：他の学童の話をきいても、色々やってくさっている、満足している。無理しないで安全に子供を預かっていただけたらこちらとしては十分満足です。
- 長期休暇時について：長期休暇の受け入れ時間の延長、祝日の受け入れを実施して頂けたら助かります。
- 利用対象の拡大：高学年も入所をお願いしたい。
- 開所時間の拡大：預けられる時間を増やして欲しい。時間延長制度。
- 料金の軽減：利用料金の軽減。母子家庭の無料化。
- 職員の充実、保障：支援員の育成。支援員のみなさんへの充実した保障や環境。支援の先生の増員。
- 勉強時間の確保：宿題をする時間をしっかり設けてほしい。
- 習い事ができること：習い事。英語学習。料理教室。
- 有料サービスの提供：民間の施設のように有料で習い事ができると良いと思った。
- 食事の提供：長期休暇の食事の提供をしてくだされば助かります。
- 外遊び時間の増加
- イベントの実施：親同士の交流会など。親子イベント。お泊まり行事。
- 地域交流、ボランティア活動の実施：地域の方とのコミュニケーション。老人ホーム等、色々と交流がばば広い世代と、出来ると良い。

目次

I. 事業要旨	1
1. 事業の実施目的	1
2. 事業の実施体制	1
(1) 有識者検討会	1
(2) 事務局及び調査等の実施	2
II. 事業の実施内容及び調査結果	3
1. アンケート調査の実施状況	3
(1) 実施概要	3
III. 基本集計	5
1. 自治体向け調査	5
(1) 都市類型等	5
(2) 放課後児童クラブを所管する部局	5
(3) 児童数等	6
2. 放課後児童クラブ責任者向け調査	9
(1) クラブの概要	9
(2) 放課後児童クラブにおける育成支援の実施状況	23
3. 保護者向け調査	41
(1) 子どもや回答者の状況	41
(2) 放課後児童クラブの実態	46
IV. 育成支援に関するクロス分析	62
1. クロス分析の目的と方法の概要	62
(1) クロス分析の目的	62
(2) クロス分析の方法の概要	62
2. 所在自治体の特徴別のクロス分析	63
(1) 都市類型別	63
(2) 所管部署別	67
3. 放課後児童クラブの属性等別のクロス分析	71
(1) 設置運営別	71
(2) 運営主体別	75
(3) 児童1人当たり専用区画別	80
(4) 1日に配置している職員数別	84
(5) 登録児童数別	88
(6) 利用児童数別	94
(7) 本人希望の退所者有無別※	97
4. 保護者の属性等別のクロス分析	101
利用回数別	101
5. 育成支援に関する放課後児童クラブ責任者と保護者の認識の一致・相違状況	104
【参考資料】アンケート調査票	107

I. 事業要旨

1. 事業の実施目的

平成 30 年 9 月 14 日に公表された「新・放課後子ども総合プラン」（厚生労働省・文部科学省共同）においては、放課後児童クラブの待機児童解消を目指した量的整備の目標を示すとともに、子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子どもの自主性、社会性等のより一層の向上を図ることを目標として掲げられている。

放課後児童クラブの役割については、放課後児童クラブの設備及び運営に関する基準（以下、「基準」という。）及び放課後児童クラブ運営指針（以下、「運営指針」という。）に示されているが、全国の放課後児童クラブの運営や活動等の実態は多様な状況にある。他方で、利用する子どもの保護者が放課後児童クラブに期待する役割や内容も多様であると考えられる。

そうした中で、本調査研究では、放課後児童クラブ責任者、及び放課後児童クラブに通う児童の保護者の双方、及び自治体を対象に、放課後児童クラブの育成支援の内容（活動内容、子どもや保護者への援助・支援の内容等）について、その実態と保護者のニーズを把握するための調査を行うことで、放課後児童クラブの役割の充実・改善に役立てることを目的とした。

2. 事業の実施体制

（１）有識者検討会

「放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究」では、放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズを明らかにすることを目的に、有識者委員会を設置し、実態調査の検討等を行った。

【委員名簿（敬称略）】

氏 名	所 属
植木 信一	新潟県立大学 人間生活学部子ども学科 教授
尾木 まり	有限会社エムアンドエムインク 子どもの領域研究所 所長
野中 賢治（★）	一般財団法人児童健全育成推進財団 企画調査室長
（オブザーバー） 結城 圭輔	厚生労働省子ども家庭局子育て支援課 健全育成推進室 室長補佐
（オブザーバー） 依田 秀任	厚生労働省子ども家庭局子育て支援課 健全育成推進室 児童環境づくり専門官

■有識者委員会

開催状況	議題
第1回 (令和元年11月13日)	実態調査（アンケート調査）の調査票について
第2回 (令和2年3月17日)	実態調査結果について 報告書案について

(備考) 第1回、第2回とも、電子メールを通じて意見を聴取した。

(2) 事務局及び調査等の実施

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部

経済政策部 横山 重宏、谷川 香織、丸山 知美

公共経営・地域政策部 喜多下 悠貴

II. 事業の実施内容及び調査結果

1. アンケート調査の実施状況

(1) 実施概要

調査名	放課後児童クラブの育成支援の実態に関するアンケート調査
調査期間	①市区町村主管課向け調査 令和2年1月9日（木）～令和2年2月17日（月） ※調査票上の期限は1月24日（金）としたが、メール・電話にて調査依頼を行い、上記期間内到着分までを有効票とし、集計対象とした。 ②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査 令和2年1月6日（月）～令和2年2月12日（水） ※調査票上の期限は1月24日（金）としたが、電話にて調査依頼を行い、上記期間内到着分までを有効票とし、集計対象とした。
調査対象及び調査方法	①市区町村主管課向け調査 調査方法：メール送信・メール回収 調査対象：市区町村（130 地域） ・ 指定都市（12 地域） ・ 中核市（18 地域） ・ 一般市（54 地域） ・ 町（37 地域） ・ 村（9 地域） ②放課後児童クラブ責任者向け調査 調査方法：郵送配布・郵送回収 調査対象：放課後児童クラブ責任者（上記①市区町村に所在する全放課後児童クラブ 1,023 団体） ・ 指定都市（117 団体） ・ 中核市（180 団体） ・ 一般市（496 団体） ・ 町（204 団体） ・ 村（26 団体） ③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査 調査方法：郵送配布・WEB 回答もしくは郵送回収 調査対象： ・ 保護者（上記②の放課後児童クラブに子どもが通う保護者） ・ 放課後児童クラブ責任者票に「保護者様向けアンケート依頼状（兼調査ご回答 WEB 画面 QR コード：A4）」を同封し、保護者への配付・調査協力を依頼した 登録児童数が 20 人以下の放課後児童クラブには保護者全数分を対象とした 登録児童数が 21 人以上の放課後児童クラブには対しては、調査数は最大 40 人分を対象とした。 ・ WEB での回答手段をもたない保護者用に、郵送での回答が可能なように調査票を、登録

回収 状況	児童数が 20 人以下の放課後児童クラブには 5 部、21 人以上の放課後児童クラブには 10 部、それぞれ同封した。 ①市区町村主管課向け調査 回収数 120 地域／ 回収率 92.3% ②放課後児童クラブ責任者向け調査 回収数 698 団体 / 回収率 68.2% ③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査 回収数 郵送回答 : 1,401 人 WEB 回答 : 5,454 人 合計 6,855 人 ※上記 WEB 回答数には、回答を途中で中断した 895 サンプルを含まない。
主な 調査 項目	①市区町村主管課向け調査 ・ 児童数、登録児童数、待機児童数、主管部局 ②放課後児童クラブ責任者向け調査 ・ クラブの概要、育成支援の実施内容 ③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査 ・ 子どもや回答者について、子どもが通っている放課後児童クラブの育成支援等の実態
調査結果を見 る上での注意 点	・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数を指す。 ・ 百分率（％）の計算は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示している。したがって、四捨五入の影響で、％を足しあわせて 100％にならない場合がある。 ・ 本文中の％の小計は、各項目の値を四捨五入した上で足し合わせている。 ・ 回答者数が 30 未満の場合など少ない場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。 ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

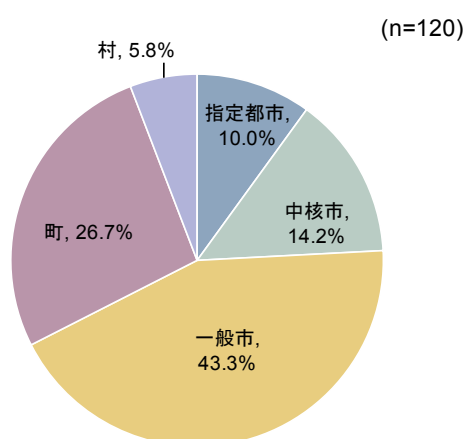
III. 基本集計

1. 自治体向け調査

(1) 都市類型等

回答自治体数 120 の都市類型は、「指定都市」が 10.0%、「中核市」が 14.2%、「一般市」が 43.3%、「町」が 26.7%、「村」が 5.8%であった。

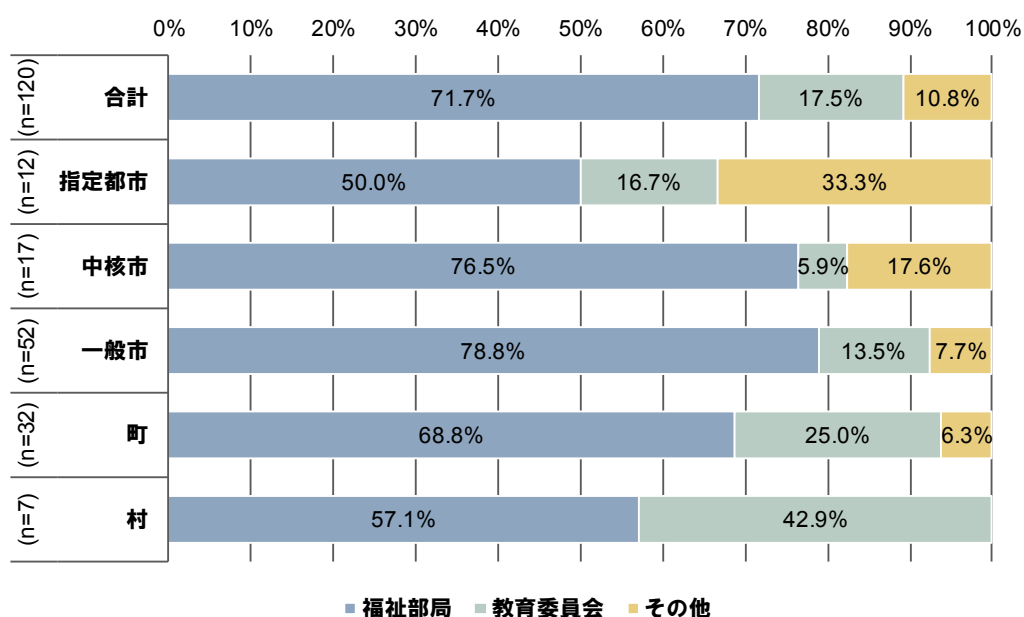
図表 1 都市類型



(2) 放課後児童クラブを所管する部局

放課後児童クラブを所管する部局は、「福祉部局」が 71.7%と 7 割を占め最も高く、「教育委員会」が 17.5%となっている。都市類型別には、中核市、一般市で、「福祉部局」の割合がそれぞれ 4 分の 3 を超えている。

図表 2 都市類型別放課後児童クラブを所管する部局（問 2）



(3) 児童数等

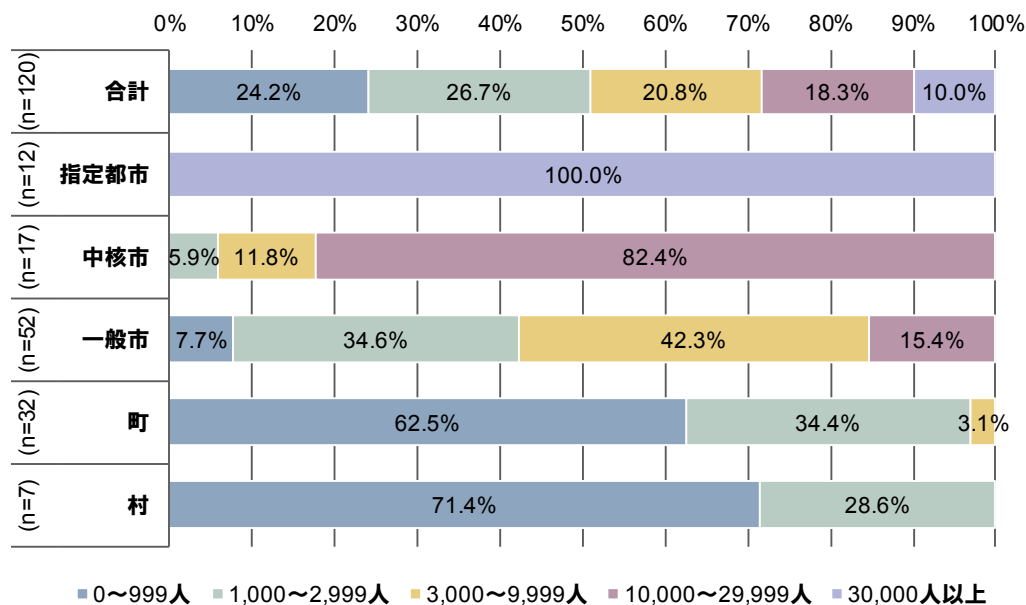
① 児童数

児童数は、「0～999 人以下」が 24.2%、「1,000～2,999 人」が 26.7%、「3,000～9,999 人」が 20.8%、「10,000～29,999 人」が 18.3%、「30,000 人以上」が 10.0%となっている。

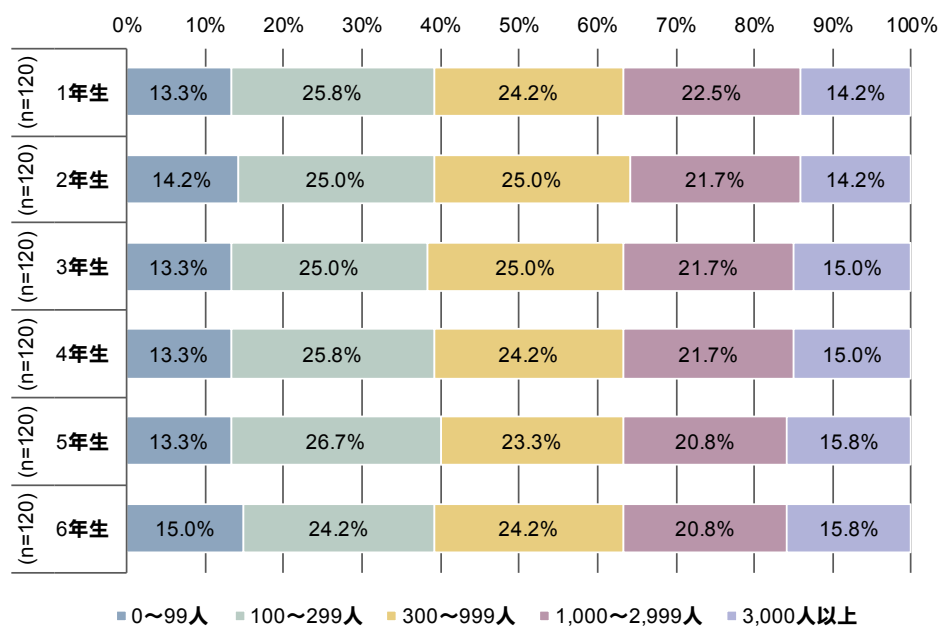
都市類型別児童数は、『指定都市』では「30,000 人以上」が全てであり、『中核市』では「10,000～29,999 人」が 82.4%となっている。『一般市』では「3,000～9,999 人」が 42.3%、「1,000～2,999 人」が 34.6%となり、『町』では「0～999 人以下」が 62.5%、「1,000～2,999 人」が 34.4%となっている。

学年別児童数は、いずれの学年も、「100～299 人」、「300～999 人」、「1,000～2,999 人」が 2 割を超え高い。

図表 3 都市類型別児童数（問 1）



図表 4 学年別児童数（問 1）



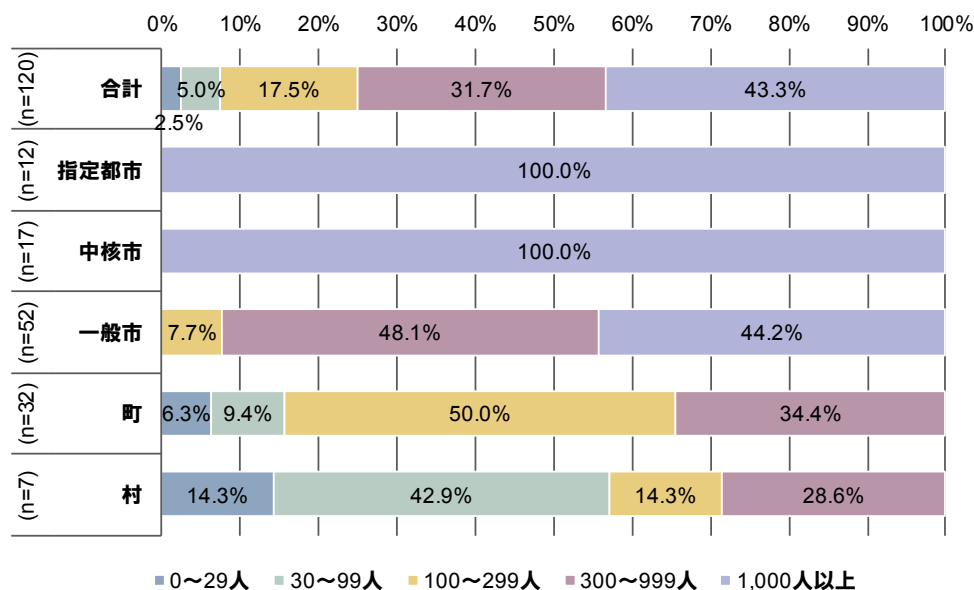
②登録児童数

登録児童数は、全体では「1,000人以上」が43.3%と最も割合が高く、これに「300～999人」が31.7%と次いでいる。

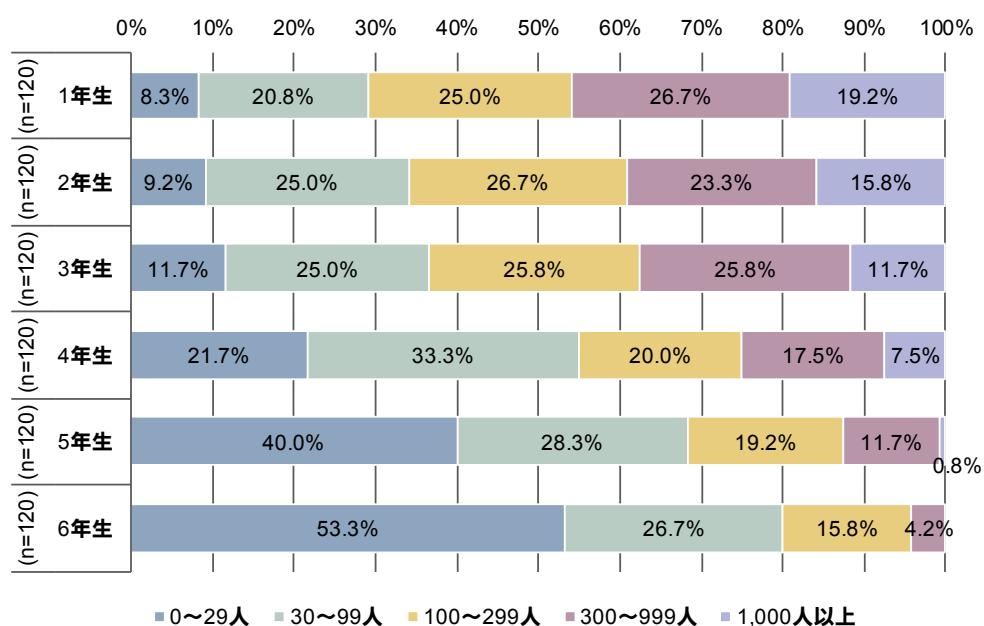
都市類型別の登録児童数は、『指定都市』、『中核市』では「1,000人以上」が全てであり、『一般市』では「300～999人」(48.1%)、「1,000人以上」(44.2%)の割合が高い。『町』では「100～299人」が50.0%と半数を占め、「300～999人」が34.4%で次いで高い。

学年別の登録児童数は、『1年生』、『2年生』、『3年生』では「30～99人」、「100～299人」、「300～999人」がほぼ4分の1ずつを占めている。『4年生』以上では学年が上がるに従って、「0～29人」の割合が高くなる。

図表 5 都市類型別登録児童数（問1）



図表 6 学年別の登録児童数（問1）

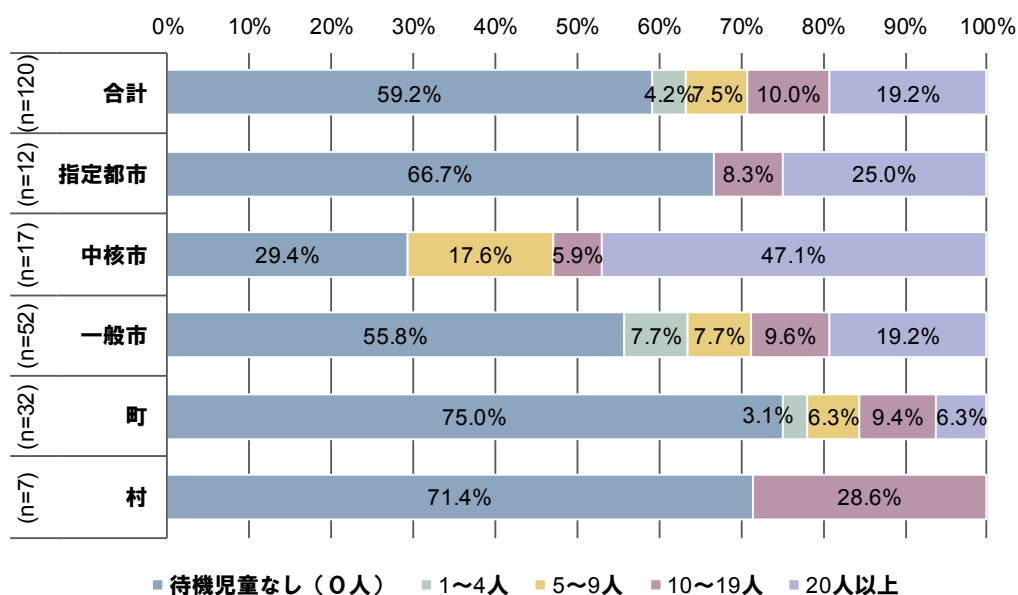


③待機児童数

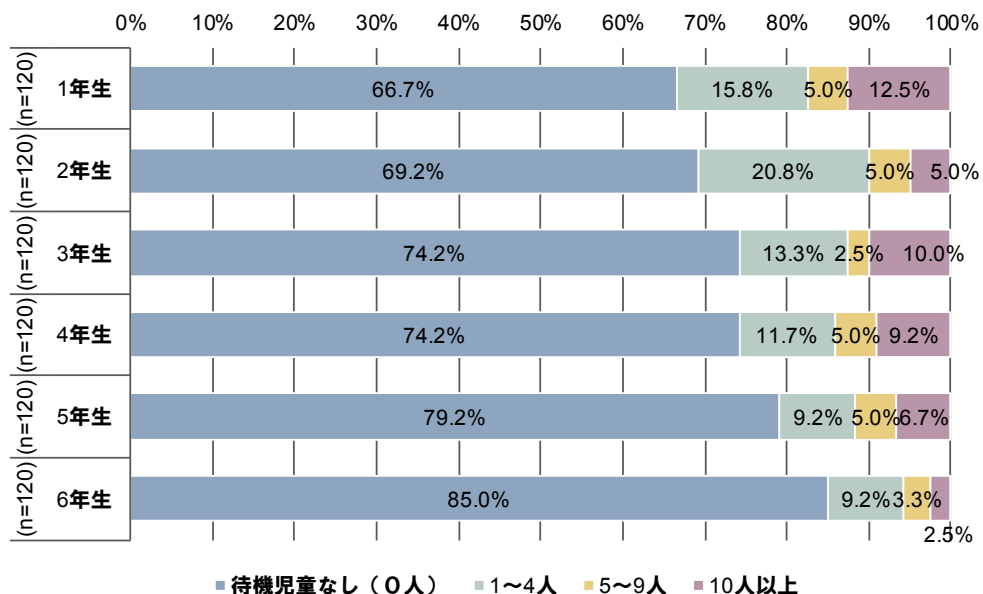
利用できなかった児童数（待機児童数）は、全体では「待機児童なし（0人）」が59.2%であった。都市類型別には、『中核市』で「待機児童なし（0人）」が29.4%と割合が低く、利用できなかった児童数は「20人以上」が47.1%と高い割合を占める。『指定都市』、『一般市』、『町』では「待機児童なし（0人）」がそれぞれ66.7%（3分の2）、55.8%、75.0%（4分の3）を占める。

学年別の「待機児童あり」は、『1年生』では33.3%であり、「1～4人」が15.8%、「5～9人」が5.0%、「10人以上」が12.5%となっている。学年が上がるに従って、「待機児童なし（0人）」の割合が高くなる。

図表 7 都市類型別利用できなかった児童数（待機児童数）（問1）



図表 8 学年別の利用できなかった児童数（待機児童数）（問1）



2. 放課後児童クラブ責任者向け調査

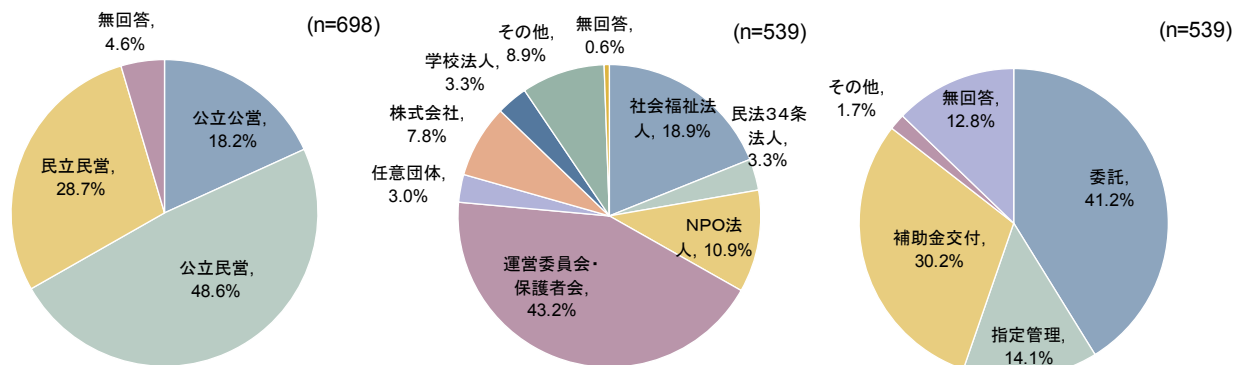
(1) クラブの概要

①設立運営・公立民営・私立民営の運営主体と運営形態（問1）

放課後児童クラブの設立については、「公立民営」が 48.6%と最も割合が高く、「私立民営」が 28.7%、「公立公営」が 18.2%となっている。

公立民営・私立民営の運営主体は、「運営委員会・保護者会」が 43.2%と最も割合が高く、「社会福祉法人」(18.9%)、「NPO 法人」(10.9%)、「株式会社」(7.8%) が次いでいる。また、公立民営・私立民営の運営形態は、「委託」(41.2%)、「補助金交付」(30.2%) の割合が高く、「指定管理」が 14.1%である。

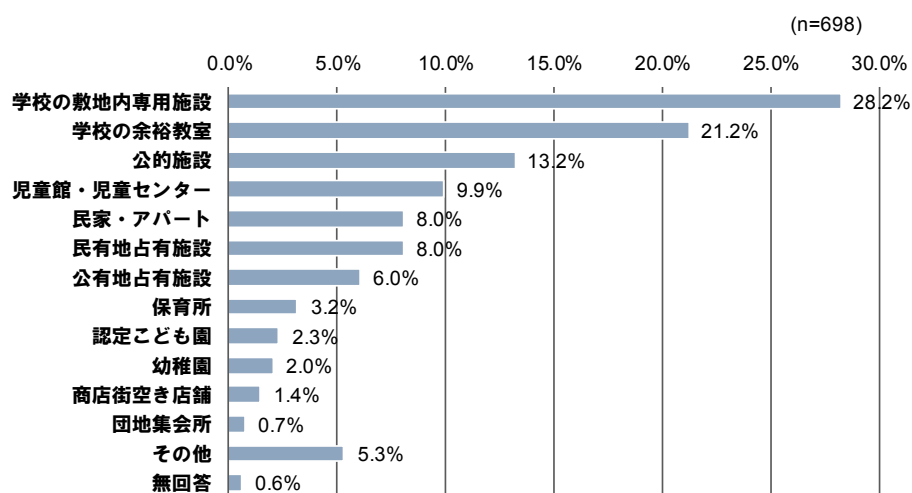
図表 9 設立運営（左図）、公立民営・私立民営の運営主体（中央図）と運営形態（右図）（問1）



②設置場所（問2）

放課後児童クラブの設置場所は、「学校の敷地内専用施設」が 28.2%と最も割合が高く、「学校の余裕教室」が 21.2%で次いでおり、学校関係の施設を利用している放課後児童クラブが半数近くを占める。以下、「公的施設」(13.2%)、「児童館・児童センター」(9.9%)、「民家・アパート」、「民有地占有施設」(いずれも 8.0%) となっている。

図表 10 設置場所（問2）【複数回答】



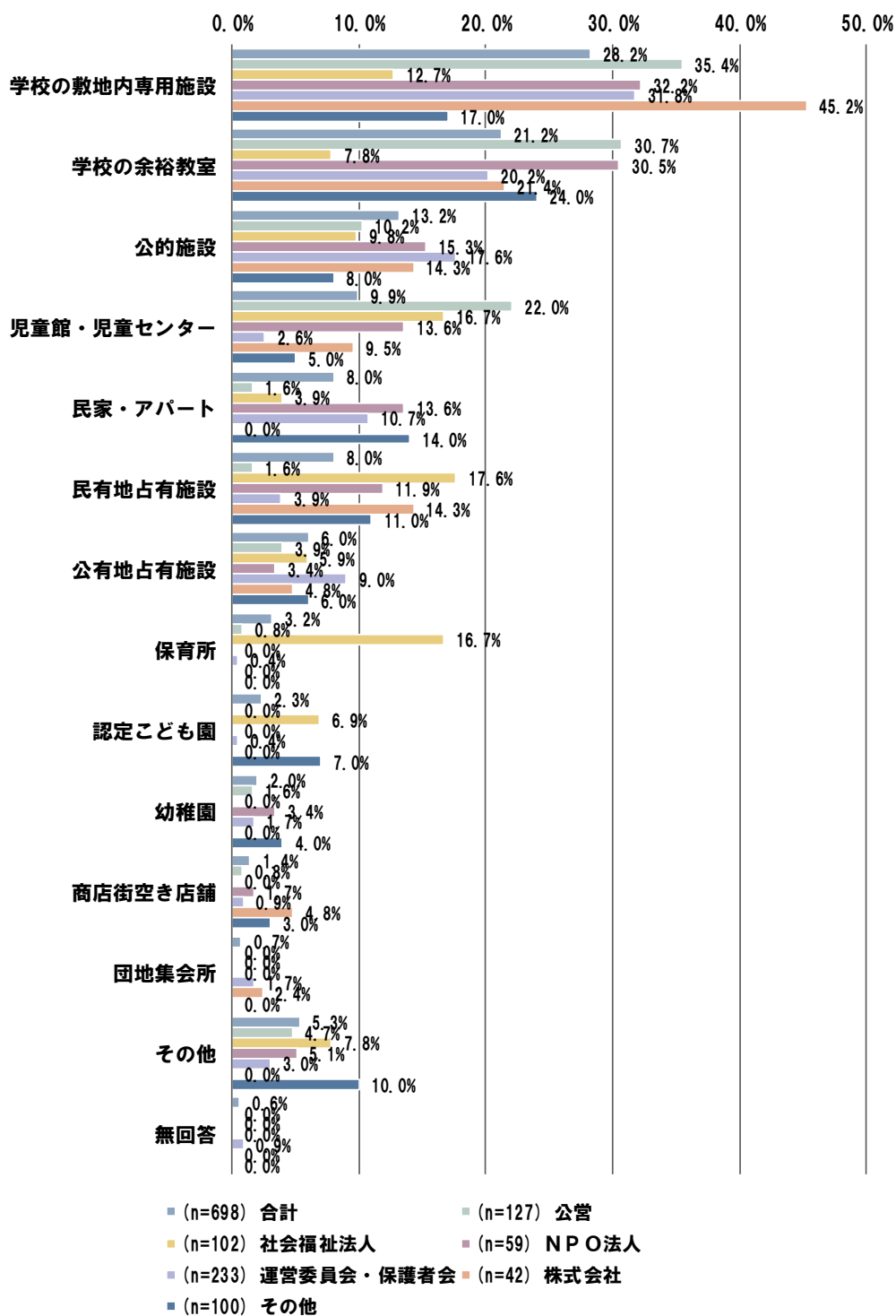
※「その他」の具体的内容は「旧幼稚園」「旧保育所」「学校」「地区会館」等であった。

運営主体別の設置場所をみると、『公立公営』については、「学校の敷地内専用施設」(35.4%)、「学校の余裕施設」(30.7%)、「児童館・児童センター」(22.0%)の割合が高くなっている。

『社会福祉法人』については、「民有地占有施設」(17.6%)、「児童館・児童センター」(16.7%)、「保育所」(16.7%)、「学校の敷地内専用施設」(12.7%)の順に高くなっている。

『株式会社』については、「学校の敷地内専用施設」が45.2%と最も高くなっている。

図表 11 「運営主体別」設置場所（問2）【複数回答】

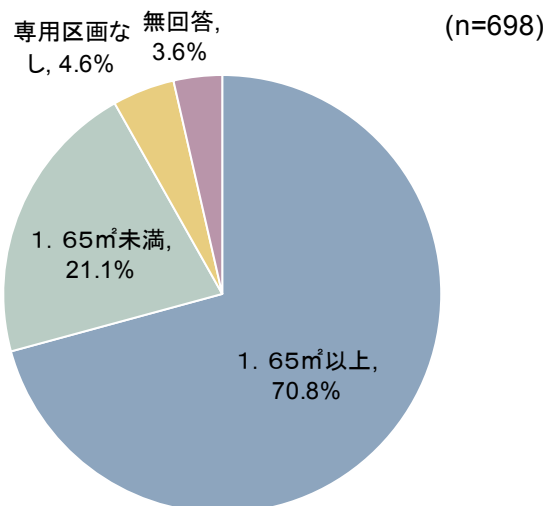


③『児童1人当たりの専用区画』の面積（問3）

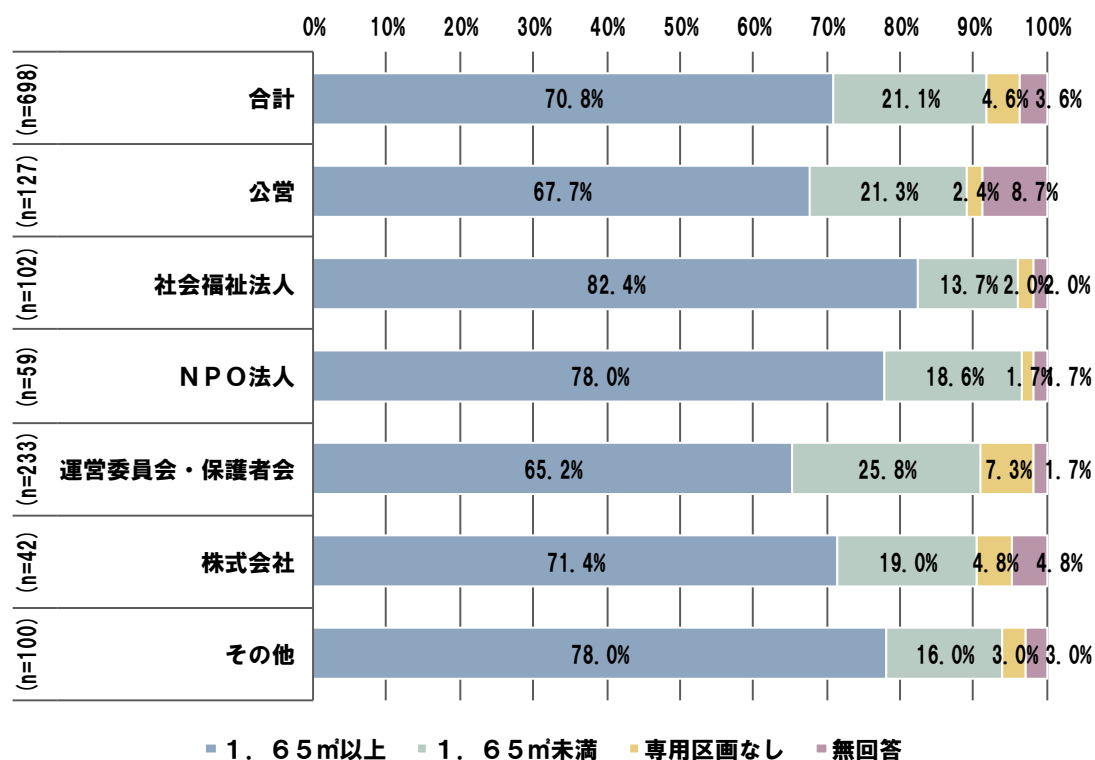
放課後児童クラブでの『児童1人当たりの専用区画』の面積は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（平成26年厚生労働省令第63号）に定められている「1.65㎡以上」が70.8%と全体の7割を占める。「1.65㎡未満」が21.1%、「専用区画なし」が4.6%となっている。

運営主体別には、『社会福祉法人』、『NPO法人』で「1.65㎡以上」の割合が高くなっている。

図表 12 『児童1人当たりの専用区画』の面積（問3）



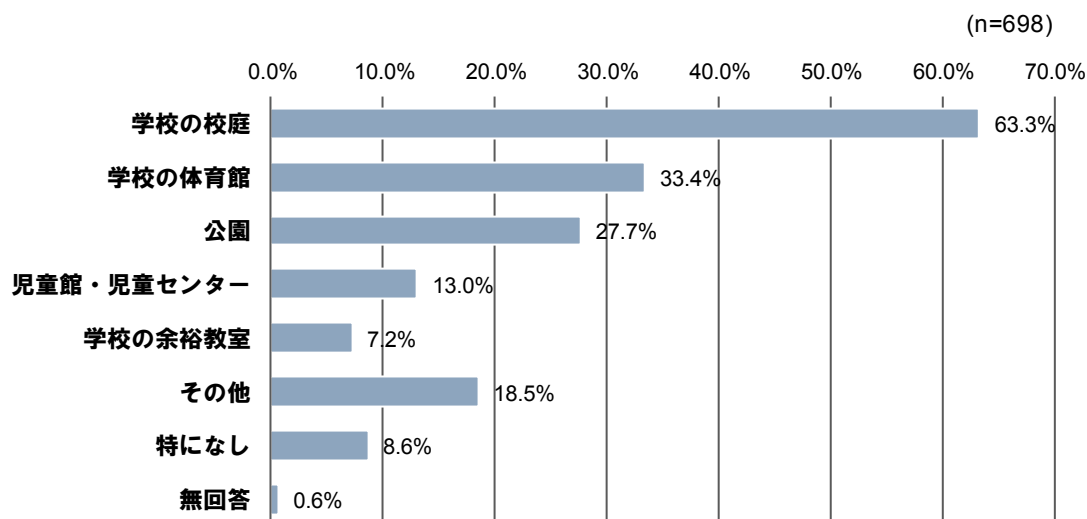
図表 13 〔運営主体別〕『児童1人当たりの専用区画』の面積（問3）



④専用区画以外に利用できる設備（問４）

放課後児童クラブに専用区画以外に活用できる設備があるかを複数回答でみた。「学校の校庭」が63.3%と最も割合が高い。「学校の体育館」（33.4%）、「公園」（27.7%）が次いで高い。「特になし」は6.6%となっている。

図表 14 専用区画以外に利用できる設備（問４）【複数回答】

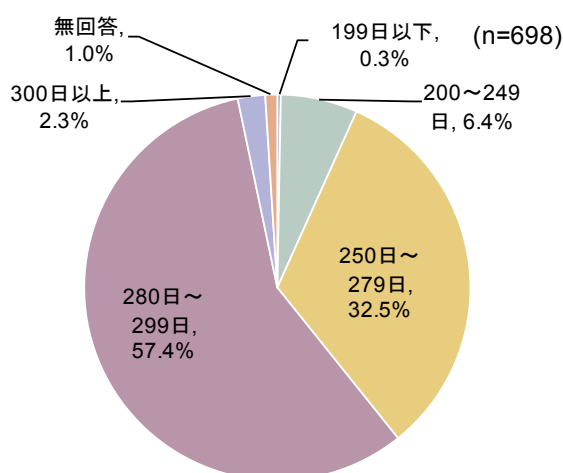


※「その他」の具体的内容は「保育園」「公民館」「園庭」等であった。

⑤1年あたりの開所予定日数（平成31年4月～令和2年3月末）（問５（１））

放課後児童クラブでの1年あたりの開所予定日数（平成31年4月～令和2年3月末）は、「280日～299日」が57.4%と過半数を占め最も割合が高い。「250日～279日」が32.5%で次いで高く、これらを合わせると、年間250日以上開所予定の児童クラブは全体のほぼ9割を占める。

図表 15 1年あたりの開所予定日数（平成31年4月～令和2年3月末）（問５（１））

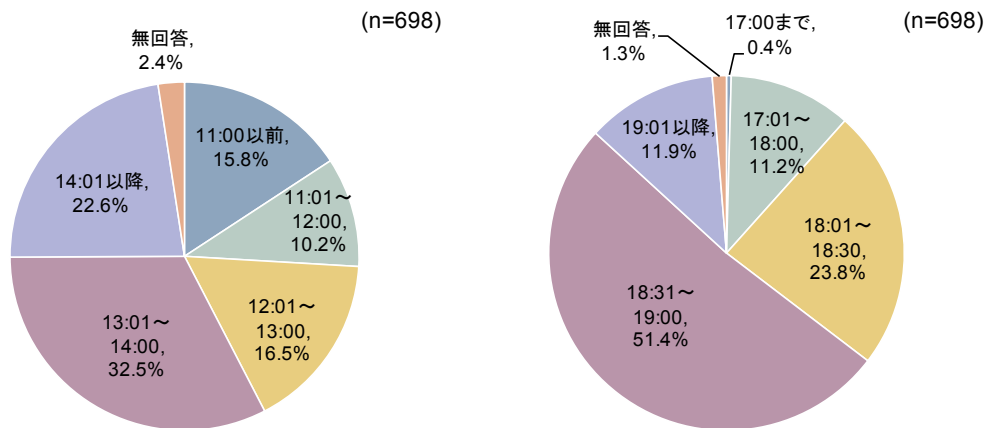


⑥平日・長期休暇時等の開所時刻、終了時刻（問５（２））

放課後児童クラブでの平日・長期休暇時それぞれの開所時刻、終了時刻をみた。平日の開所時刻は、「13:01～14:00」が 32.5%と最も割合が高く、次いで、「14:01以降」(22.6%)、「12:01～13:00」(16.5%)、「11:00 以前」(15.8%)となっており、放課後児童クラブによって開所時刻の違いが比較的大きいことが分かる。

平日の終了時刻は、「18:31～19:00」が 51.4%と過半数を占め最も割合が高い。「18:01～18:30」が 23.8%で次いで高く、18 時台が全体の約 4 分の 3 を占める。「19:01 以降」(11.9%)、「17:01～18:00」(11.2%)がそれぞれ 1 割強となっている。

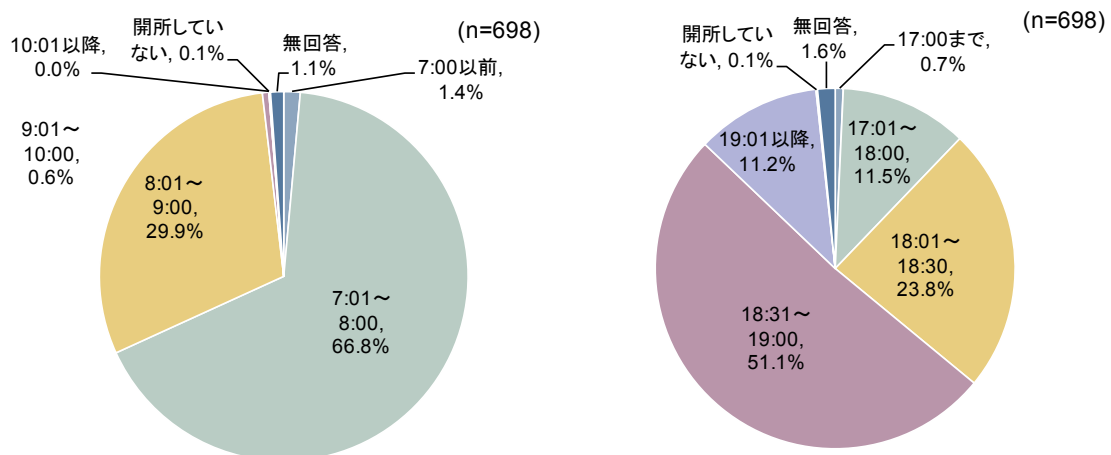
図表 16 平日の開所時刻（左図）、終了時刻（右図）（問５（２））



長期休暇時等の開所時刻は、「7:01～8:00」が 66.8%と全体の 3 分の 2 を占め最も割合が高く、「8:01～9:00」が 29.9%で次いで高い。

長期休暇時等の終了時刻は、「18:31～19:00」が 51.1%と過半数を占め最も割合が高く、「18:01～18:30」が 23.8%で次いで高い。「17:01～18:00」(11.5%)、「19:01 以降」(11.2%)がそれぞれ 1 割強と、平日の終了時刻とほぼ同じ結果になっている。

図表 17 長期休暇時の開所時刻（左図）、終了時刻（右図）（問５（２））



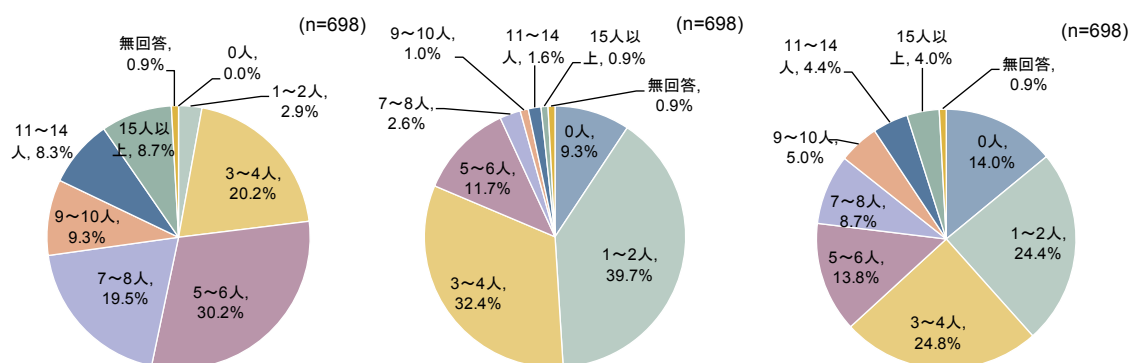
⑦雇用している職員数（令和元年5月1日現在）（問6（a））

放課後児童クラブで雇用している職員（常勤職員と常勤職員以外の合計）数（令和元年5月1日現在）は、「5～6人」が30.2%と最も割合が高く、「3～4人」（20.2%）、「7～8人」（19.5%）が次いで高い。その他、「9～10人」（9.3%）、「15人以上」（8.7%）がそれぞれ1割弱となるなど、雇用している職員数は放課後児童クラブによってかなり幅がある。

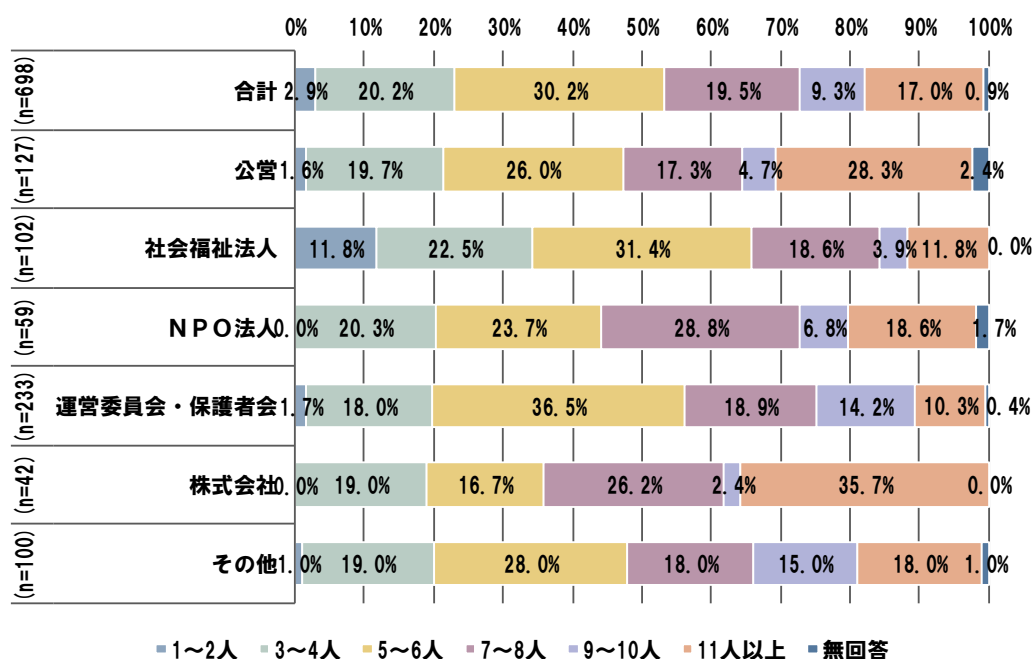
雇用している常勤職員数は、「1～2人」（39.7%）、「3～4人」（32.4%）の割合が高く、これらを合わせると全体のほぼ7割を占める。雇用している常勤職員以外数は、「3～4人」（24.8%）、「1～2人」（24.4%）の割合が高く、これらを合わせると全体のほぼ5割を占める。その他、「0人」（14.0%）、「5～6人」（13.8%）となっている。

運営主体別には、『社会福祉法人』で「1～2人」の割合が11.8%と、他の運営主体と比較して高くなっている。

図表 18 雇用している職員数（左図）、うち、常勤職員（中央図）と常勤職員以外（右図）（令和元年5月1日現在）（問6（a））



図表 19 〔運営主体別〕雇用している職員数（令和元年5月1日現在）



⑧1日に配置している職員数（令和元年12月2日の最大配置人数）（問6（b））

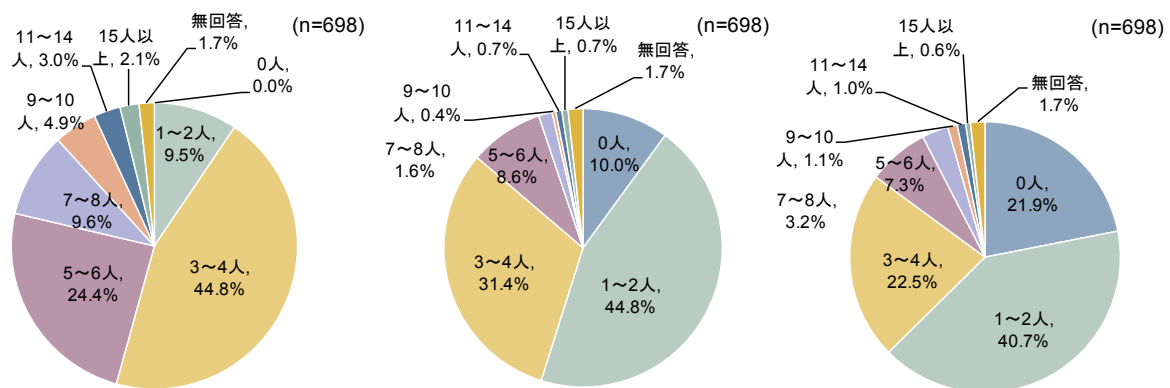
1日に配置している職員（常勤職員と常勤職員以外の合計）数（令和元年12月2日の最大配置人数）は、「3～4人」が44.8%と最も割合が高く、「5～6人」が24.4%で次いで高い。

1日に配置している常勤職員数は、「1～2人」（44.8%）、「3～4人」（31.4%）の割合が高く、これらを合わせると全体のほぼ7割を占める。

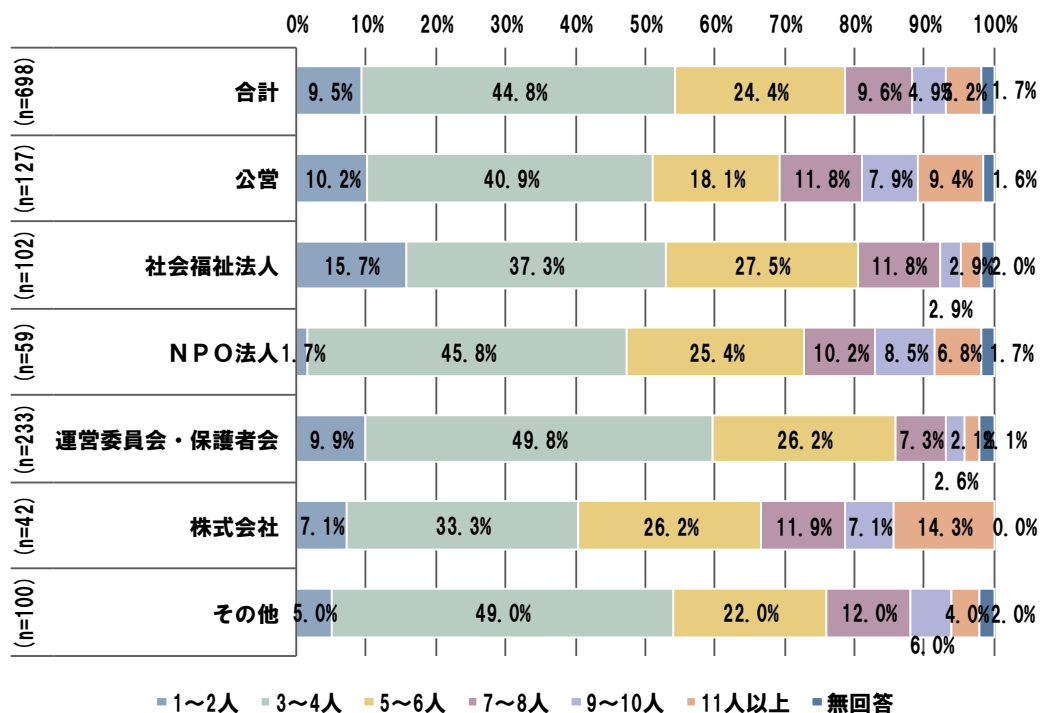
1日に配置している常勤職員以外数は、「1～2人」が40.7%と最も割合が高く、「3～4人」（22.5%）、「0人」（21.9%）が次いでいる。

運営主体別には、『社会福祉法人』で「1～2人」（15.7%）の割合が他の運営主体と比較して高い。『運営委員会・保護者会』では「3～4人」（49.8%）が高く、5割を占めている。

図表 20 1日に配置している職員数（左図）、うち、常勤職員（中央図）と常勤職員以外（右図）（令和元年12月2日の最大配置人数）（問6（b））



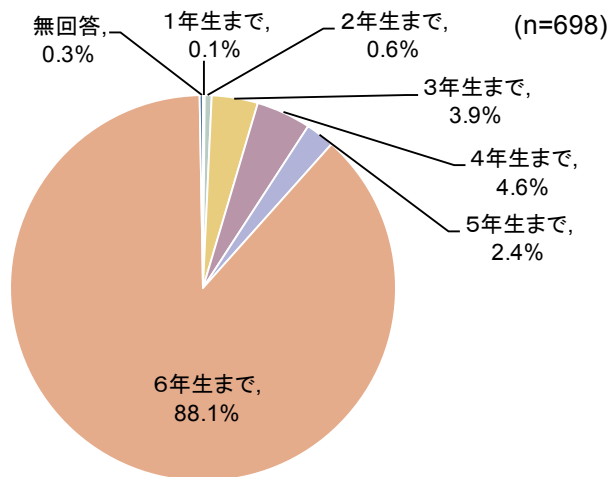
図表 21 〔運営主体別〕1日に配置している職員数（令和元年12月2日の最大配置人数）



⑨対象としている子どもの学年

放課後児童クラブが対象としている子どもの学年は、「6年生まで」が88.1%と全体のほぼ9割を占める。「4年生まで」が4.6%、「3年生まで」が3.9%、「5年生まで」が2.4%となっている。

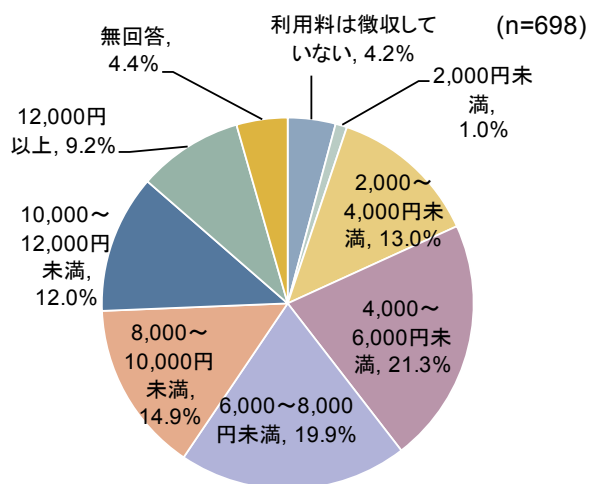
図表 22 対象としている子どもの学年（問7）



⑩月間利用料

放課後児童クラブの月間利用料は、「4,000～6,000円未満」が21.3%と最も割合が高い。次いで、「6,000～8,000円未満」(19.9%)、「8,000～10,000円未満」(14.9%)、「2,000～4,000円未満」(13.0%)、「10,000～12,000円未満」(12.0%)、「12,000円以上」(9.2%)となっている。

図表 23 月間利用料（問8）



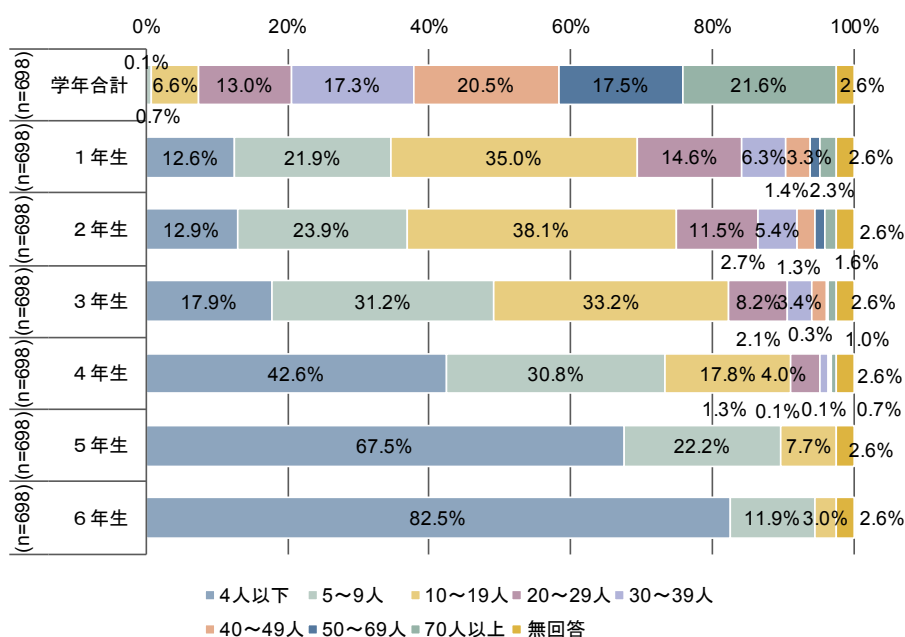
⑪登録児童数（令和元年5月1日現在）（問9（1））

放課後児童クラブの登録児童数（令和元年5月1日現在）は、学年全体では、「70人以上」が21.6%と最も割合が高い。次いで、「40～49人」（20.5%）、「50～69人」（17.5%）、「30～39人」（17.3%）となっている。

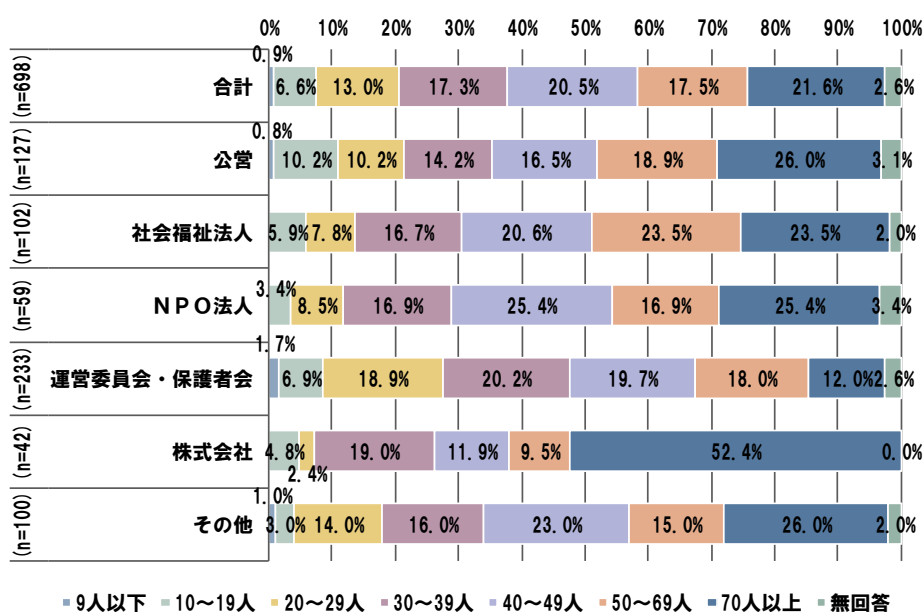
学年別には、1年生、2年生、3年生ではそれぞれ「10～19人」が3割を超え最も割合が高く、「5～9人」が次いで高い。4年生以上は「4人以下」が高い割合を占めている。

運営主体別の登録児童数（学年合計）は、『運営委員会・保護者会』で「20～29人」（18.9%）の割合が他の運営主体と比較して高くなっている。

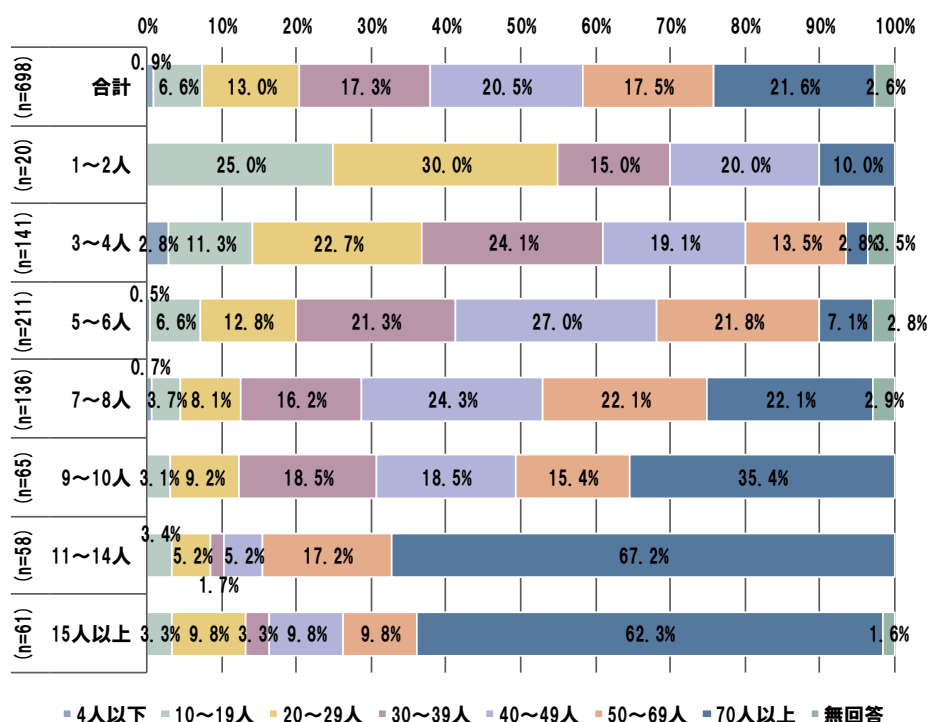
図表 24 登録児童数（令和元年5月1日現在）（問9（1））



図表 25 〔運営主体別〕登録児童数（学年合計）（令和元年5月1日現在）（問9（1））



図表 26 「雇用している職員数別」登録児童数（学年合計）（令和元年5月1日現在）

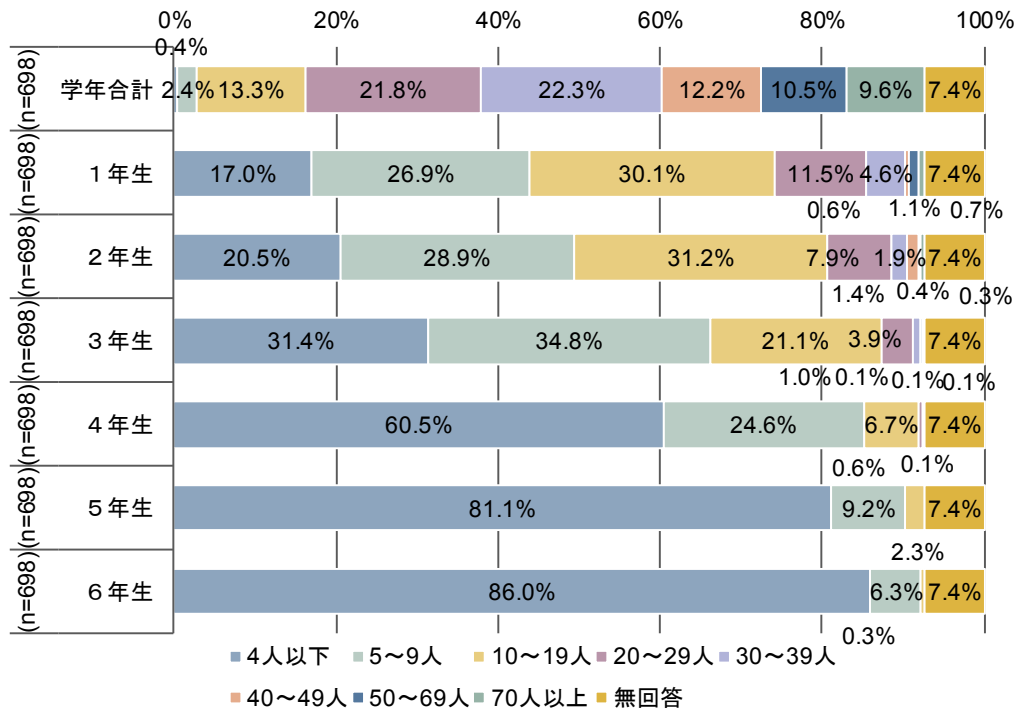


⑫利用児童数（令和元年12月2日～6日の間の平均人数）（問9（1））

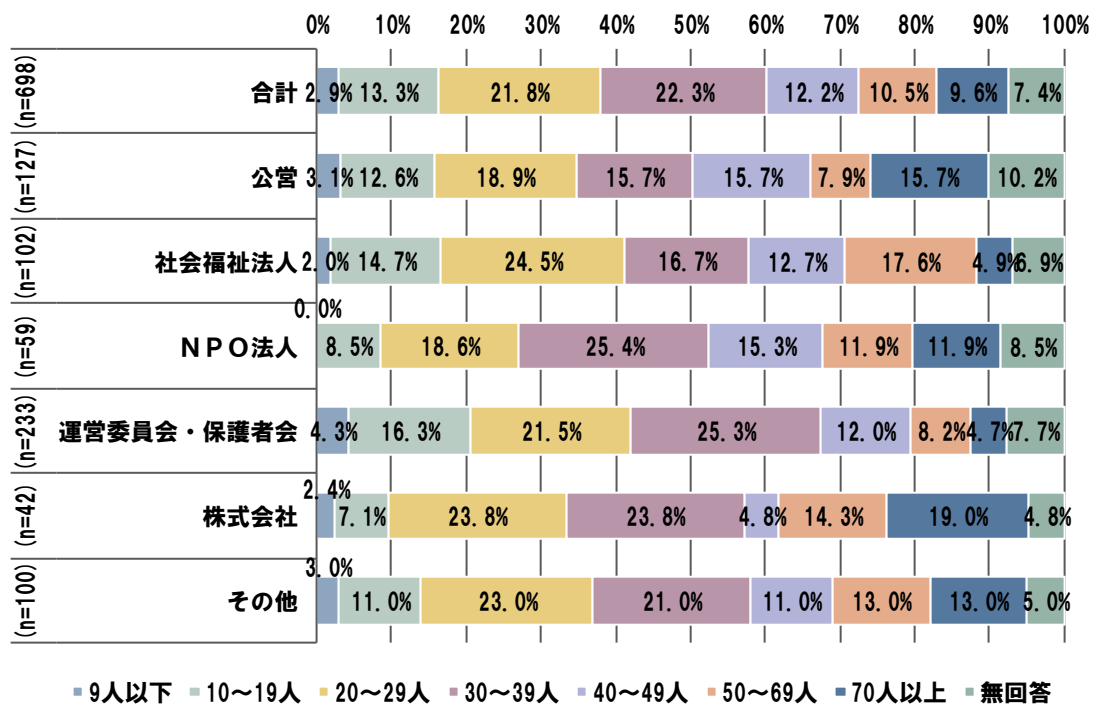
放課後児童クラブの利用児童数（令和元年12月2日～6日の間の平均人数）は、学年全体では、「30～39人」が22.3%と最も割合が高く、「20～29人」（21.8%）、「10～19人」（13.3%）が次いでおり、39人以下が全体のほぼ6割を占めている。

学年別の利用児童数は、『1年生』、『2年生』ではそれぞれ「10～19人」が3割超と最も割合が高く、次いで「5～9人」が3割弱と高い。『3年生』では「5～9人」（34.8%）、「4人以下」（31.4%）の割合が高い。『4年生』では「4人以下」（60.5%）、「5～9人」（24.6%）の割合が高い。『5年生』、『6年生』では、「4人以下」が8割超と非常に高い。

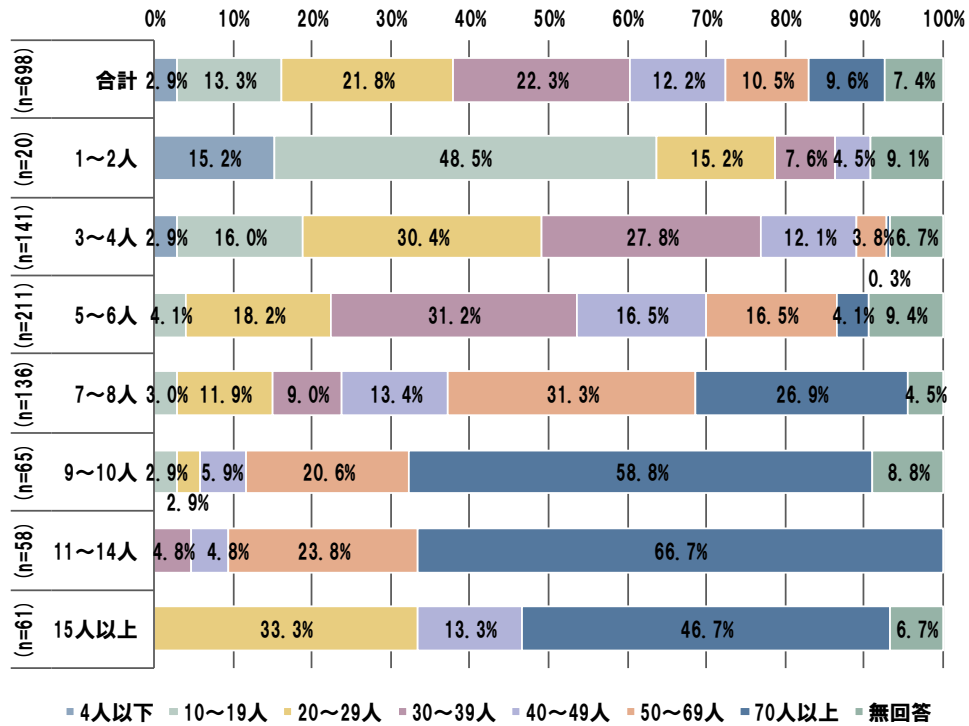
図表 27 利用児童数（令和元年 12 月 2 日～6 日の間の平均人数）（問 9（1））



図表 28 〔運営主体別〕利用児童数（学年合計）（令和元年 12 月 2 日～6 日の間の平均人数）



図表 29 「1日に配置している職員数別」登録児童数（学年合計）

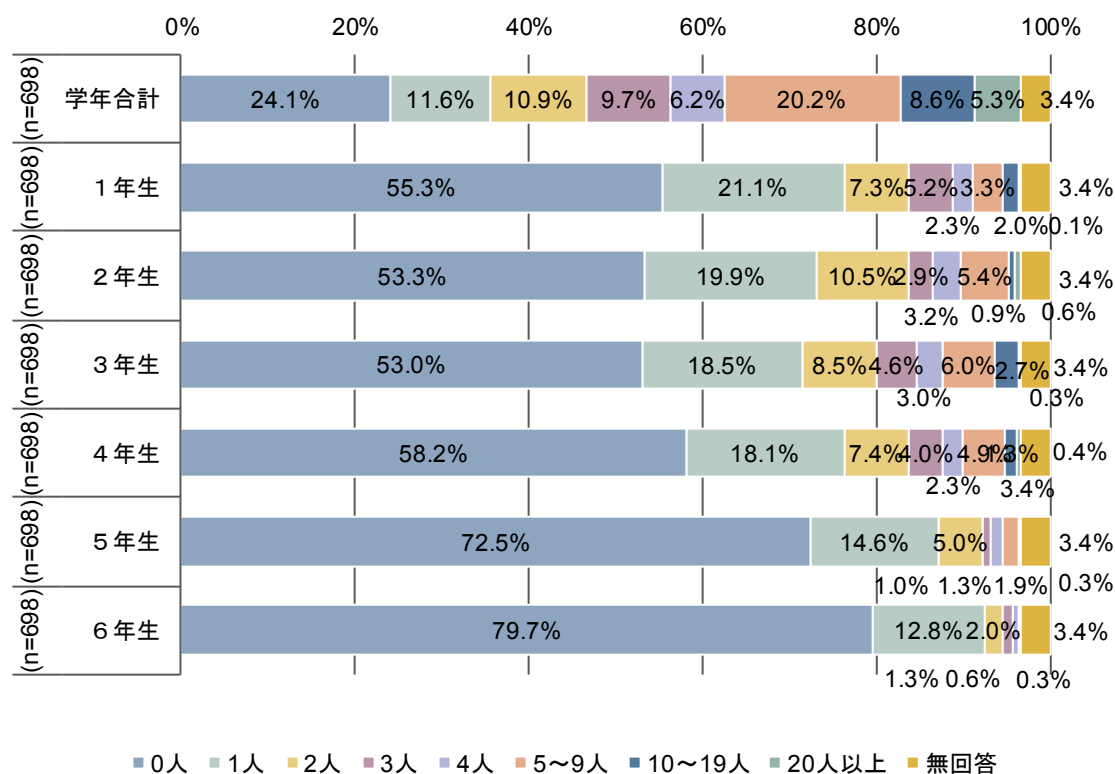


⑬退所児童数（平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 12 月 2 日まで）（問 9（1））

放課後児童クラブの退所児童数（平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 12 月 2 日まで）は、学年全体では、「0 人」が 24.1%で最も割合が高く、「5～9 人」が 20.2%で次いで高い。「1 人」、「2 人」、「3 人」がいずれも約 1 割となっている。

学年別には、いずれの学年も「0 人」の割合が最も高く、次いで「1 名」が高くなっている。

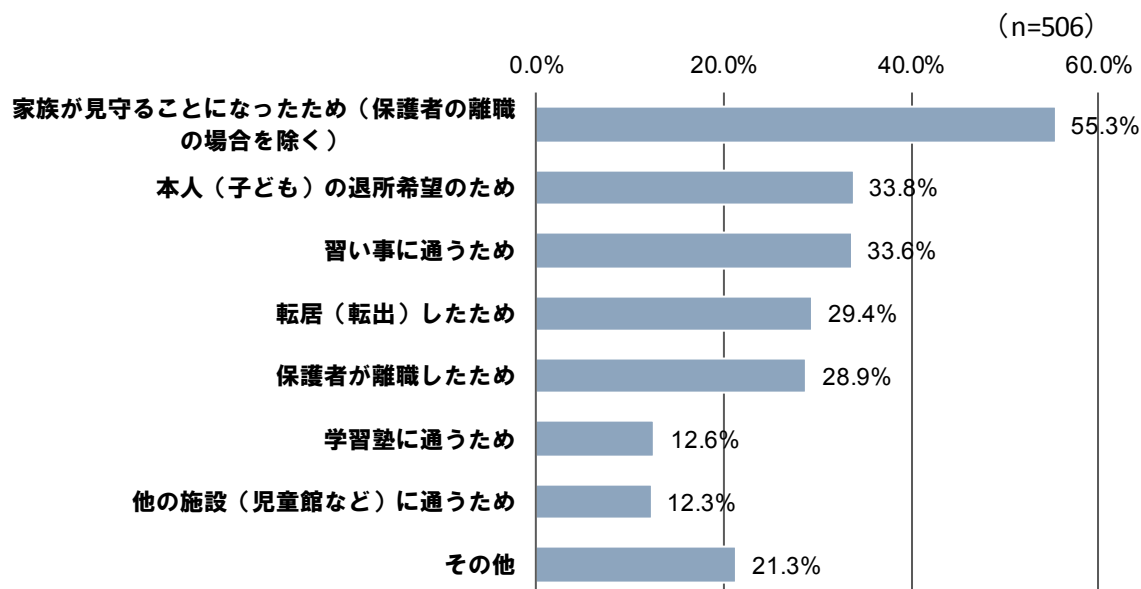
図表 30 退所児童数（平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 12 月 2 日まで）（問 9（1））



⑭〔退所児童がいる場合〕退所の主な理由（問９（２））【複数回答】

退所児童がいる放課後児童クラブに退所の主な理由を複数回答で尋ねた。「家族が見守ることになったため（保護者の離職の場合を除く）」が 55.3%と最も割合が高い。次いで、「本人（子ども）の退所希望のため」（33.8%）、「習い事に通うため」（33.6%）、「転居（転出）したため」（29.4%）、「保護者が離職したため」（28.9%）の順に高くなっている。

図表 31 〔退所児童がいる場合〕退所の主な理由（問９（２））【複数回答】



※「その他」の具体的内容は「留守番ができるようになった」「産休・育休に入るため」「長期休暇期間のみの理由のため」「保護者の勤務形態が変わったため」「保育料の支払いが困難になったため」「部活を始めたため」等であった。

（２）放課後児童クラブにおける育成支援の実施状況

① 活動や育成支援に関する取組の状況（問 10）

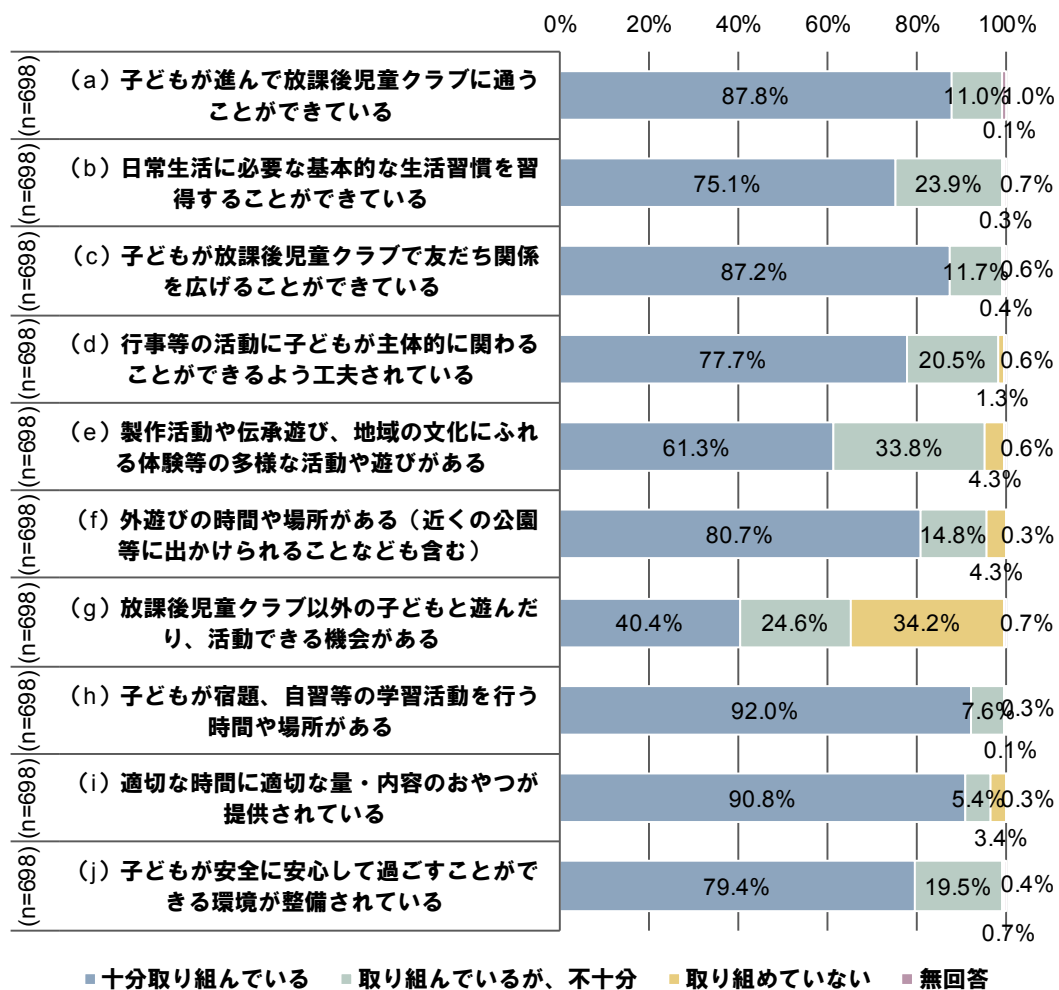
放課後児童クラブに対して、以下(a)～(j)の育成支援に関する取組が十分に行われていると思うかを尋ねた。結果は、多くの項目について「十分に取り組んでいる」割合が非常に高く、ほとんどの項目で「取り組めていない」割合が非常に低い。

『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』については、他の項目と比較して、「十分取り組んでいる」割合が 40.4%と低く、「取り組めていない」割合が 34.2%と高い。

『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』については、「十分取り組んでいる」割合が 61.3%と他の項目と比較してやや低く、「取り組んでいるが、不十分」の割合が 33.8%と高い。

『(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができる』(23.9%)、『(d)行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている』(20.5%)、『(j)子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている』(19.5%)については、いずれも「取り組んでいるが、不十分」の割合が 2 割程度となっている。

図表 32 活動や育成支援に関する取組の状況（問 10）

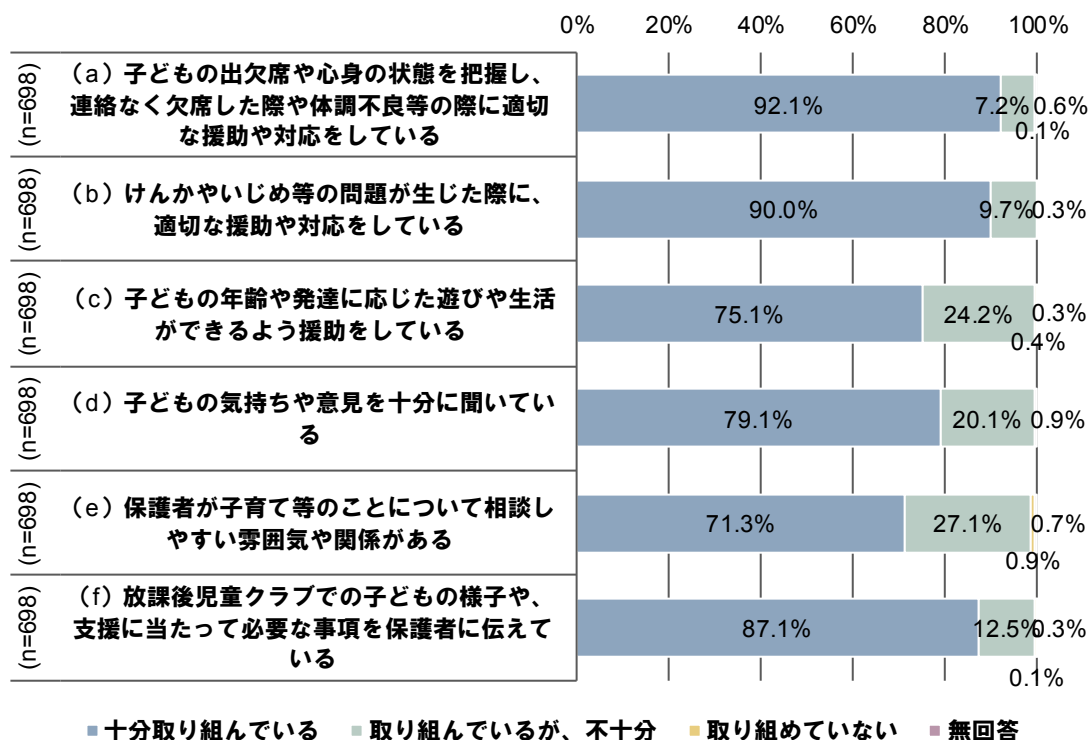


②職員による子どもや保護者への関わりの状況（問 11）

放課後児童クラブに対して、以下(a)～(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかを尋ねた。多くの項目について、「十分取り組んでいる」割合が非常に高く、また、全ての項目で「取り組めていない」割合が非常に低い。

『(e)保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』(27.1%)、『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている』(24.2%)、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』(20.1%)については、いずれも「取り組んでいるが、不十分」の割合が2割を超えている。

図表 33 職員による子どもや保護者への関わりの状況（問 11）

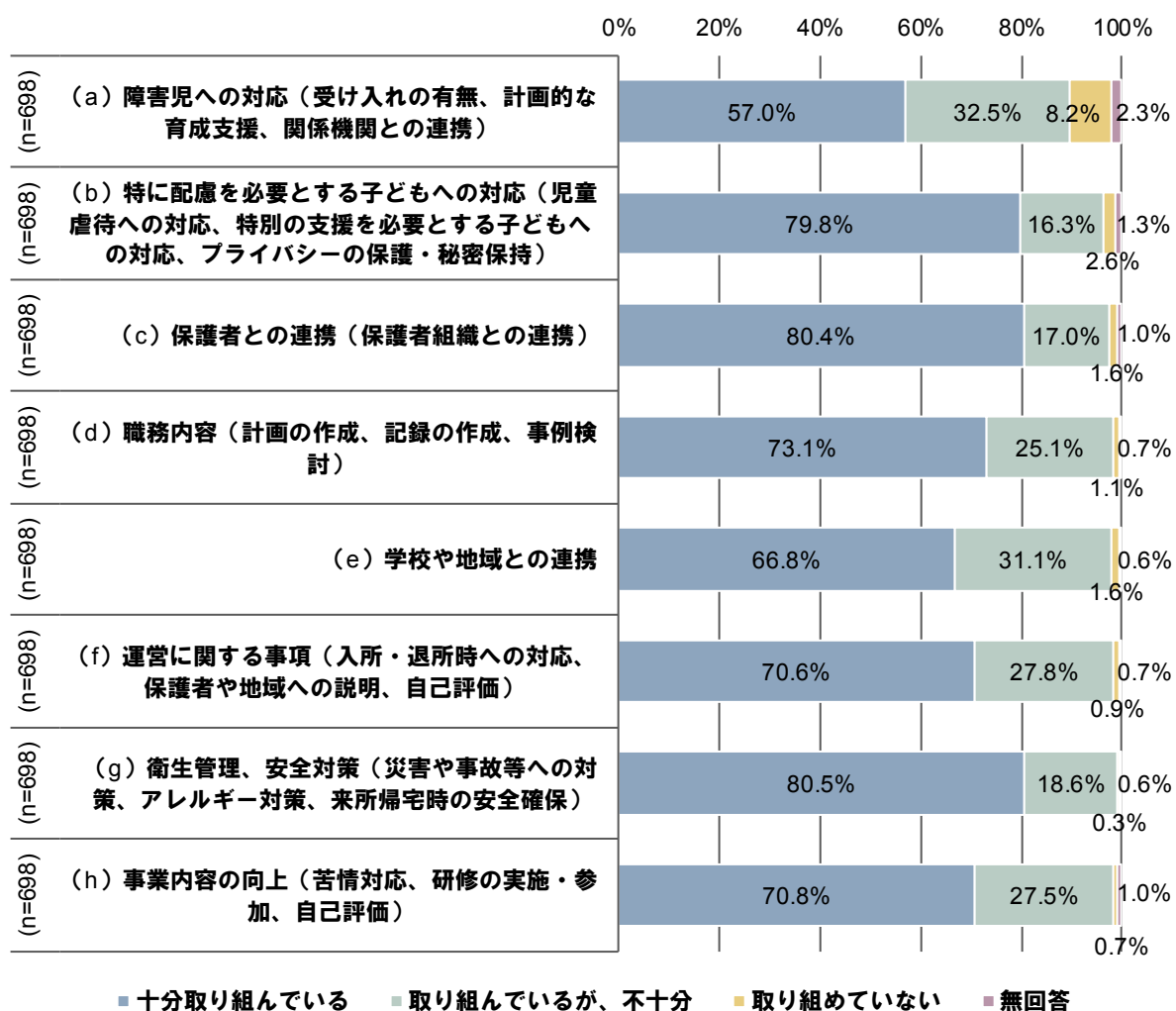


③子どもや保護者との関わりの状況（問 12）

放課後児童クラブに対して、以下(a)～(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に取り組んでいるかを尋ねた。ほとんどの項目について、「十分に取り組んでいる」割合が7～8割と高く、また、ほぼ全ての項目で「取り組めていない」割合が非常に低い。

『(a)障害児への対応（受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携）』については、「十分に取り組んでいる」割合が57.0%と他の項目と比較してやや低い。『(e)学校や地域との連携』(31.1%)、『(f)運営に関する事項（入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価）』(27.8%)、『(h)事業内容の向上（苦情対応、研修の実施・参加、自己評価）』(27.5%)については、いずれも「取り組んでいるが、不十分」の割合が3割程度と他の項目と比較してやや高い。

図表 34 子どもや保護者との関わりの状況（問 12）



④取り組みができていない理由（問 13）

1）活動や育成支援に関する取組のうち取り組めていない理由

放課後児童クラブに対して、活動や育成支援に関する取組のうち取り組めていない具体的な理由を尋ねた。項目別の回答数は以下の通りとなった。

回答数が多い項目は、『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』（167件）が最も多く、『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』（68件）、『(f)外遊びの時間や場所がある（近くの公園等に出かけられることなども含む）』（50件）が次いで多い。

図表 35 活動や育成支援に関する取組のうち取り組めていない理由（自由回答）の状況

選択肢	件数
(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができている	17
(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができている	34
(c)子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができている	9
(d)行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている	21
(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある	68
(f)外遊びの時間や場所がある（近くの公園等に出かけられることなども含む）	50
(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある	167
(h)子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある	12
(i)適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている	25
(j)子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている	40
その他	33
合計	476

具体的な記載内容は以下の通り。

なお、自由回答内の用語（「こども」、「子供」）や言葉遣いは、基本的に回答のまま引用しており、明らかな誤字や脱字の訂正、及び文章の意味が通るようにするために必要な修正にとどめている（以降の自由回答記載箇所についても同様）。

【(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができている】

○学年別の課題

- ・ 高学年（5、6年）も進んで通える学童とするにはもう少し工夫が必要。
- ・ 学年があがると自立心も芽生え、児童クラブではなく自由に過ごしたいと思う子どもも増え、低・中・高学年が全体として楽しく過ごしているかときかれるとむずかしい。／等

○ゲームとの関係

- ・ ゲームやスマホ・タブレット等に勝てない。クラブ内でもはやく帰ってゲームやりたいという声が出ている。
- ・ 家で過ごしている時と同じようにゲームができないという不満がでることもある。別の方法で学童で楽しめるように努力はしている。／等

○その他

- ・ 毎年実施する保護者、子どもアンケートの結果からは、概ね通えているという意見だったが、子ども同士のトラブルなどがあった際は、子どもの気持ちが変わる事もあると思う。そのような時は、すぐに対応していきたいと考えている。
- ・ イベント等には喜んで参加する児童が多いが、その他の日には家でのかんまり過ぎしたい、他に出かけたいなどの理由で、あまり喜んで登所しない子もしばしば見受けられる。
- ・ 家庭の事情等で登室して来る子どもがほとんどなので楽しくなるよう努力しているが、中々皆が喜んで来る所ではない様に感じる。／等

【(b) 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができている】

○サポートの必要性

- ・ 声かけ等すればきちんとできるが、全児童が自発的にできているわけではない。
- ・ トイレに入った後はスリッパをきれいに並べることや、遊びで使用したモノや場所の片づけ等については、支援員の声かけなしで児童が主体的にできているかと考えるとまだ不十分。
- ・ 衛生面や食事、着替えなどで声かけやサポートは行っているが、子どもたちが自発的にこなえるようにはなっていない。／等

○家庭での協力の必要性

- ・ 個性も様々あり、家庭での生活習慣もあるので難しい。
- ・ 日常生活の基本的習慣は、家庭で身につけていく部分が多くあり、学童での支援や指導には、限界を感じる。／等

○徹底の困難さ

- ・ 挨拶の励行等、くり返し声がけはしているが、学校内ではできている子でも、児童クラブではできない子が多い。
- ・ 登録児童数が多くクラブ出席状況も様々であるため、全員に対応を行き渡らせることは難しい。
- ・ 入室時間がバラバラのため統一した生活習慣を習得させるには時間がかかる。／等

○その他

- ・ 設備が整っていない（手洗い場）ため、清潔面、衛生面がゆき届かない。
- ・ 一部の子どもによって、「いただきます。」「ごちそう様でした」などの時の基本的習慣がくずされる。突然走り出したり、大声をあげたりする為、他の子どもの習慣動作が乱れてしまう。／等

【(c) 子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができている】

- ・ 一つの小学校に一つの学童クラブなので、友達関係もだいたい固定しています。
- ・ クラブ児童以外の子どもたちとの交流の場・機会がない。
- ・ 支援員と一緒に遊びたい子が増えて来ている。
- ・ 友だち関係をひろげている児童もあるが、そうでない児童もいる。
- ・ 子ども同士、つながりが広がるよう、遊びや生活の中でキッカケをつくるよう心がけていますが、子どもたちにとってつながりが広がったかどうかを判断するのは難しいのでなんとも言えず。／等

【(d) 行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている】

○余裕がない

- ・ 時間や予算の関係で十分な取り組みができていない。
- ・ 地域の施設からの行事への参加に留まり、自主的な取り組みができていない。
- ・ 平日に宿題をしていると迎え時間になってしまい、行事の事などを子供たちで話をする時間がなくなっている。
- ・ 出席する時間、帰宅する時間にばらつきがあり、集団として関わる時間がとれない。

○子ども主体の難しさ

- ・ 子ども主体ではなく、職員が行事計画をしており工夫が必要と感じている。
- ・ 子どもたちが事前に考えて主体的な意見を交わすが、いざ行事ごとになると、まだまだ支援員のサポートが必要になってくる。
- ・ 子どもたちが主体的に行動に取り組めるよう、高学年会議など子どもが話し合う機会をこれから積極的に増やしていきたい。
- ・ なるべく子供たちの声を聞いて行事などを進めていきたいが、時間的に余裕がなく大人の考えが出てしまうことがある。／等

○進めづらい

- ・ 行事の設定は土曜日が主で、土曜日の家族の予定や毎土曜日の習い事には月謝がかかるので進めづらい。
- ・ 児童館の中で高学年児童がリードしてくれるので、低学年に機会を充分に与えられない。
- ・ 子どもは行事にはそれなりに参加しているが、登録児童は毎日来るわけでもない（欠席が多い）ので学校のように組織的な活動やリーダーが育ちにくい。／等

○その他

- ・ 保育理念を「児童主体、主体的な生活の構築」とし、児童が支援員の指示命令など無く、自己選択、自己判断を経て、困った場合に支援員が支援する保育をしている。支援員として未熟なスタッフは、児童との距離感を理解できず、大人主義になりやすい。／等

【(e) 製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある】

○時間がない

- ・ 地域の方に入ってもらい遊ぶ時間が生活の中でとれていない。
- ・ 放課後の時間に余裕がなく（子ども達の下校が遅い）製作等をする時間の確保ができていない。
- ・ 土・日は開所していないので、地域の文化等に触れる機会はない。平日ではそのような時間はとれない。／等

○機会がない

- ・ 製作活動は行なっているが、伝承遊び、地域の文化にふれる体験がない。
- ・ 地域の文化にふれる体験は施設外での活動になるため、職員の配置等の問題もあり難しい。
- ・ 学校の行事で行われていたり、学校で郷土芸能の伝承に取り組んでいるのでクラブでは取り組んではいない。／等
- ・ 地区の子ども会や個人で参加が多いので学童としては特に参加していない。

○その他

- ・ 企画できる人材がいない。
- ・ 学校の敷地外に出られない。
- ・ なるべく地域等の活動に参加しているが、児童はあまり参加したがない。
- ・ 今年は指導員不足で十分な安全確保ができないと思った為中止。
- ・ 地域の文化にふれる体験については、人数が増えたことで、参加がむずかしくなった。
- ・ 太鼓など音が出て外まで響いてしまうことがやれない。近所から騒音の苦情が来ることがある。
- ・ 以前はかたり部さんに来てもらったりした事もあったが、普段いない方が部屋の中にいる事で落ち着きがなくなったり、自分の時間配分ではない行動をとる事が苦手な児童が多くなってきているので支援員と預かり児童との中で季節の折り紙をかざったりとその程度の活動が多くなっている。
- ・ 子どもたちにもっと身につく体験をほりおこしたい。／等

【(f) 外遊びの時間や場所がある（近くの公園等に出かけられることなども含む）】

○時間がない

- ・ 平日は、小学校からの来園時間が限られていて、宿題をしたり、おやつを食べたりすることで、迎えるの時間となり、十分外遊びができていない。
- ・ 下校が遅く、宿題も多く、習い事も多く、外での集団あそびが成立する条件がそろにくい。
- ・ 指導員の数が不足している時、下校時刻の関係で遊び時間の確保が難しい時などが多い。（出欠確認に時間を取られるなど）／等

○場所がない

- ・ クラブ活動がある時は校庭は使用しない事を学校と協議している。
- ・ 近くに公園や学校のグラウンドなど外遊びできる場所がなく、平常保育時は外へ遊びに行くことができない。
- ・ 学童施設と校庭が離れた場所にあるため、時間の制限があり十分とはいえない。
- ・ 外遊びの場所が設置されていない。職員体制・安全面を考えると、なかなか、学校等へ遊びに行けない。／等

○せまい

- ・ 外遊びの時間は比較的確保することはできているが、児童の人数を考えても、活動場所がかなり狭い（園庭のスペースはあるが、併設の保育園と共有で使用している）。
- ・ 園庭が狭いため、毎日使用ができない事、長期休暇等の時は小学校の校庭を使用させて頂いているが、毎日外では遊んでいない為。
- ・ 施設には、庭が無い為、隣接の公園を利用しているが、十分とは言えない。
- ・ 近くの公園が、あまり小さくなく、サッカーなど動作の大きい遊びが満足に出来ていない。／等

○その他

- ・ 参加人数とスタッフの人数のかかわりからも外遊びは難しい。
- ・ 施設の立地上、および開所の条件として外遊びはできないことになっている。長期休暇中のみ近くの体育館で外遊びを行っている。
- ・ 隣接している公園があるが、子どもたちがボール遊びなどで遊んでいると近所の人たちから「うるさい」など苦情が寄せられ、思い切り遊ばせられない。／等

【(g) 放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある】

○遊ばない、遊べない

- ・ 保険等の関係もあり、学童クラブに登所した場合はその他の児童とは遊ばない決まりとなっている。
- ・ 小学校校庭に遊びに来るクラブ以外の子がほとんどいない。
- ・ 山間部の学童・小学校で全校生徒のほとんどの子どもが学童を利用している為、他の活動等をする事がない。
- ・ 事故が発生した場合の責任所在があいまいになるため来所中は基本的にクラブ登録児童のみで過ごす。
- ・ 校内での活動に限られているため、会員以外の児童と遊ぶことがない。
- ・ 学童以外の子どもとはトラブル等回避のため遊ばせていない。
- ・ 学童児童以外の児童の安全確保が困難な為
- ・ 校外にでかけられる日が少ないため、クラブ外の児童との交流は少ない。／等

○機会がない

- ・ 限られたクラブの活動時間の中ではクラブ児以外の子と遊ぶ機会が得られない。
- ・ 特に機会を別に設けていないし必要性も感じない。
- ・ 放課後子ども教室等の実施がなく、周囲に放課後児童クラブ以外の児童があまりいない。
- ・ 年1回他の2クラブと交流会を行うがその他には機会がない。／等

○余裕がない

- ・ 学童の活動や行事をこなすことで手いっぱい。学童に入っていない子どもたちにまで声をかけたり、そのような行事は持っていないため。
- ・ 外遊びの時に学童以外の子と遊んでいるが、活動となると移動手段がない。準備等の負担を考えると取り組めずにいる。
- ・ クラブ以外の子どもとの遊びは活動スペースがないため、あまり取り組めていない。時々公園遊びの時のみ。
- ・ 支援員不足の為／等

○時間がない

- ・ 放課後児童クラブ以外の子どもたちと遊ぶ場所、時間がない。
- ・ 学年が上がるにつれ、子どもたちは、クラブ以外の子どもとの関わりも重要になってきますが、集団生活のため、十分な時間をとることができない。
- ・ 下校時間が遅く、外遊びの時間が少ない。／等

○クラブの活動が中心

- ・ 学校内にあるため、学校の運動場で遊び学童の子たちだけで遊ぶ。学校外へ連れて行くには、児童数が多すぎて人手が足りない。
- ・ 学校から離れた場所にあるので、クラブ外の子は来ない。
- ・ 異学年の集団で、なおかつ人数も多いため、毎日色々な子たちと遊べるため。／等

○その他

- ・ 学校の友達や地域の子ども達と遊ぶ場合は、比較的学童クラブを休んで活動している傾向にある。

- ・ 学校の空教室をお借りしているので、運動場でのドッジボール等は、他の子どもと一緒に遊べるが、他の場所での活動はしていない。
- ・ 平日は自分のクラブでの活動で十分と考えるが、一日保育の時に交流出来るように、一步を踏み出してゆきたい。／等

【(h) 子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある】

○ない

- ・ 学年にバラつきがあり、宿題をするのに専用スペースがなく遊びの場と併用（下校時間が違う）。
- ・ 生徒の帰ってくる時間の違いや雑談などで落ちついて学習できない状況です。
- ・ 登所時間が揃う日には、みんなで静かに宿題をする時間をつくっているが、登所時間が揃わない日が多いので、遊んでいる子の周りで宿題をしている。／等

○せまい

- ・ 1つの長テーブルに7～8人の子供が宿題をしなければならない環境で教科書をおく場所を取れない。
- ・ 1クラブあたりの人数が定員を大幅にオーバーしており、十分なスペースが取れない。／等

○その他

- ・ 親は学童で宿題をやらせて欲しがっているが、学童任せになっていないか心配でもある。
- ・ 学習の時間を設けて、声掛けも行っているが、1対1の対応でつきっきりで声掛けをしないと途中でやめてしまう児童も少なくはない。今の支援員と預かり児童とのバランスではその対応は難しい。／等

【(i) 適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている】

○提供していない

- ・ 平日は提供していない。長期休み時は自分で持参をお願いしている。
- ・ 衛生面を考えて手作りおやつなどができない。
- ・ おやつのための予算、設備を用意していない
- ・ クラブの設置場所が学校内であることや、アレルギー対応が難しいこともあり、取り組めていない。
- ・ 児童クラブと児童センターを一体的に実施しており、児童クラブの児童のみにおやつを提供をすることができないため。

○持参としている

- ・ 各家庭から自参したおやつを決められた時間で食べている。
- ・ おやつについては長期休業期間中及び土曜日と延長時間（18：00～19：00）のみ自分で持ってくるようになっており、食べている子、食べていない子がいる。

○その他

- ・ 3年生～6年生の利用だが、おやつよりも、宿題・外遊びを、という子ども・保護者の希望が強いため。
- ・ 一部保護者から、夕食への影響が出ることの相談もあり、量の調整や持ち帰りで対応している為（大部分からは好評）

- ・ 適切な量を提供しているつもりですが、高学年になると少なく感じている子もいる様子。
- ・ 施設が手狭まで子ども達が少し帰って落ち着いた時間におやつになるので遅くなってしまう。／等

【(j)子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている】

○施設の老朽化

- ・ 利用している公民館の建物自体が古く衛生面・安全面においては不安な所もある。
- ・ 古い建物の為、不審者に対する出入りのチェック、段差など環境面で気をつけている。
- ・ 建物が古い。防犯カメラやAEDが現在ないが、今年度中に設置予定。／等

○安全面の懸念

- ・ 施設は門扉が無く誰でも敷地に入れる。
- ・ 学校から学童まで距離があり、毎日歩いて通所していることから学童までの道のりが毎日心配。
- ・ 学童保育の大前提として、安全な環境整備は取り組んでいるが、たまに、事故やけがにつながりかねない「ヒヤリ」とする場面があり、いろんな場面で、全職員（補助パートさんも含め）で、というと、まだ不十分だと感じている。
- ・ 防犯に対する安全対策に関しては、民家で保護者会運営という面で、設備にかける財力が不十分。／等

○スペースが狭い

- ・ 1人あたりの専用区画が確保できていません。
- ・ クラブスペースが狭いためトラブルが起こりやすい
- ・ 保育室はとても狭く、休養スペースもない。／等

○専用施設ではない

- ・ 学童専用の施設ではない為、学童としての十分な安全対策に取りくむには、限界があります。
- ・ 保育場所は固定されておらず、施設の中で予約が入っていない空場所が保育活動場所となるため、不審者対策の面で気にかかる。／等

○人材不足

- ・ 今後クラブを担っていける新しい（若い）世代の人材の確保が難しいこと。
- ・ 急な需要増に対応する為、指導員（保育をする者）を一気に雇用した為、経験の浅い者が多く、対応力が未熟である。／等

○その他

- ・ 1Fにエアコンが整備されていないため、夏が心配。
- ・ 民設民営で、保護者にも協力してもらっているが財政運営が厳しい。／等

2) 職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていない理由

放課後児童クラブに対して、職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていない具体的な理由を尋ねた。それぞれの回答数は以下の通りとなった。回答数が多い項目は、『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている』（43件）が最も多く、『(e)保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』（38件）が次いで多い。

図表 36 職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていない理由（自由回答）の状況

選択肢	件数
(a) 子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている	7
(b) けんかやいじめ等問題が生じた際に、適切な援助や対応をしている	8
(c) 子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている	43
(d) 子どもの気持ちや意見を十分に聞いている	26
(e) 保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある	38
(f) 放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている	9
その他	15
合計	146

具体的内容は以下の通り。

【(a) 子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている】

- ・ 十分に取り組んで頂いているが、イレギュラーな業務、特に保育中は伝達が十分にできる程、マンパワーが充足していない。ギリギリで対応して頂いているため。
- ・ 連絡なく欠席した際、こちらから連絡はしていない。
- ・ 連絡なしで欠席した児童について、保護者と上手く連絡を取り合えておらず、迎えに来られる時もある。そういった場合どのようにするか対策を考える必要がある。
- ・ 連絡ない欠席者の親が働いている為連絡がつかないことがある。／等

【(b) けんかやいじめ等問題が生じた際に、適切な援助や対応をしている】

- ・ 注意深く見守りをしているが、支援員が目を離した時に起こることがあり、その場で解決したいと思っても解決までに日数がかかってしまう。
- ・ 小学校であったトラブル等を把握しきれず、学童クラブに来てからの様子で十分に対応できないこともある。
- ・ 外国籍児童がとて多く、言葉の理解が互いにできづらく、充分支援できているとはいえない。
- ・ 支援員、補助員によって対応にバラツキがある。
- ・ いじめについて、学校との連携がうまくとれない。／等

【(c) 子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている】

○1～6年の在籍、異年齢での活動の課題

- ・ 1年から6年が在籍しているので、一斉に同一の活動をする、低学年か高学年かのどちらかに興味や関心が片寄ってしまう。

- ・ 6年生まで預かっている中で、2年生くらいの低学年に合わせた遊び等は提供できているが、4年生以上の高学年が発達に合った遊びができるようなものはなかなか準備できずにいる。
- ・ 1年生と6年生では、遊びも行動も違う為考えてはいるが、子ども達にとっては、不十分と思われるのではないか。
- ・ 学年が異なるので、上の学年にペースを合わせてしまう。
- ・ 発達に合わせたあそびを提供できるように環境を整えるが十分ではない。
- ・ 学年に応じてのあそびをしてあげたいが時間とスペースのとりぐあいがきびしい。／等

○その他

- ・ 子どもの意欲を重視しているので、こちらから～しようと言うことはあまりない。子ども同士の遊びの中で、ルール（発達に応じた）を作っている。
- ・ 支援員不足である。取り組んではいるが十分ではない。
- ・ スタッフの人数や安全確保のため年令に応じた多種の要求に対応しきれないことがある。
- ・ 小学校の学年に限らず幼少期の経験不足が感じられる場合は様々な遊びを提供するが十分でない。／等

【(d) 子どもの気持ちや意見を十分に聞いている】

○時間がとれない

- ・ 子どもの数が多く支援員3人で対応しているが、一人一人とじっくり話す時間がとれない。
- ・ 利用人数が多く、また配慮を必要とする子も多い為、なかなか十分に話を聞いているとは言えない場合がある。
- ・ 滞在時間の短い子とのかかわりやじっくり声を聞いてやる時間がとりにくい。／等

○余裕がない

- ・ トラブルがあった時は対応できるが、来館者が多く、細かいところまで見る事ができない時など静かにしている児童に寄り添う事ができない。
- ・ 様々な家庭環境の中、個別対応が難しい状況です。
- ・ 支援員指導が必要不可欠である。／等

○その他

- ・ 問題行動を起こす児童に対してはハード面もソフト面でも十分な対応が出来ているが、適応行動がとれている児童への関わりが少なくなっていると感じる。
- ・ 取り組んでいるが、気持ちや意見を言えずにいる子どもがいるかもしれないと考え、不十分だと思う。／等

【(e) 保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある】

○余裕がない

- ・ 保護者連絡はLINEで行なっている。会議等以外で会える機会が少ない。
- ・ 保護者の方は、とても協力的で迎え時に必ず話はするように努めてはいるが、迎えが集中したりすると、全ての方と話すことが困難である。
- ・ 保護者の方とゆっくりお話しをする機会をなかなか持てない。

- ・ 保護者が忙しいので、なかなか相談する機会がない。問題があれば、連絡を取り、相談している。
／等

○相談しにくい

- ・ 相談できる雰囲気や話す時間の確保が難しいと感じる。
- ・ 相談しやすい雰囲気は作っているつもりだが、保護者全員が相談できてないのではないかと考えているため。／等

○人員不足

- ・ 職員の中に相談できるだけのスキルが身につけていない人がある。
- ・ 保護者の相談に適切に応じることができる職員が限られているため、取り組みが不十分である。／等

○その他

- ・ プライバシーを守れる空間づくりができていない。常にオープンで人がゴチャゴチャしている。
- ・ 保護者があまりクラブに感心がない。
- ・ 総会時やお迎えなどに、あまり顔を出してくれない保護者がいる。
- ・ 特定されるが相談は受けているが、こちら側から声をかけても、断られることもある。／等

【(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている】

○特別なこと

- ・ すべての子どもがお迎えに来てもらえているわけではなく、一人帰りの子どももいる。
- ・ また保護者会への参加がない保護者もいる。／等

○電話・メール

- ・ お迎え時に混雑した際に伝え忘れる事があり、重要な話し等は電話メールにてお知らせしている。
／等

○その他

- ・ 子どもの様子は、その子にとって良いこと、誉めることは言いますが、悪いことは言わないようにしています。子どもとの信頼関係の為です。
- ・ クラブに通う子どもが多く、保護者全員にクラブでの子どもの様子を伝えきることができない。
- ・ 伝える手段として、毎日のお迎え時の声かけ・保護者会・学年別懇談会・個人面談・おたより等としているが、事務作業が常勤1名体制となってしまってから特に手が回りきらなくなった。
- ・ 「保護者負担を軽く」と役員会で話し合い、時間短縮となつてから、細かな保育報告ではなくなつてしまっている。／等

3) 子どもや保護者との関わりが十分に行われていない理由

放課後児童クラブに対して、子どもや保護者との関わりが十分に行われていない具体的な理由を尋ねた。それぞれの回答数は以下の通りとなった。回答数が多い項目は、『(d)職務内容（計画の作成、記録の作成、事例検討）』（76件）が最も多い。

図表 37 職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていない理由（自由回答）の状況

選択肢	件数
(a)障害児への対応（受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携）	113
(b)特に配慮を必要とする子どもへの対応（児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持）	19
(c)保護者との連携（保護者組織との連携）	23
(d)職務内容（計画の作成、記録の作成、事例検討）	30
(e)学校や地域との連携	76
(f)運営に関する事項（入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価）	29
(g)衛生管理、安全対策（災害や事故等への対策、アレルギー対策、来所帰宅時の安全確保）	22
(h)事業内容の向上（苦情対応、研修の実施・参加、自己評価）	34
その他	30
合計	376

具体的内容は以下の通り。

【(a)障害児への対応（受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携）】

○障害児がいない

- ・ 対象児童がいない。
- ・ 研修等には参加しているが、現段階では児童がいません。
- ・ 障害児が在籍していないので、具体的な計画がない。／等

○受け入れているが十分な対応ができていない

- ・ 受入れは行なっているが個別対応できる様な人員の余裕、専門職とする職員が不足している。またプライバシーにより保護者からの情報や通院に関する状況が少ない。
- ・ 障がい児については受入と経過は障がい担当の先生と取りくんでいるが、1人1人に合わせた細やかな支援には至っていない。（デイサービスを利用している子どもは多い）
- ・ 障害児を受け入れているが、計画的な支援というより、様子を見ながら支援員補助員同士で話し合っている。
- ・ 障害児を受け入れてはいるものの関係機関との連携までできていない。
- ・ 比較的に軽い加配児童を受け入れています、対応する支援員が不十分。
- ・ 放ディとの連携もとれているが学童で育成支援プラン等をもう少し工夫し作成が必要と感じる。／等

○受け入れていない

- ・ 学校通学児は通常受入れを行っているが、支援学校児の受け入れは行っていない。（支援員の対応が不可のため）病的児童については、保護者と連携をとっている。
- ・ 施設の設定及び職員配置の都合上、障害児の受け入れをしていない。
- ・ 指導員が不足していて受け入れられない。／等

○関係機関との連携

- ・ 関係機関との連携が取りにくい。

- ・ 当クラブは保護者会運営の為、学校との連携もうまくとれていない。／等

○その他

- ・ 受け入れ対制をとってはいるが、就学前の様子の情報交換が難しい。
- ・ いろいろな子に対応するため、専門の保健師さんがいてくれると助かる。
- ・ 発達障害児についての理解（専門医への受診）等について保護者との温度差を感じている。忙しいことを理由に取り組まれないことがある。
- ・ 支援員（人員）の確保が難しい日があるため、加配できる日とできない日がある。人が確保できて、障害児受入の補助金を利用し、今よりもっと手厚い対応をしたい。
- ・ 障害児の受け入れや研修会に積極的に参加しているがクラブ単独での計画的支援は難しい。／等

【(b)特に配慮を必要とする子どもへの対応（児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持）】

○対象者がいない

- ・ 現在、特に配慮を必要とする子どもが在籍していない。
- ・ 特別な配慮を必要とする子どもを、これまで受け入れたことがないので、今後そのような子どもが利用する状況になった場合の計画や、事例の研修など取り組んでおかなければいけないと思っている。／等

○その他

- ・ 配慮を必要とする子どもの両親から病院へ通い出した事、薬の服用について、報告を受ける事ができず、信頼関係ができていなかったと感じている。
- ・ 要配児と保護者が認めず、職員の追加申請ができない為ゆっくりと係わってあげる事ができてない。
- ・ 手帳は持っていないが情緒に問題のある子どもがとても多く、加配を付けられないため、暴れることが多く対応にとっても困っている。
- ・ グレーゾーンの子、我々指導者からみて、明らかにADHD等の疑いのある子も何人かが在籍していると思われるが、保護者（親）からの申告もない場合が多く、特別支援的な援助は出来きれていないのが現状である。／等

【(c)保護者との連携（保護者組織との連携）】

○保護者の組織がない

- ・ 保護者との連携はとれているが保護者組織がない。
- ・ 保護者会はあるが、保護者会としての活動をしていないため。／等

○保護者の時間がない

- ・ 働いている保護者は、時間が取れない。
- ・ 保護者会を計画するが参加が少ない。／等

○その他

- ・ 保護者個人とその対応で十分に間に合っている。
- ・ 保ゴ者の中には預けっきりでいる人がいる。

- ・ 様々なタイプの保護者がおり、各ご家族の状況も多様化している。
- ・ 迎えに来る保護者とは話は十分できるが、そうではない保護者とはなかなか話す機会がない。
／等

【(d) 職務内容（計画の作成、記録の作成、事例検討）】

○時間がない

- ・ 皆で集まる時間をとるのが難しい。
- ・ 細やかな打ち合わせをする時間がない。（開設→登所までの時間がすぐである。）／等

○計画がない

- ・ 毎日の学童での流れはできているが、子どもたちの学年によって帰宅時間が違い、細かな計画がたてられない。
- ・ 職員間で子どもの様子を話し合い情報共有はしているが、計画等作成していない
- ・ 保護者運営の為、細かい引継ぎや計画、記録などは決まりがない為不十分。／等

○記録していない

- ・ きちんと記録がとれていない部分がある。
- ・ 保育日誌等の書類がない。
- ・ 細かい引継ぎや計画、記録などは決まりがない為不十分。／等

○事例検討していない

- ・ ミーティングでのふりかえり等は行っているが、別に時間をとっての個別の事例検討は行っていない。
- ・ 放課後デイサービスと児童館を併用している児童の為事例検討まできちんとできていない。
- ・ 非常勤職員のための職場で勤務時間のほとんどは児童の支援をしている。ミーティングも申し送り、情報共有を行うぐらいの時間しかとれず、勤務時間内に事例検討などするのは困難。（1日5時間～5.5時間勤務）／等

○その他

- ・ 就学前の様子の情報交換が難しい。（保護者からの情報のみとなる為）支援の知識が充分にあるわけではない為、手さぐり状態な部分もある。
- ・ 行事の計画と記録までは行成できているが、行事後の反省や事例についての検討がまだ不十分である。
- ・ 記録の作成、話し合い等はしていますが、それが、生かされているのか不明な時がある。
- ・ 支援員が交替勤務で連絡不足や情報交換がうまくいかない時があります。／等

【(e) 学校や地域との連携】

○地域との連携が不十分

- ・ 地域とかかわる機会がない
- ・ 学校との連携は十分取り組んでいるが、地域との連携は不十分な所がある。民生委員、町内会他との密な連携に取り組んで行きたい。
- ・ 地域の行事はクラブの休所日のため参加できない。／等

○学校との連携が不十分

- ・ 定期的な子どもたちの状況の意見交換がまだ出来ていない。
- ・ 学校側が守秘義務もあり、情報提供に消極的である。
- ・ 複数の学校から利用児童が利用しているため、全ての学校との連携は不十分である。
- ・ 学校の担任の先生方とは、時間帯が合わない事や、学校の先生の過重労働の点から意見交換は非常に難しい。
- ・ 学校と学童が別施設であるとの認識が学校側に乏しく、報・連・相が十分でないことがある。
- ・ 機関長が学校長でなくなった為、学校との連携がしにくくなった。
- ・ 何かあった時でないと連絡しづらい。学校も忙しいだろうと遠慮してしまう。
- ・ 障害児に関する件などもう少し詳しい内容で連携したいが、取り組めていない。
- ・ 学校と離れた場所にあるということもあり、居残りをしている児童など連絡をもらえないと困る時がある。／等

○その他

- ・ 緊急連絡等はメールや電話等でとれているが、子どもひとりひとりの問題についてはなかなか共有できていないと感じる。／等

【(f)運営に関する事項（入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価）】

○自己評価していない

- ・ 自己評価は実施していない。／等

○地域への説明ができていない

- ・ 校内での活動に限られているため、地域への説明がされていない。
- ・ 保護者には保護者会によって説明等できているが、地域の方々には、なかなか機会がなく伝えられていない。／等

○その他

- ・ 学童運営に関する、外部評価を取り入れていく必要を感じます。
- ・ 入所、退所への対応でこの地域は外国籍の子どもたち（父母）の対応に苦勞している。
- ・ 市の協力も得られない中、民営の父母会運営なので、外国籍の父母たちにどう説明したら協力してくれるか、言語のこともあり難しい。／等

【(g)衛生管理、安全対策（災害や事故等への対策、アレルギー対策、来所帰宅時の安全確保）】

○施設の老朽化

- ・ 公民館を利用し児童クラブを運営しているが公民館の建物自体が古く衛生面・安全面においては不安な所もある。／等

○アレルギー対応状況

- ・ アレルギー発生時のキットがなく対応できない（区や都、国が対応していない）。
- ・ 職員がアレルギー対応の研修を受ける機会がない。
- ・ アレルギー対応のお子さんが年々増え、対応に追われている。／等

○災害対応状況

- ・ 避難訓練は年数回実施しているが、災害時の対応、避難場所などもっと地域の人たちと連携をとるべきではないかと思っている。
- ・ 災害の危険度が年々高くなっている為、一度マニュアル等を見直す必要があると思う。
- ・ 二年二回ほど避難訓練等行っているが、安全対策についてはこれで良いということはない。
- ・ 突然の災害や事故に毎回とまどっている。事前の対策はしていても不十分だと感じている。／等

○その他

- ・ 3階に部屋、1階に玄関が奥まってあるため、人が自由に来所でき部屋の中からは死角がある。
- ・ 原則お迎えだが、習い事等で、児童が一人で帰ることも多いので、安全面で不安。
- ・ 保護者会運営で資金不足のため、安全対策を十分に行えない。
- ・ 温水が出る温沸し器がなく、手洗い場が1ヶ所しかないので、手洗い、食器洗い、雑布洗いが、1ヶ所になっている。／等

【(h) 事業内容の向上（苦情対応、研修の実施・参加、自己評価）】について

○自己評価は行っていない

- ・ 自己評価は実施していない。
- ・ 自己評価について十分でないと思える。（全員に徹底出来ていない）／等

○研修を企画していない

- ・ 県が主催している研修会には参加しているが、当クラブで研修は企画できていない。／等

○余裕がない

- ・ 全員非常勤のため、研修への参加が難しい。
- ・ 支援員全員が取り組めていない状況です。支援員の中に、うまく対応できない人もいます。研修も、なかなか参加できません。
- ・ 支援員に余裕（時間的及び精神的ゆとり）がない。／等

○その他

- ・ 研修の場が計画的に設けられていないため自己研修にとどまっている。
- ・ 職員への研修や、セミナーの充実をしたい。処遇改善も十分でなく、自治体、国でもっと学童指導員への処遇改善を行なって下さい。
- ・ 自己評価、第三者評価（保護者アンケート）独自で取り組んでいるが、自治体等一定程度統一したフォーマットあれば助かる。
- ・ 受けた研修をうまく生かせていない。／等

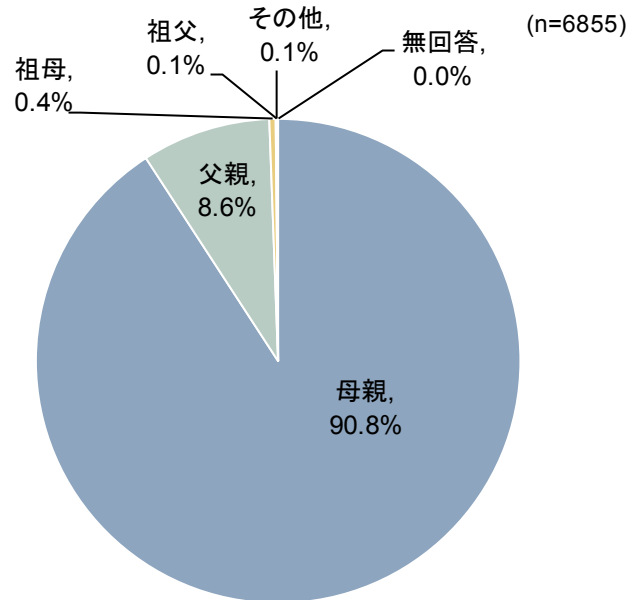
3. 保護者向け調査

(1) 子どもや回答者の状況

①回答者の子どもとの関係(問1)

回答者の子どもとの関係は、「母親」が90.8%と9割以上を占め最も高く、「父親」が8.6%となっている。

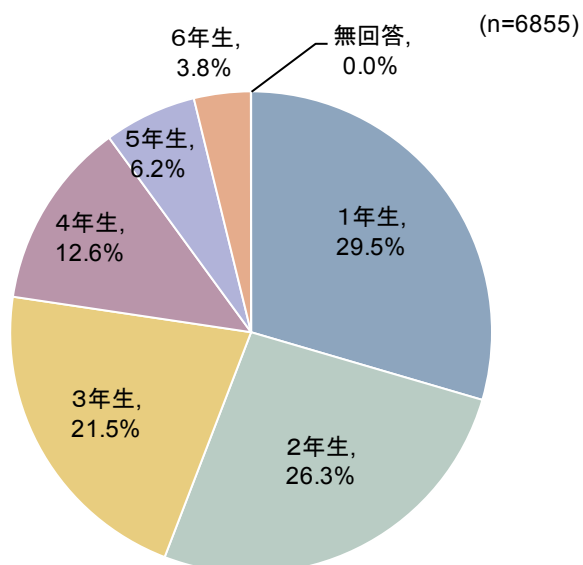
図表 38 回答者の子どもとの関係(問1)



②子どもの学年(問2)

子どもの学年は、「1年生」(29.5%)、「2年生」(26.3%)、「3年生」(21.5%)で8割近くを占める。「4年生」が12.6%、「5年生」が6.2%、「6年生」が3.8%となっている。

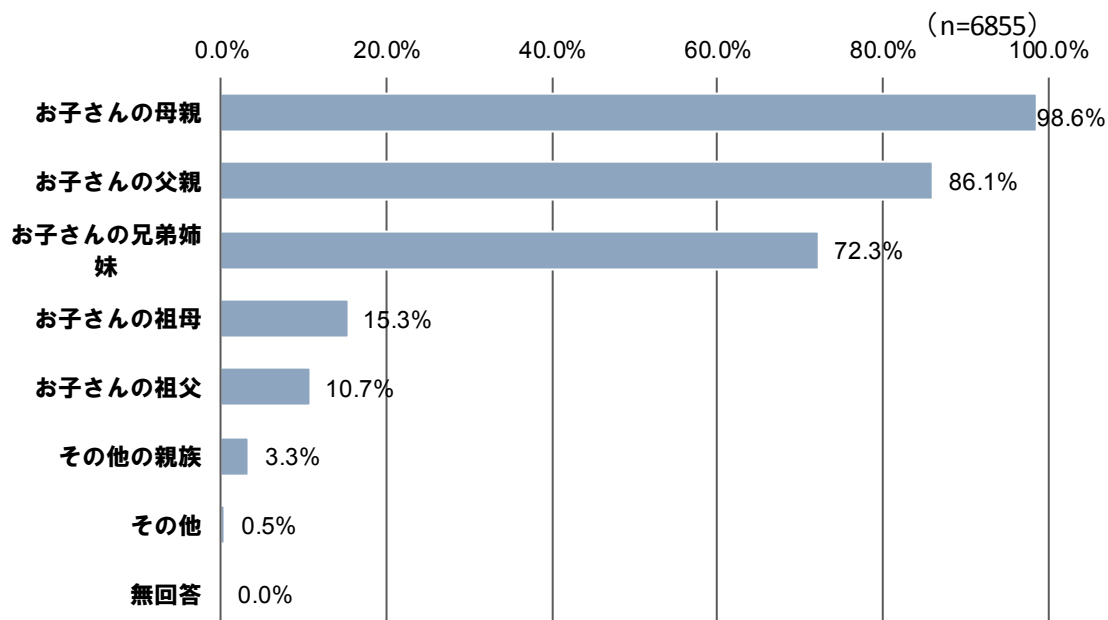
図表 39 子どもの学年(問2)



③子どもとの同居者（問3）【複数回答】

子どもとの同居者は、「お子さんの母親」が 98.6%、「お子さんの父親」が 86.1%、「お子さんの兄弟姉妹」が 72.3%となっている。

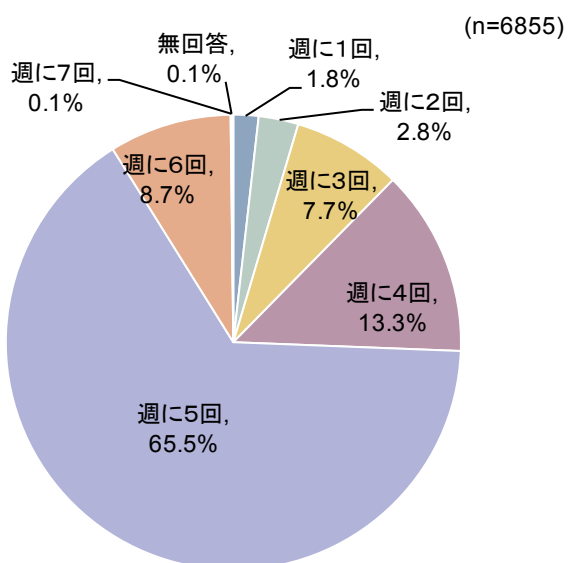
図表 40 子どもとの同居者（問3）【複数回答】



④放課後児童クラブの週の利用回数（問4）

放課後児童クラブの週の利用回数は、「週に5回」が 65.5%と最も割合が高い。次いで、「週に4回」(13.3%)、「週に6回」(8.7%)、「週に3回」(7.7%)となっている。

図表 41 放課後児童クラブの週の利用回数（問4）

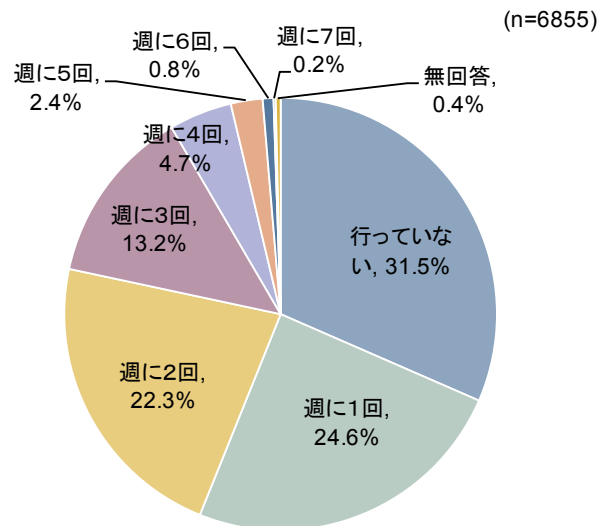


⑤習い事や塾等、放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数（問5）

習い事や塾等、放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数は、「行っていない」が31.5%と最も割合が高く、このことから、7割近くが習い事や塾等、放課後児童クラブ以外の活動を放課後に行っていることが分かる。

活動の週の回数は、「週に1回」が24.6%と最も割合が高い。「週に2回」が22.3%、「週に3回」が13.2%で次いでおり、週に複数回の活動を行っている割合も高い。

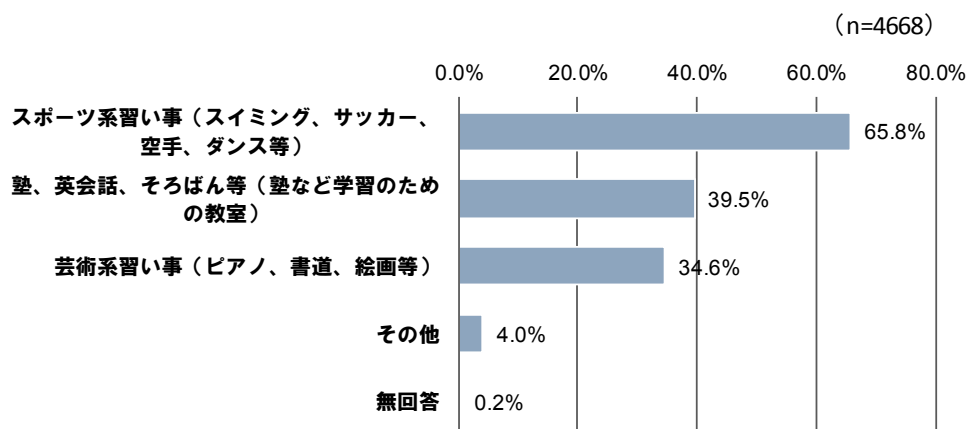
図表 42 習い事や塾等、放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数（問5）



⑥〔放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の〕活動の内容（問6）【複数回答】

放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の活動の内容は、「スポーツ系習い事（スイミング、サッカー、空手、ダンス等）」が65.8%とほぼ3分の2を占め最も割合が高い。「塾、英会話、そろばん等（塾など学習のための教室）」が39.5%、「芸術系習い事（ピアノ、書道、絵画等）」が34.6%となっている。

図表 43 〔放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合〕活動の内容（問6）【複数回答】

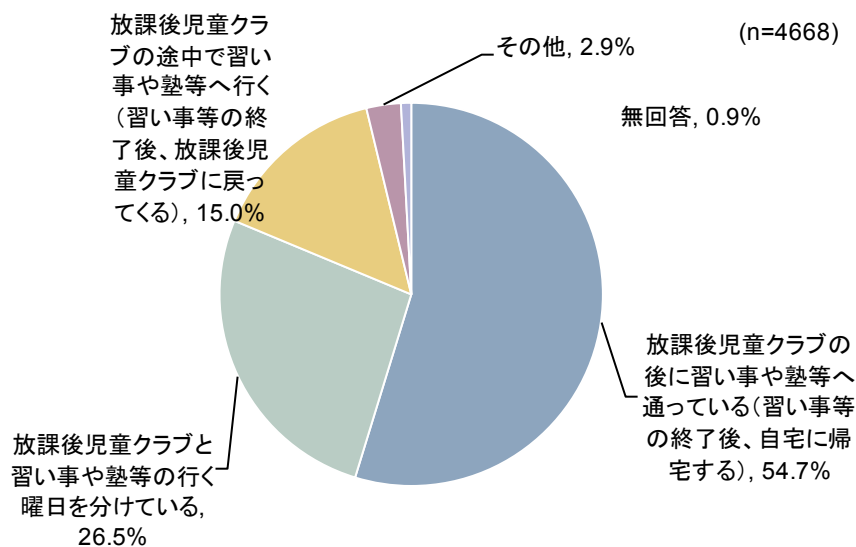


※「その他」の具体的内容は「放課後デイサービス」「スポーツ系（スポーツ少年団・野球等）」「伝統文化（囲碁・将棋・書道等）」「文化系（合唱・和太鼓・バレエ等）」「学校の部活」「プログラミング」「ロボット教室」等であった。

⑦〔放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の〕放課後児童クラブとの通い分け（問7）

放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の放課後児童クラブとの通い分けの方法は、「放課後児童クラブの後に習い事や塾等へ通っている（習い事等の終了後、自宅に帰宅する）」が 54.7%と過半数を占め最も割合が高い。「放課後児童クラブと習い事や塾等の行く曜日を分けている」が 26.5%で次いで高く、「放課後児童クラブの途中で習い事や塾等へ行く（習い事等の終了後、放課後児童クラブに戻ってくる）」は 15.0%となっている。

図表 44 〔放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合〕放課後児童クラブとの通い分け（問7）

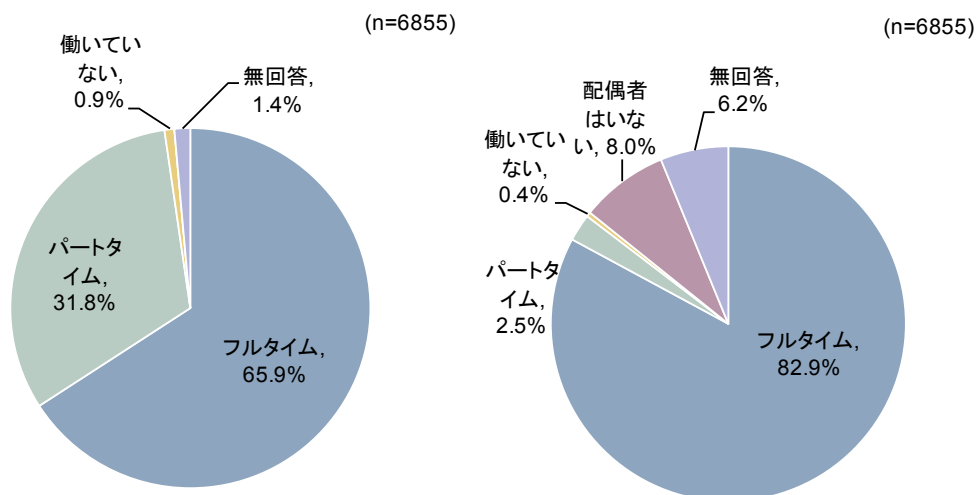


※「その他」の具体的内容は「土曜日若しくは日曜日に習い事や塾等に行っている」「放課後児童クラブの途中で習い事に行き、習い事終了後自宅に帰る」「放課後児童クラブの後、1度帰宅してから習い事へ行っている」「習い事によって使い分けている」等であった。

⑧回答者とその配偶者の就労状況（問8）

回答者とその配偶者の就労状況を尋ねた。回答者では、「フルタイム」が 65.9%、「パートタイム」が 31.8%となっており、回答者の配偶者では、「フルタイム」が 82.9%、「パートタイム」が 2.5%となっている。回答者で「パートタイム」の割合が高いのは、ほとんどの回答者が子どもの母親であることに関連していると考えられる。

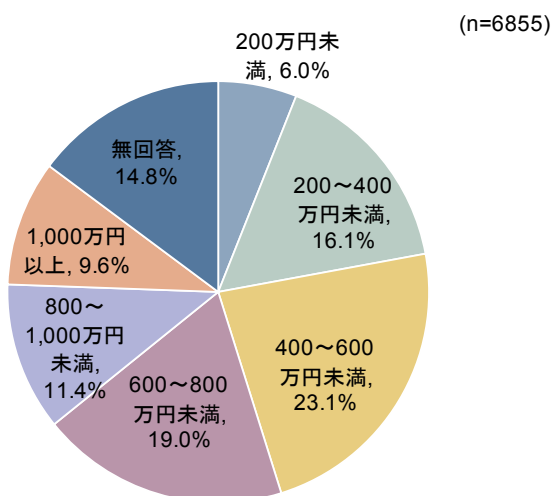
図表 45 回答者（左図）とその配偶者（右図）それぞれの就労状況（問8）



⑨回答者とその配偶者の年間収入の合計（問9）

回答者とその配偶者の年間収入の合計は、「400～600 万円未満」が 23.1%と最も割合が高い。次いで、「600～800 万円未満」（19.0%）、「200～400 万円未満」（16.1%）、「800～1,000 万円未満」（11.4%）、「1,000 万円以上」（9.6%）となっている。

図表 46 回答者とその配偶者の年間収入の合計（問9）



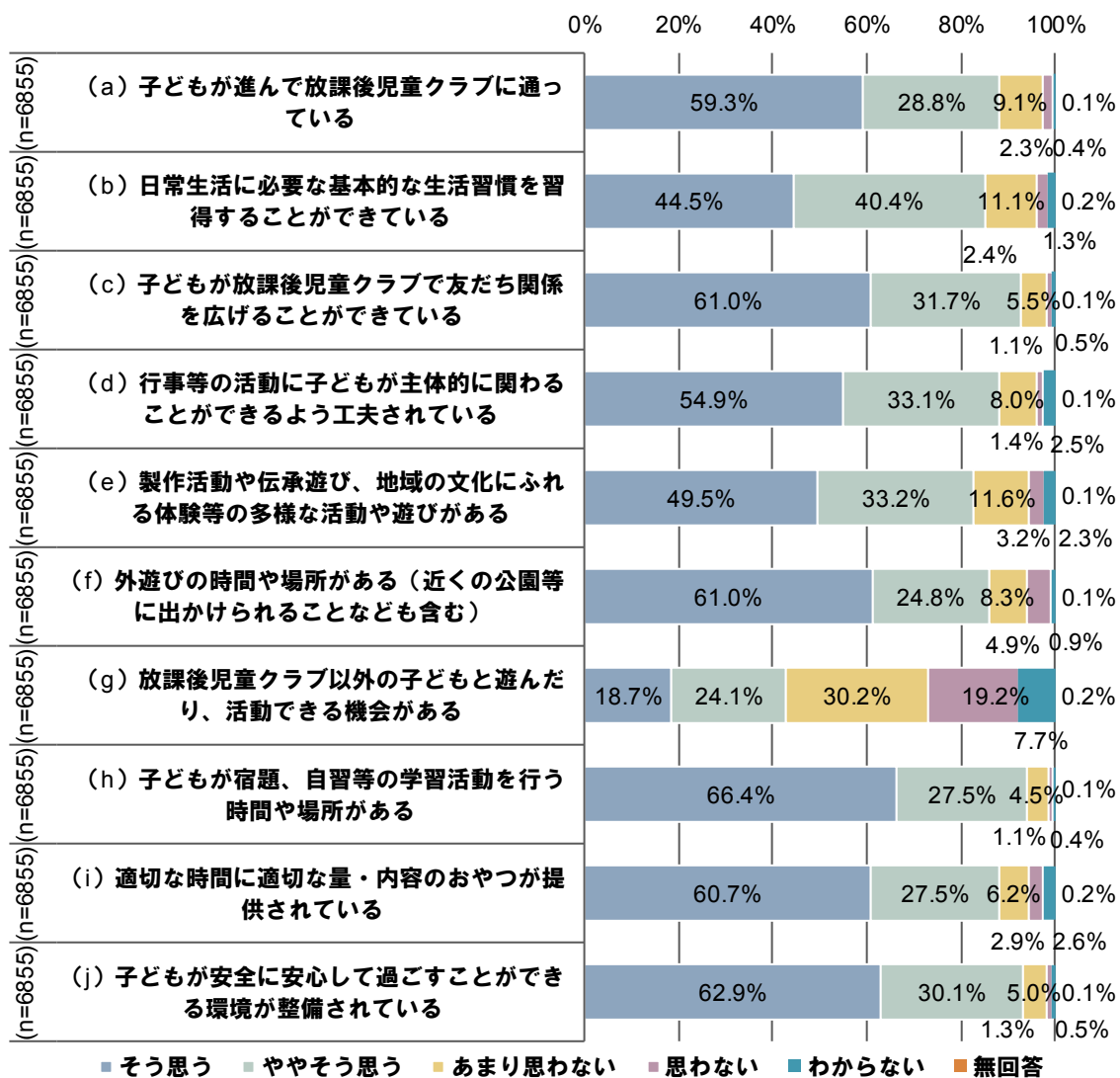
(2) 放課後児童クラブの実態

①放課後児童クラブでの活動や支援への取組度合い（問 10）

子どもが通っている放課後児童クラブで、以下(a)～(j)の活動や支援に関して、十分に取り組んでいると思うかを尋ねた。結果は、多くの項目で「そう思う」が6割程度、「ややそう思う」が3割程度となっている。

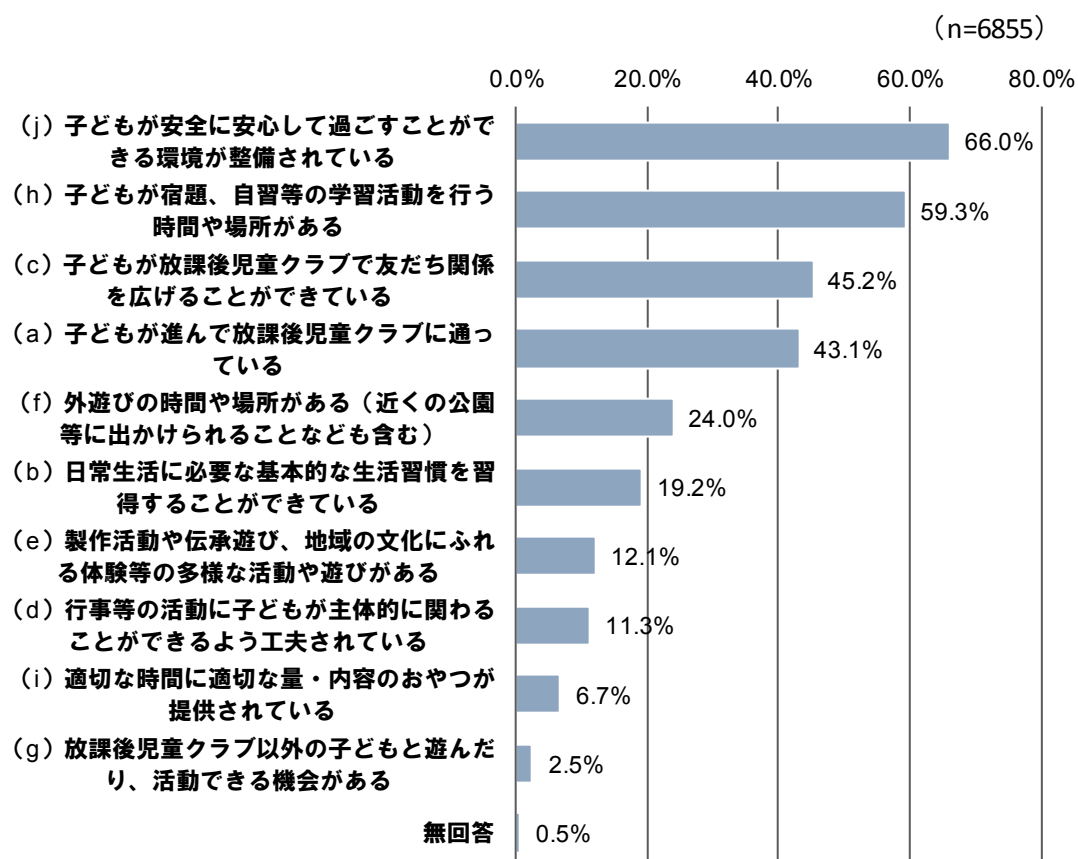
その中で、『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』については、「あまり思わない」が30.2%、「思わない」が19.2%と高い。『(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができる』、『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』については、「そう思う」がそれぞれ44.5%、49.5%と他の項目と比較して低い。

図表 47 放課後児童クラブでの活動や支援への取組度合い（問 10）



上記(a)～(j)の項目に示した活動や支援のうち、重視する項目を3つ選んでもらった。「(j)子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている」が66.0%と最も割合が高く、「(h)子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある」(59.3%)、「(c)子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができる」(45.2%)、「(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通っている」(43.1%)が次いでいる。

図表 48 放課後児童クラブでの活動や支援への取組での重視する項目（問 11）【3つの複数回答】



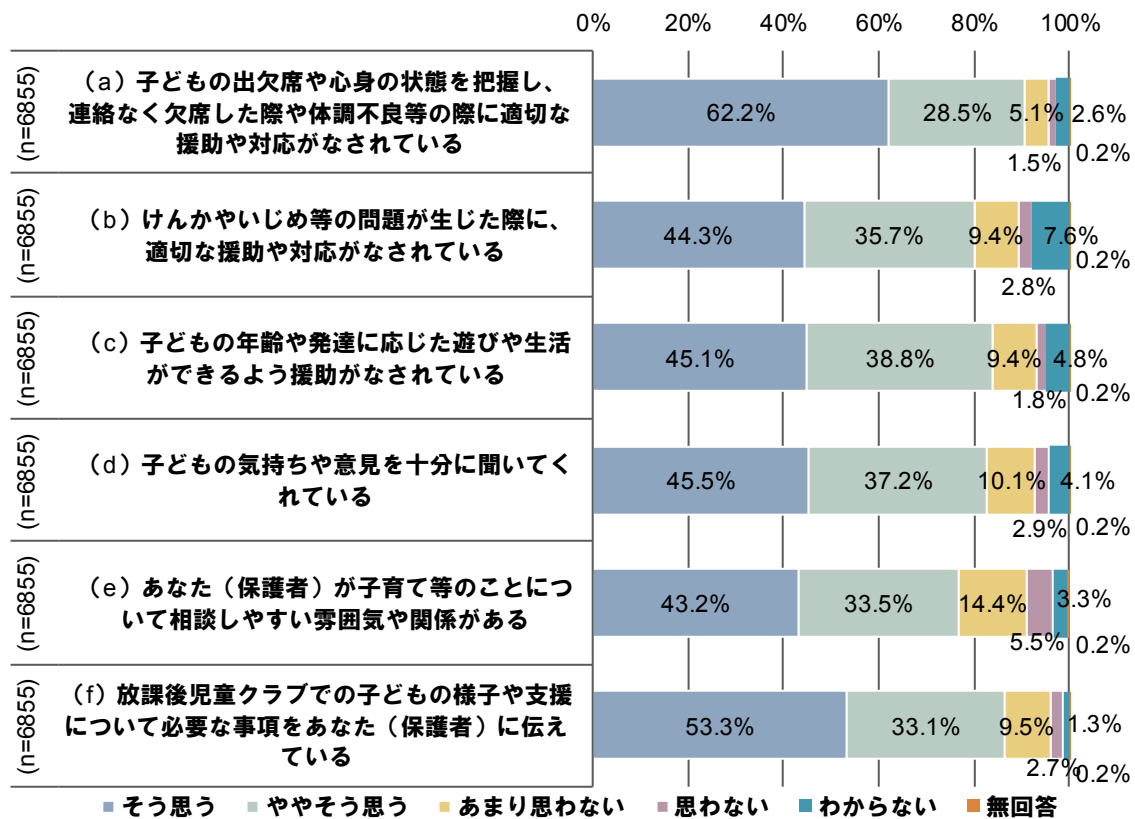
②放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わり度合い（問 12）

子どもが通う放課後児童クラブにおいて、以下(a)～(f)のような『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりについて、十分に取り組んでいると思うかを尋ねた。

『(a)子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応がなされている』、『(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や支援について必要な事項をあなた（保護者）に伝えている』については、「そう思う」割合がそれぞれ 62.2%、53.3%と高い。

『(b)けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応がなされている』、『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助がなされている』、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いてくれている』、『(e)あなた（保護者）が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』については、それぞれ「そう思う」割合が 45%程度、「ややそう思う」が 35%程度と、両者を合わせて8割程度になっている。

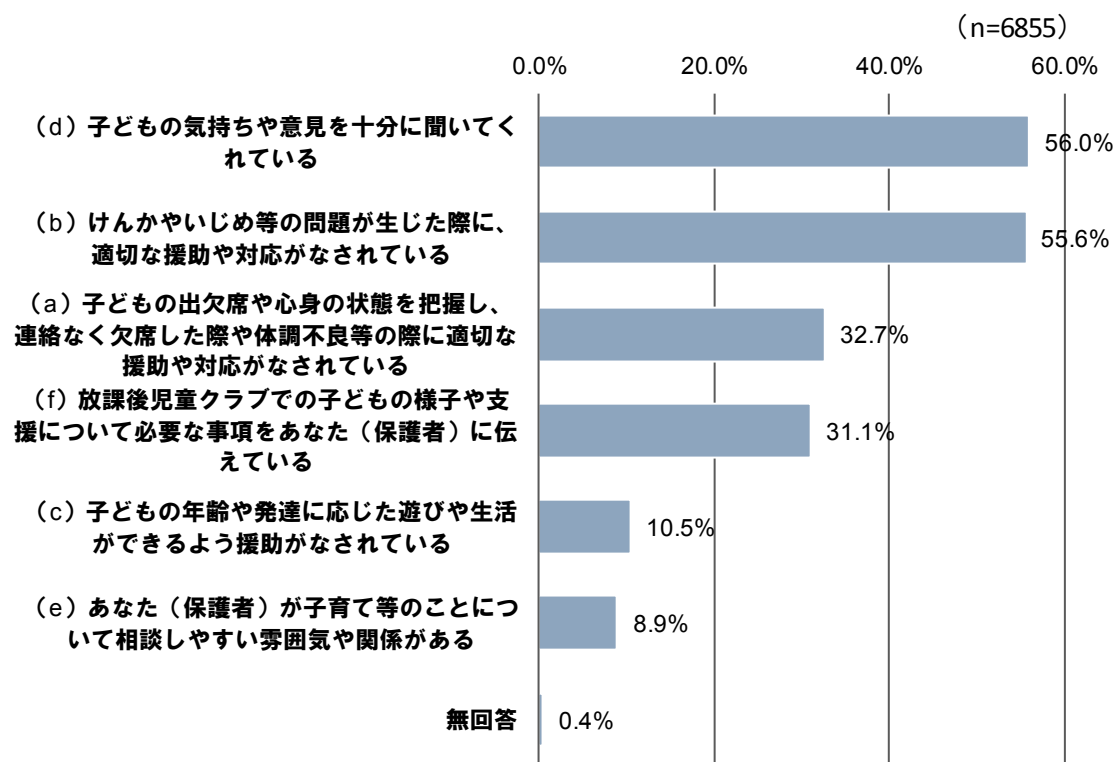
図表 49 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わり度合い（問 12）



上記(a)～(f)の項目に示した活動や支援のうち、重視する項目を2つ選んでもらった。

『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』(56.0%)、『(b)けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応がなされている』(55.6%)の割合が高くなっている。

図表 50 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや回答者への関わりで重視する取組(問13)



③放課後児童クラブに通わせてよかったこと、もしくは通わせている放課後児童クラブで行われていてよかったと思う取組（問 14）

放課後児童クラブに通わせてよかったこと、もしくは通わせている放課後児童クラブで行われていてよかったと思う取組を尋ねた。

主な回答内容は以下の通り。

【放課後児童クラブに通わせてよかったこと、放課後児童クラブで行われていてよかったと思う取組】

○安心して預けられる

- ・ 両親ともにフルタイムの仕事がある為、預かってもらえることが助かる。
- ・ 留守家庭と違って、大人の目があるので、安心して仕事ができます。
- ・ 放課後に安全な居場所が確保されていること。／等

○職員の対応が適切

- ・ 友達やスタッフの方が多くいる中で色々な活動に参加できること。
- ・ 友達と喧嘩したり仲良くなったり今しかできない経験、その解決策を導く手助けを先生方がしてくれ、何かあれば伝えてくれる。
- ・ 友達と喧嘩があった時の対応が、子供を成長させてくれるような対応の仕方なので、ありがたいです。
- ・ 友達との上手な付き合い方を学ぶよい機会。子どものことを小さい頃から知っている職員がいて、相談しやすい。／等

○子どもが楽しんでいる

- ・ 本人が喜んで通っている。／等

○遊びが充実している

- ・ 様々な種類の遊びを体験させてくれること。他の学年の子とも接する機会があること。
- ・ 遊びでのルールが守れる様になった。
- ・ 遊びに工夫がされている。
- ・ 遊び場、活動場所が広いのでおもいっきり遊べている様子がある。／等

○友達と楽しく遊んでいる

- ・ 両親とも共働きなので、学童で学習や友達と楽しく遊んでいる姿を見るとお家より学童に行かしてよかったと思う。
- ・ 様々な子たちと学年関係なく遊んでいるのがいいところだと思う。
- ・ 友達と楽しく遊べる事。外遊びも充実しておりそれに繋がる大会がある事。／等

○勉強ができています

- ・ 友達と勉強し、分からないところをお互いに教えあえる部分。
- ・ 宿題を自分でやる習慣がついた。／等

○イベントが実施されている

- ・ 様々な行事を企画していただき、家庭では経験できないようなことも体験させてもらえるのがありがたい。
- ・ 夕涼み会など、保護者が主体となる行事がある。

- ・ 友達との交流がひろがったり、キャンプがあったり自然とふれあうことができること。／等

○おやつが充実・工夫されている

- ・ おやつが好き嫌いが減った。
- ・ おやつが充実。
- ・ おやつが工夫されている事が有難い。／等

④放課後児童クラブに改善してほしいこと（問 15）

放課後児童クラブの運営や活動内容、支援の内容について改善してほしいことを尋ねた。

主な回答内容は以下の通り。

○役員の負担を減らして欲しい、保護者会運営での役員保護者の負担軽減

- ・ 保護者の負担が減るような運営を望む。
- ・ 保護者運営の学童なので、保護者の役員活動等があり大変。
- ・ 保護者が運営するのではなく、外部委託していただけると、役員などの重荷がなくなると思います
- ・ 保護者が運営している状態で働きながらの運営は大変である。国、県、市等からの援助が必要。
- ・ 役員や一人一役の仕事があるのは大変だなと思います。／等

○料金を安くして欲しい

- ・ 料金が高い。
- ・ 預り料金、延長料金が他の市町村よりかなり高額。
- ・ 高くなるので利用ができない。利用したい日だけ利用できるように戻してほしい。／等

○時間を延長して欲しい

- ・ 預かり時間を長くして欲しい。(9 時前や 17 時以降)。別料金でも良い。
- ・ 土曜日仕事の時間は平日と同じため、8 時から開始だったら助かる。／等

○休日・長期休暇時に対応して欲しい

- ・ 年末年始やお盆休みが長い事。
- ・ 日曜日祝日も運営してほしい。
- ・ 土曜日も開所してほしい。
- ・ 長期休暇中のみの利用ができれば良いと思う。／等

○対象学年を拡大して欲しい

- ・ 利用できるのが三年生までなのが、働く親としては 6 年生までに拡大してほしい。
- ・ 中・高学年も受け入れてほしい。
- ・ 利用希望に対する枠が絶対的に少なく、受入枠を増やしてほしい。
- ・ 利用人数が多く、利用に制限がかかることが困る。3 年生までしか利用できなく、4 年生の女の子を 1 人で留守番させなくてはならなくなる。不審者情報が多かったりするので、とても心配。／等

○職員スキル向上、処遇改善を希望

- ・ 有資格者を支援員として従事させてほしい。
- ・ 必要な職員の確保。子どもは年々増えているのに、職員が足りていないように感じる。
- ・ 先生の境遇を改善してあげてほしい。給料や勤務体制。
- ・ 落ち着いて子どもの話を聞いてくれる指導員がほしい。もしくは、そういった指導員を教育するシス

テムみたいなのがあれば良いと思う。／等

○子どもへの対応を充実して欲しい

- ・ 子供のいじめに対処して欲しい。
- ・ 例えば子どもが起こした問題があるとしたら、些細なことでもまず保護者に報告してほしい。現状を知るためにも全体的に報告して欲しい。
- ・ 走り回っている子や物を投げている子に対して声掛けだけでなく、適切に注意し必要であれば保護者に伝えて対応して欲しい。／等

○連絡方法の充実、徹底の希望

- ・ 欠席連絡をする際に留守番電話対応があれば、ありがたいです。
- ・ メールでの連絡が出来るようになると助かる。
- ・ 欠席の連絡をノートに書いて知らせ子どもも渡しているのに、連絡がないと電話が来ることが何度もあった。最近は口頭で伝えるようにしている。／等

○施設の充実

- ・ 遊べる場所と安全面の確保。
- ・ 洋式トイレがあると良い。
- ・ 不審者の対応策ができているのかが心配。施錠などの感覚が緩いように感じる。避難訓練などしてほしい。
- ・ 駐車場の改善
- ・ 設備の老朽化
- ・ 利用人数に対して、施設が狭い。／等

○学習支援の希望

- ・ 勉強面を徹底して欲しい。
- ・ 塾と提携してくれると助かる。／等

○イベント・行事

- ・ 製作活動や地域の文化にふれる体験の場をもっとふやしてほしいです。
- ・ 行事がもっとあってほしい。
- ・ 行事（保護者主導）が多すぎるので負担になる。／等

○食事・おやつ提供の充実

- ・ 土曜日もお弁当が発注できればいいと思う。
- ・ 長期休業中、お昼の準備をお願いしたい。
- ・ 毎日のオヤツの内容を質の良いものに。
- ・ おやつが多すぎるので適切な栄養量にしてほしい。
- ・ おやつが全て市販品なので、せめて果物など出して頂けると有り難い。／等

○運動の機会増の希望

- ・ 体育館の活動がもう少しあれば良いと思う。
- ・ 体を動かすことがあると良い。／等

○病気・怪我への対応

- ・ 体調の悪い子は、部屋を分けてほしい。病人がゆっくりできる他、感染を防ぐため。部屋が狭いの

で、改善してほしい。

- ・ 体調が悪い事など小さな事でも報告して欲しい。帰りの際はちゃんと子供や親を見てあいさつして欲しい。ケンカなどがあれば、両方の話を聞いてから注意して欲しい。
- ・ 急な発熱で、お迎えに行けない場合の対応が充実していたら嬉しい。
- ・ 子供が怪我をしたときに緊急体制を表にするなど明確にしてほしい。／等

○災害時の対応

- ・ 台風などにより急に休みになると困る。保育園はあいているのに。前日に判断せず、その日の状況で判断してほしい。
- ・ 警報で学校が休みの日も通えたら、仕事上とても助かる。安全面の問題で無理なことは理解していますが、働く親としての本音です。／等

⑤放課後児童クラブに対する満足度（問 16、問 17、問 18）

放課後児童クラブに対する満足度を尋ねた。

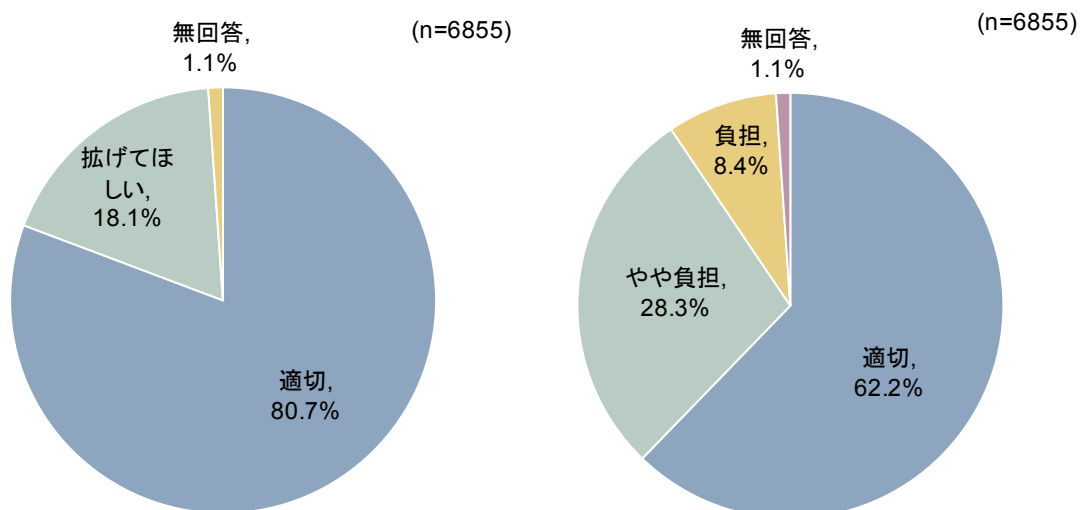
『(a)対象学年』については、「適切」が 80.7%と最も割合が高い。

『(b)利用料』については、「適切」が 62.2%と最も割合が高い。

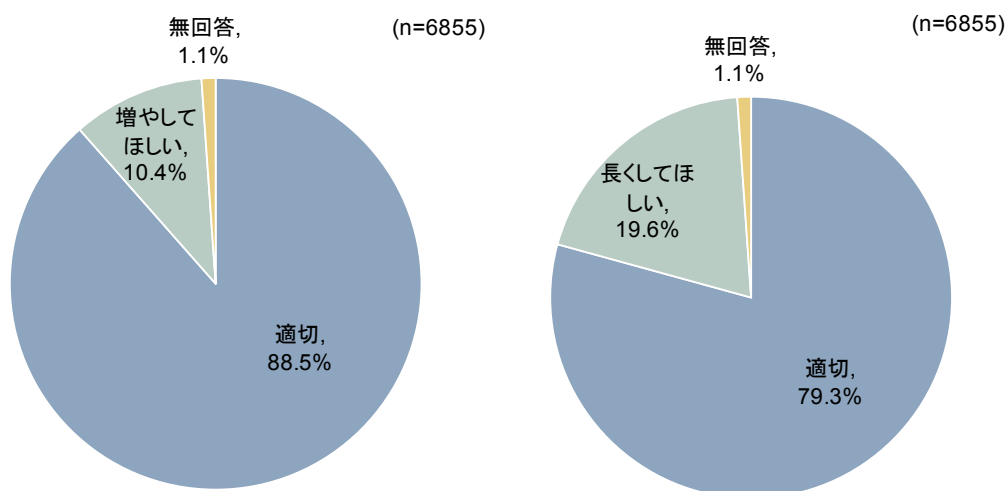
『(c)開所日』については、「適切」が 88.5%と最も割合が高い。

『(d)開所時間』については、「適切」が 79.3%と最も割合が高い。

図表 51 放課後児童クラブに対する (a) 対象学年（左図）、(b)利用料（右図）の満足度（問 16）



図表 52 放課後児童クラブに対する満足度 (c) 開所日（左図）、(d)開所時間（右図）の満足度（問 16）



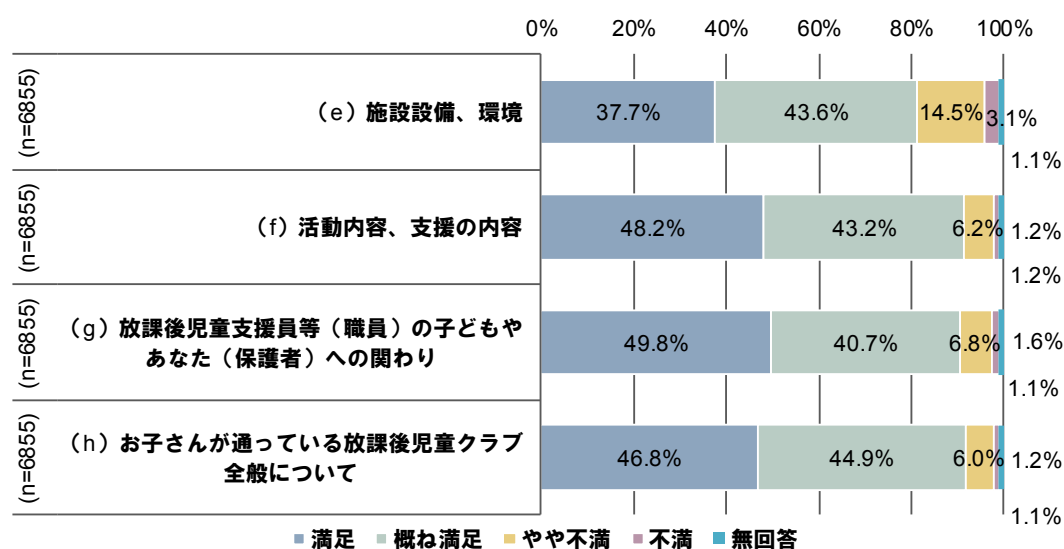
『(e)施設整備、環境』については、「概ね満足」が 43.6%と最も割合が高く、「満足」(37.7%)が次いで高い。

『(f)活動内容、支援の内容』については、「満足」が 48.2%とほぼ半数を占める。「概ね満足」(43.2%)と合わせると 9 割を超えている。

『(g)放課後児童支援員等(職員)の子どもやあなた(保護者)への関わり』については、「満足」が 49.8%とほぼ半数を占める。「概ね満足」(40.7%)と合わせると 9 割を超えている。

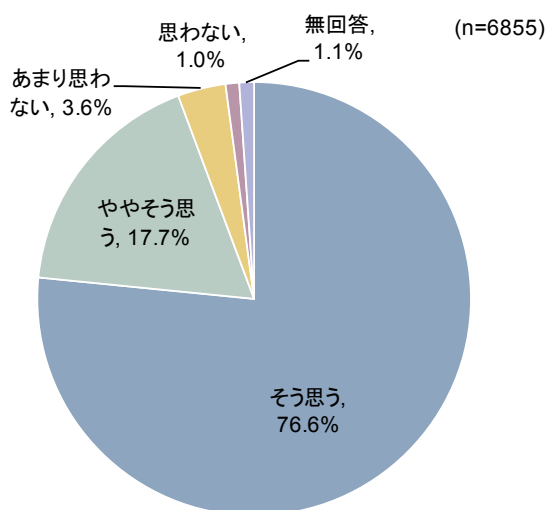
『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』では、「満足」が 46.8%と割合が高い。「概ね満足」(44.9%)と合わせると 9 割を超えている。

図表 53 放課後児童クラブに対する、満足度 ((e) ~ (h)) (問 16)



『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』については、「そう思う」が 76.6%と最も割合が高い。

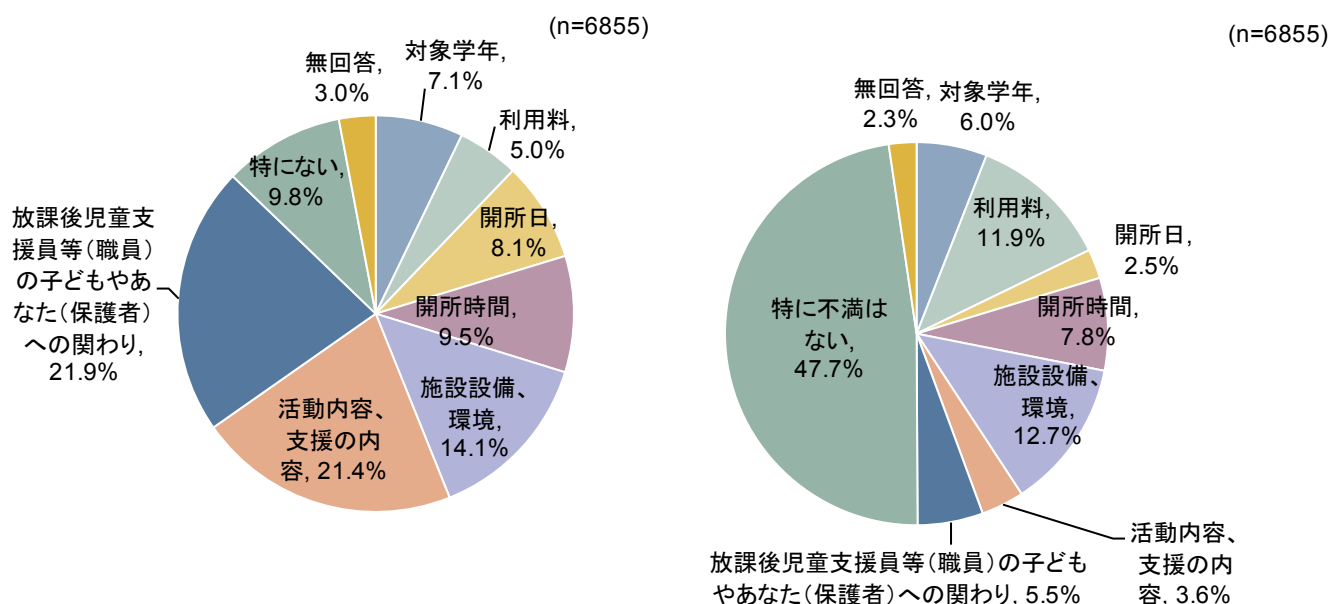
図表 54 放課後児童クラブに対する満足度 ((i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか) (問 16)



子どもが通う放課後児童クラブで最も満足しているものと、最も不満なものを尋ねた。最も満足しているものは、「放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり」が 21.9%、「活動内容、支援の内容」が 21.4%と割合が高くなっている。

最も不満なものは、「特に不満はない」が 47.7%と約半数を占め最も割合が高い。不満なものとしては、「施設整備、環境」（12.7%）、「利用料」（11.9%）、「開所時間」（7.8%）等で高くなっている。

図表 55 放課後児童クラブについて最も満足しているもの（左図）、最も不満なもの（右図）（問 17、問 18）



子どもが通う放課後児童クラブで最も満足しているものについて、満足している理由を尋ねた。主な回答内容は以下の通り。

【放課後児童クラブで最も満足しているものについての理由（問 17）【自由記述】

○全体に満足している

- ・ 全般、満足しています。
- ・ 預かっていただけることで満足です。／等

○安心である

- ・ 遊びの時も一緒に行動してくれている。安心できます。
- ・ 安心して子どもを預けてられる環境が整っているから。／等

○子どもを預けることができる

- ・ 預ける場所があるので安心して働くことができ感謝している。
- ・ フルタイムで仕事をしているため、放課後に子供を安心して預けられる環境はとてもありがたいです。／等

○土日・休日・長期休暇の対応がある

- ・ 土曜日も開所している。
- ・ 長期連休でも預けることができるから。／等

○利用時間が長い

- ・ 夕方の預り時間が仕事を終える時間に合っていること。
- ・ 夜8時まで利用できるのも、残業等で遅くなった時も安心できる。
- ・ 朝早くやってくれ、延長までの時間が長いこと。／等

○料金が安い

- ・ 利用料金が安い。
- ・ 民間に比べてとても安い。
- ・ 他の地域に比べて安い。／等

○6年生まで預かっている

- ・ 6年生まで預かってくれるから。
- ・ 全学年を対象としているから。／等

○職員の対応がよい

- ・ 話しやすく子供の様子を教えてくれる。
- ・ 優しい方ばかりで大変助かってます。
- ・ 目が行き届き、それぞれの個性にも合わせた丁寧な指導、見守りがある。
- ・ 先生方が信頼できるから。
- ・ 親や子どもの悩みや気持ちを親身になって聞いてくれる。
- ・ 友達と喧嘩をした時、悪い事をした時に子供の気持ちを聞いて対処をしてくださる所。／等

○子どもが楽しんでいる

- ・ 子供自身が楽しんでいるから。
- ・ 子供が毎日楽しく通っている。／等

○勉強時間が取られている

- ・ 勉強時間と遊び時間がきっちりしている。
- ・ 宿題を行う雰囲気を作ってくれている。宿題は必ず終わらせてくれるので。／等

○遊びが充実している

- ・ 遊戯室などで体を動かす事ができるので、子供が喜んでいる。
- ・ 遊びを工夫してくれている。
- ・ 外遊びが多く伸び伸び遊べる。／等

○友達との関係が良好

- ・ 友達と多くかかわれるところ。
- ・ 同じ学年の同性が多い為、子供が嫌がらず行ってくれる。
- ・ 同じ学年の子供たちで一緒なので、クラスを越えてお友達ができているので。
- ・ 友達や異年齢、様々な年齢の大人との関わりが出来る為。／等

○イベントがある

- ・ 様々なイベントがあるから。
- ・ 毎月、いろいろな行動を考えてくれるので有り難いです。

- ・ 色々な体験や年齢をこえた関わりを積極的にしているところ。／等

○立地がよい

- ・ 職場に近い。
- ・ 小学校に隣接している。
- ・ 自宅から近い事。／等

○施設が充実している

- ・ 施設も綺麗で勉強机がある。
- ・ 子供の人数に合った広さである。／等

子どもが通う放課後児童クラブで最も不満なものについて、不満がある理由を尋ねた。
主な回答内容は以下の通り。

【放課後児童クラブで最も不満なものについての理由（問 18）【自由記述】】

○料金が高い

- ・ 料金が安い。兄弟が多いので、負担が大きいです。
- ・ 利用料について地域差がある。
- ・ 利用料金が他の市町村の学童よりかなり高額のため、助成などを受けられるようにしてほしい。／等

○対象学年の拡大

- ・ 6年生まで預けられる環境が欲しい。今のままだと仕事時間の変更や退職も考えていけないといけなく不安。／等

○開所時間の延長

- ・ 預かり時間をもう少し早く＆遅くしてほしい。
- ・ 夜間延長が、有料でもよいので設置して欲しい。
- ・ 保育園より閉まるのが早いのでお迎えが大変。
- ・ 別途費用負担ありでも延長預かりをしてほしい。／等

○開所期間の拡大

- ・ 連休日にできるだけ開所してほしい。
- ・ 両親ともに祝日が仕事のため、料金が割高になっても構わないので祝日も開館してもらえると助かります。
- ・ 両親が共働きで、土日祝も仕事があることがあり、対応してほしい。／等

○保護者の負担大

- ・ 役員制度があること、毎月集会が開かれることが煩わしい。
- ・ 保護者運営のため役員保護者の負担が大きい。仕事を休んだり休日に招集されたりするのは嫌。利用料を上げてでも保護者の負担を無くしてほしい。／等

○母子家庭への対応

- ・ 母子家庭には負担が大きい。就学時援助の対象にならないのかと思う。／等

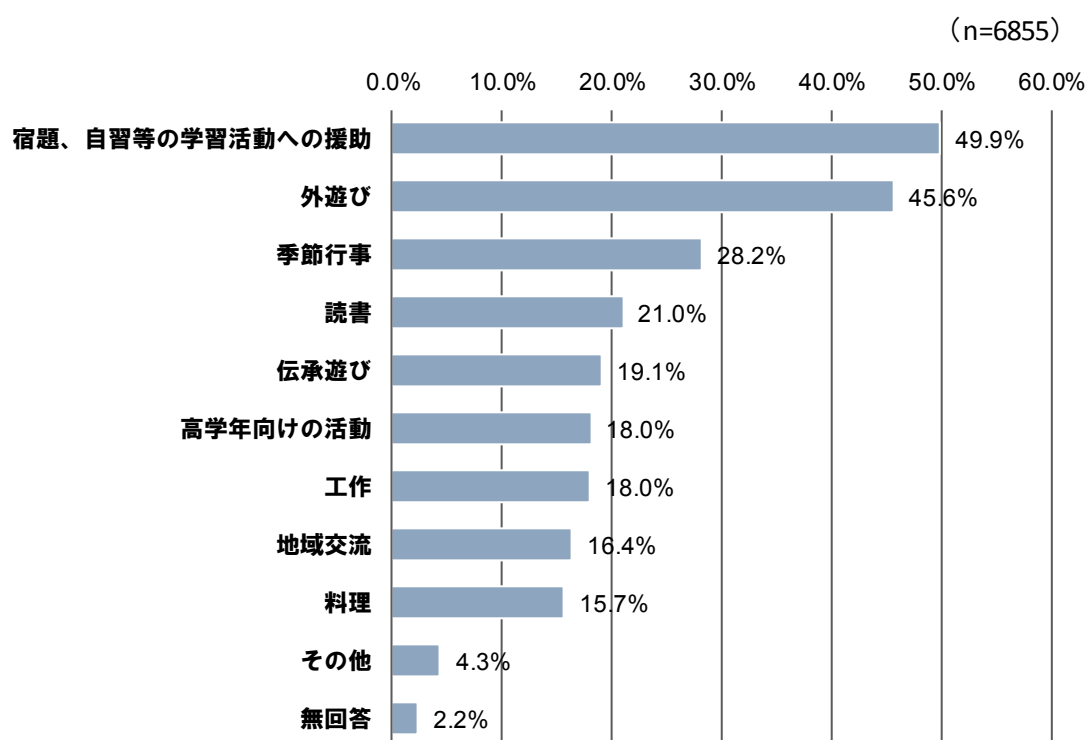
○設備の充実

- ・ 老朽化しすぎて出入り禁止の部屋が多い。
- ・ 冷暖房の設備
- ・ 利用人数が増えているのに施設が狭い。なかなか増設してもらえない。
- ・ 洋式トイレがないこと。階段が狭いこと。／等

⑥今後充実させて欲しい活動内容（問 19、問 20）

放課後児童クラブの活動として、今後充実させてほしい内容を3つ挙げてもらった。結果は、「宿題、自習等の学習活動への援助」が49.9%と半数を占め最も割合が高く、「外遊び」（45.6%）、「季節行事」（28.2%）が次いで高くなっている。

図表 56 今後充実させて欲しい活動内容（問 19）【3つの複数回答】



※「その他」の具体的内容は「満足している」「習い事の送迎サービス」「習い事のような時間（英会話など）」「そろばんや塾等の習い事を増やして欲しい」「スポーツ系、プログラミングなどのスクール」「指導員の人材確保」「指導員の処遇改善」「遠足などの行事」等であった。（未分類あり）

【今後充実して欲しい活動内容（問 20）【自由記述】】

○特になし、満足している

- ・ 特になし。他の学童の話をきいても、色々やってくださっているので、満足している。
- ・ 今のままでも十分してもらっているので特にないです。
- ・ 無理しないで安全に子供を預かっていただけたらこちらとしては十分満足です。／等

○長期休暇時について

- ・ 長期休暇時のみの受け入れ

- ・ 長期休暇の受け入れ時間の延長、祝日の受け入れを実施して頂けたら助かります。／等

○利用対象の拡大

- ・ 高学年も入所をお願いしたい。／等

○開所時間の拡大

- ・ 預けられる時間を増やして欲しい。
- ・ 時間延長制度 ／等

○料金の軽減

- ・ 利用料金の軽減
- ・ 母子家庭の無料化
- ・ 無償化
- ・ 利用日数だけの月謝にしてほしい。／等

○職員の充実、保障

- ・ 支援員の育成。
- ・ 支援員のみなさんへの充実した保障や環境。
- ・ 支援の先生の増員 ／等

○勉強時間の確保

- ・ 宿題をする時間をしっかり設けてほしい。
- ・ 宿題、自学の時間を増やす。／等

○習い事ができること

- ・ 習い事
- ・ 英語学習
- ・ 料理教室
- ・ クラブ内で講師を招き習い事(習字、そろばんなど)ができる。／等

○有料サービスの提供

- ・ 民間の施設のように有料で習い事ができると良いと思った。(習字、英語など)／等

○食事の提供

- ・ 長期休暇の食事の提供をしてくだされば助かります。
- ・ 夏休みなどのお弁当を給食にしてほしい。働きながら小さいこどものお弁当を作るのが大変なので。
- ・ 手作りおやつ ／等

○外遊び時間の増加

- ・ 外遊びの時間を増やしてほしい。／等

○イベントの実施

- ・ 親同士の交流会など。
- ・ 親子イベント。
- ・ お泊まり行事 ／等

○地域交流、ボランティア活動の実施

- ・ 地域の方とのコミュニケーション

- 地域の社会見学
- 老人ホーム等、色々と交流がはば広い世代と、出来ると良い。子供達が、その地域に何か活動後援等も出来ればよい。／等

Ⅳ. 育成支援に関するクロス分析

1. クロス分析の目的と方法の概要

(1) クロス分析の目的

本章では、放課後児童クラブの所在する自治体の特徴、放課後児童クラブの特徴、保護者の特徴を分析軸として、放課後児童クラブの育成支援の実施度合いとの間でクロス分析を行った。クロス分析は、放課後児童クラブにおける育成支援への取組状況や、保護者の育成支援に対する意識の共通点や相違点がどのような要素と関連して現れているのかをみることが目的である。

放課後児童クラブ責任者調査における育成支援への取組状況の回答は自己評価であり、本調査結果が第三者評価のように客観性の高い評価とは異なることに留意が必要である。

(2) クロス分析の方法の概要

クロス分析に当たっては、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果の比較がしやすいように、以下の指標を分析に用いた。

なお、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査で同様の内容を対比して記載している設問（それぞれ、問 10 と問 10 の(a)～(j)、問 11 と問 12 の(a)～(f)）については、放課後児童クラブ責任者調査での質問項目を表記した（なお、両調査で質問の趣旨は同じである）。

■放課後児童クラブ責任者調査

- ・ 問 10、問 11、問 12（選択肢は「十分取り組んでいる」「取り組んでいるが、不十分」「取り組めていない」）
⇒ 「十分取り組んでいる」の割合

■保護者調査

- ・ 問 10、問 12（選択肢は「そう思う」「ややそう思う」「あまり思わない」「思わない」「わからない」）
⇒ 「そう思う」の割合
- ・ 問 16（選択肢は、(a)～(d)は「適切」など、(e)～(h)は「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」、(i)は「そう思う」「ややそう思う」「あまり思わない」「思わない」）
⇒ (a)～(d)は「適切」の割合、(e)～(h)は「満足」の割合、(i)は「そう思う」の割合

2. 所在自治体の特徴別のクロス分析

(1) 都市類型別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

【放課後児童クラブ責任者調査】

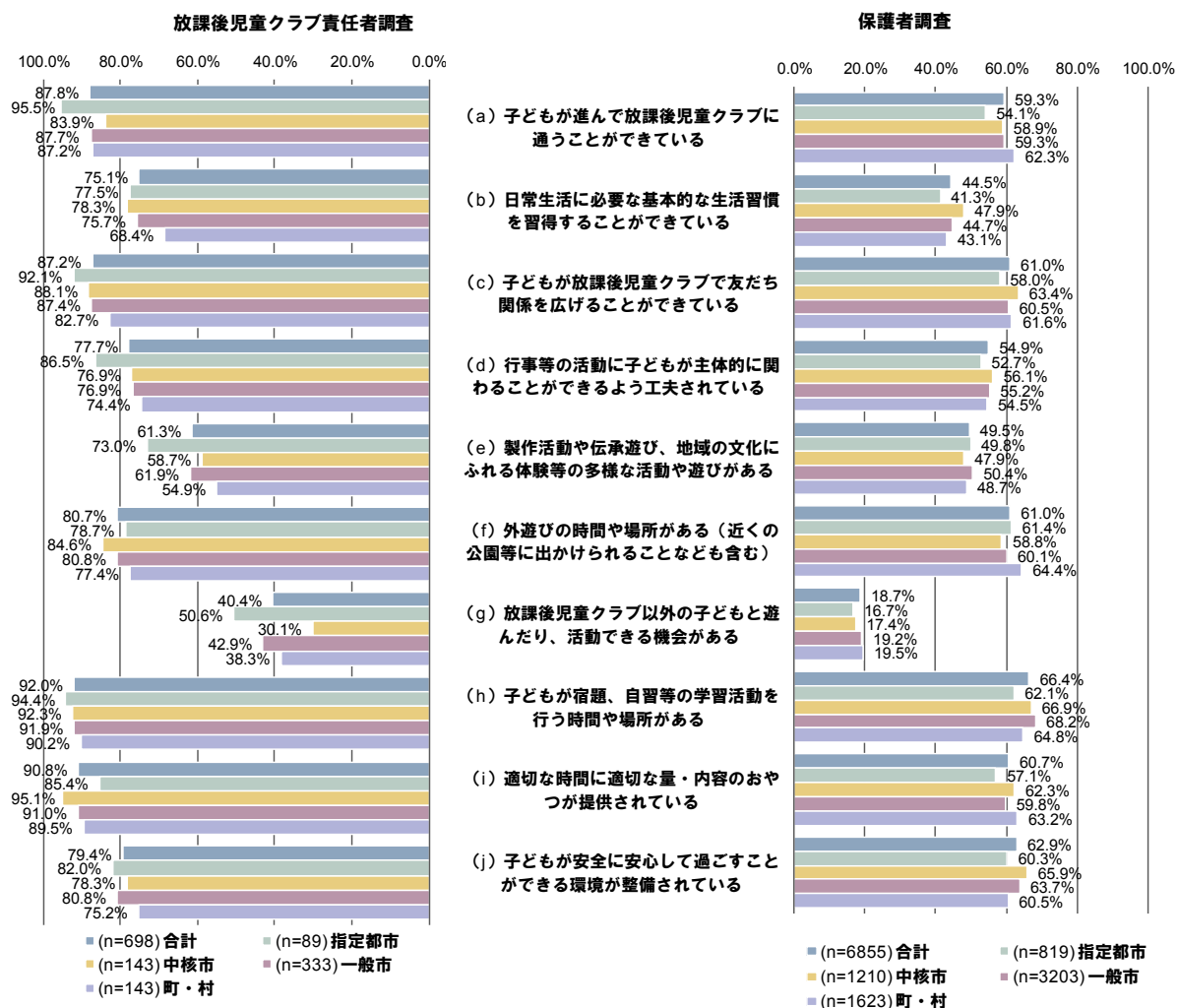
『(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができている』、『(d)行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている』、『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』等の多くの項目について、『指定都市』で、「十分に取り組んでいる」割合が高い。

『指定都市』に次いで、『中核市』、『一般市』でも「十分に取り組んでいる」割合が高い。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、都市類型による大きな違いはみられない。

図表 57 〔都市類型別〕【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



※『村』については、回答数が少ないため「町」と統合して集計した。以下同様。

②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

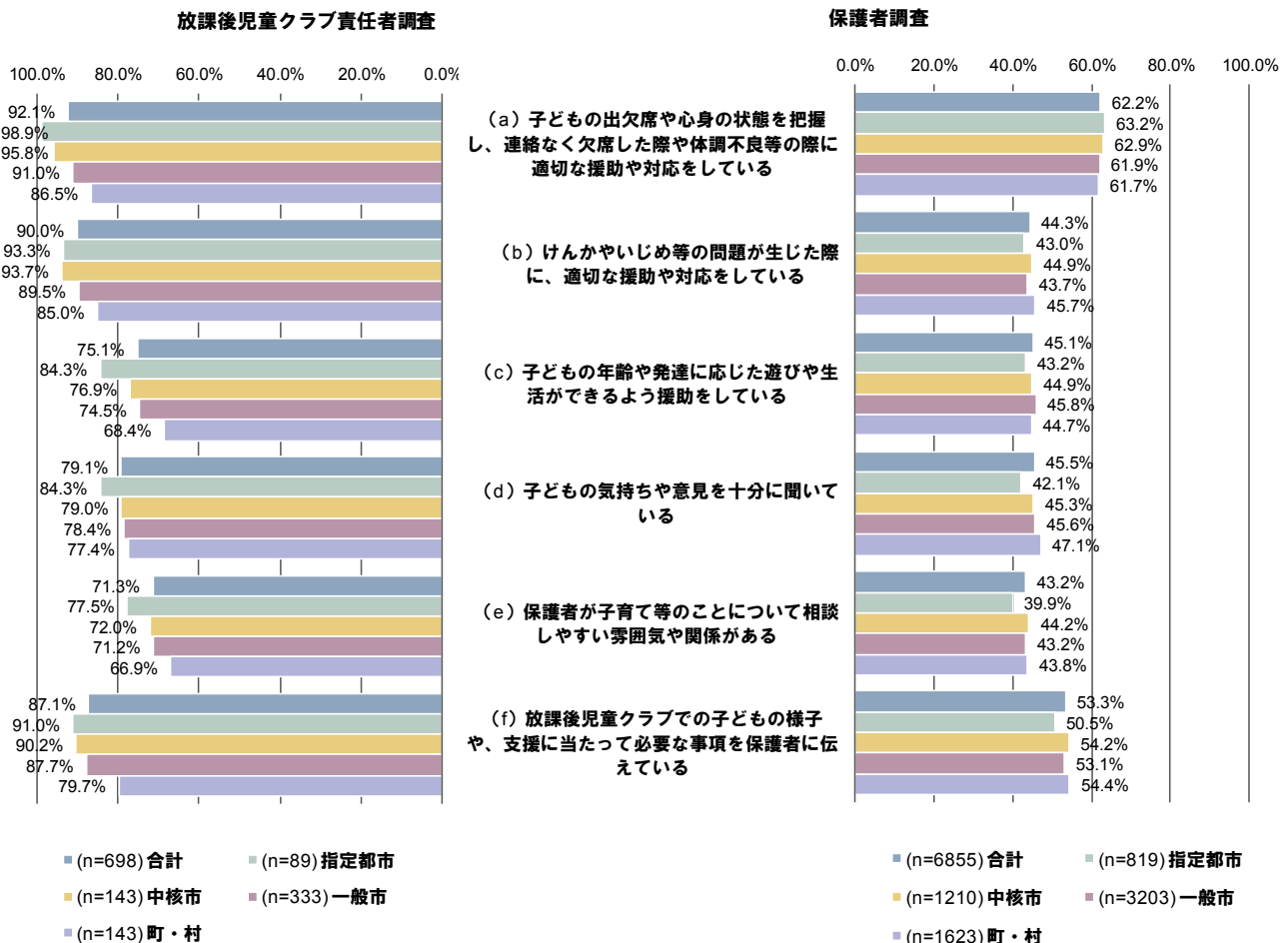
【放課後児童クラブ責任者調査】

多くの項目について、『指定都市』、『中核市』で「十分取り組んでいる」割合が高い。

【保護者調査】

『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、『(d) 子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』、『(e) 保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』、『(f) 放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている』について、『指定都市』でやや低くなっている。

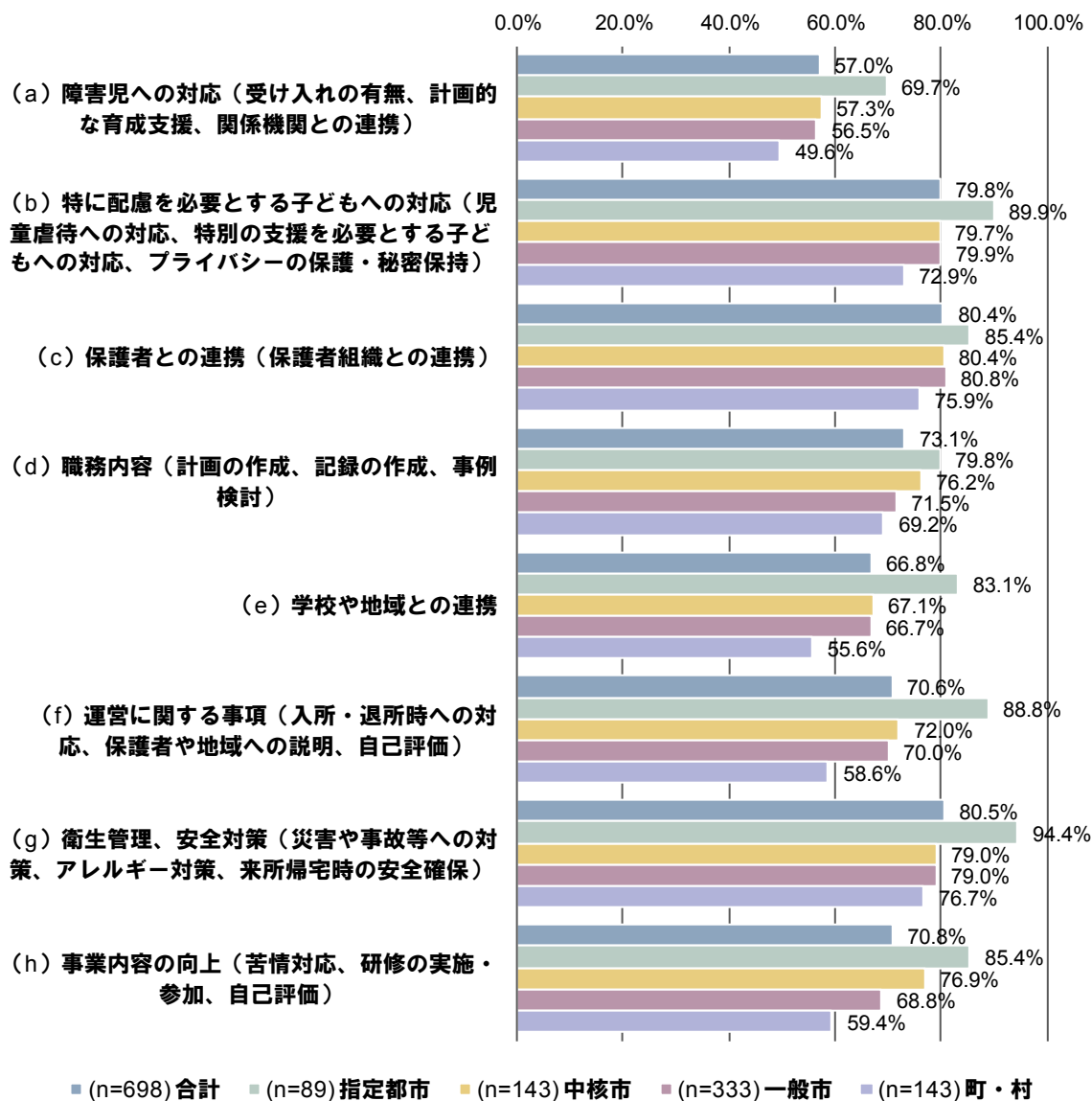
図表 58 〔都市類型別〕【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

全ての項目について、『指定都市』で「十分取り組んでいる」割合が高く、『町・村』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

図表 59 「都市類型別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）



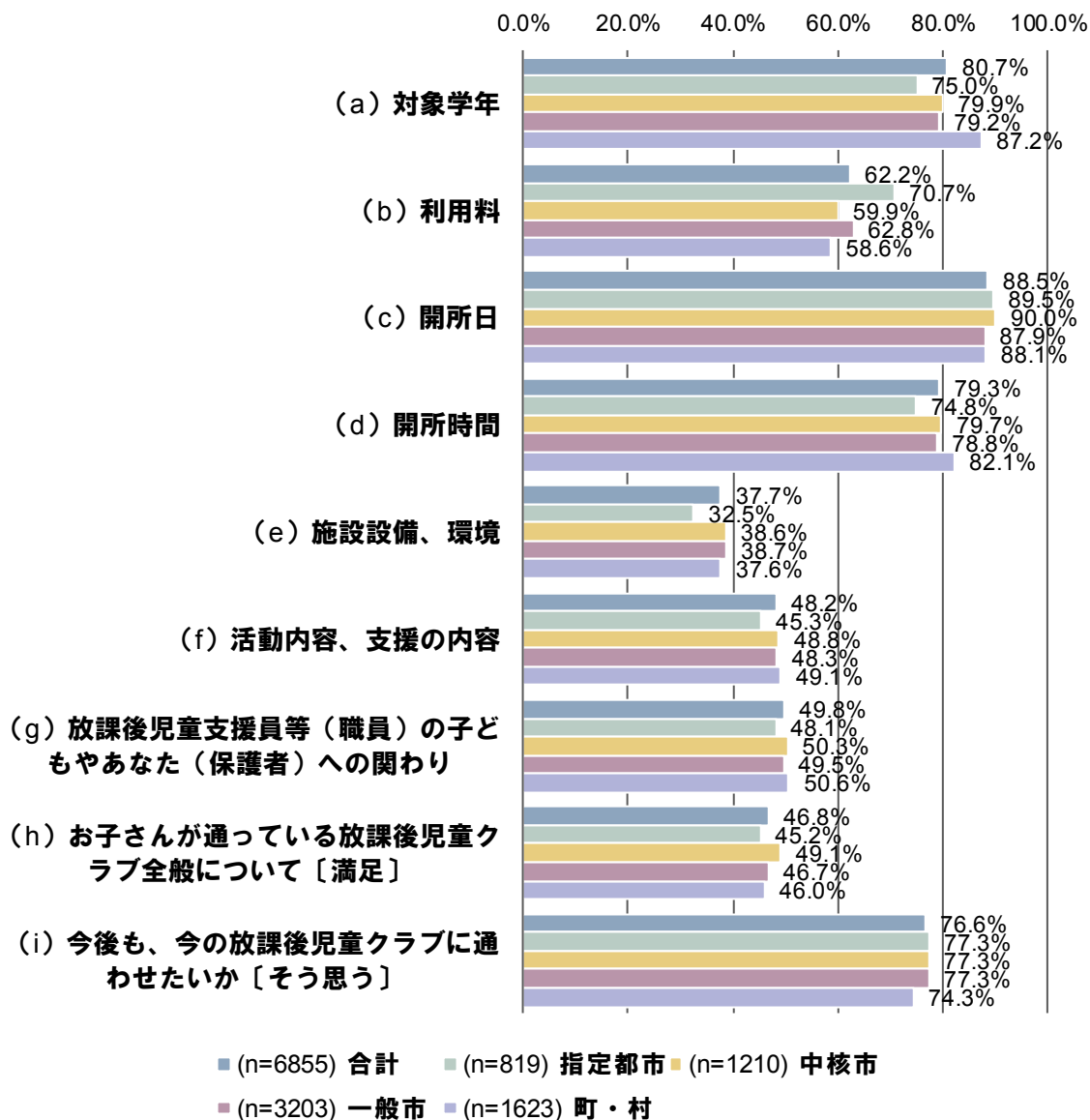
④放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(a)対象学年』、『(d)開所時間』について、『町・村』で「適切」の割合が高い。

『(b)利用料』について、『指定都市』で「適切」の割合が高い。

その他の項目については、都市類型による違いはほとんどみられない。

図表 60 〔都市類型別〕放課後児童クラブへの満足度：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

(2) 所管部署別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

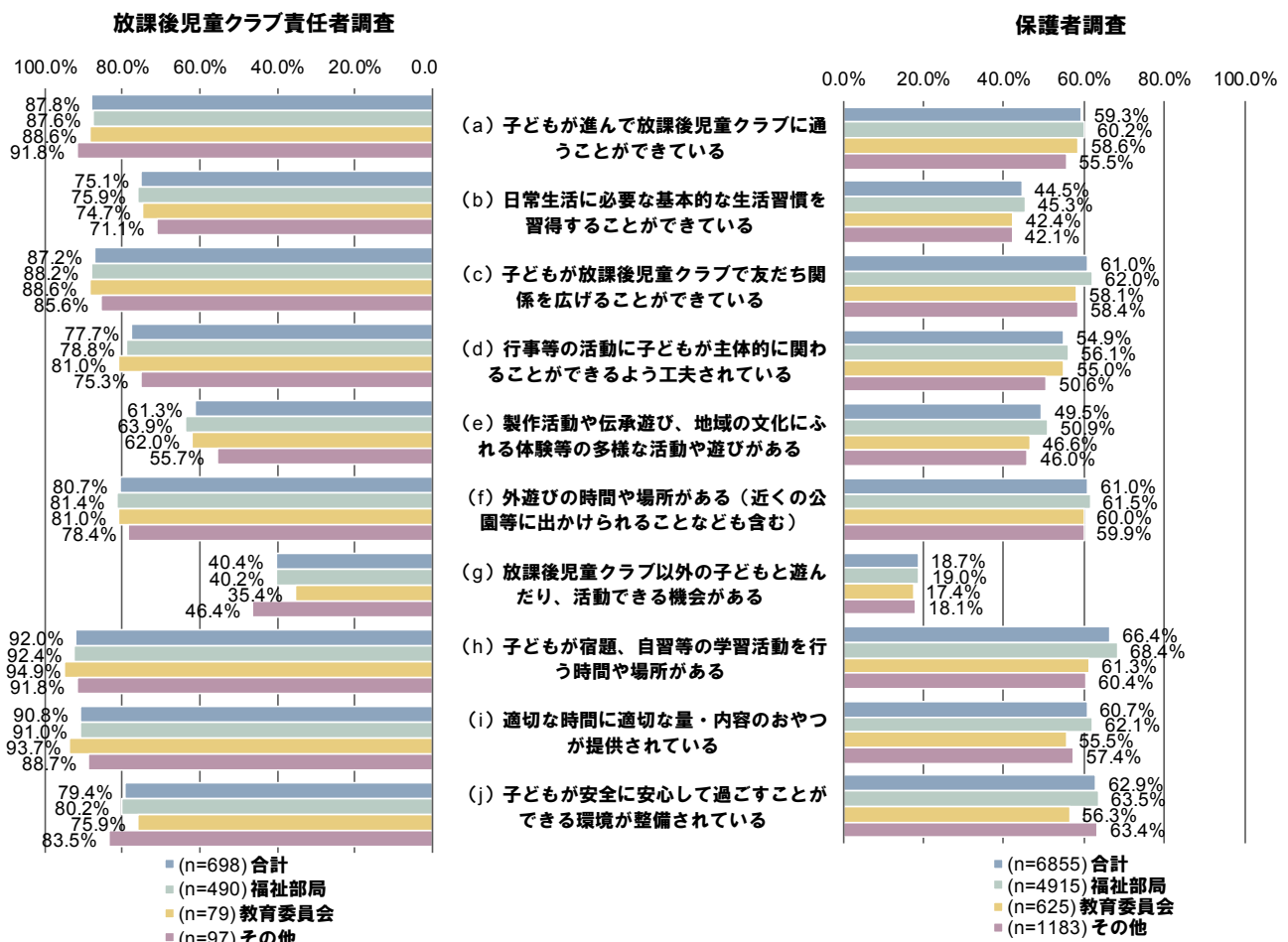
【放課後児童クラブ責任者調査】

活動や育成支援に関する取組の状況について、所管部署による違いはほとんどみられない。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『福祉部局』でやや高くなっている。

図表 61 〔所管部署別〕【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

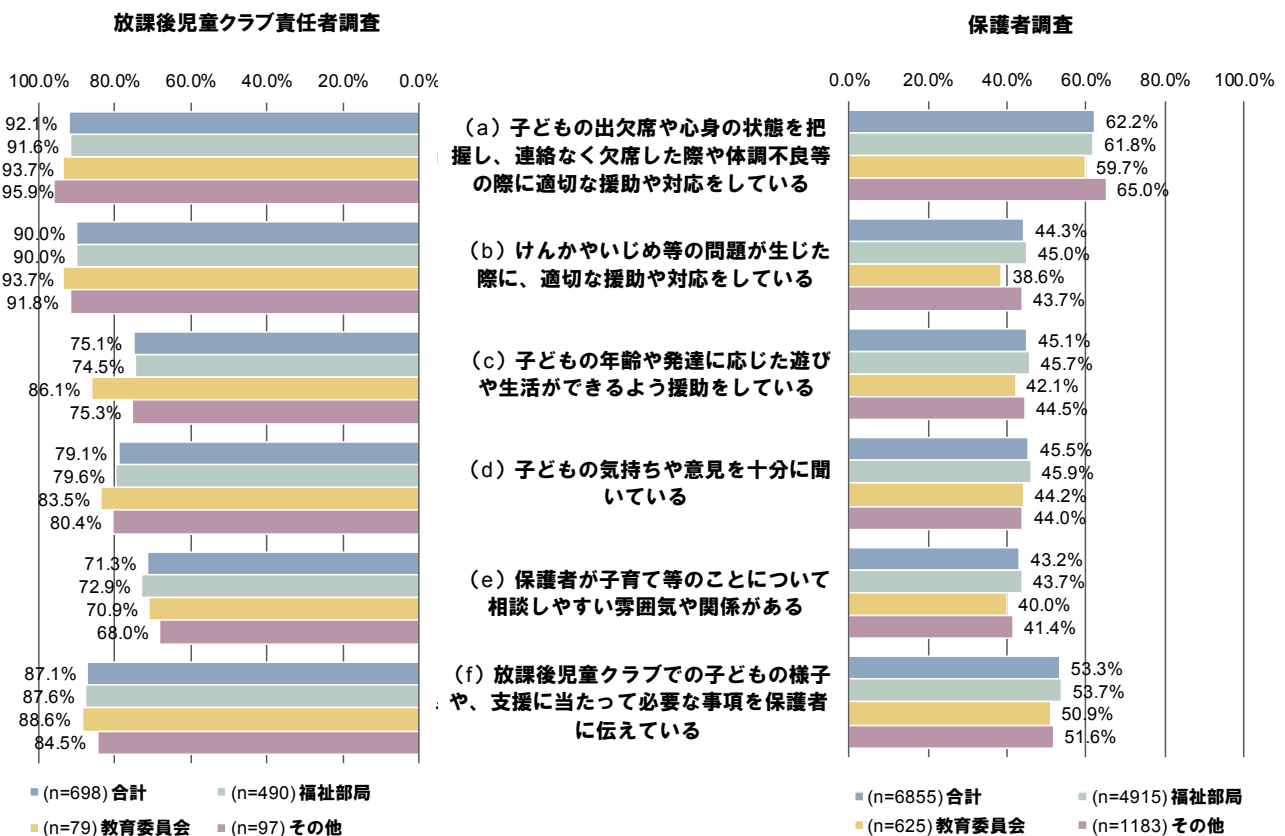
【放課後児童クラブ責任者調査】

『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている』などの項目について、『教育委員会』で、「十分取り組んでいる」割合が高い。

【保護者調査】

『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に「取り組んでいると思うか」に対して、保護者が「そう思う」割合は、『(b)けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応がなされている』などの項目について、『福祉部局』で高い。

図表 62 「所管部署別」【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）

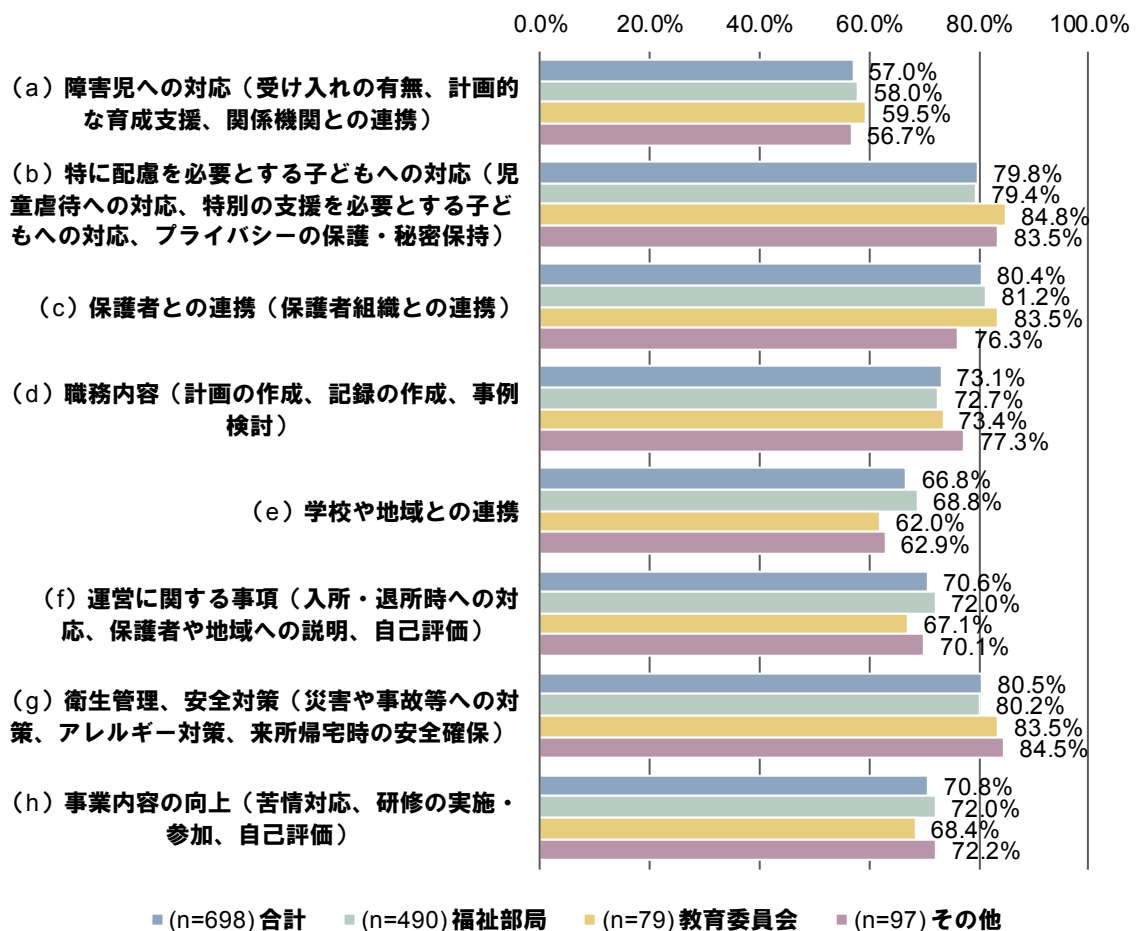


③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

『(e) 学校や地域との連携』『(f) 運営に関する事項（入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価）』については、『福祉部局』で、「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。

『(b) 特に配慮を必要とする子どもへの対応（児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持）』については、『教育委員会』で、「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。

図表 63 「所管部署別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）



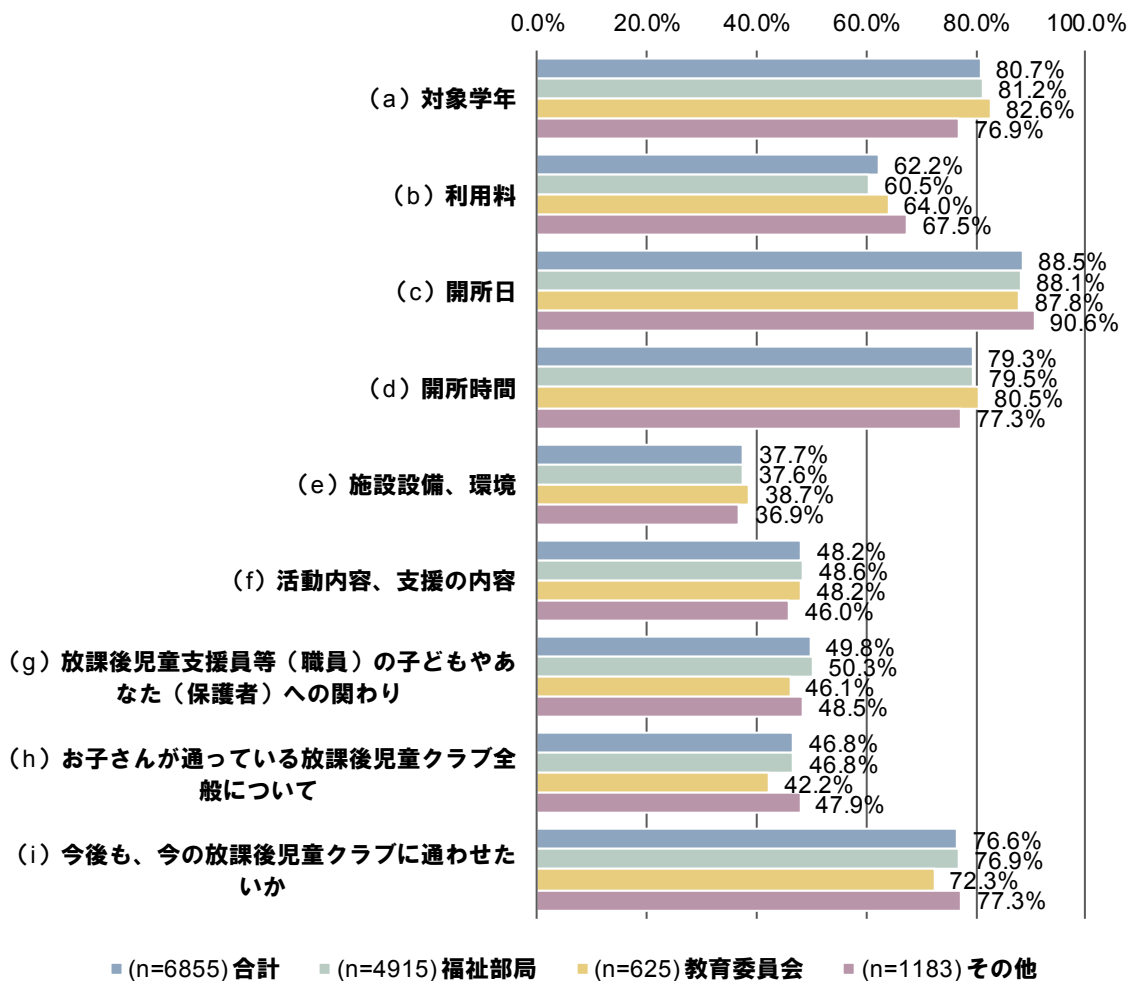
④放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(b)利用料』について、保護者が「適切」とする割合は、『教育委員会』でやや高い。

『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、保護者の「満足」の割合は、『福祉部局』がやや高い。

『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、保護者が「そう思う」割合は、『福祉部局』でやや高い。

図表 64 「所管部署別」放課後児童クラブへの満足度：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

3. 放課後児童クラブの属性等別のクロス分析

(1) 設置運営別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

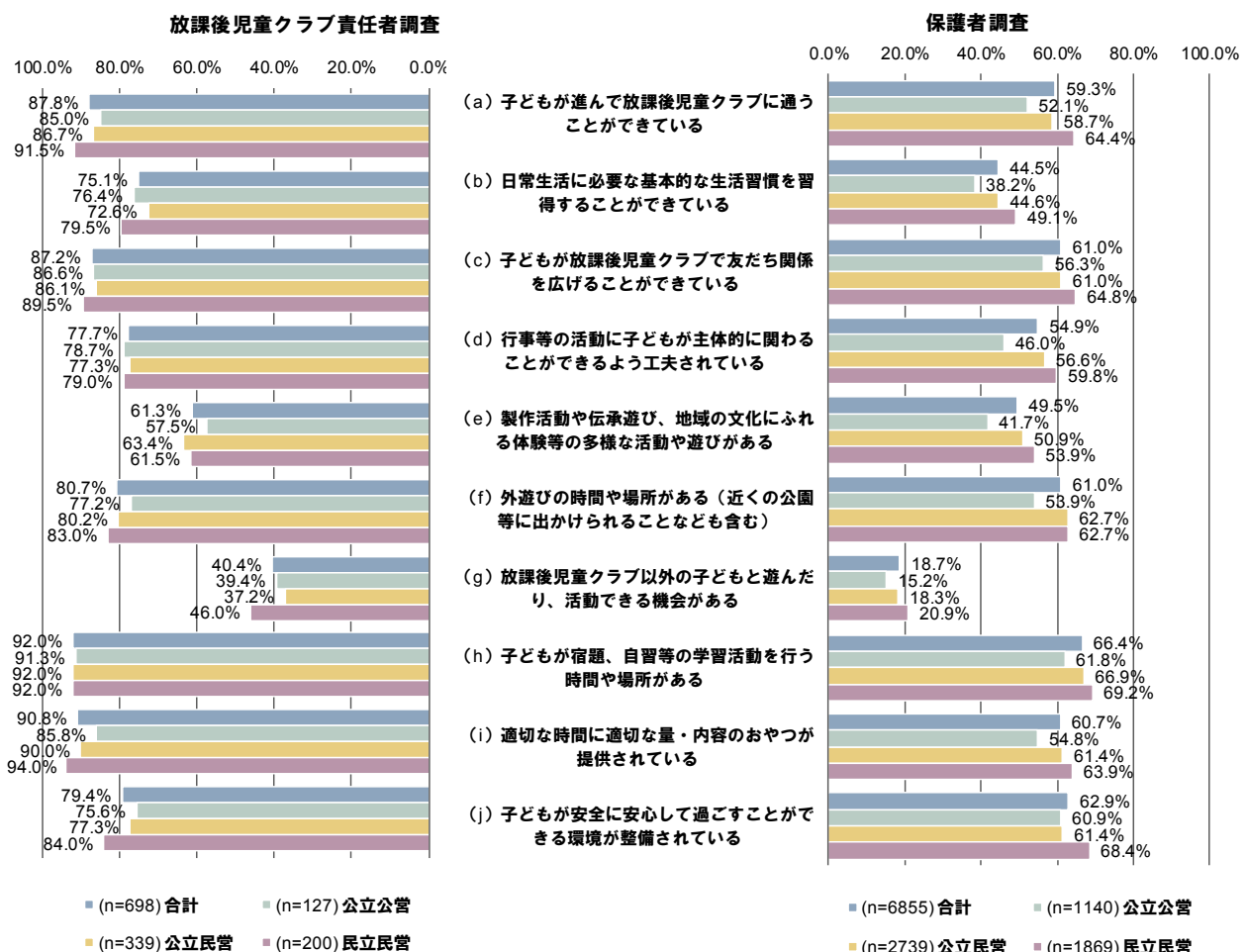
【放課後児童クラブ責任者調査】

多くの項目について、『民立民営』で、「十分取り組んでいる」割合がやや高く、『公立公営』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、ほとんどの項目について、『民立民営』で高くなっている。

図表 65 「設置運営別」【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

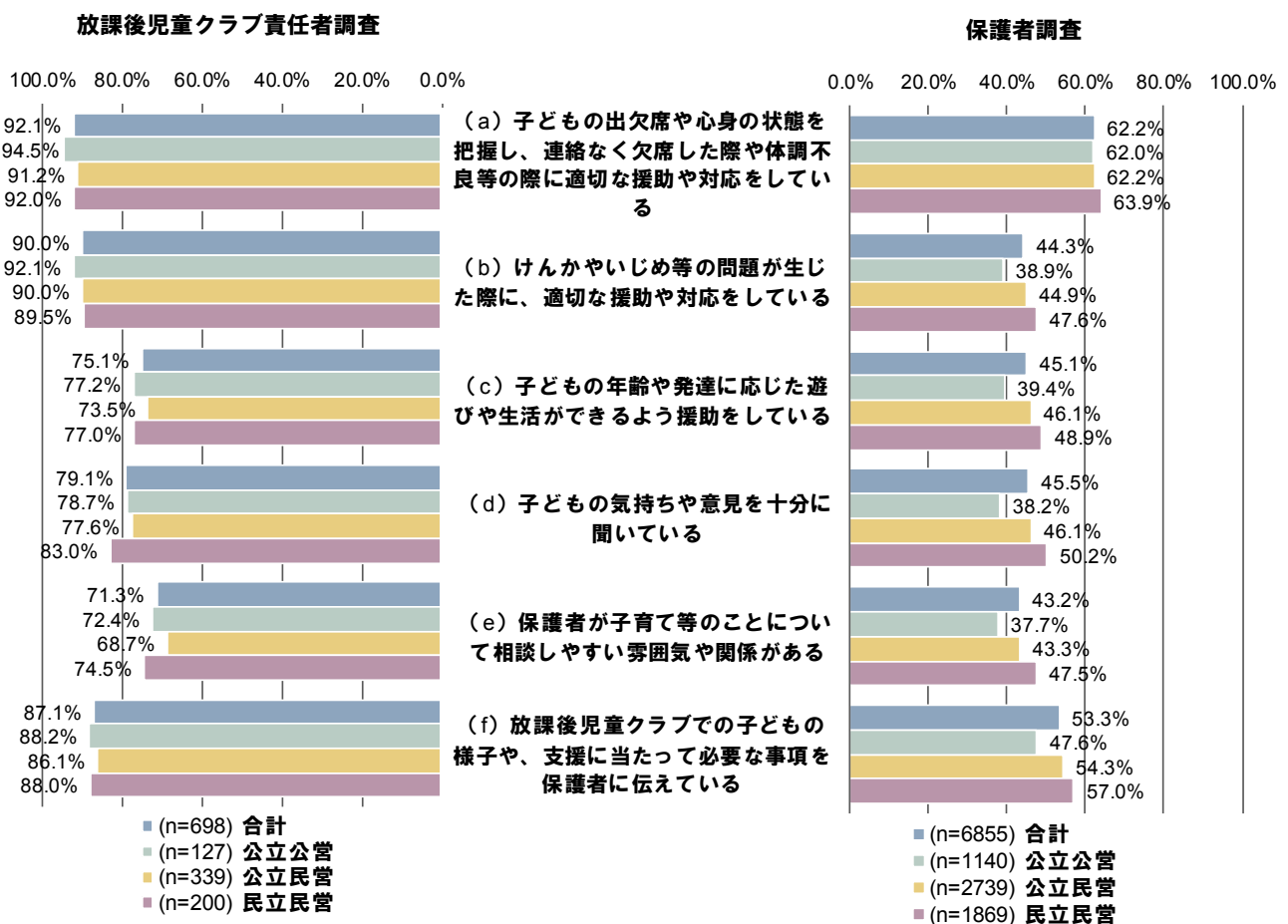
【放課後児童クラブ責任者調査】

『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』について、『国立民営』で、「十分取り組んでいる」割合がやや高くなっている。その他の項目では設置運営別の違いはほとんどみられない。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、全ての項目について、『国立民営』で最も割合が高く、『公立民営』が次いで高い。

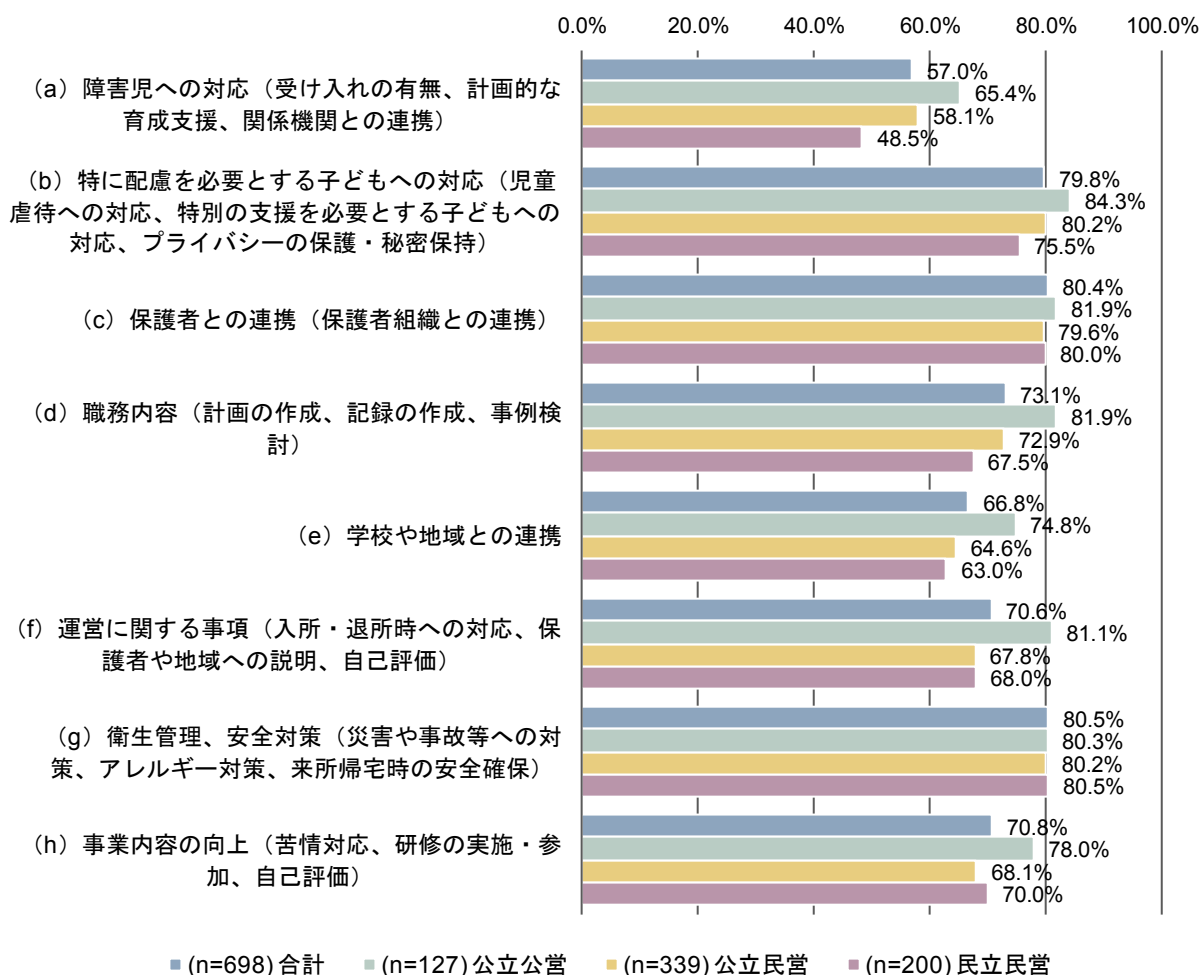
図表 66 「設置運営別」【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

多くの項目について、『公立公営』で「十分取り組んでいる」割合が高く、『国立民営』で「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

図表 67 「設置運営別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

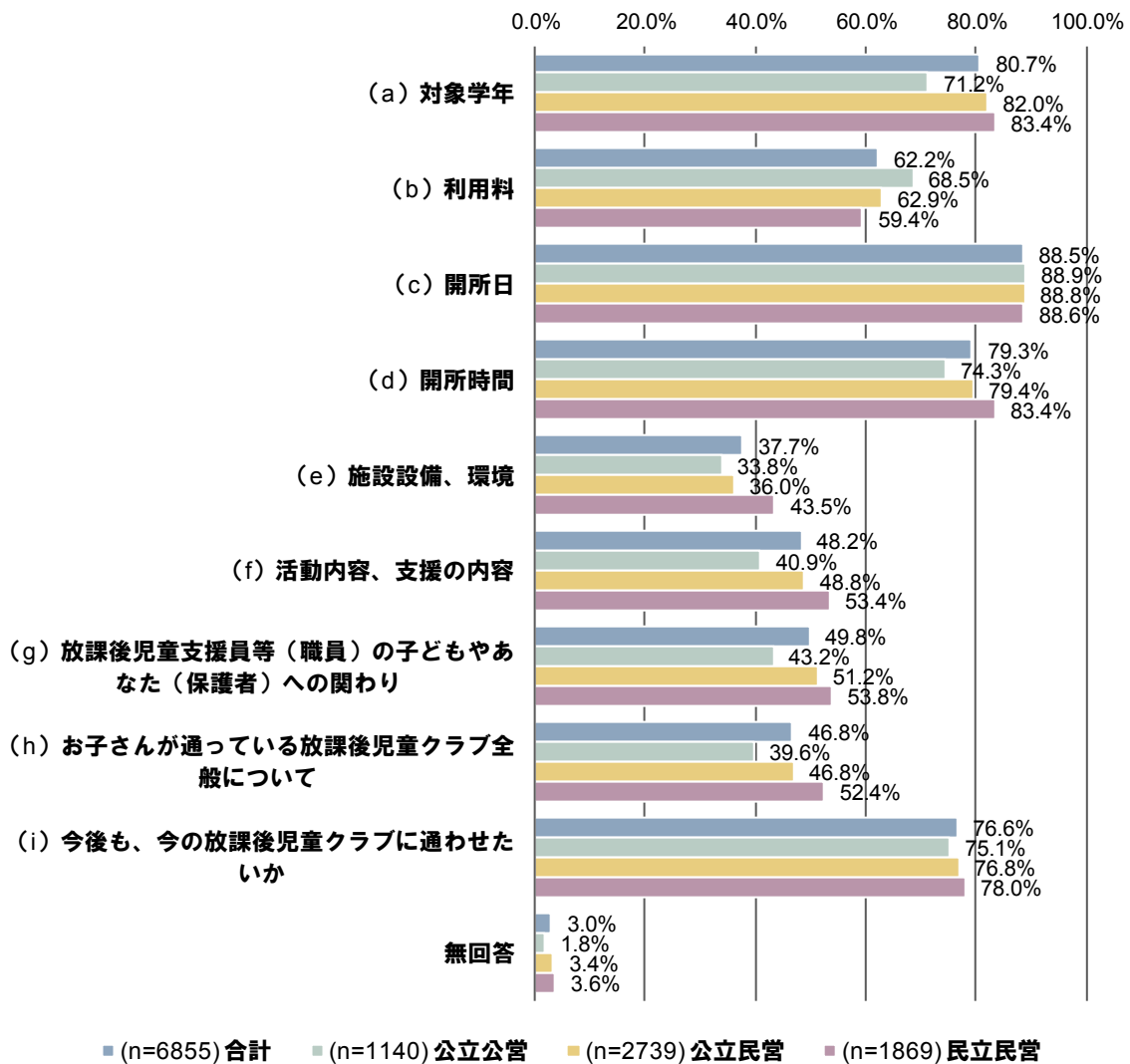


④放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(a)対象学年』、『(d)開所時間』、『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『民立民営』で「適切」や「満足」の割合が高い。

『(b)利用料』について、『公立公営』で保護者が「適切」とする割合が高い

図表 68 「設置運営別」放課後児童クラブに対する満足度：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

(2) 運営主体別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

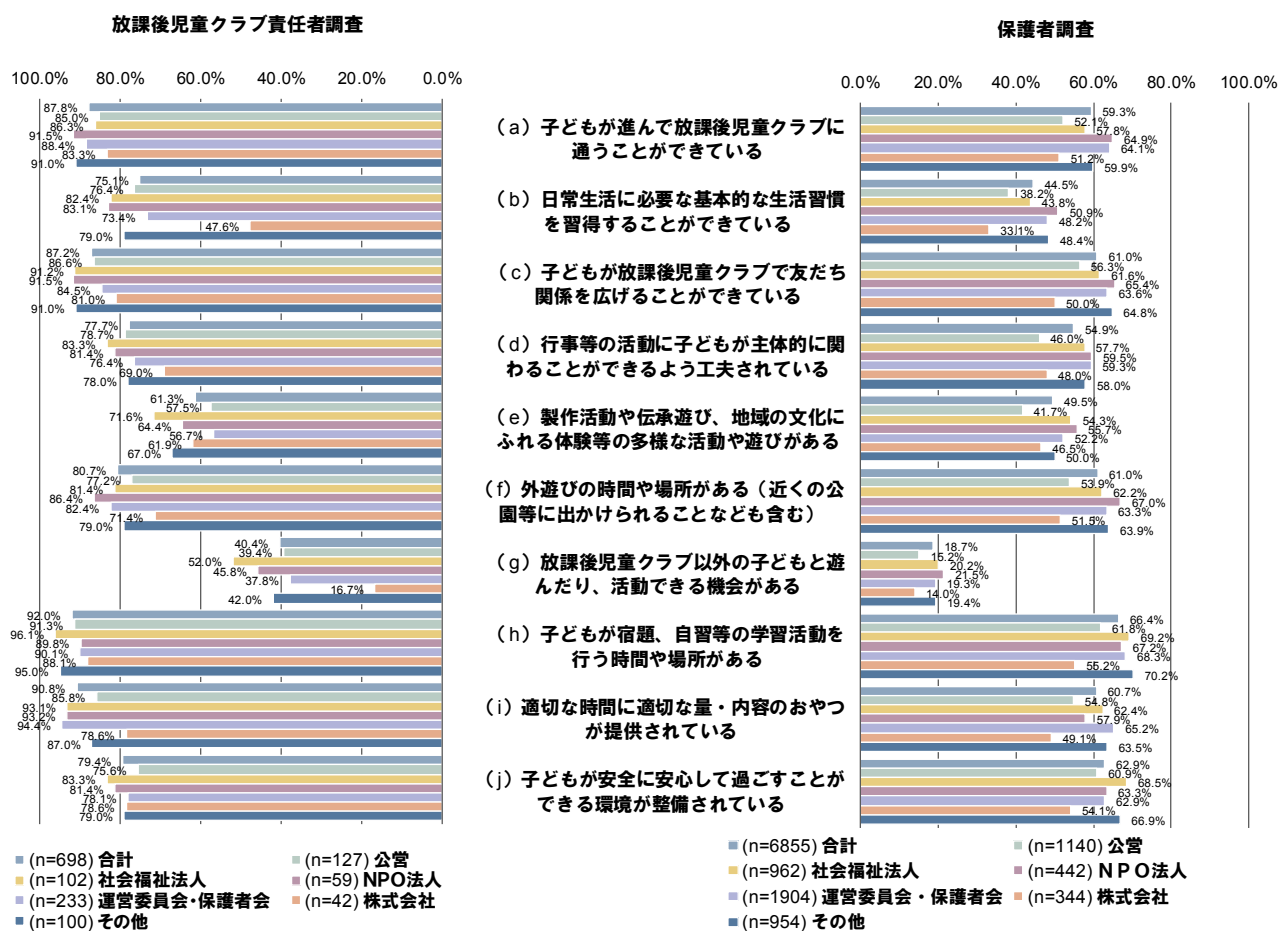
【放課後児童クラブ責任者調査】

多くの項目について、『社会福祉法人』で「十分に取り組んでいる」割合が高く、『株式会社』で「十分に取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『社会福祉法人』、『NPO 法人』で高く、ほぼ全ての項目について、『株式会社』で低い。

図表 69 〔運営主体別〕【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

【放課後児童クラブ責任者調査】

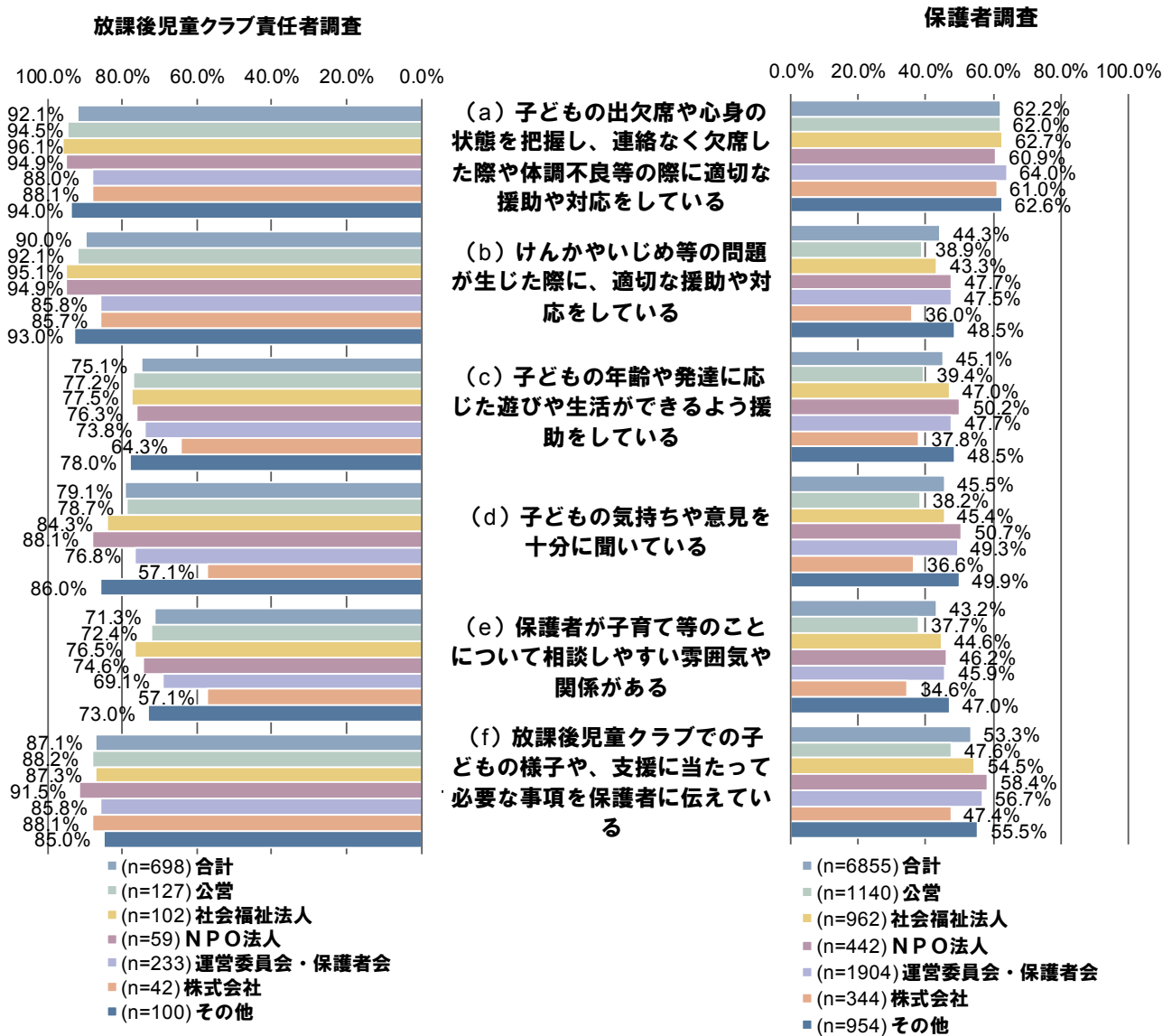
『(a)子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている』、『(b)けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応をしている』、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』、『(e) 保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』について、『社会福祉法人』、『NPO 法人』で「十分取り組んでいる」割合が高い。

『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている』、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』、『(e)保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』について、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、『(b)けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応がなされている』、『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助がなされている』、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いてくれている』、『(e)あなた（保護者）が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』、『(f) 放課後児童クラブでの子どもの様子や支援について必要な事項をあなた（保護者）に伝えている』について、『株式会社』で最も低く、次いで『公営』で低い。

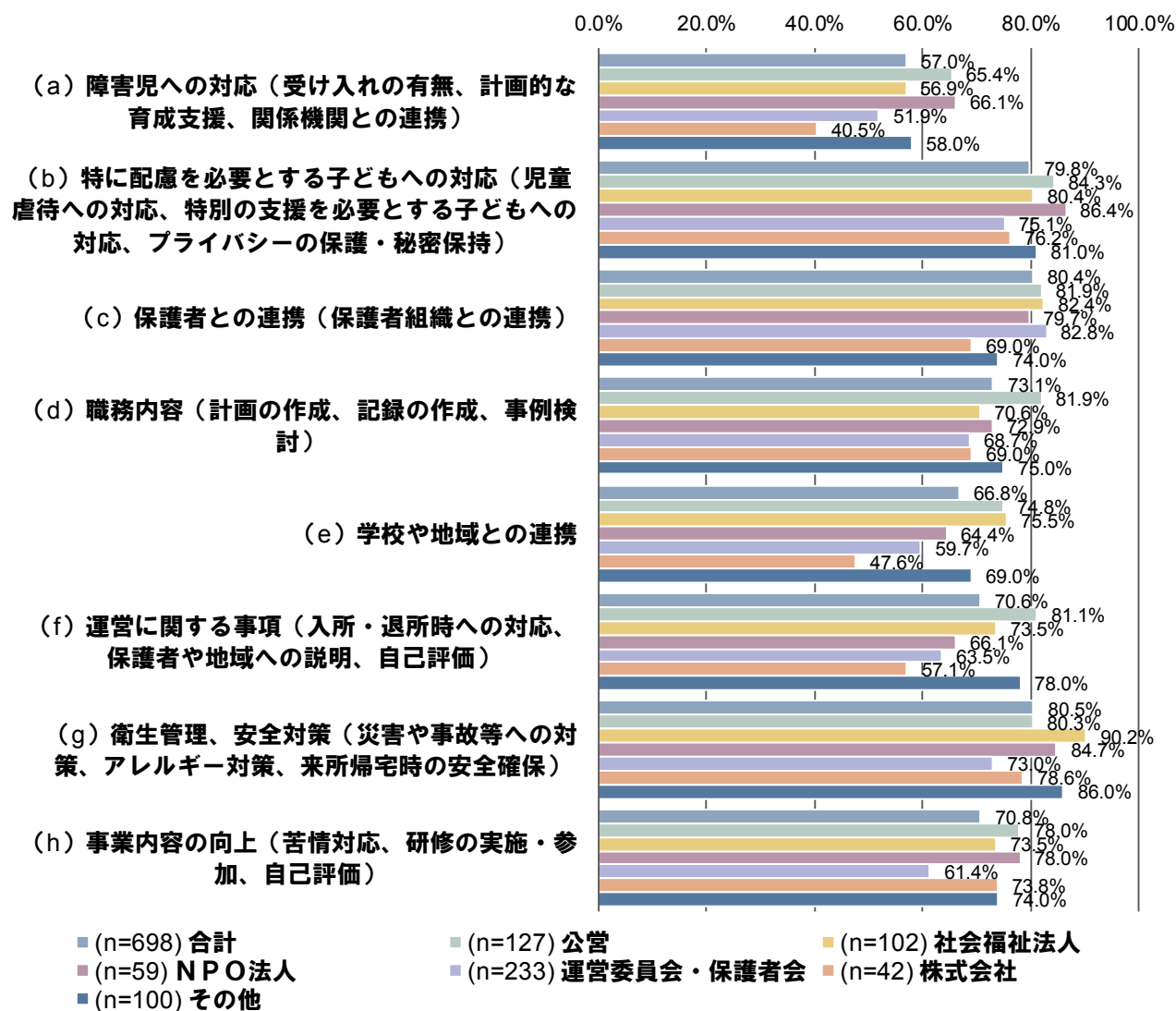
図表 70 〔運営主体別〕【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

『(a)障害児への対応（受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携）』、『(c)保護者との連携（保護者組織との連携）』、『(e)学校や地域との連携』、『(f)運営に関する事項（入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価）』について、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

図表 71 「運営主体別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）



④放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

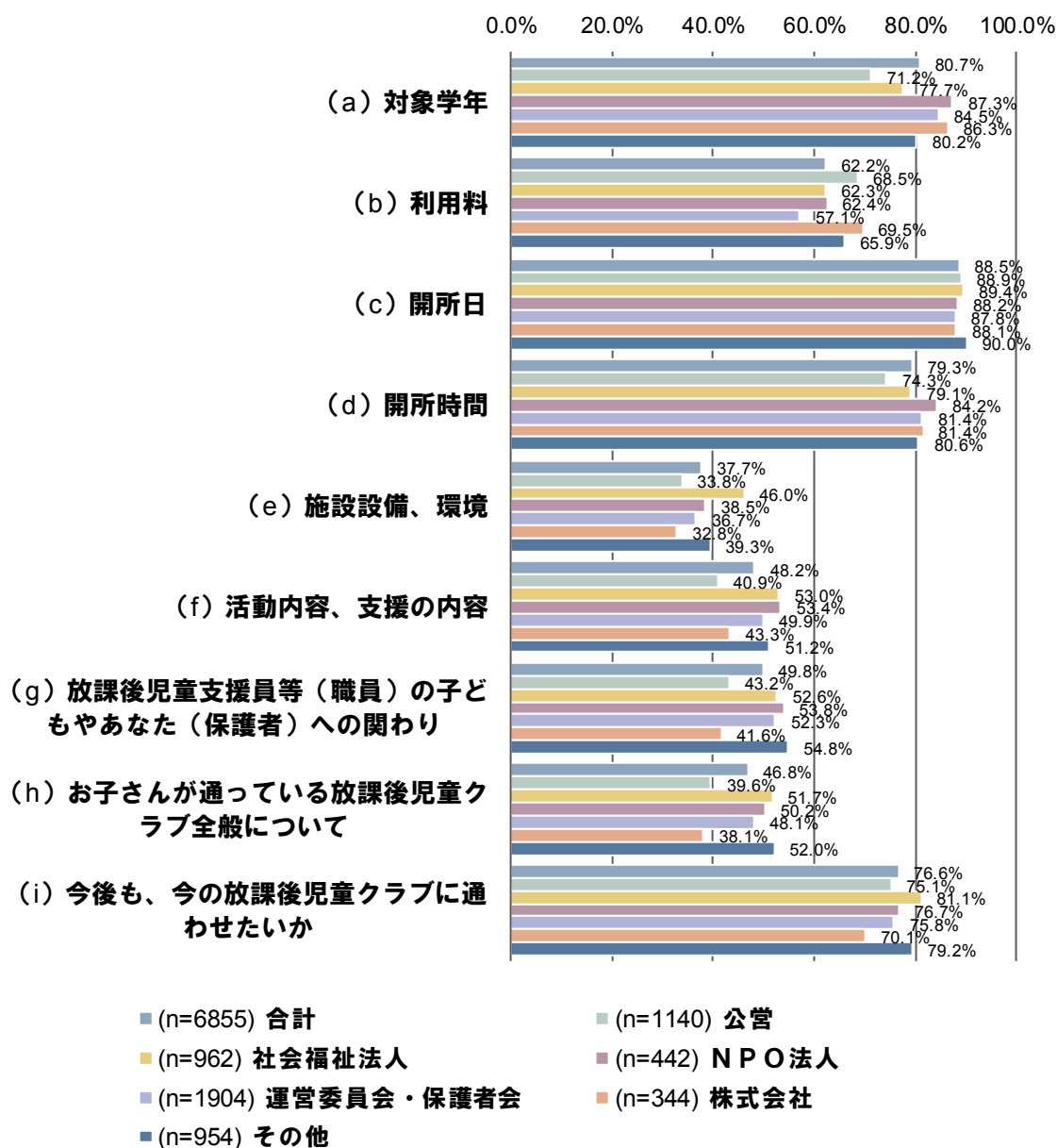
『(a)対象学年』について、保護者が「適切」とする割合は、『公営』で低い。

『(b)利用料』について、保護者が「適切」とする割合は、『運営委員会・保護者会』で低い。

『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『公営』、『株式会社』で、保護者の「満足」の割合が低い。

『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、保護者が「そう思う」割合は、『株式会社』で低い。

図表 72 〔運営主体別〕放課後児童クラブに対する満足度：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

（３）児童１人当たり専用区画別

多くの放課後児童クラブでは、施設環境の違いを育成支援の努力で埋めるようにしていると考えられる。そのため、児童１人当たりの専用区画別の育成支援の取組状況については、本稿でのクロス分析のみで評価することはできないことに十分留意する必要がある。

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

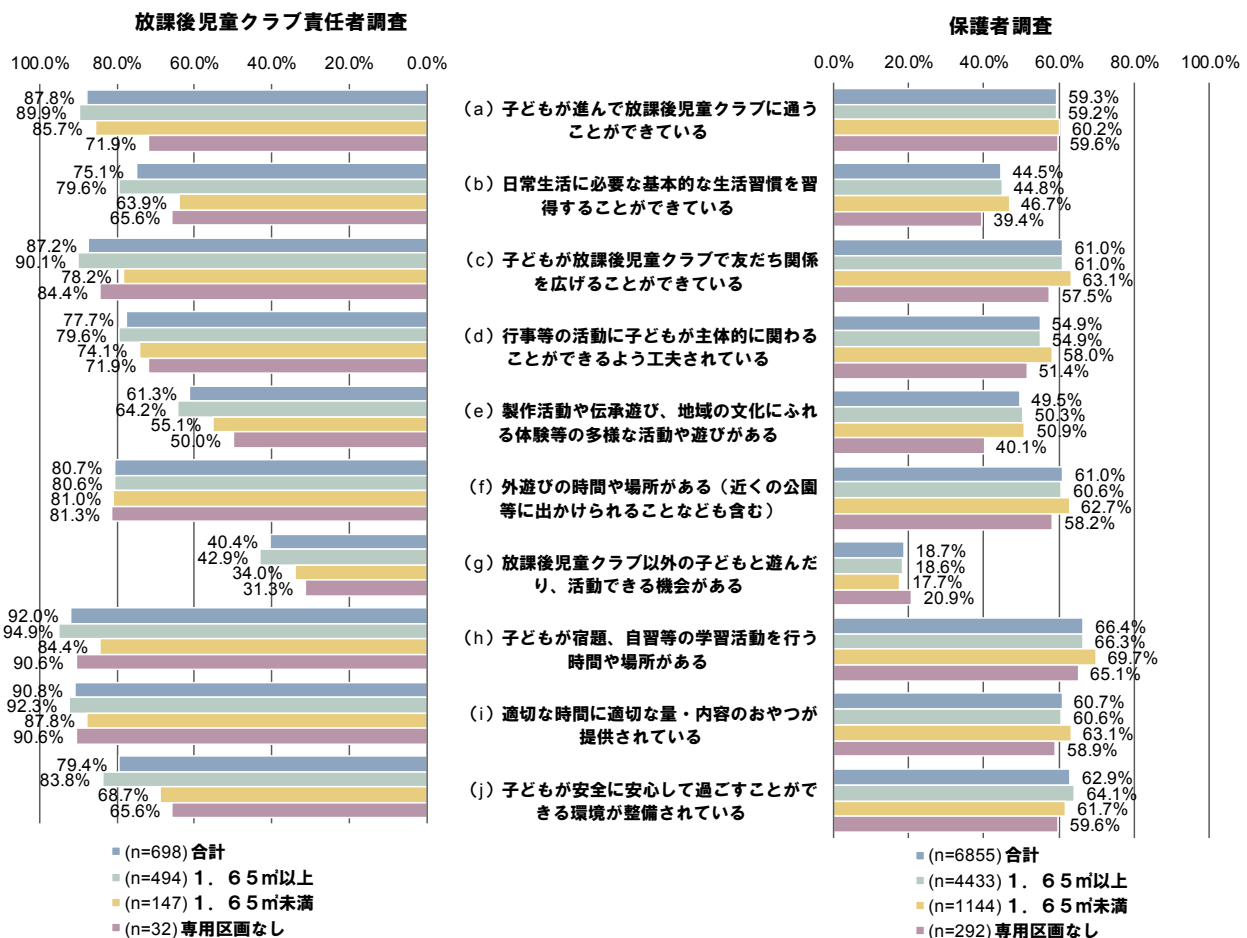
【放課後児童クラブ責任者調査】

『(f)外遊びの時間や場所がある（近くの公園等に出かけられることなども含む）』を除くほぼ全ての項目について、『1.65㎡以上』で、「十分に取り組んでいる」割合がやや高い。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『専用区画なし』で低くなっている。

図表 73 「児童１人当たりの専用区画別」【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

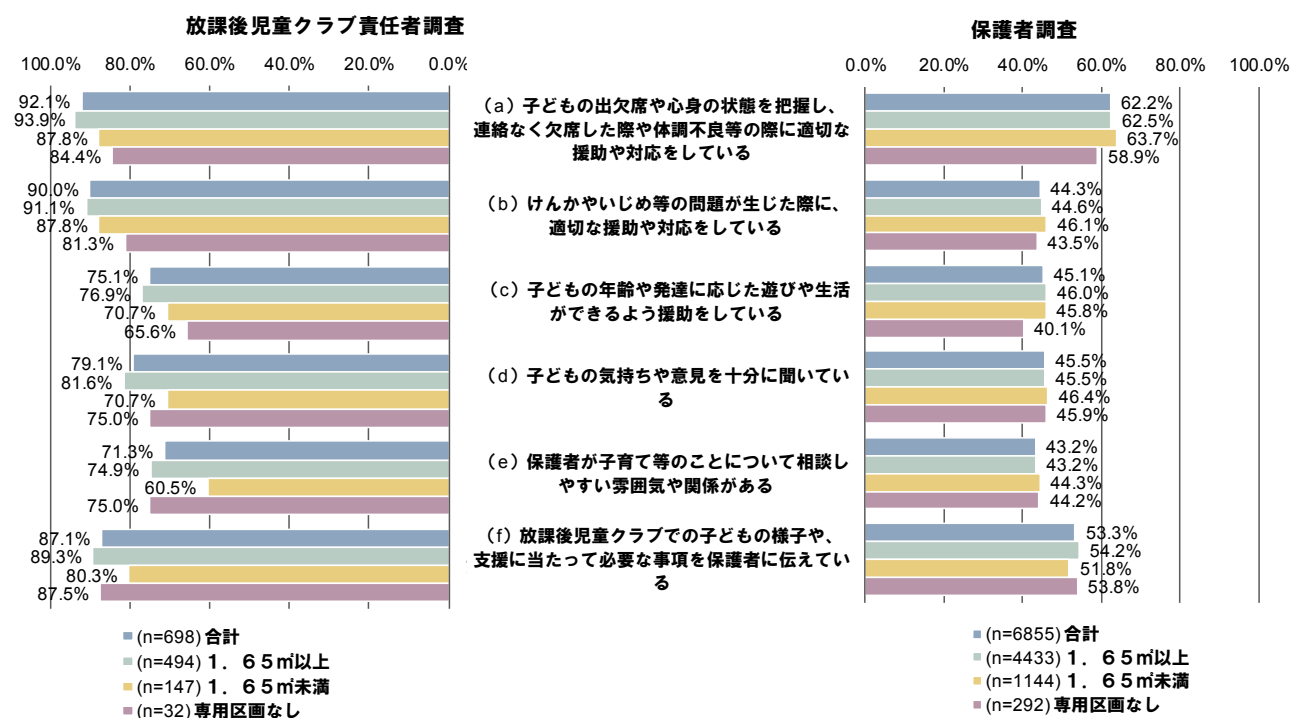
【放課後児童クラブ責任者調査】

全ての項目について、『1.65 m²以上』で「十分取り組んでいる」割合がやや高くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合については、児童 1 人当たり専用区画別の違いがみられない。

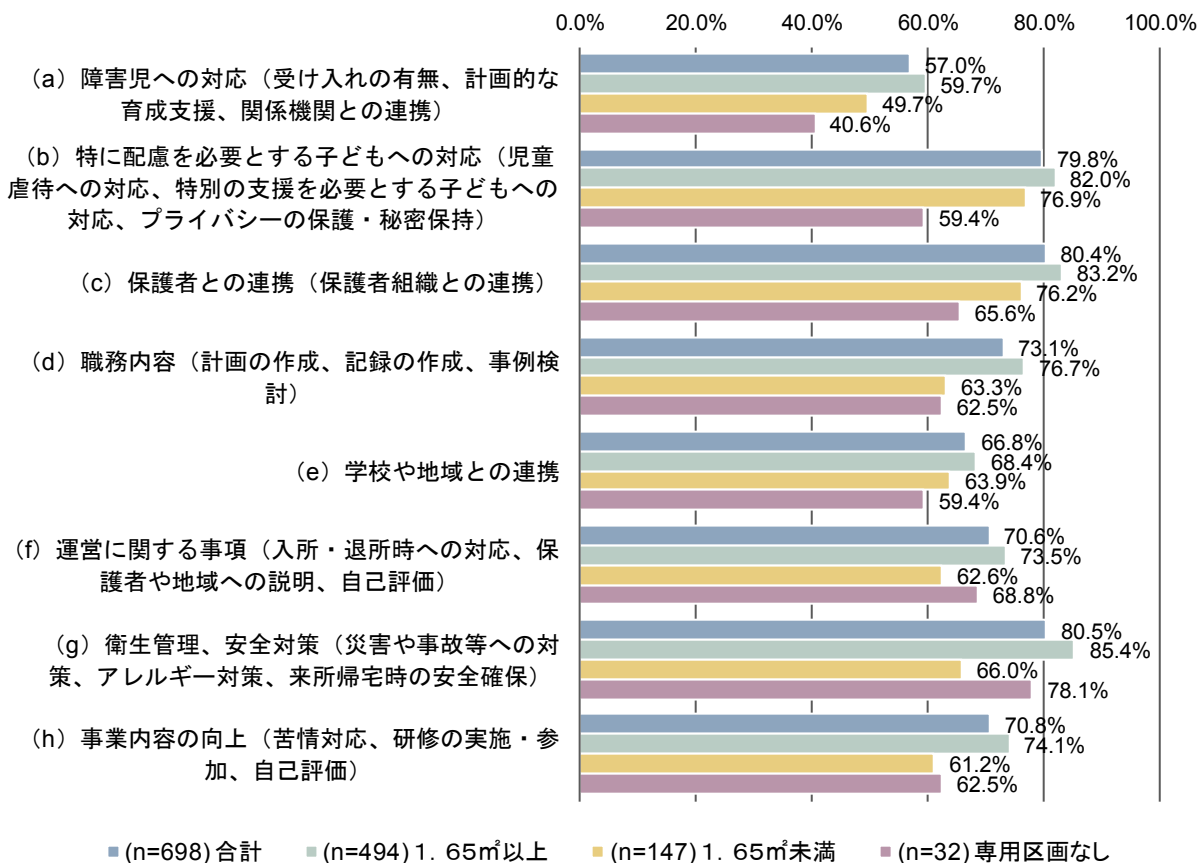
図表 74 「児童 1 人当たりの専用区画別」【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

全ての項目について、『1.65㎡以上』で「十分取り組んでいる」割合が顕著に高い。

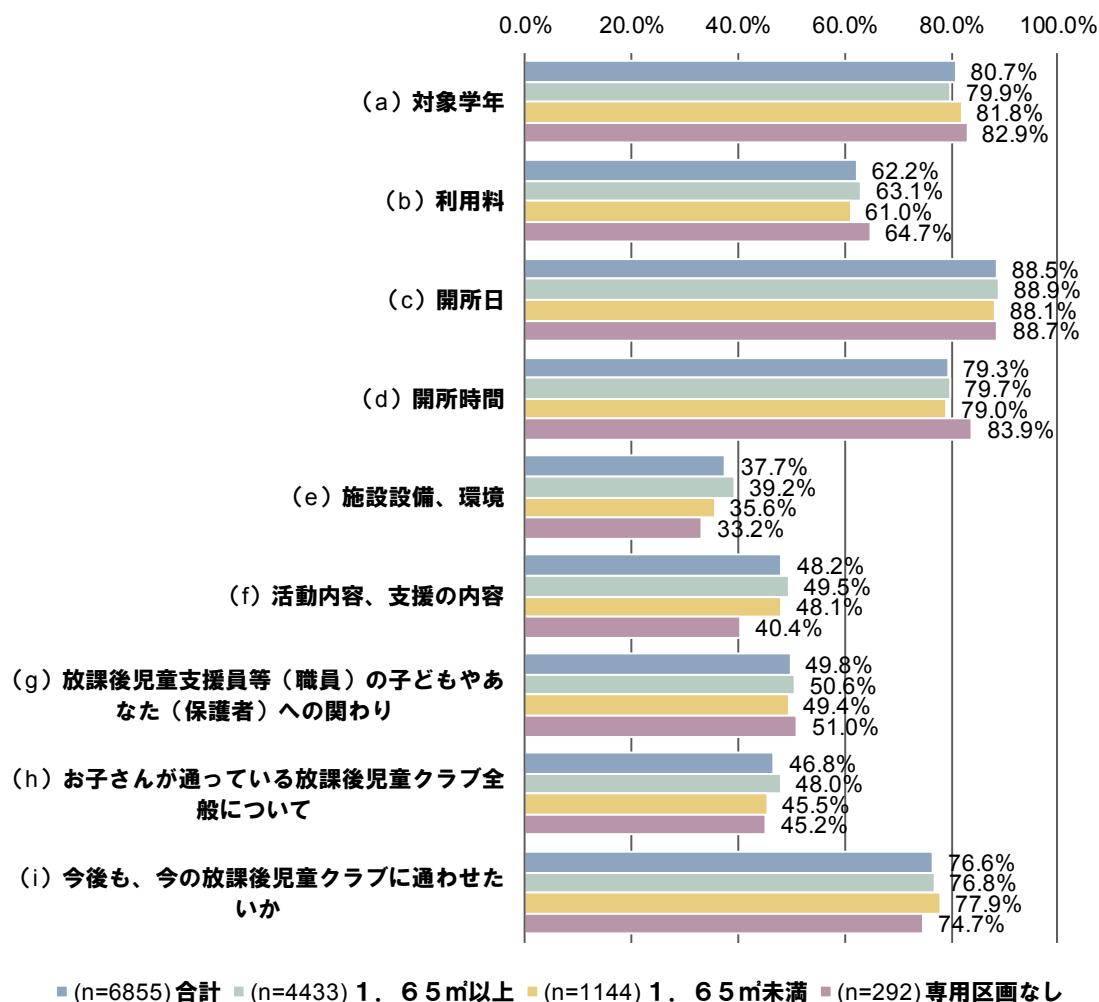
図表 75 「児童 1 人当たりの専用区画別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合
(放課後児童クラブ責任者調査：問 12)



④放課後児童クラブに対する保護者の満足度（保護者調査：問 16）

『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』について、『専用区画なし』で、「満足」の割合が低くなっている。

図表 76 〔児童 1 人当たりの専用区画別〕放課後児童クラブに対する満足度：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

(4) 1日に配置している職員数別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

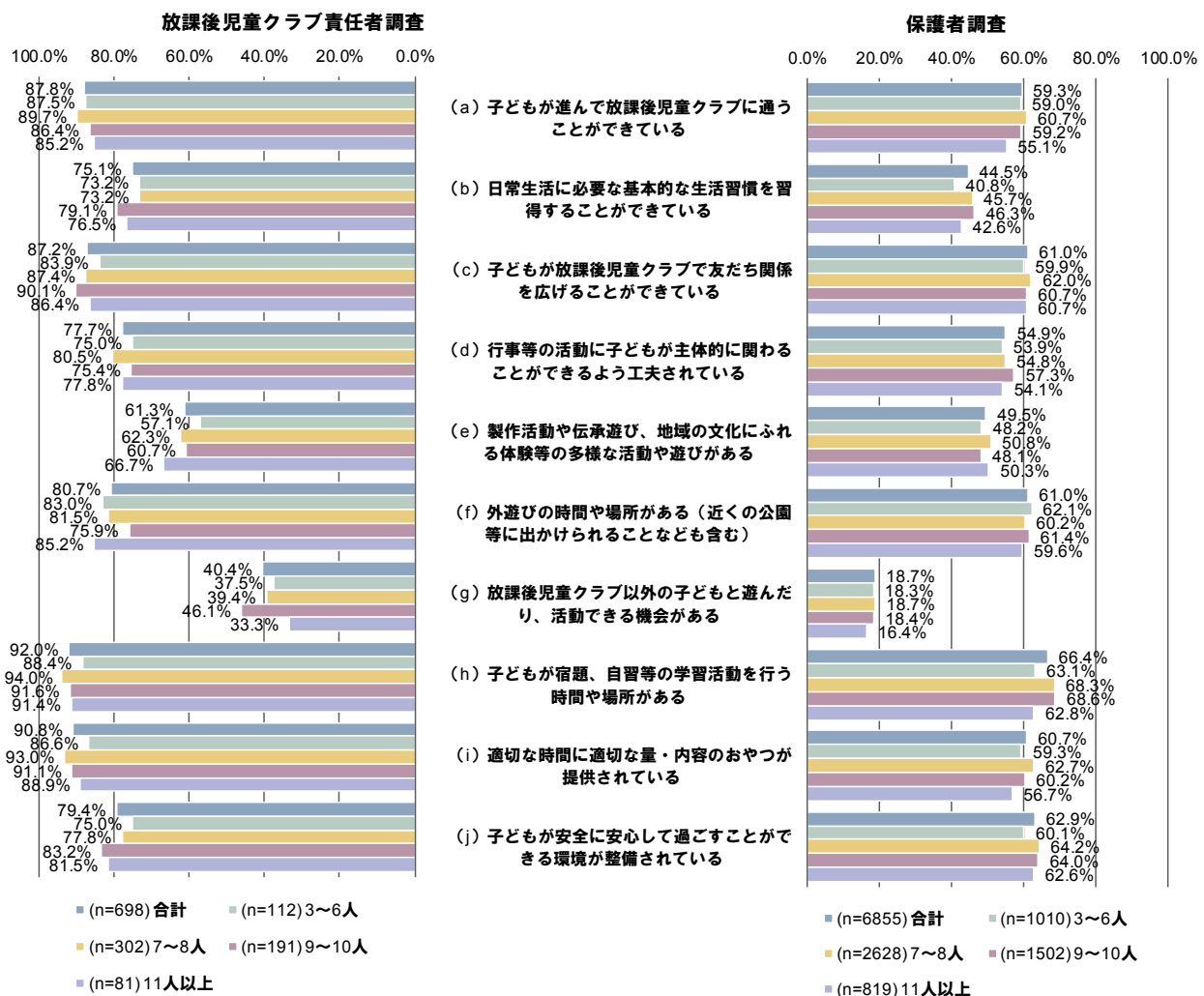
【放課後児童クラブ責任者調査】

『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』について、『11人以上』で「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、『(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通っている』、『(h)子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある』、『(i)適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている』について、『11人以上』で、やや低くなっている。

図表 77 「1日に配置している職員数別」【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

【放課後児童クラブ責任者調査】

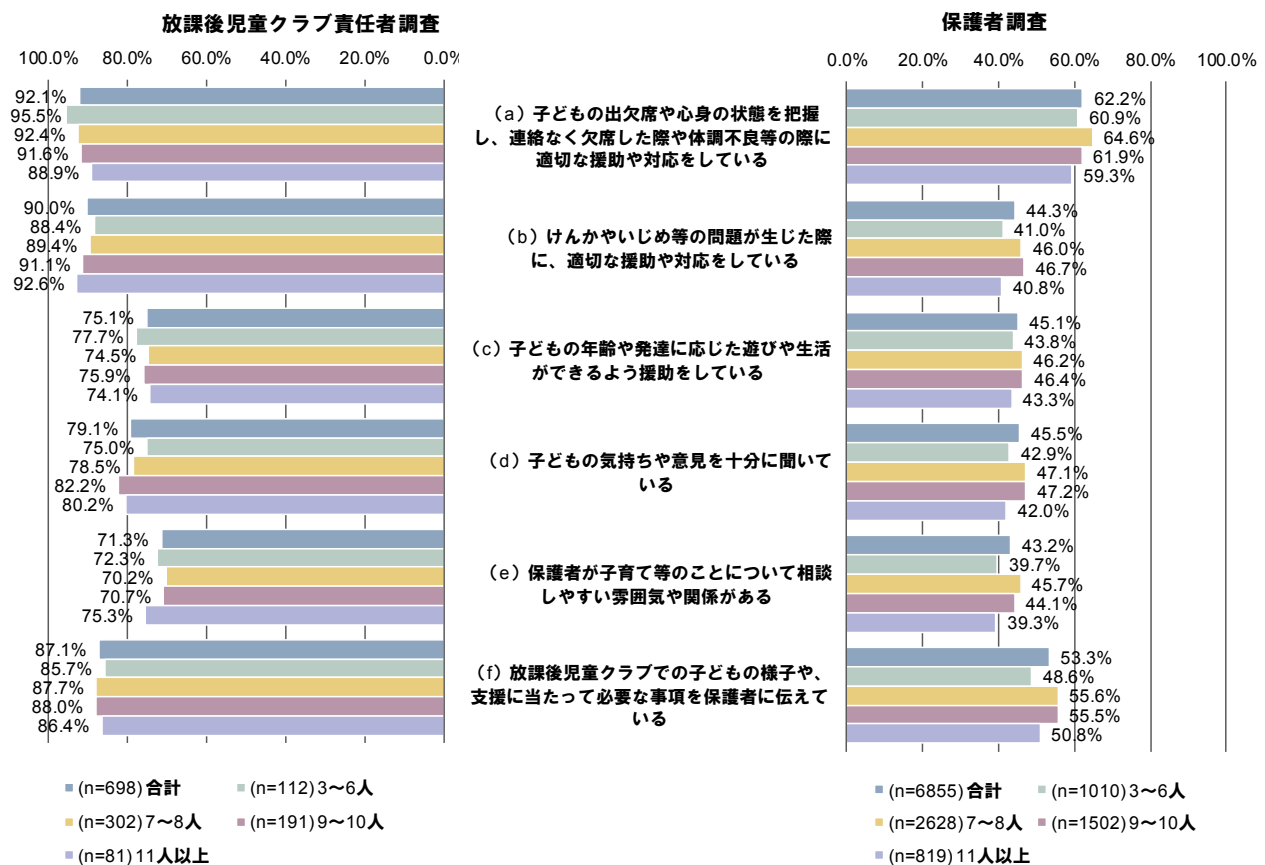
『(a)子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている』について、1日に配置している職員数が少ないと、「十分取り組んでいる」割合がやや高い。

『(b)けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応をしている』、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』について、1日に配置している職員数が多いと「十分取り組んでいる」割合がやや高い。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『7～8人』、『9～10人』でやや高く、『3～6人』、『11人以上』でやや低くなっている。

図表 78 「1日に配置している職員数別」【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）

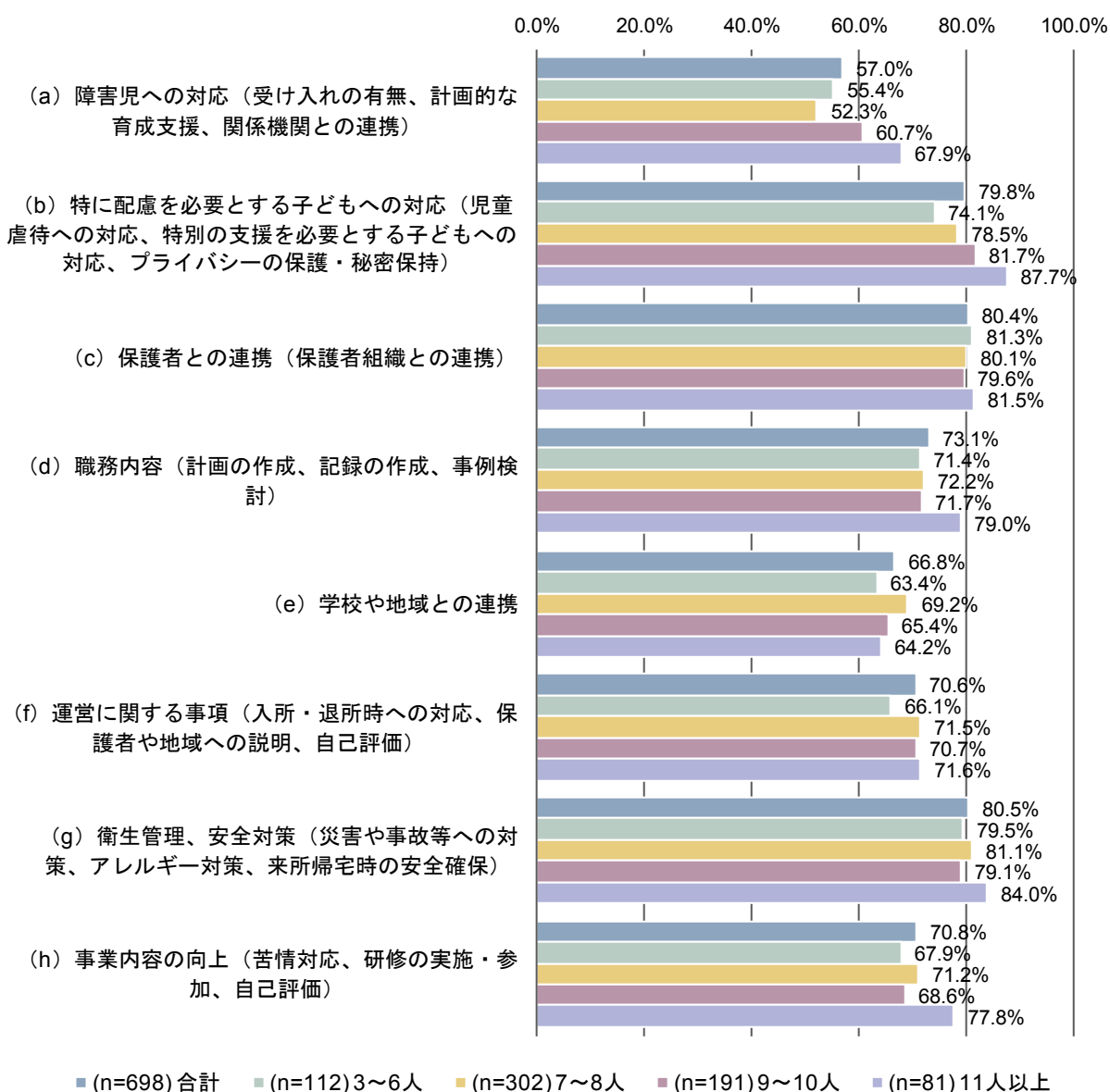


③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

『(a)障害児への対応（受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携）』、『(b)特に配慮を必要とする子どもへの対応（児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持）』について、1日に配置している職員数が多い場合に、「十分取り組んでいる」割合が高い。

『(d)職務内容（計画の作成、記録の作成、事例検討）』、『(h)事業内容の向上（苦情対応、研修の実施・参加、自己評価）』について、1日に配置している職員数が『11人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が高い。

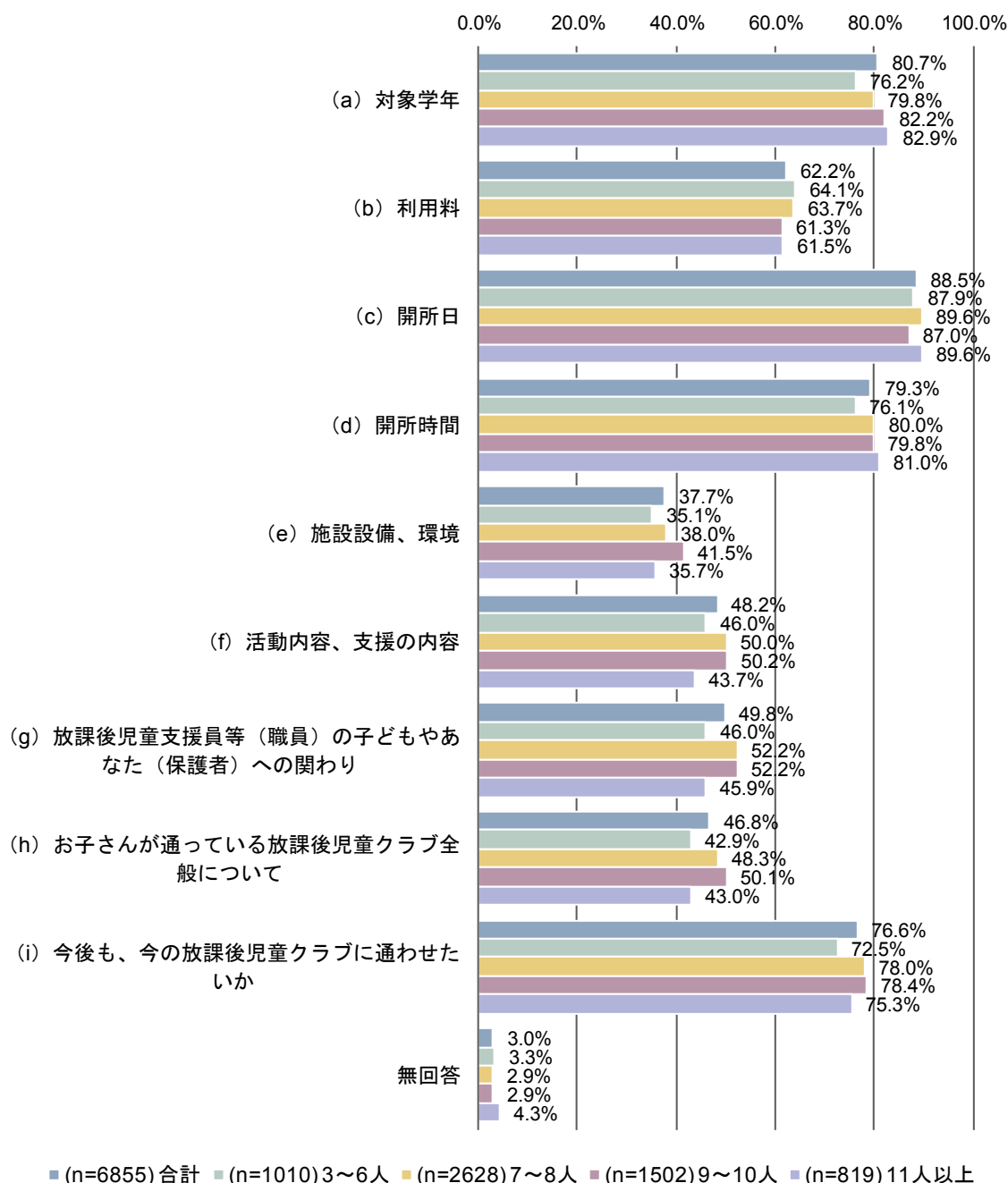
図表 79 「1日に配置している職員数別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合
（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）



④放課後児童クラブに対する保護者の満足度（保護者調査：問 16）

『(f) 活動内容、支援の内容』、『(g) 放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h) お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、保護者が「満足」とする割合は、『7～8人』、『9～10人』で高くなっている。

図表 80 〔1日に配置している職員数別〕放課後児童クラブに対する満足度：「適切」「満足」「思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

（５）登録児童数別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

【放課後児童クラブ責任者調査】

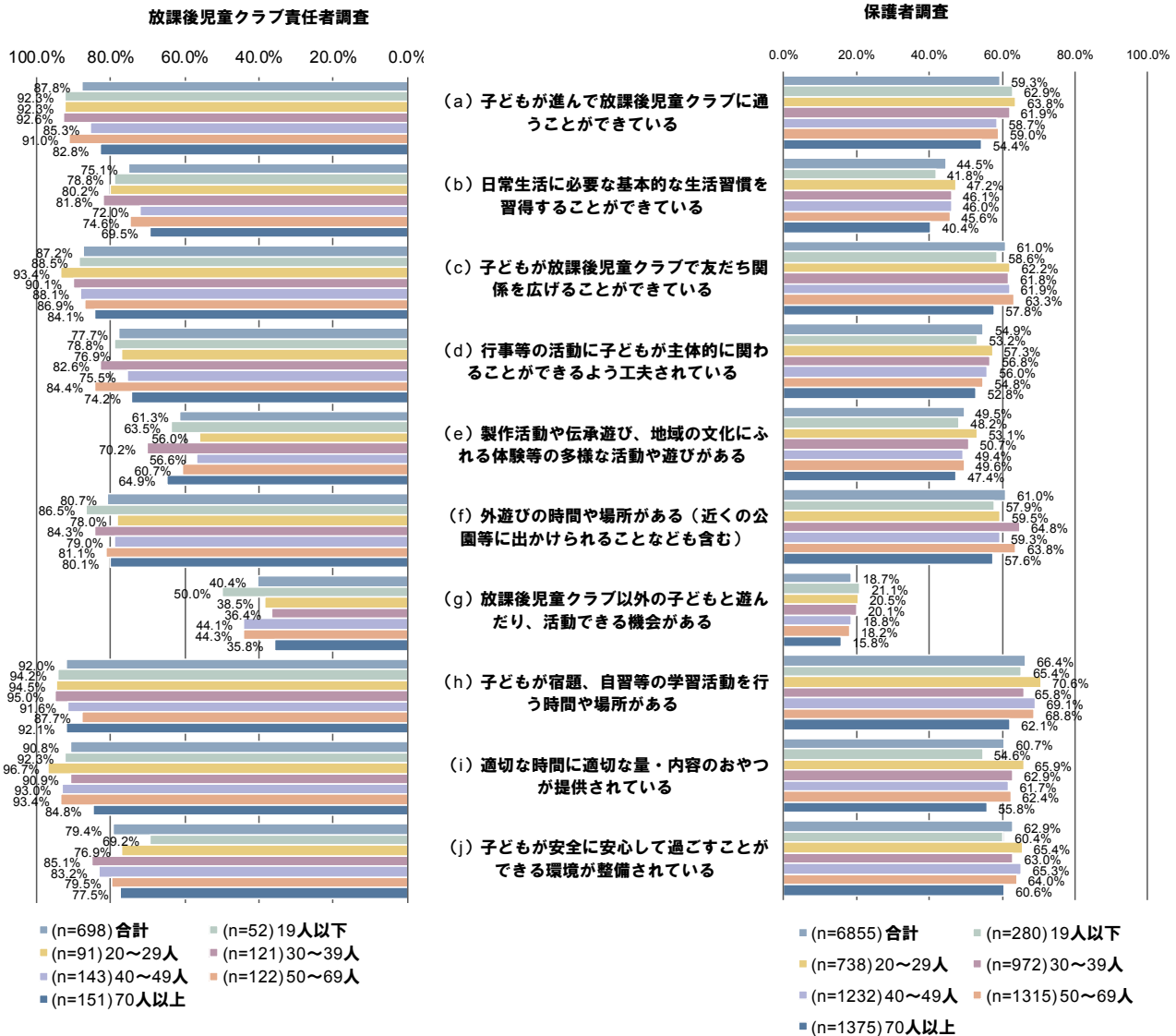
多くの項目について、『19 人以下』、『20～29 人』、『30～39 人』で、「十分に取り組んでいる」割合がやや高い。

『(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができている』、『(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができている』、『(c)子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができている』、『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』、『(i)適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている』については、『70 人以上』で「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、『(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通っている』、『(d)行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている』、『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』等の項目について、登録児童数が少ない場合にやや高い。

図表 81 「登録児童数別」【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

【放課後児童クラブ責任者調査】

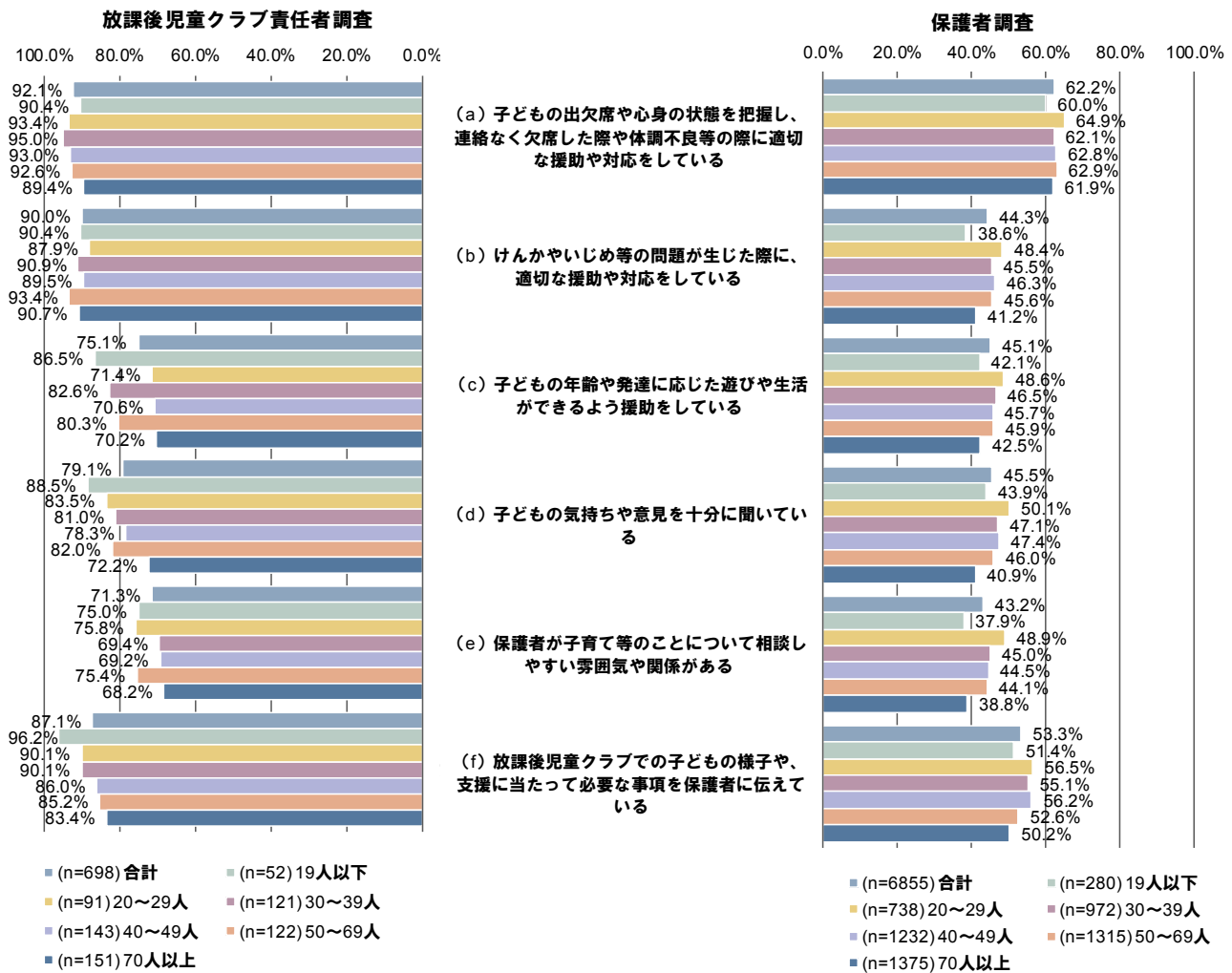
『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』、『(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている』について、登録児童数が少ない場合に「十分取り組んでいる」割合がやや高い。

『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』、『(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている』について、『70 人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、全ての項目について、『20～29 人』で高く、『19 人以下』、『70 人以上』で低くなっている。

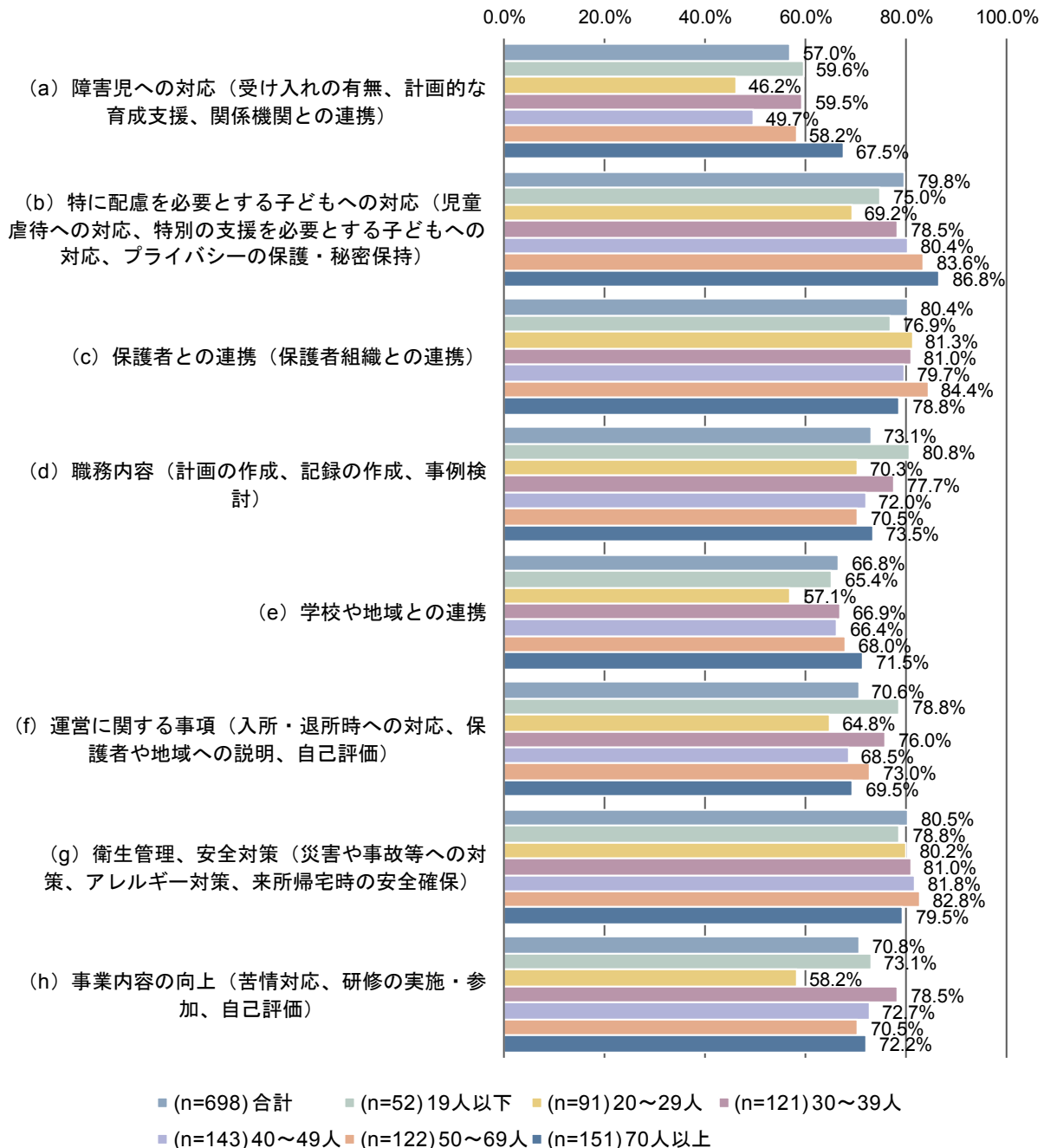
図表 82 「登録児童数別」【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

『(b)特に配慮を必要とする子どもへの対応（児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持）』、『(g)衛生管理、安全対策（災害や事故等への対策、アレルギー対策、来所帰宅時の安全確保）』について、登録児童数が多い場合に、「十分取り組んでいる」割合が高い。

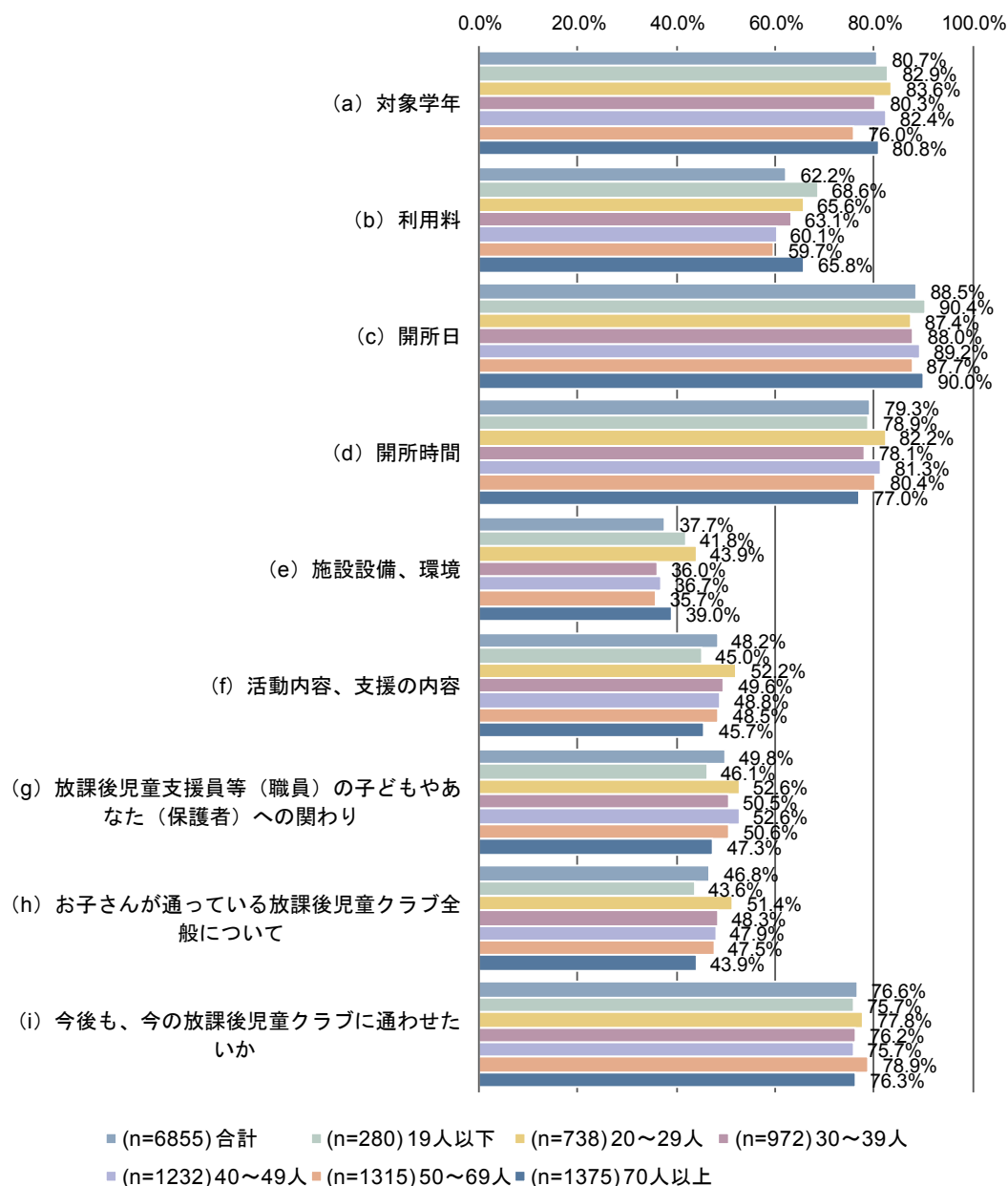
図表 83 「登録児童数別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者：問 12）



④放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『19 人以下』、『70 人以上』で「満足」の割合がやや低くなっている。

図表 84 「登録児童数別」放課後児童クラブに対する満足：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

(6) 利用児童数別

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

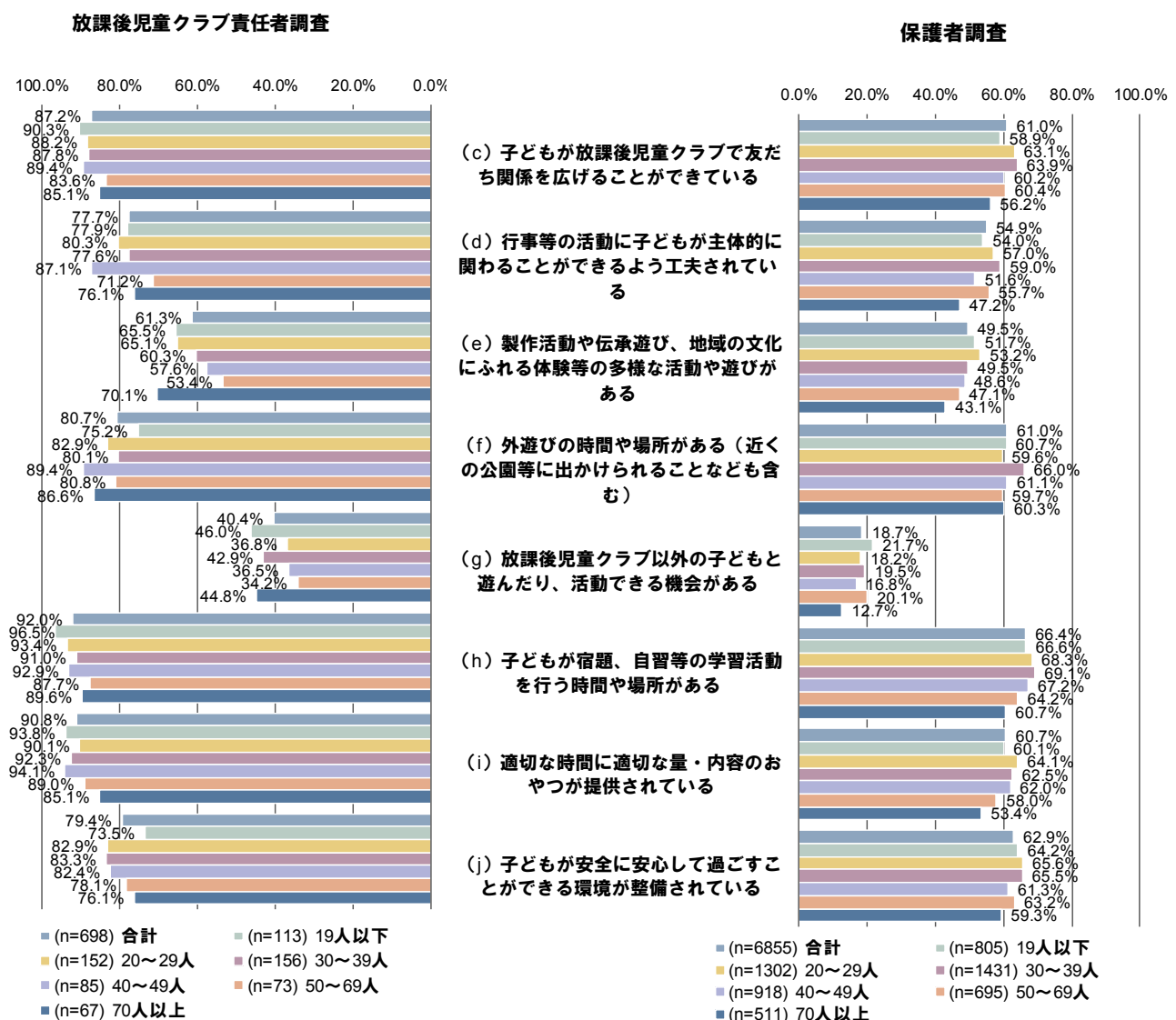
【放課後児童クラブ責任者調査】

多くの項目について、『50～69 人』、『70 人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、ほぼ全ての項目について、『20～29 人』、『30～39 人』で高く、『70 人以上』で低くなっている。

図表 85 「利用児童数別」【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



(注) (a)、(b)について、利用児童数とのかかわりを放課後児童クラブ責任者に聞く場合には、設備運営基準・運営指針の示す内容と基準を具体的に示す必要があるため、クロス分析は行っていない。

②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

【放課後児童クラブ責任者調査】

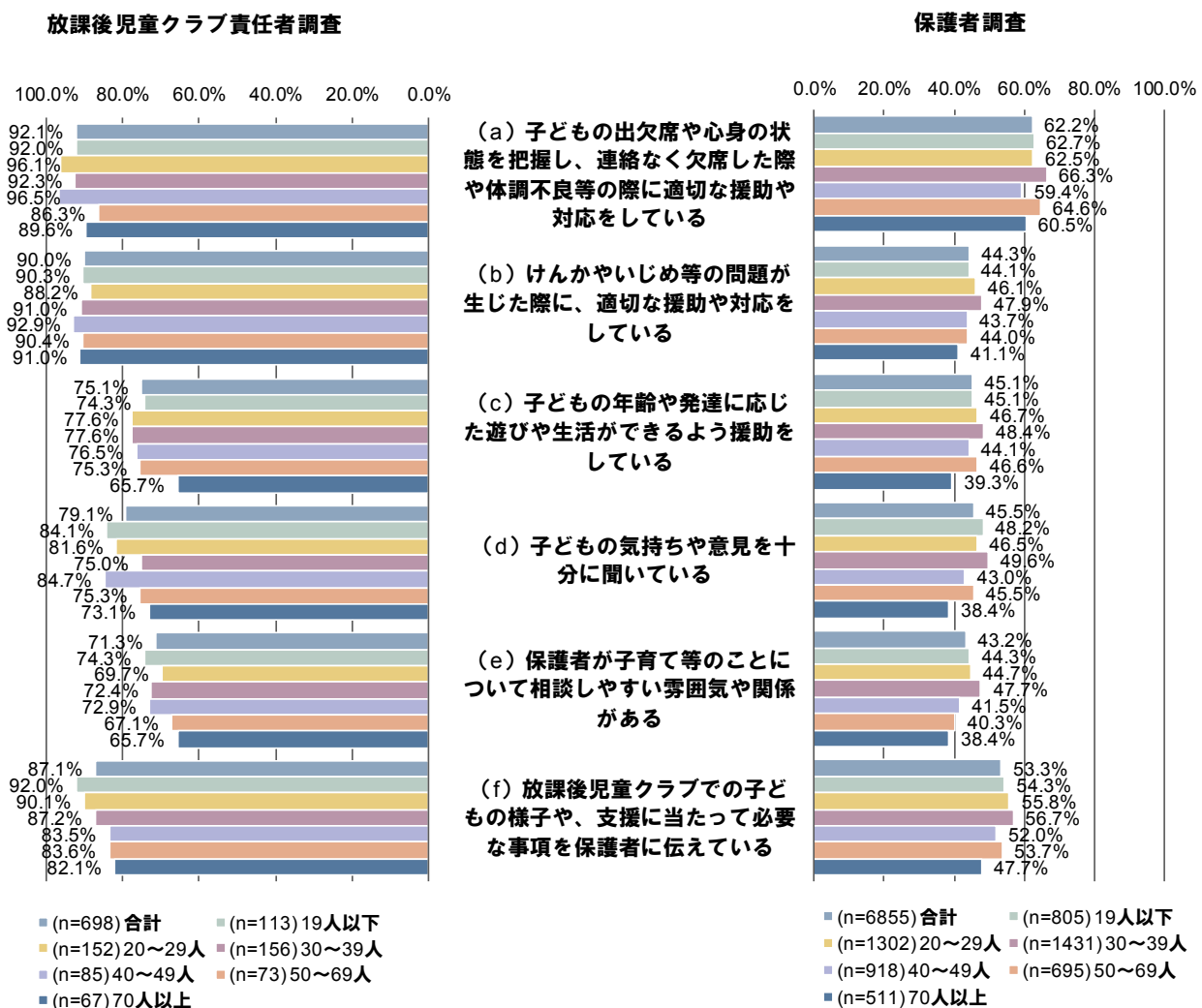
『(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている』について、利用児童数が少ない場合、「十分取り組んでいる」割合が高い。

『(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている』、『(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている』、『(e)保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある』について、『70人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『70人以上』で低くなっている。

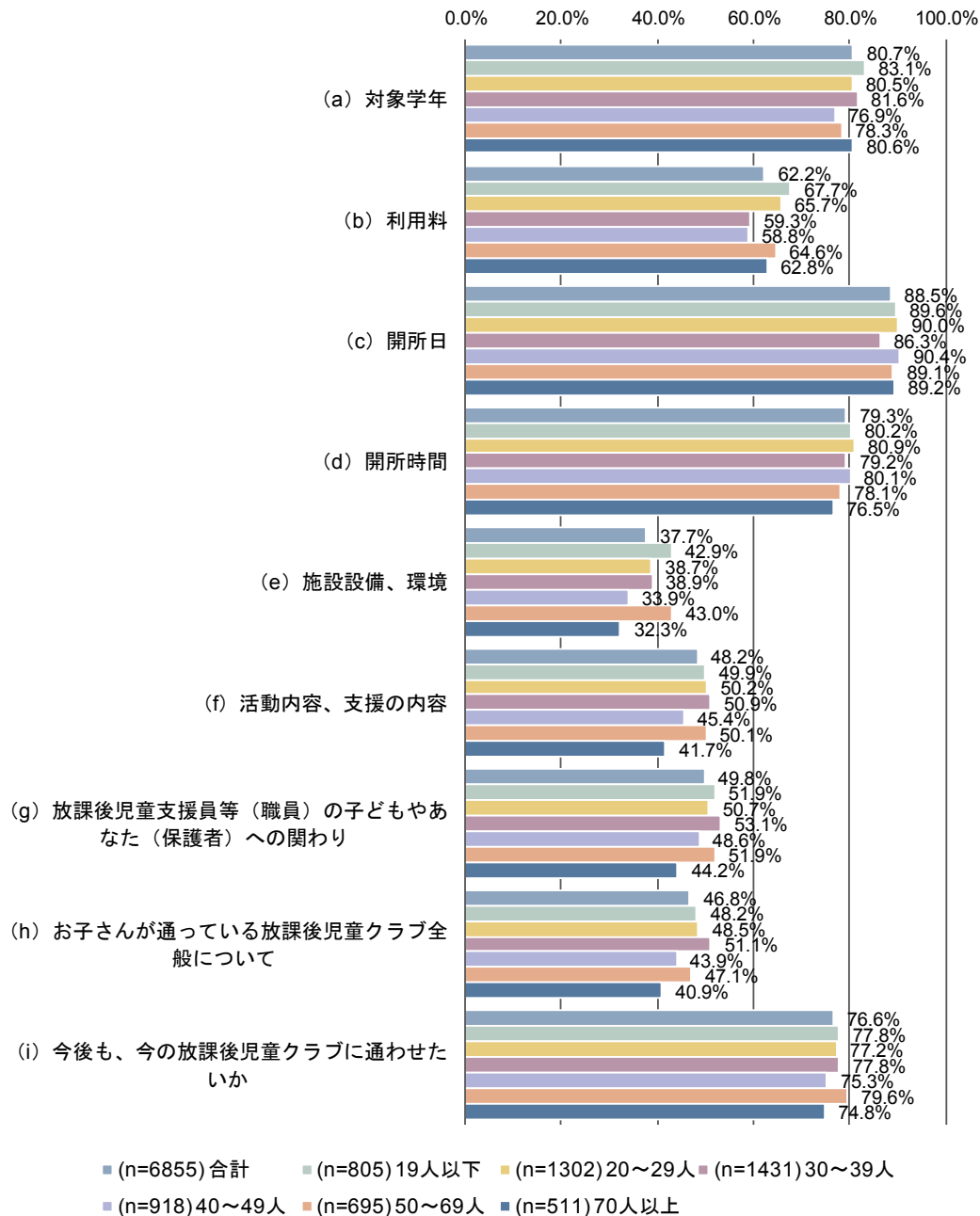
図表 86 〔利用児童数別〕【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(d) 開所時間』、『(e) 施設設備、環境』、『(f) 活動内容、支援の内容』、『(g) 放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h) お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』については、『70 人以上』では、「適切」、「満足」、「そう思う」の割合が、低くなっている。

図表 87 「利用児童数別」放課後児童クラブに対する満足：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

（７）本人希望の退所者有無別※

※放課後児童クラブ責任者調査票の問 9（１）より、退所者の有無を分け、さらに、退所者がいるクラブについては、問 9（２）より「本人（子ども）の退所希望のため」への回答の有無で分けたものをクロス軸（分析軸）とした。

①活動や育成支援に関する取組の状況（放課後児童クラブ責任者調査：問 10、保護者調査：問 10）

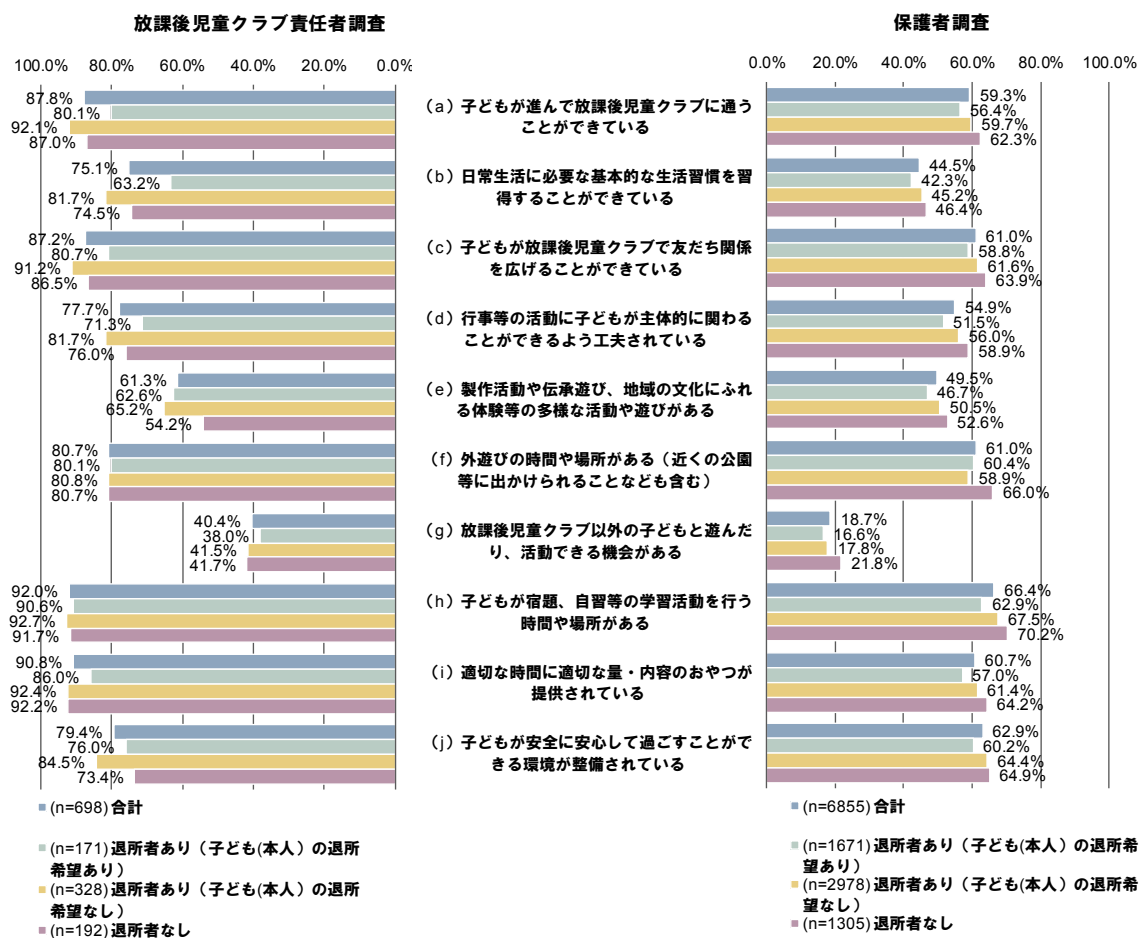
【放課後児童クラブ責任者調査】

多くの項目について、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望あり）』の方が、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望なし）』に比べて、「十分取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望あり）』の方が、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望なし）』に比べて低い。

図表 88 「本人希望の退所者有無別」【左】活動や育成支援に「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 10）、【右】活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 11、保護者調査：問 12）

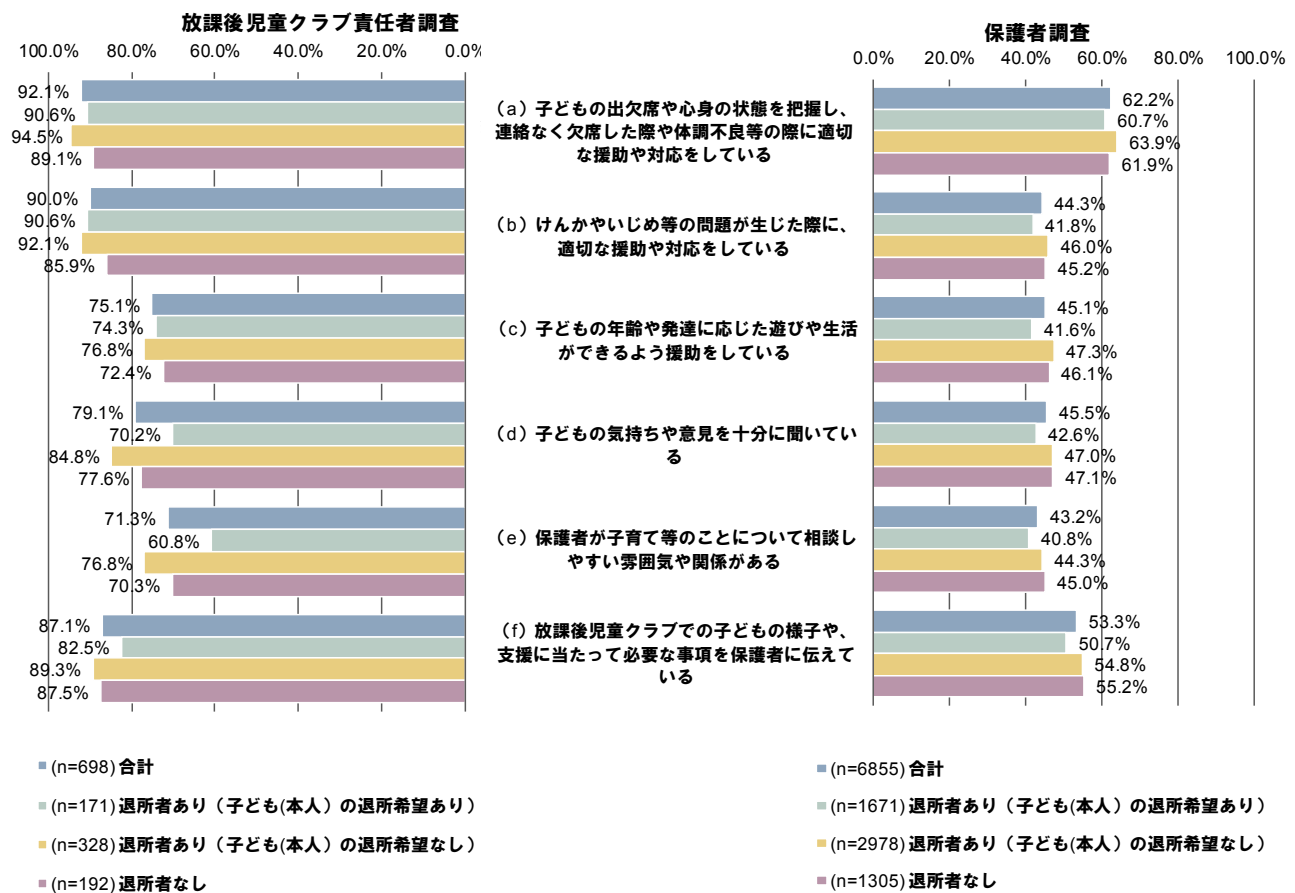
【放課後児童クラブ責任者調査】

すべての項目について、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望あり）』の方が、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望なし）』に比べて、「十分取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、すべての項目で、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望あり）』の方が、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望なし）』よりやや低い。

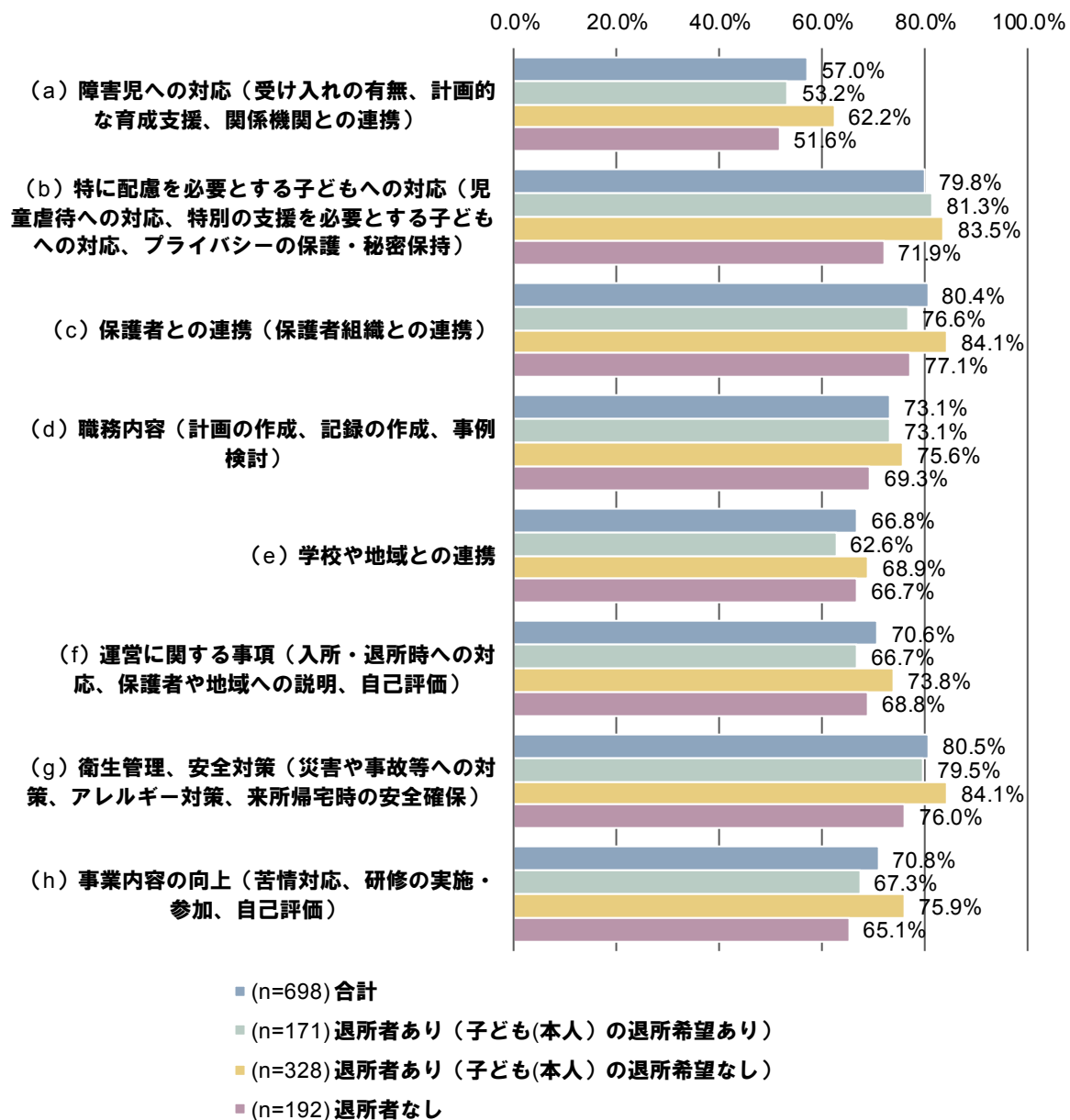
図表 89 「本人希望の退所者有無別」【左】職員による子どもや保護者への関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 11）、【右】『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



③子どもや保護者との関わり（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）

すべての項目について、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望あり）』の方が、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望なし）』に比べて、「十分取り組んでいる」割合が低い。

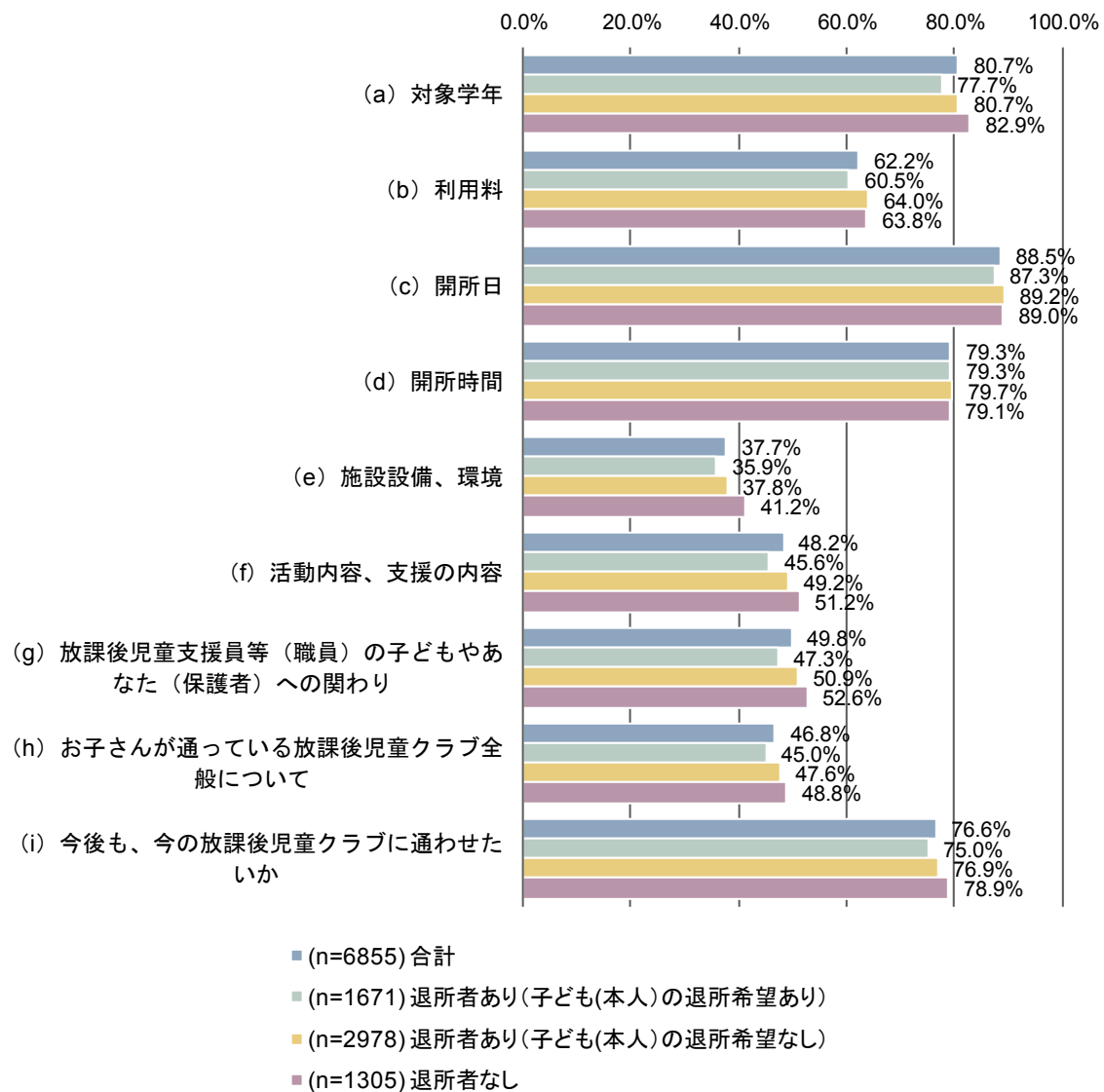
図表 90 「本人希望の退所者有無別」子どもや保護者との関わりに「十分取り組んでいる」割合（放課後児童クラブ責任者調査：問 12）



④放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(b) 利用料』、『(e) 施設設備、環境』、『(f) 活動内容、支援の内容』、『(g) 放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h) お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』などの項目について、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望あり）』の方が、『退所者あり（子ども（本人）の退所希望なし）』に比べて、「適切」、「満足」とする割合がやや低くなっている。

図表 91 「本人希望の退所者有無別」放課後児童クラブに対する満足：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

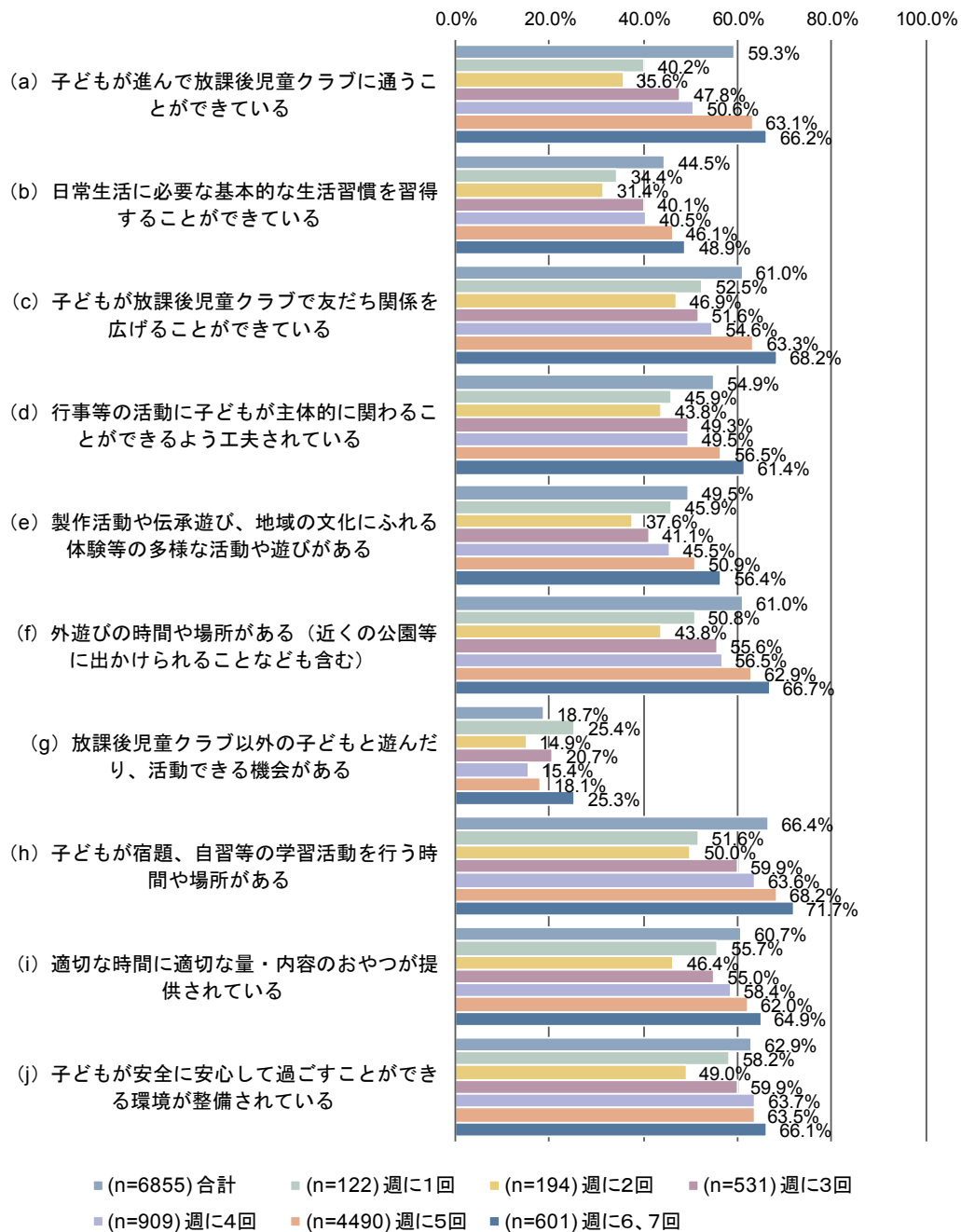
4. 保護者の属性等別のクロス分析

利用回数別

①放課後児童クラブの利用回数別の活動や育成支援に関する取組の状況（保護者調査：問 10）

『子どもが通っている放課後児童クラブでは、活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、ほぼ全ての項目について、『週に1回』を除き、利用回数が多いほど高くなっている。

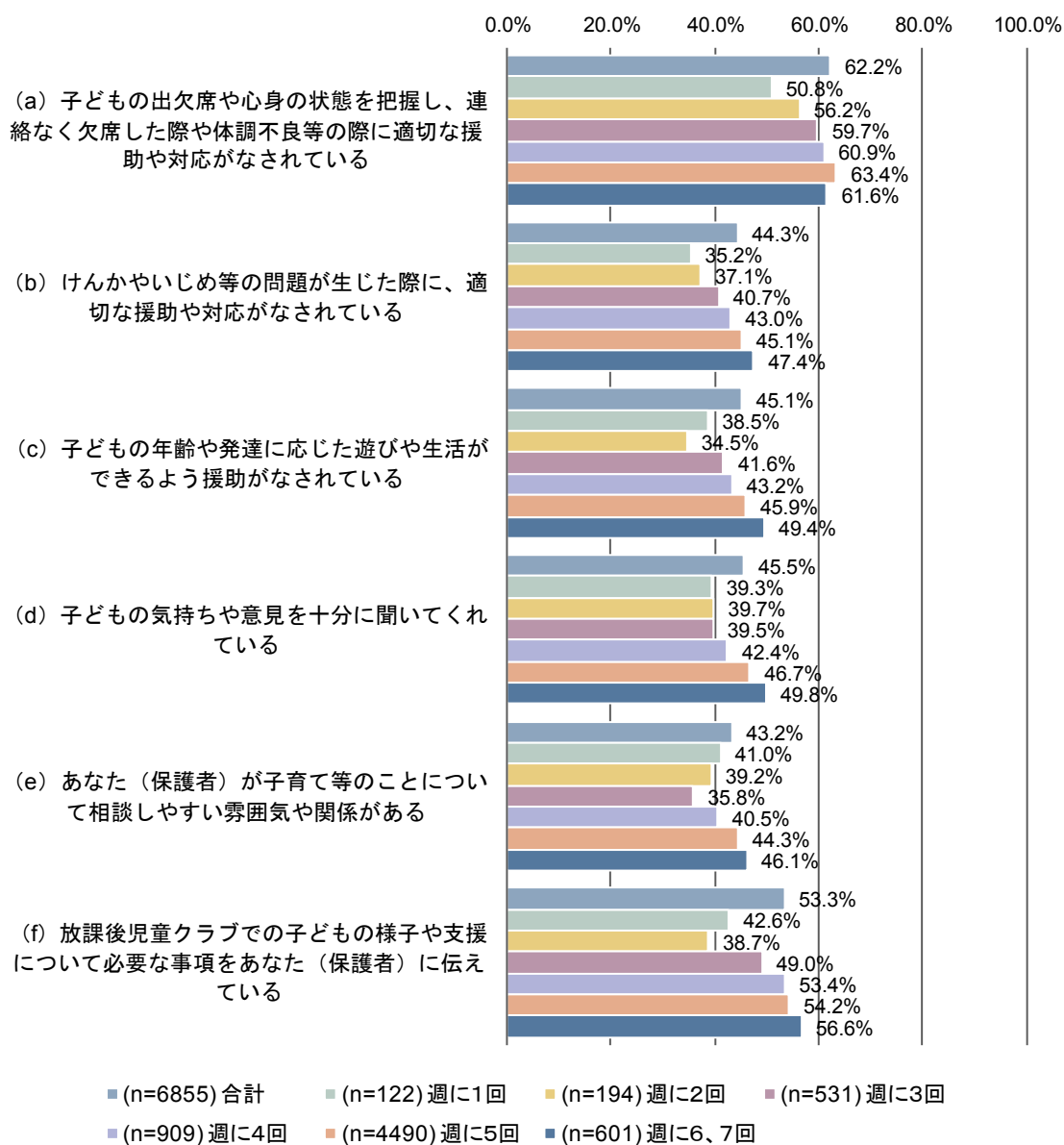
図表 92 「利用回数別」活動や育成支援に十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 10）



②職員による保護者への関わり（保護者調査：問 12）

『子どもが通う放課後児童クラブでは、『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、利用回数が多いほど高くなっている。

図表 93 「利用回数別」放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』（職員）の子どもや保護者への関わりに十分取り組んでいる：「そう思う」割合（保護者調査：問 12）



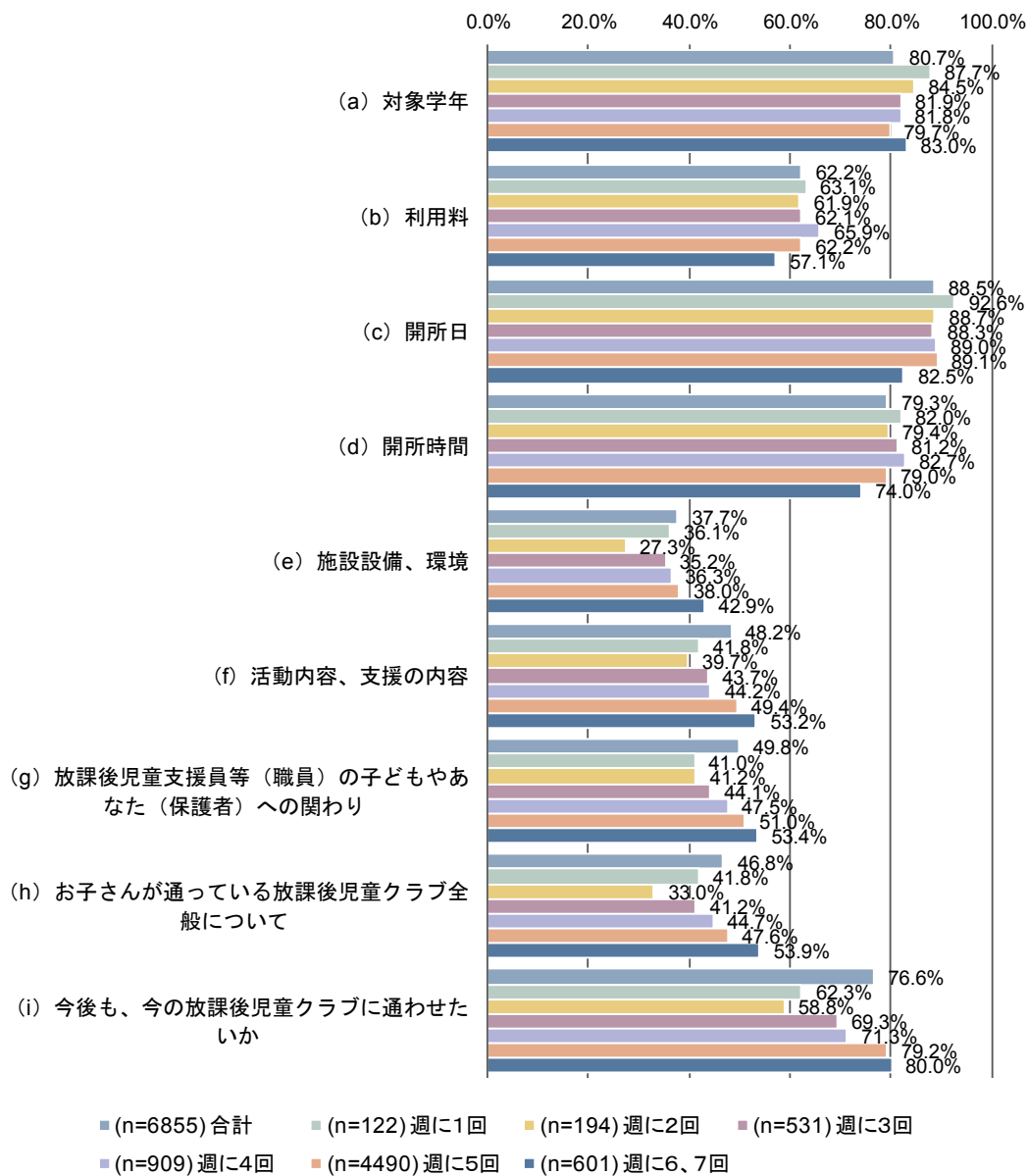
③放課後児童クラブに対する満足度（保護者調査：問 16）

『(a)対象学年』、『(b)利用料』、『(c)開所日』、について、「適切」の割合は、『週に1回』を除き、利用回数による大きな違いはみられない。

『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、「満足」の割合は、利用回数が多いほど高い。

『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について「そう思う」割合は、利用回数が多いほど高くなっている。

図表 94 「利用回数別」放課後児童クラブに対する満足：「適切」「満足」「そう思う」割合（保護者調査：問 16）



（備考）(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合を示したものである。

5. 育成支援に関する放課後児童クラブ責任者と保護者の認識の一致・相違状況

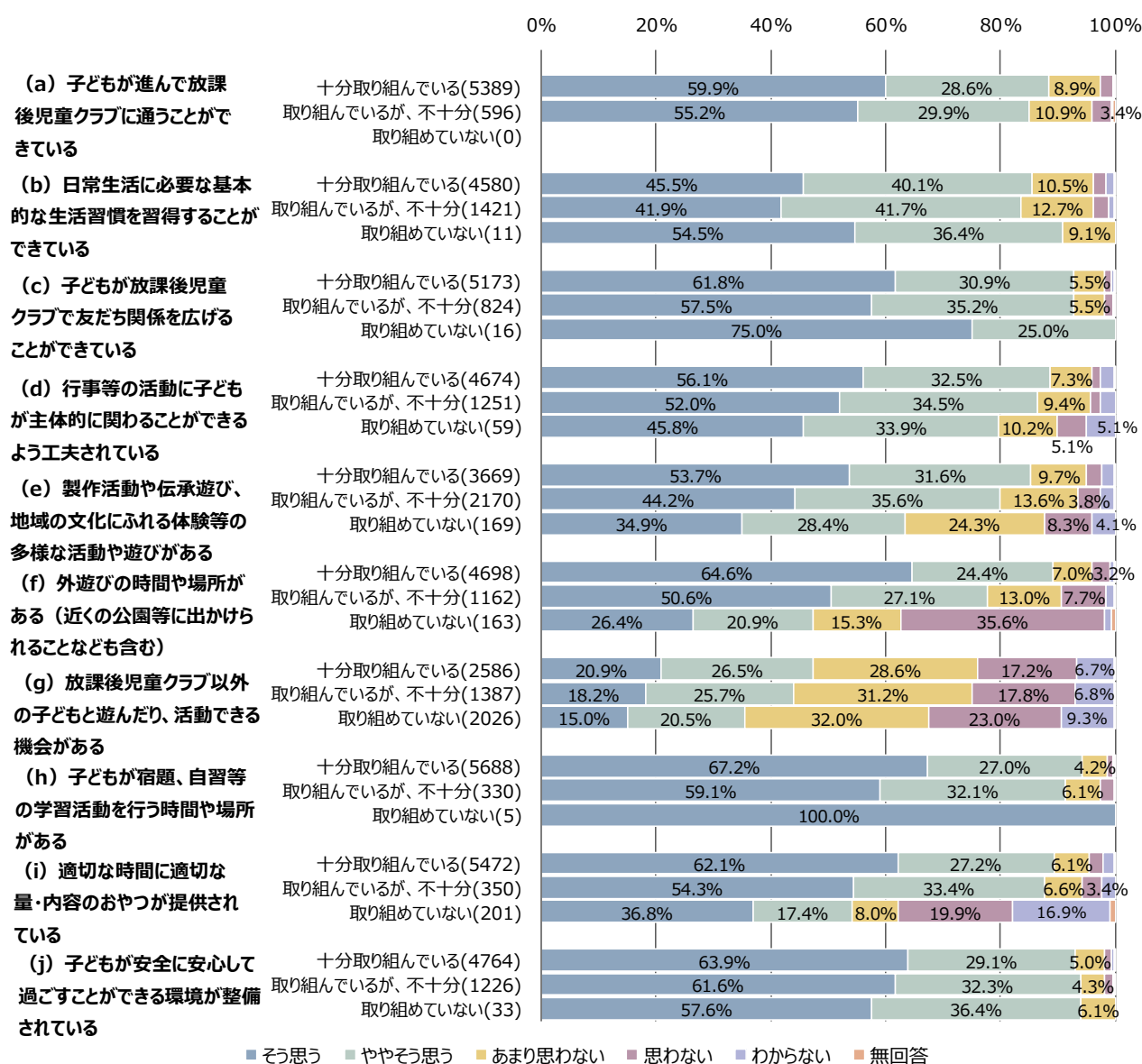
ここでは、放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組、職員による子どもや保護者への関わりの十分さについて、放課後児童クラブ責任者調査（問 10、問 11）、及び保護者調査（問 10、問 12）の同じ設問内容でのクロス分析を行った（（例）放課後児童クラブ責任者調査：問 10(a) × 保護者調査：問 10(a)）。

放課後児童クラブでの育成支援に関する取組の度合いなどについて、放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもを通わせている保護者が「十分取り組んでいると（そう）思う」割合は高い。放課後児童クラブ責任者が「取り組めていない」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもを通わせている保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」割合が高い。育成支援への取組などに対する、放課後児童クラブ責任者とそこに子どもを通わせている保護者の認識の方向性は一致している。

その中で、放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合に、その放課後児童クラブに子どもを通わせている保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」とする割合も一定数いる。

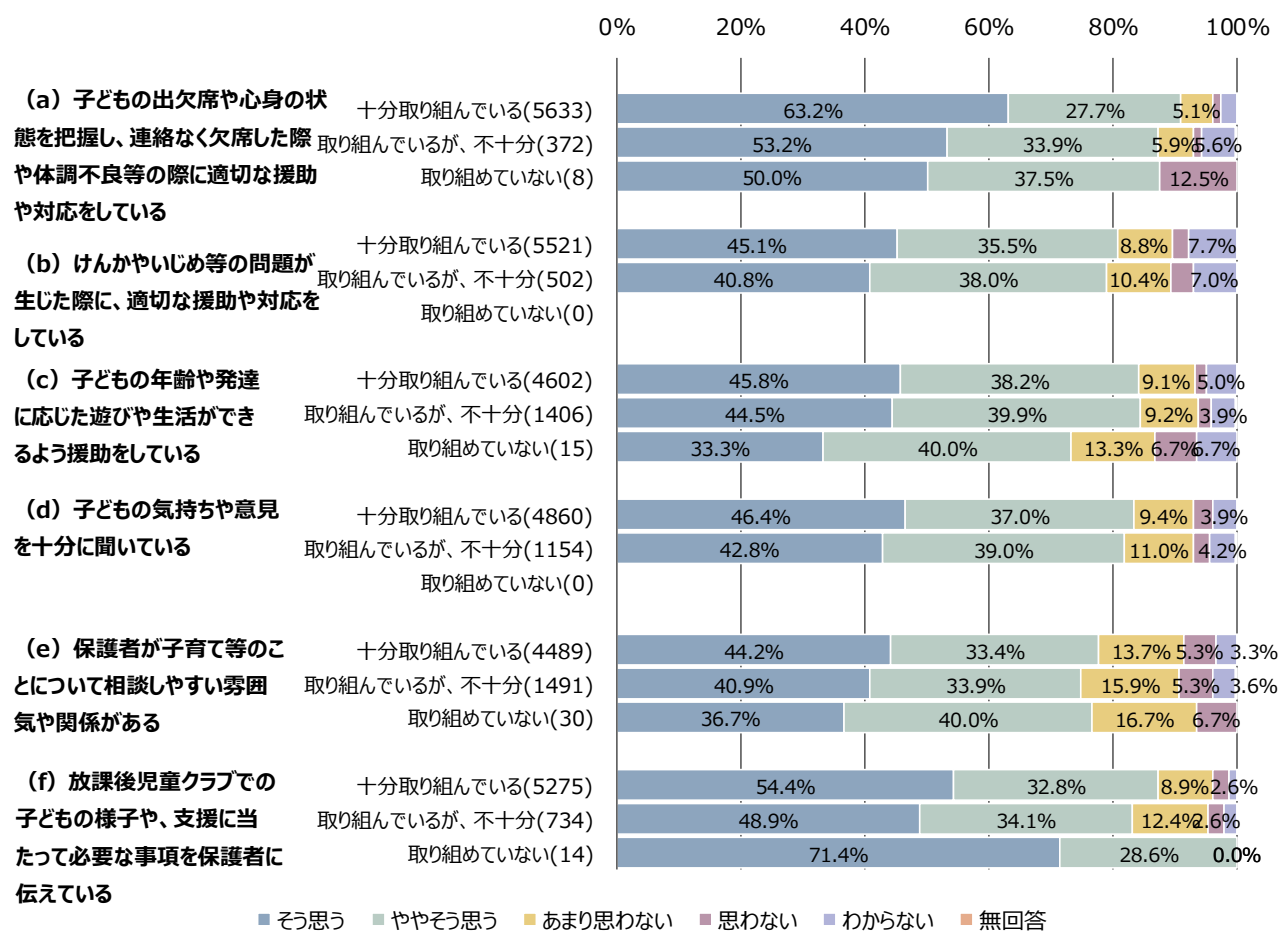
また、放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」場合と、「取り組んでいるが、不十分」とする場合との間では、保護者が「十分取り組んでいると（そう）思う」割合の差は必ずしも大きくはないことに留意が必要である。

図表 95 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組（縦軸：放課後児童クラブ責任者調査
（問 10）×横軸：保護者調査（問 10））



（注）（ ）内の値はn数（保護者の回答数）

図表 96 放課後児童クラブでの活動や職員による子どもや保護者への関わりの十分さ（縦軸：放課後児童クラブ責任者調査（問 11）×横軸：保護者調査（問 12））



【参考資料】アンケート調査票

①市区町村主管課向け調査 調査票

市区町村主管課向け調査票

厚生労働省「2019年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」

放課後児童クラブにおける育成支援の実態に関するアンケート調査

※本調査は統計的に処理致しますので、貴市区町村名及びご回答内容が公表されることやご回答が弊社及び委託元以外に知られることは一切ありません。

【ご記入いただきました個人情報等の取扱について】

※ご記入いただきました個人情報は、調査目的以外には使用いたしません。また、個々のご回答内容が、ご承諾なく他に知られることはございません。

※お預かりした個人情報は、当社の個人情報保護方針(<http://www.murc.jp/corporate/privacy/>)に従い適切に取り扱います。入力・集計作業等のために預託する場合には、十分な個人情報保護水準を備えた業者を選定し、契約等により保護水準維持するよう管理します。

※個人情報のご記入は任意です。個人情報が未記入であっても、ご回答が集計から除外されることはありません。

※お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、依頼状に記載の連絡先までお願い申し上げます。

※放課後児童健全育成事業（以下「放課後児童クラブ」と言います）の状況等について伺います。

本調査票にご記入の上、令和2年1月24日（金）までにご返送ください。

※ご回答は色づけしたセルをお願い致します。

問1 貴自治体の管内の学年別の児童数、放課後児童クラブの登録児童数及び利用できなかった児童数（いずれも令和元年5月1日現在）について教えてください。
（数値をご記入ください。いない場合には「0」をご記入ください）

	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
児童数	0人						
登録児童数	0人						
利用できなかった児童数 （待機児童数）	0人						

問2 貴自治体で放課後児童クラブを所管する部局はどこですか。（1～3のいずれかを選択）
あてはまるもの1つを選んでください。

該当するものに1つを選択	1. 福祉部局	⇒具体的に	
	2. 教育委員会		
	3. その他		

ご連絡先について

貴自治体名		所在する都道府県名	
部署・役職名		ご回答者名	
E-mailアドレス		電話番号	

②放課後児童クラブ責任者向け調査 調査票

放課後児童クラブ責任者向け調査票

厚生労働省「2019年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」 放課後児童クラブにおける育成支援の実態に関するアンケート調査

本調査は統計的に処理いたしますので、貴放課後児童クラブ名、及びご回答者の個人の意見や考えなどが公表されることや、ご回答が弊社及び委託元以外に知られることは一切ありません。ご自由にお答えください。

ご記入いただきました個人情報等の取扱について

※ご記入いただきました個人情報は、調査目的以外には使用いたしません。また、個々のご回答内容が、ご承諾なく他に知られることはございません。

※お預かりした個人情報は、当社の個人情報保護方針（<http://www.mure.jp/corporate/privacy/>）に従い適切に取り扱います。入力・集計作業等のために預託する場合には、十分な個人情報保護水準を備えた業者を選定し、契約等により保護水準維持するよう管理します。

※個人情報のご記入は任意です。個人情報が未記入であっても、ご回答が集計から除外されることはありません。

※お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、依頼状に記載の連絡先までお願い申し上げます。

放課後児童健全育成事業（以下、「クラブ」と言います）における運営状況・育成支援の実施状況等について伺います。本調査票にご記入の上、**令和2年1月24日（金）**までにご投函ください。

1. 貴クラブの概要について

問1. 貴クラブの運営形態について教えてください。（①～③それぞれあてはまるもの1つに○）

①大区分	②小区分 (①大区分で選択肢2あるいは3を回答した方のみ)	③運営形態 (①大区分で選択肢2・3を回答した方のみ)
1. 公立公営 2. 公立民営 3. 私立民営	1. 社会福祉法人 2. 民法34条法人 3. NPO法人 4. 運営委員会・保護者会 5. 任意団体 6. 株式会社 7. 学校法人 8. その他（ ）	1. 委託 2. 指定管理 3. 補助金交付 4. その他（ ）

問2. 貴クラブの設置場所について教えてください。（すべてに○）

1. 学校の余裕教室	2. 学校の敷地内専用施設	3. 児童館・児童センター
4. 公的施設	5. 民家・アパート	6. 保育所
7. 幼稚園	8. 認定こども園	9. 公有地占有施設
10. 民有地占有施設	11. 団地集会所	12. 商店街空き店舗
13. その他（ ）		

問3. 貴クラブの『児童1人当たりの専用区画』の面積について教えてください。（1つに○）

1. 1.65㎡以上	2. 1.65㎡未満	3. 専用区画なし
------------	------------	-----------

※基準に規定されている通り、事務室、便所等は回答に含まないでください。

問4. 貴クラブには専用区画以外に活用できる設備はありますか。（すべてに○）

1. 学校の校庭	2. 学校の体育館	3. 学校の余裕教室
4. 児童館・児童センター	5. 公園	6. その他（ ）
7. 特になし		

問5. (1) 貴クラブでの1年あたりの開所予定日数（平成31年4月～令和2年3月末）を教えてください。

1. 199日以下	2. 200～249日	3. 250日～279日	4. 280日～299日	5. 300日以上
-----------	-------------	--------------	--------------	-----------

(2) 貴クラブでの平日・長期休暇時それぞれの(A)開所時刻、(B)終了時刻※を教えてください。

	(A)開所時刻	(B) 終了時刻
平日 (A) (B)それぞれ 1つに○)	1. 11:00 以前 2. 11:01~12:00 3. 12:01~13:00 4. 13:01~14:00 5. 14:01 以降	1. 17:00 まで 2. 17:01~18:00 3. 18:01~18:30 4. 18:31~19:00 5. 19:01 以降
長期休暇時等 (A) (B)それぞれ 1つに○)	1. 開所していない 2. 7:00 以前 3. 7:01~8:00 4. 8:01~9:00 5. 9:01~10:00 6. 10:01 以降	1. 開所していない 2. 17:00 まで 3. 17:01~18:00 4. 18:01~18:30 5. 18:31~19:00 6. 19:01 以降

※開所時刻、終了時刻は、それぞれ貴クラブの職員が出勤される最も早い時刻、及び退勤される最も遅い時刻ではなく、貴クラブにおいて子どもの受入体制が整った時間帯の最初の時刻、最後の時刻としてご回答ください。

問6. 貴クラブで(a)雇用している職員数(令和元年5月1日現在)、及び、(b)1日に配置している職員数(令和元年12月2日の最大配置人数)を教えてください。

	常勤職員	常勤職員以外
(a) 雇用している職員数 (令和元年5月1日現在)	人	人
(b) 1日に配置している職員数 (令和元年12月2日の最大配置人数※)	人	人

※1日の中で時間帯により配置人数に変動がある場合、配置している人数が最も多い時間帯の人数をご回答ください。12月2日がお休みの場合は、直近の開所日の人数をご回答ください。

問7. 貴クラブの対象としている子どもの学年を教えてください。(1つに○)

1. 1年生まで 2. 2年生まで 3. 3年生まで 4. 4年生まで 5. 5年生まで 6. 6年生まで
--

※特に配慮を必要とする子ども等のみ6年生まで受け入れている場合等は、特に配慮を必要とする子ども等以外の子どもの対象範囲について選択してください。

問8. 貴クラブの月額利用料を教えてください。(1つに○)

1. 利用料は徴収していない	2. 2,000 円未満	3. 2,000~4,000 円未満
4. 4,000~6,000 円未満	5. 6,000~8,000 円未満	6. 8,000~10,000 円未満
7. 10,000~12,000 円未満	8. 12,000~14,000 円未満	9. 14,000~16,000 円未満
10. 16,000~18,000 円未満	11. 18,000~20,000 円未満	12. 20,000 円以上

※利用料の減免等の対象となっている場合は、減免等を行う前の額を選択してください。

問9. (1) 貴クラブの学年別の登録児童数(令和元年5月1日現在)・利用児童数(令和元年12月2日~6日の間の平均人数)・退所児童数(平成31年4月1日~令和元年12月2日まで)について教えてください。
(数値をご記入ください。いない場合には「0」をご記入ください)

	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
登録児童数 (令和元年5月1日現在)	人	人	人	人	人	人	人
利用児童数 (令和元年12月2日~ 6日の間の平均人数)	人	人	人	人	人	人	人
退所児童数 (平成31年4月1日~ 令和元年12月2日まで)	人	人	人	人	人	人	人

(2) 退所の主な理由 (当てはまるものすべてに○)

1. 転居（転出）したため
2. 保護者が離職したため
3. 家族が見守ることになったため（2. の場合を除く）
4. 学習塾に通うため
5. 習い事に通うため
6. 他の施設（児童館など）に通うため
7. 本人（子ども）の退所希望のため
8. その他（具体的に： _____）
9. 退所した子どもはいない

2. 貴クラブにおける育成支援の実施状況について

問10. 貴クラブでは、次のような活動や育成支援に関する取組が十分に行われていると思いますか。(「a」～「j」それぞれ1つに○)

	1. 十分取り組んでいる	2. 取り組んでいるが、不十分	3. 取り組めていない
(a) 子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができています	1	2	3
(b) 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができています	1	2	3
(c) 子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができています	1	2	3
(d) 行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている	1	2	3
(e) 製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある	1	2	3
(f) 外遊びの時間や場所がある(近くの公園等に出かけられることなども含む)	1	2	3
(g) 放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある	1	2	3
(h) 子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある	1	2	3
(i) 適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている	1	2	3
(j) 子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている	1	2	3

問11. 貴クラブでは、次のような職員による子どもや保護者への関わりは十分に行われていると思いますか。
((a)～(f)それぞれ1つに○)

	1. 十分取り組んでいる	2. 取り組んでいるが、不十分	3. 取り組めていない
(a) 子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている	1	2	3
(b) けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応をしている	1	2	3
(c) 子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている	1	2	3
(d) 子どもの気持ちや意見を十分に聞いている	1	2	3
(e) 保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある	1	2	3
(f) 放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている	1	2	3

問12. 貴クラブでは、次のような子どもや保護者との関わりについて、十分に取り組んでいますか。(a)～(h)それぞれ1つに○)

	1. 十分取り組んでいる	2. 取り組んでいるが、不十分	3. 取り組めていない
(a) 障害児への対応（受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携）	1	2	3
(b) 特に配慮を必要とする子どもへの対応（児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持）	1	2	3
(c) 保護者との連携（保護者組織との連携）	1	2	3
(d) 職務内容（計画の作成、記録の作成、事例検討）	1	2	3
(e) 学校や地域との連携	1	2	3
(f) 運営に関する事項（入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価）	1	2	3
(g) 衛生管理、安全対策（災害や事故等への対策、アレルギー対策、来所帰宅時の安全確保）	1	2	3
(h) 事業内容の向上（苦情対応、研修の実施・参加、自己評価）	1	2	3

問13. 貴クラブにおける育成支援の内容（問10～問12）について、ご回答で「2. 取り組んでいるが、不十分」、または「3. 取り組めていない」を選択された場合、その主な理由を教えてください。（自由記述）

問____の記号____について：

問____の記号____について：

問____の記号____について：

3. ご連絡先について

貴クラブ名		貴クラブが所在する都道府県 及び市区町村名	都道府県： 市区町村：
運営主体名			
部署・役職名		ご回答者名	
E-mail アドレス		電話番号	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査 調査票

保護者様向け調査票

厚生労働省「2019 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業」 放課後児童クラブにおける育成支援の実態に関するアンケート調査

ご回答者のお名前はお聞きしておりません。また、本調査は統計的に処理いたしますので、ご回答者個人の意見や考えなどが、お子さんが通う放課後児童クラブ等に対して公表されることや、ご回答が弊社及び委託元以外に知られることは一切ありません。ご自由にお答えください。

ご記入いただきました個人情報等の取扱について

※ご記入いただきました個人情報は、調査目的以外には使用いたしません。また、個々のご回答内容が、ご承諾なく他に知られることはございません。

※お預かりした個人情報は、当社の個人情報保護方針（<http://www.mure.jp/corporate/privacy/>）に従い適切に取り扱います。入力・集計作業等のために預託する場合には、十分な個人情報保護水準を備えた業者を選定し、契約等により保護水準維持するよう管理します。

※個人情報のご記入は任意です。個人情報が未記入であっても、ご回答が集計から除外されることはありません。

※お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、依頼状に記載の連絡先までお願い申し上げます。

放課後児童クラブに通っているお子さん（以下では、単に「お子さん」と言います）や保護者の方の状況及び通っている放課後児童クラブの運営状況について伺います。本調査票にご記入の上、**令和2年1月24日（金）**までにご投函ください。

お子さんが2人以上放課後児童クラブに通っている場合には、**学年が上のお子さん**についてご回答ください。

1. お子さんやあなたの状況についてお聞きします

問1. あなた（保護者）について、お子さんとの関係を教えてください。（1つに○）

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他（具体的に： ）

問2. お子さんは小学何年生ですか。（1つに○）

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問3. お子さんと同居している方を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. お子さんの母親 2. お子さんの父親 3. お子さんの祖母（ 人）
4. お子さんの祖父（ 人） 5. お子さんの兄弟姉妹（ 人） 6. その他の親族（ 人）
7. その他（ 人）

問4. 放課後児童クラブを週に何回利用していますか。（1つに○）

※月曜日から金曜日までには祝日がないような通常の週についてご回答ください。

1. 週に1回 2. 週に2回 3. 週に3回 4. 週に4回
5. 週に5回 6. 週に6回 7. 週に7回

問5. 習い事や塾等、放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動は、週に何回行っていますか。（1つに○）

1. 行っていない→問8へ 2. 週に1回 3. 週に2回 4. 週に3回
5. 週に4回 6. 週に5回 7. 週に6回 8. 週に7回

問6. 放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. 塾、英会話、そろばん等（塾など学習のための教室）
2. スポーツ系習い事（スイミング、サッカー、空手、ダンス等）
3. 芸術系習い事（ピアノ、書道、絵画等）
4. その他（具体的に： ）

問7. 習い事や塾等、放課後に行っている活動と放課後児童クラブをどのように通い分けているか教えてください。
放課後に行っている活動が複数ある場合、主なものをご回答ください。(1つに○)

1. 放課後児童クラブと習い事や塾等の行く曜日を分けている
2. 放課後児童クラブの途中で習い事や塾等へ行く(習い事等の終了後、放課後児童クラブに戻ってくる)
3. 放課後児童クラブの後に習い事や塾等へ通っている(習い事等の終了後、自宅に帰宅する)
4. その他(具体的に:)

問8. 差し支えなければ、あなた(保護者)とあなたの配偶者の就労状況を教えてください。(それぞれ1つに○)
【任意回答】

あなた		あなたの配偶者	
1. フルタイム	2. パートタイム	1. フルタイム	2. パートタイム
3. 働いていない		3. 働いていない	4. 配偶者はいない

問9. 差し支えなければ、あなた(保護者)とあなたの配偶者の年間収入の合計を教えてください。(1つに○)
【任意回答】

1. 200万円未満	2. 200～400万円未満	3. 400～600万円未満
4. 600～800万円未満	5. 800～1,000万円未満	6. 1,000万円以上

2. お子さんが通っている放課後児童クラブの実態についてお聞きます

問10. お子さんが通っている放課後児童クラブでは、次のような活動や支援に関して、十分に取り組んでいると思いますか。(a)～(j)それぞれ1つに○)

	1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない	5. わからない
(a) 子どもが進んで放課後児童クラブに通っている	1	2	3	4	5
(b) 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができている	1	2	3	4	5
(c) 子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができている	1	2	3	4	5
(d) 行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている	1	2	3	4	5
(e) 製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある	1	2	3	4	5
(f) 外遊びの時間や場所がある(近くの公園等に出かけられることなども含む)	1	2	3	4	5
(g) 放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある	1	2	3	4	5
(h) 子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある	1	2	3	4	5
(i) 適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている	1	2	3	4	5
(j) 子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている	1	2	3	4	5

問11. 問10で示した(a)～(j)の放課後児童クラブの活動や支援に関する取組として、あなた(保護者)が重視する項目3つを選んでください。(a)～(j)の中から、3つの記号を記入)

--	--	--

問12. お子さんが通う放課後児童クラブでは、次のような『放課後児童支援員等』（職員）の、お子さんやあなた（保護者）への関わりについて、十分に取り組んでいると思いますか。（(a)～(f)それぞれ1つに○）

	1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない	5. わからない
(a) 子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応がなされている	1	2	3	4	5
(b) けんかやいじめ等の問題が生じた際に、適切な援助や対応がなされている	1	2	3	4	5
(c) 子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助がなされている	1	2	3	4	5
(d) 子どもの気持ちや意見を十分に聞いてくれている	1	2	3	4	5
(e) あなた（保護者）が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある	1	2	3	4	5
(f) 放課後児童クラブでの子どもの様子や支援について必要な事項をあなた（保護者）に伝えている	1	2	3	4	5

問13. 問12で示した(a)～(f)の『放課後児童支援員等』（職員）のお子さんやあなた（保護者）への関わりについての取組として、あなた（保護者）が重視する項目を2つ選んでください。（(a)～(f)の中から、2つの記号を記入）

--	--

問14. 放課後児童クラブに子どもを通わせてよかったことや、通わせている放課後児童クラブで行われていてよかったと思う取組について、お聞かせください。（自由記述）

--

問15. 放課後児童クラブの運営や活動内容、支援の内容等について、改善してほしいことをお聞かせください。（自由記述）

--

問16. 放課後児童クラブに対する満足度について教えてください。(a)～(i)それぞれ1つに○)

	(a)～(i)それぞれ1つに○			
(a) 対象学年	1. 適切	2. 拡げてほしい		
(b) 利用料	1. 適切	2. やや負担	3. 負担	
(c) 開所日	1. 適切	2. 増やしてほしい		
(d) 開所時間	1. 適切	2. 長くしてほしい		
(e) 施設設備、環境	1. 満足	2. 概ね満足	3. やや不満	4. 不満
(f) 活動内容、支援の内容	1. 満足	2. 概ね満足	3. やや不満	4. 不満
(g) 放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり	1. 満足	2. 概ね満足	3. やや不満	4. 不満
(h) お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について	1. 満足	2. 概ね満足	3. やや不満	4. 不満
(i) 今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか	1. そう思う	2. ややそう思う	3. あまり思わない	4. 思わない

問17. お子さんが通う放課後児童クラブについて最も満足しているものはどれですか（1つに○）。また、差し支えなければ満足している理由をご記入下さい（自由記述）。

1. 対象学年	2. 利用料	3. 開所日
4. 開所時間	5. 施設設備、環境	6. 活動内容、支援の内容
7. 放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり		8. 特にない

<満足している理由>

問18. お子さんが通う放課後児童クラブについて最も不満があるものはどれですか（1つに○）。また、差し支えなければ不満がある理由をご記入下さい（自由記述）。

1. 対象学年	2. 利用料	3. 開所日
4. 開所時間	5. 施設設備、環境	6. 活動内容、支援の内容
7. 放課後児童支援員等（職員）の子どもやあなた（保護者）への関わり		8. 特に不満はない

<不満がある理由>

問19. 放課後児童クラブの活動内容として、今後充実させてほしい内容を3つ教えてください。（3つに○）

1. 外遊び	2. 伝承遊び	3. 工作
4. 料理	5. 読書	6. 宿題、自習等の学習活動への援助
7. 季節行事	8. 地域交流	9. 高学年向けの活動
10. その他（具体的に： ）		

問20. 放課後児童クラブの運営や活動内容、支援の内容等について、現在は実施されていないが今後実施してほしいと思うことをお聞かせください。（自由記述）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和元年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業
放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究

令和2年（2020年）3月

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
電話番号 03-6733-1005

